

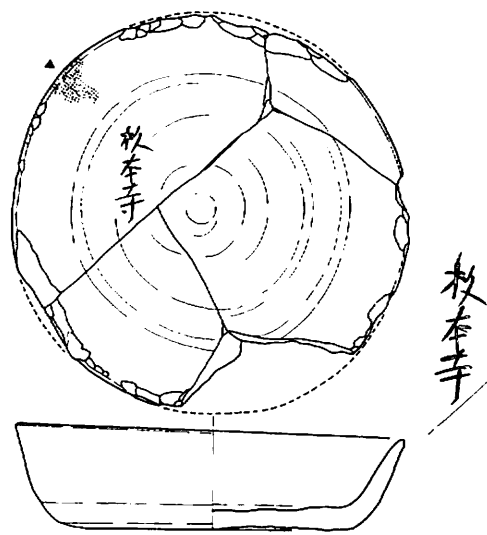
熊本大学学術リポジトリ

Kumamoto University Repository System

Title	熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅳ（1996・1997年度）
Author(s)	熊本大学埋蔵文化財調査室
Citation	熊本大学埋蔵文化財調査報告書，4：1-167
Issue date	2008-03-31
Type	Departmental Bulletin Paper
URL	http://hdl.handle.net/2298/8081
Right	

熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅳ

(1996・1997年度)



2008

熊本大学埋蔵文化財調査室

熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅳ

(1996・1997年度)

2008

熊本大学埋蔵文化財調査室



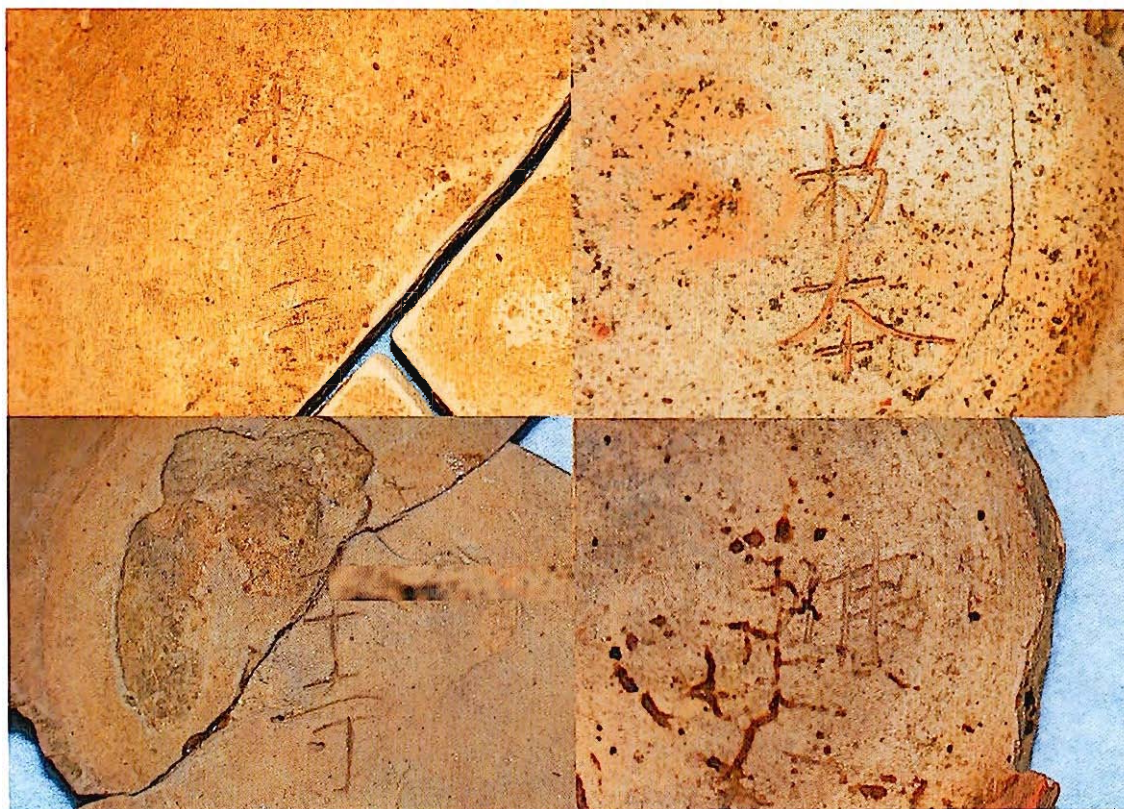
1. 本庄遺跡（9601調査地点）検出の道路遺構と溝



2. 黒髪町遺跡（9704調査地点）調査区全景



1. 黒髪町遺跡（9704調査地点）甕棺検出状況



2. 本庄遺跡（9601調査地点）出土の「杵本」・「杵本寺」・「仏」ヘラ書き土器

序 文

1996・1997年は本学における再開発がスタートして3・4年目に当たる。この間、医学部や工学部の校舎建設に伴い大規模な発掘調査を3件実施した。本書はその成果を公開し、一般市民の方に埋蔵文化財に対する理解を深めてもらうとともに、学術研究資料としての利用を図るものである。

医学部校舎建設に伴う本荘北地区の附属病院敷地内の発掘調査では、縄文時代から近代に至る遺構・遺物を検出した。中でも、古代道路跡や古代寺院址を検出したことは当地における古代史研究に大いに寄与するものと期待される。寺の周囲を巡る深い濠状の溝から出土した刻書土器中に表れる「杵本寺」は、音読みで「クホンジ」と読むことができ、現在の一帯の地名である「九品寺」の起源であったものと思われる。この寺の名前を刻んだ特注品の土師器の灯明皿や、須恵器の円面硯や蓋を利用した硯などが出土していることから、僧侶などの識字層が存在したことは明らかであり、この「杵本寺」は文献史には残らない周辺の豪族の氏寺であった可能性が高い。多量の供膳具が焼けた状態で一括廃棄されていることなどからみて、被災した坊舎などの寺の一部の火事場処理を行った痕跡と思われる。

また、黒髪南地区の工学部校舎建設に先立ち実施した2件の発掘調査地点は旧工学部運動場のあったところで、削平のためほとんど遺構や遺物は残っていないと考えられていたが、予想に反して縄文時代～近世の遺構・遺物群が検出された。とくに昭和33年に工学部西側の民家との間の市道で発見された甕棺墓に連なる墓地が検出されたことは大きな成果であった。この熊本大学および済々學高校・九州女学院大学の敷地を含む黒髪町遺跡一帯は、古くから弥生中期後半～後期初頭にかけての「黒髪式土器」の標識遺跡となっており、付近一帯に弥生時代中期～後期にかけての大規模な集落が存在することを裏付けたことになる。

また、この黒髪地区の本学および周辺は古代においても重要な拠点にあたり、古代豪族竹部の君の居住地や古代駅制の駅家の「蚕養」駅の推定地として注目されている。今回の調査地点は其中でも官道の通過する地点に相当し、道路跡の発見が期待されたが、削平のため道路跡そのものを検出することはできなかった。しかし、8世紀代の南北方位をとる多数の建物群や溝などが発見され、一般農村集落ではない居館ないし駅家などの官衙的な施設の一部であると予想された。

本学における再開発に伴う埋蔵文化財に対する取り組みは、今年で14年目を迎える。今後も文化財の保護と普及啓蒙に努力していきたい。この間、調査にご協力を惜しまれなかった熊本市教育委員会、熊本県教育庁および周辺市町村の文化財ご担当各位に感謝申し上げます。

平成20年3月25日

国立大学法人熊本大学埋蔵文化財調査委員会
委員長 伊藤 重剛

例 言

1. 本報告書は、熊本大学再開発計画によって熊本大学敷地内において実施された各種建築工事に伴い、熊本大学埋蔵文化財調査室が1996・1997年度に実施した発掘調査に関するものである。
2. 本書に収録した成果報告は、1996・1997年度に埋蔵文化財調査室が実施した発掘調査報告とそれに関連する立会調査などの成果のうち、(本荘北) 9601調査地点、(黒髪南) 9603調査地点、9704調査地点の3つの発掘調査に関する成果である。
3. 上記調査地点の報告にあたっては、下記のように地区ごとに分けて報告する。
Ⅱ章：本荘北地区 9601調査地点
Ⅲ章：黒髪南地区 9603調査地点・9704調査地点
4. 以上の調査を実施した1996年度と1997年度の埋蔵文化財調査室の組織と調査体制は以下のとおりである。
1996年度 室 長：甲元眞之（文学部教授）
調 査 員：小畑弘己（文学部助教授）
事務補佐員：矢野稀久代
1997年度 室 長：甲元眞之（文学部教授）
調 査 員：小畑弘己（文学部助教授）
事務補佐員：大坪志子
5. 遺物番号は地区ごとに1から番号を付けている。写真図版中の番号はこれに一致する。
6. 本文は、小畑弘己、尾上博一、中川木綿子が執筆した。
7. 本書に使用した遺構実測図に関しては、小畑弘己をはじめとする調査に参加した熊本大学考古学研究室学生の手によるものである。
8. 本書に使用した遺物実測図は、今村佳子、飯田孝俊、尾上博一、谷直子、辻村美代子、林季美子、若杉あずさ、藤江望、藤原由博、藤木聡、美浦雄二、山下直哉、若杉竜太、土田ちえみ、林田恵子、江口路、末吉美記、溜渕俊子、長谷智子、増井弘子、山寄早苗、小畑、大坪志子が製作した。
9. 本書に使用した図版の製図は小畑、大坪、増井、鬼塚美枝、中川、首藤優子が行った。
10. 遺構実測及び製図には手描による記録とともに遺跡調査汎用システム（カタタ Ver.3- アーケオテクノ社）、株式会社CUBICの遺跡実測支援システム「遺構くん」及び製図システム「トレース3Dくん」を使用した。
11. 本書に使用した現場写真は小畑が、遺物写真は小山正子、末吉美記、溜渕俊子がこれを撮影した。
12. 本書で使用した遺物観察表は、江口、鬼塚、首藤、溜渕、長谷、山寄、小畑、大坪が作成した。
13. 本書に掲載した出土遺物および記録類は、すべて熊本大学埋蔵文化財調査室が保管している。
14. 本書の編集は小畑、大坪が行った。

本文目次

I	構内遺跡と調査の概要	
1.	熊本大学敷地と構内遺跡の概要	1
2.	調査に至る経緯	4
3.	これまでの調査と本書収録の遺跡	5
II	本荘北地区の調査	
1.	医学部校舎建設に伴う発掘調査（9601調査地点）	15
(1)	調査の目的と経過	15
(2)	調査区の基本層序	17
(3)	検出遺構と遺物	18
(4)	まとめ	57
III	黒髪南地区の調査	
1.	工学部校舎建設に伴う発掘調査（9603調査地点）	75
(1)	調査の目的と経過	75
(2)	調査区の基本層序	75
(3)	検出遺構	77
(4)	出土遺物	84
2.	工学部校舎新営に伴う発掘調査（9704調査地点）	85
(1)	調査の目的と経過	85
(2)	調査区の基本層序	86
(3)	検出遺構	86
(4)	出土遺物	100
3.	まとめ	102

挿図目次

図1	黒髪町遺跡・本荘遺跡の位置と周辺遺跡の分布図（1 / 25000）	2
図2	本荘地区における既往調査地点と9601調査地点位置図（1 / 2000）	16
図3	9601調査地点南壁土層断面実測図（1 / 100）	18
図4	9601調査地点遺構配置図（1 / 400）	19
図5	9601調査地点近代墓地配置図（1 / 100）及び墓実測図（1 / 40）	20
図6	甕棺・標石・蓋石・骨壺実測図（1 / 12・1 / 6）	21
図7	副葬品実測図1（1 / 2）	22
図8	副葬品実測図2（3 / 4）	23
図9	数珠玉実測図（3 / 4）	24
図10	六道銭実測図（3 / 4）	25
図11	1号溝遺物接合状況（1 / 400）	27
図12	1～3号溝土層断面実測図（1 / 50）	28
図13	各トレンチ検出の竪穴住居址実測図（1 / 50・1 / 40）	30
図14	3区遺構・5区1号住居址竈実測図（1 / 50・1 / 40）	31
図15	7・8・32・92号竪穴住居址実測図（1 / 50・1 / 40）	32
図16	33・35・36・37号竪穴住居址実測図（1 / 50・1 / 40）	33
図17	42・43・297・467・471号竪穴住居址実	

測図 (1 / 50)	34	76
図18 93・95・96・97号住居址・407・408号土坑・348号ピット・199号遺構実測図 (1 / 50・1 / 20)	35	図41 9704調査地点北壁土層断面実測図 (1 / 100)	77
図19 348号・365号掘立柱建物址実測図 (1 / 100)	37	図42 9603・9704調査地点遺構配置図 (1 / 400)	78
図20 9601調査地点各トレンチ出土遺物実測図 (1 / 4)	38	図43 1・2号溝土層断面実測図・5・6・8・12号竪穴住居址実測図 (1 / 50)	79
図21 20号溝出土遺物実測図 (1 / 4)	39	図44 7・14・15号竪穴住居址・220号土坑実測図 (1 / 50)	80
図22 1号溝出土遺物実測図 1 (1 / 4)	40	図45 9・10号土坑・19・28号掘立柱建物址実測図 (1 / 50)	82
図23 1号溝出土遺物実測図 2 (1 / 4)	41	図46 21号掘立柱建物址実測図 (1 / 50)	83
図24 1号溝出土遺物実測図 3 (1 / 4)	42	図47 9603調査地点出土遺物実測図 (1 / 3・1 / 4)	84
図25 1号溝出土遺物実測図 4 (1 / 4・1 / 8)	43	図48 9704調査地点近世墓実測図 1 (1 / 30)	87
図26 1号溝出土遺物実測図 5 (1 / 4)	44	図49 9704調査地点近世墓実測図 2 (1 / 30)	88
図27 1号溝出土遺物実測図 6 (1 / 4)	45	図50 1号竪穴住居址・遺物出土状況実測図 (1 / 50・1 / 20)	89
図28 1号溝出土遺物実測図 7 (1 / 4)	46	図51 41・47・55・447号掘立柱建物址実測図 (1 / 100)	91
図29 1号溝出土遺物実測図 8 (1 / 4)	47	図52 5・17・26・33・37・396・402号掘立柱建物址実測図 (1 / 100)	93
図30 2・3号溝出土遺物実測図 (1 / 4)	49	図53 453・455・471・506・541号甕棺墓実測図 (1 / 30)	95
図31 9601調査地点各遺構出土遺物実測図 1 (1 / 4)	50	図54 甕棺実測図 1 (1 / 12)	96
図32 9601調査地点各遺構出土遺物実測図 2 (1 / 4)	51	図55 451・504・505・508・543号甕棺墓実測図 (1 / 30)	98
図33 ヘラ書き土器実測図 (1 / 3)	52	図56 甕棺実測図 2 (1 / 12)	99
図34 ヘラ書き・墨書土器実測図 (1 / 3)	53	図57 9704調査地点各遺構出土遺物実測図 1 (1 / 4)	101
図35 各遺構出土鉄器実測図 (1 / 3)	54	図58 9704調査地点各遺構出土遺物実測図 2 (1 / 4)	102
図36 各遺構出土土製品・石製品実測図 (1 / 4)	54		
図37 縄文土器実測図 (1 / 4)	55		
図38 縄文時代石器実測図 (1 / 2) 及び40号土坑実測図 (1 / 20)	56		
図39 各遺構及び包含層出土縄文土器実測図 (1 / 4)	57		
図40 黒髪南地区における既往調査地点と9603・9704調査地点位置図 (1 / 2000)			

図 版 目 次

図版 1 9601調査地点107

- 写真1 1区表土剥ぎ（東より）
- 写真2 1区遺構検出状況（北より）
- 写真3 2区遺構検出状況（東より）
- 写真4 3区Ⅱ面遺構検出状況（南より）
- 写真5 3区Ⅱ面遺構検出状況（北より）
- 写真6 3区13号竪穴住居址（南東より）
- 写真7 3区21号竪穴住居址（南東より）
- 写真8 4区遺構検出状況（北より）

図版 2 9601調査地点108

- 写真9 4区1号竪穴住居址（東より）
- 写真10 5区調査風景（北より）
- 写真11 5区1号竪穴住居址竈検出状況（南より）
- 写真12 5区遺構検出状況（南より）
- 写真13 5区1号竪穴住居址竈（南より）
- 写真14 6区調査風景（東より）
- 写真15 6区1号竪穴住居址実測作業風景（東より）
- 写真16 測量風景（北東より）

図版 3 9601調査地点109

- 写真17 6区1号竪穴住居址（北より）
- 写真18 6区1号竪穴住居址遺物出土状況（北より）
- 写真19 6区調査風景（南西より）
- 写真20 6区1号住居址（西より）
- 写真21 6区2号溝（北より）
- 写真22 6区2号溝土層断面（南より）
- 写真23 8区東側（東より）
- 写真24 8区1号竪穴住居址（南より）

図版 4 9601調査地点110

- 写真25 8区西側（西より）
- 写真26 8区2号竪穴住居址竈（西より）
- 写真27 9区掘削状況（東より）
- 写真28 10区焼土検出状況（南より）
- 写真29 6区全景（東より）

図版 5 9601調査地点111

- 写真30 本調査区遠景（西より）

- 写真31 本調査区全景（西より）

図版 6 9601調査地点112

- 写真32 4号竪穴住居址（北より）
- 写真33 5号竪穴住居址（北西より）
- 写真34 5号竪穴住居址円面硯出土状況（南より）
- 写真35 6号竪穴住居址（北東より）
- 写真36 7号竪穴住居址・348号掘立柱建物址（南より）
- 写真37 7号竪穴住居址竈（南より）
- 写真38 8号竪穴住居址（南より）
- 写真39 8号竪穴住居址遺物出土状況（南より）

図版 7 9601調査地点113

- 写真40 竪穴住居址群（南より）
- 写真41 35号竪穴住居址ほか（南より）
- 写真42 35号竪穴住居址（南東より）
- 写真43 35号竪穴住居址竈（南東より）
- 写真44 36号竪穴住居址ほか（南より）
- 写真45 36号竪穴住居址竈（西より）
- 写真46 33号竪穴住居址（南より）
- 写真47 41号土坑（東より）

図版 8 9601調査地点114

- 写真48 43号竪穴住居址竈（南より）
- 写真49 348号ピット遺物出土状況（西より）
- 写真50 97号竪穴住居址（西より）
- 写真51 95・96号竪穴住居址周辺（南東より）
- 写真52 467号竪穴住居址（北東より）
- 写真53 471号竪穴住居址（北西より）
- 写真54 500号竪穴住居址（南より）
- 写真55 500号竪穴住居址遺物出土状況（南より）

図版 9 9601調査地点115

- 写真56 36号竪穴住居址（南より）
- 写真57 32号竪穴住居址（西より）
- 写真58 40号土坑遺物出土状況（南より）
- 写真59 42号竪穴住居址（北より）
- 写真60 43号竪穴住居址（北西より）

写真61	406号土坑（南より）	写真92	5号墓（南より）
写真62	408号土坑（北西より）	写真93	7号墓（南より）
写真63	407号土坑（東より）	写真94	9号墓（西より）
図版10	9601調査地点 ……………116	写真95	9号墓（南より）
写真64	本調査区調査風景（南東より）	写真96	7号墓蓋石（西より）
写真65	本調査区東部全景（南西より）	写真97	10号墓（西より）
図版11	9601調査地点 ……………117	写真98	12号墓（西より）
写真66	20号溝土層断面（北より）	写真99	14号墓（東より）
写真67	古代道路（南より）	図版18	9601調査地点 ……………124
図版12	9601調査地点 ……………118	写真100	15号墓（南より）
写真68	本調査区南西部全景（西より）	写真101	17号墓（北より）
写真69	本調査区西部全景（南より）	写真102	18号墓（南より）
図版13	9601調査地点 ……………119	写真103	19号墓（東より）
写真70	本調査区西部全景（西より）	写真104	20号墓蓋石（東より）
写真71	1号溝拡張部1（西より）	写真105	20号墓（東より）
写真72	1号溝拡張部2（南東より）	写真106	21号墓（北より）
写真73	2号溝鉄鎌出土状況（西より）	写真107	23号墓（南より）
写真74	1号溝鉄斧出土状況（北より）	図版19	9601調査地点 ……………125
図版14	9601調査地点 ……………120	写真108	23号墓入歯（南より）
写真75	1号溝遺物出土状況（西より）	写真109	26号墓（北より）
写真76	1号溝遺物出土状況（南より）	写真110	28号墓（南より）
写真77	1号溝遺物出土状況（北より）	写真111	29号墓（南より）
写真78	1号溝調査風景（北より）	写真112	29号墓（東より）
図版15	9601調査地点 ……………121	写真113	30号墓（東より）
写真79	1号溝土層断面（西より）	写真114	31号墓（北より）
写真80	1・2号溝土層断面（南より）	写真115	32号墓（南より）
写真81	3号溝橋脚ピット（東より）	図版20	9601調査地点 ……………126
写真82	1号溝拡張部（西より）	写真116	33号墓（南より）
写真83	ヘラ書き（杉本銘）土器出土状況 （東より）	写真117	34号墓（北より）
写真84	497号集石（南より）	写真118	34号墓（北より）
写真85	縄文時代遺物出土状況（北より）	写真119	35～37号墓（南より）
写真86	縄文土器出土状況（北より）	写真120	35～37号墓（西より）
図版16	9601調査地点 ……………122	写真121	38号墓（西より）
写真87	近代墓地（南西より）	写真122	39号墓（東より）
写真88	近代墓地南部墓壙検出状況（南より）	写真123	40号墓（西より）
写真89	2・2b号墓（東より）	図版21	9601調査地点 ……………127
写真90	3号墓（西より）	写真124	41号墓（東より）
写真91	4号墓（東より）	写真125	6・42号墓（西より）
図版17	9601調査地点 ……………123	写真126	43号墓（南より）
		写真127	44号墓（東より）

写真128	45号墓（南より）	
写真129	46号墓（南より）	
写真130	47号墓（西より）	
写真131	48号墓（西より）	
図版22	9601調査地点	128
写真132	49号墓（南より）	
写真133	50号墓（東より）	
写真134	51号墓（西より）	
写真135	52号墓（北より）	
写真136	54号墓（西より）	
写真137	55号墓（東より）	
写真138	調査風景（南より）	
写真139	調査風景（北より）	
図版23	9601調査地点出土遺物 1	129
図版24	9601調査地点出土遺物 2	130
図版25	9601調査地点出土遺物 3	131
図版26	9601調査地点出土遺物 4	132
図版27	9601調査地点出土遺物 5	133
図版28	9601調査地点出土遺物 6	134
図版29	9601調査地点出土遺物 7	135
図版30	9601調査地点出土遺物 8	136
図版31	9601調査地点出土遺物 9	137
図版32	9601調査地点出土遺物10	138
図版33	9601調査地点出土遺物11	139
図版34	9601調査地点出土遺物12	140
図版35	9601調査地点出土遺物13	141
図版36	9601調査地点出土遺物14	142
図版37	9601調査地点出土遺物15	143
図版38	9601調査地点出土遺物16	144
図版39	9601調査地点出土遺物17	145
図版40	9601調査地点出土遺物18	146
図版41	9601調査地点出土遺物19	147
図版42	9601調査地点出土遺物20	148
図版43	9601調査地点出土遺物21	149
図版44	9603調査地点	150
写真140	調査風景（南西より）	
写真141	調査区全景（西より）	
図版45	9603調査地点	151
写真142	調査区全景（南より）	
写真143	調査区東部遺構検出状況（北より）	

図版46	9603調査地点	152
写真144	7号竪穴住居址（西より）	
写真145	5号竪穴住居址（西より）	
写真146	5・6号竪穴住居址（南より）	
写真147	8号竪穴住居址（西より）	
写真148	12号竪穴住居址（南より）	
図版47	9603調査地点	153
写真149	11号溝全景（西より）	
写真150	11号溝（西より）	
写真151	12号竪穴住居址刀子出土状況	
写真152	12号竪穴住居址土師器坏出土状況	
写真153	馬蘭出土状況	
図版48	9603調査地点	154
写真154	28号掘立柱建物址（南より）	
写真155	21号掘立柱建物址（南より）	
写真156	20号柱穴土層断面（西より）	
写真157	19号掘立柱建物址（北より）	
写真158	19号柱穴土層断面（西より）	
写真159	9号土坑（西より）	
写真160	3号溝遺物出土状況（西より）	
写真161	現地説明会の様子	
図版49	9704調査地点	155
写真162	調査区全景（東より）	
写真163	調査区近景（南西より）	
図版50	9704調査地点	156
写真164	4号集石遺構（南より）	
写真165	1号竪穴住居址内近世陶磁器出土状況（西より）	
写真166	調査区西半部トレンチ北壁土層断面（南より）	
写真167	1号竪穴住居址（東より）	
写真168	1号竪穴住居址竈（東より）	
写真169	1号竪穴住居址遺物出土状況（西より）	
写真170	37号掘立柱建物址（東より）	
写真171	2号竪穴住居址竈（南東より）	
図版51	9704調査地点	157
写真172	41・447号掘立柱建物址（南東より）	
写真173	12号竪穴住居址遺物出土状況（南東より）	

写真174	584号土坑（南より）	
写真175	572号土坑（北西より）	
写真176	現地説明会の様子	
図版52	9704調査地点	158
写真177	47号柱穴土層断面（北より）	
写真178	59号柱穴土層断面（北より）	
写真179	51号柱穴土層断面（北より）	
写真180	54号柱穴土層断面（北より）	
写真181	南東部大型掘立柱建物址群（東より）	
図版53	9704調査地点	159
写真182	486号近世墓（北より）	
写真183	461号近世墓（南より）	
写真184	459号近世墓（南より）	
写真185	452号近世墓（南より）	
写真186	西側調査区北半部遺構群（東より）	
図版54	9704調査地点	160
写真187	467号近世墓（東より）	
写真188	463号近世墓（東より）	
写真189	466号近世墓（南より）	
写真190	469号近世墓（西より）	
写真191	458号近世墓（南より）	
図版55	9704調査地点	161
写真192	541号甕棺墓（東より）	

写真193	541号甕棺墓（南より）	
写真194	541号甕棺墓開口後の状況（東より）	
写真195	541号甕棺墓人骨出土状況（東より）	
写真196	西側調査区遺構検出状況（西より）	
図版56	9704調査地点	162
写真197	471号甕棺墓土層断面（東より）	
写真198	471号甕棺墓出土状況（南より）	
写真199	471号甕棺墓土層断面（南より）	
写真200	471号甕棺墓人骨出土状況（東より）	
写真201	471号甕棺墓目貼り粘土除去後（北より）	
図版57	9704調査地点	163
写真202	506号甕棺墓（西より）	
写真203	543号甕棺墓（西より）	
写真204	455号甕棺墓（南より）	
写真205	453号甕棺墓（南より）	
写真206	543・451号甕棺墓（南より）	
写真207	504号甕棺墓（南より）	
写真208	451号甕棺墓（東より）	
写真209	454号甕棺墓（抜き跡）（南より）	
図版58	9603調査地点出土遺物	164
図版59	9704調査地点出土遺物 1	165
図版60	9704調査地点出土遺物 2	166
図版61	甕棺	167

表 目 次

表 1	熊本大学敷地埋蔵文化財包蔵地指定一覧表	1
表 2	既往調査地点と本書収録調査地点一覧表	5
表 3	9601調査地点近代墓埋葬主体別集計表	24

表 4	9601調査地点近代墓一覧表	26
表 5	9601調査地点出土遺物一覧表	59
表 6	9704調査地点近世墓一覧表	87
表 7	9603調査地点出土遺物一覧表	104
表 8	9704調査地点出土遺物一覧表	105

I 構内遺跡と調査の概要

1. 熊本大学敷地と構内遺跡の概要

熊本大学が保有する敷地は、熊本市内の黒髪地区・本荘地区・九品寺地区・大江地区・小碓地区・京町地区・城東地区及び下南部地区の8区、市外の会津地区・阿蘇地区の2地区に分散しており、それぞれ埋蔵文化財の包蔵地となっている（表1）。

法・文・教育・工学・理学部の校舎が設置されている**黒髪地区**は**黒髪町遺跡**（熊本市埋蔵文化財地図№8-88）に含まれる。本遺跡は熊本市中心部のほぼ北東端に位置する立田山（標高151.6m）の南西部の緩斜面が、西を坪井川の作る沖積面と南を白川河岸の低位段丘によって囲まれる東西900m、南北1000mの遺跡群であり、縄文時代から歴史時代に至る遺構・遺物を包蔵している。遺跡発見の経緯は昭和11年に遡り、大学に隣接する熊本県立中学済々學（現済々黌高校）の校庭から甕棺2基が発見されたことに始まる。また昭和40年には隣接する九州女学院敷地においてやはり弥生時代中期の甕棺や古墳時代の須恵器甕などが発見されるに至り、その重要性が認識された。黒髪町式土器の指標遺跡である。このように本遺跡は弥生時代を中心とした遺跡としての認識が高いが、1983年に実施された済々黌高校内における新たな調査によって古代の竪穴住居址と土師器・須恵器・黒色土器などの関連遺物が出土し、その中には「寺門」銘の墨書土器が含まれているなど、古代飽田郡における拠点的な性格をもった遺跡であることが予想された（『新熊本市史料編第1巻考古資料』新熊本市史編纂室1996）。古代官道や駅伝制の研究上、文献で推定されていた延喜式にみる「蚕養駅」、旧飽田郡家の推定地としても注目を集めてきた（木下1975・1995）が、近年ではこれまでの周辺遺跡での発掘成果および文献資料の検討、そして本調査室による発掘成果を受けて、済々黌高校から本学黒髪地区周辺が飽田郡郡司建部公の居所であり、飽田郡家として比定するなどの積極的な意見が展開されている（鶴嶋1997）。このように、本遺跡は先史時代のみならず、古代律令制下の駅伝制を考える上できわめて重要なものである。本報告において2地点の発掘調査記録を収録した。

表1 熊本大学敷地埋蔵文化財包蔵地指定一覧

No	地区名(学部名)	所在地	遺跡名称	遺跡の種類	遺跡の時代	備考
1	黒髪北地区(法・文・教・大学センター) 黒髪北地区(教育学部附属養護学校)	熊本市黒髪2丁目40-1 熊本市黒髪5丁目17-1	黒髪町遺跡	集落址	縄文・弥生・奈良・平安	
2	黒髪南地区(工・理)	熊本市黒髪2丁目39-1	黒髪町遺跡	集落址	縄文・弥生・奈良・平安	
3	京町地区(教育学部附属小・中学校)	熊本市京町本丁5-12	京町台遺跡	集落址	弥生・近世	
4	城東地区(教育学部附属幼稚園)	熊本市城東5-9	熊本城址	城館址・熊本城 関東遺構	近世	
5	教育学部新南部農場	熊本市新南部居屋敷240-1	新南部遺跡	散布地	縄文・弥生	
6	合津マリンステーション	上天草市松島町大字合津6061	前島貝塚	集落址	縄文・弥生	1995年度の調査によって貝塚でないことが判明
7	本荘中地区(医学部)	熊本市本荘2丁目2-1	本庄遺跡	散布地・集落址	縄文・弥生・奈良・平安・中世	
8	本荘北地区(医学部附属病院)	熊本市本荘1丁目1-1	本庄遺跡 (熊大病院敷地遺跡)	散布地・集落址 墓地	縄文・弥生・古墳・奈良・平安・近代	
9	本荘南地区(保健学科)	熊本市九品寺4丁目24-1	本庄遺跡	散布地・集落址	縄文・弥生・奈良・平安・中世	周辺遺跡
10	薬学部	熊本市大江本町5-1	大江遺跡群	官衙址	奈良・平安	周辺遺跡
11	大江地区	熊本市渡鹿4丁目1-1	大江遺跡	集落址	奈良・平安	
12	宇留毛地区(職員宿舎)	熊本市黒髪7丁目	宇留毛神社 周辺遺跡群	散布地	弥生・奈良・平安	

1. 熊本大学敷地と構内遺跡の概要

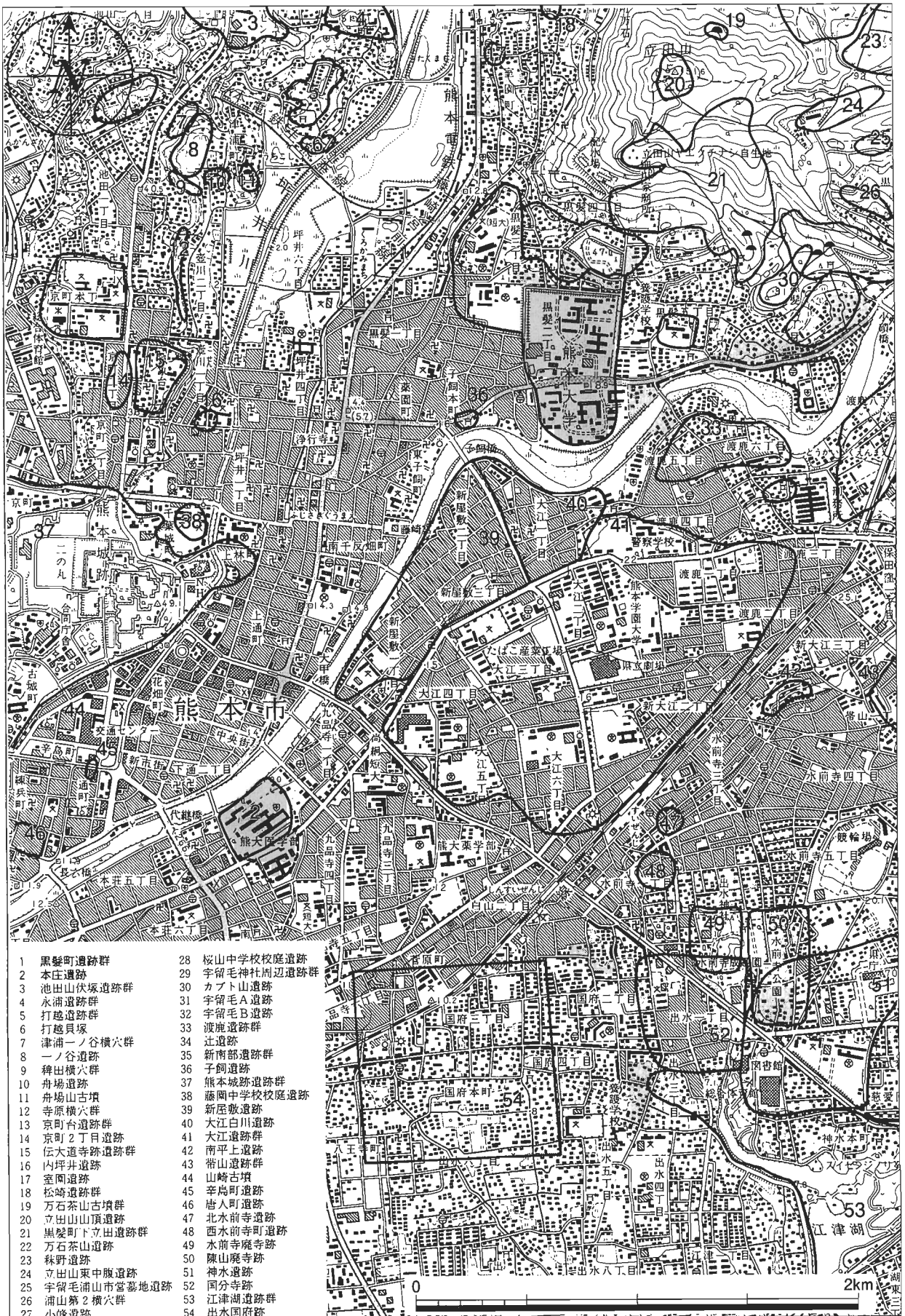


図1 黒髪町遺跡・本庄遺跡の位置と周辺遺跡の分布図(1/25000)

(この地図は国土地理院発行1/25000地形図「熊本」を使用したものである)

医学部附属病院および医学部がある**本荘地区**は、**本庄遺跡**（熊本大学病院敷地遺跡）（熊本市埋蔵文化財地図№8-95）を包括する。本遺跡は黒髪町遺跡と同じく熊本平野を形成する扇状地形の中央を流れる白川の河岸堤防上に位置する遺跡であり、標高は13～12mである。附属病院の所在する白川寄りの地点が標高が高く、南東部（医学部側）へと緩やかに傾斜する地勢である。敷地内を白川より分岐した小河川が暗渠として流れており、古来この一帯は流道を変えながら幾本もの小河川が流れていた可能性が高い。『熊本市中央北地区文化財調査報告書』（熊本市教育委員会1980）によれば、1963年ごろ本大学医学部附属病院の敷地内から須恵器、土師器、布目瓦片類が採集されており、遺跡の存在が確実であるとされ、遺跡としての認定を受けている。しかし、その後本敷地内において学術的な発掘調査は一度も実施されておらず、遺跡の詳細な内容に関しては本調査室における調査が実施されるまで不明であった。しかし、先の報告の中では、東側に隣接する仙崇寺小松原墓地（現在の小松原公園）内においても須恵器片が採集され、遺跡の包含地がより広いことが予想されていた。このため、1995年に道路を挟んで隣接する医学部敷地内において計画されたR I 総合センター遺伝子実験施設の建築に先立ち試掘調査を実施したところ、良好な状態で古代の遺構群が検出され、遺跡の広がりを確認することができた。よって、遺跡の範囲は東西500m、南北500mを超えるものと推定される。なお、本報告は本大学附属病院内で実施した発掘調査の記録を収録した。医学部短期医療短大の位置する九品寺地区は、この遺跡の範囲に入る。本格的な発掘調査が実施されていないため、詳細は不明であるが、敷地中央部における立会調査において古代の遺物包含層が確認されている。

薬学部が所在する薬学部地区は、大江遺跡群（熊本市埋蔵文化財地図№8-93）の南西端に位置する。また、本学大江総合運動場は本遺跡群の北東端に位置している。地形は本庄遺跡とほぼ同じで、白川河岸に隣接し、標高は13～20mである。本遺跡群は詫間郡家および渡鹿廃寺などの推定地を含む熊本市内でも有数の大規模（東西1.8km、南北1.7km）かつ貴重な古代を中心とした遺跡群であり、これまで60次にわたる調査が実施され、各種遺物を伴って、8・9世紀代を中心とした古代竪穴住居址群、掘立柱建物址、道路址、溝址などが検出されている（新熊本市史編纂室1996）。本学が実施した調査においては、大江総合運動公園整備に伴う調査によって古代関連の遺物・遺構群が発見された他は、薬学部敷地の北西部において古代包含層の一部を確認しているにすぎない。薬学部敷地内においては大規模な建替えが最近実施されたが、この際の試掘によって、構内の東側では遺構や包含層は存在せず、北西部に絞られる様相が明らかになってきた。

附属中学校・小学校の所在する京町地区は京町台遺跡群（熊本市埋蔵文化財地図№8-45）（東西400m、南北350m）に包括され、同遺跡群内には熊本市立京陵中学校と熊本営林局も含まれる。本台地は熊本平野の北部にある阿蘇4火砕流（凝灰岩）が形成した標高30～40mの平坦な台地であり、東西両側はそれぞれ坪井川と井芹川が流れて急峻な崖地を形成している。この天然の要害ともいべき地の利を活かして台地の南端には熊本城が築かれており、周辺の台地上には武家屋敷が築かれていた。本遺跡における発掘調査の嚆矢は、1966年、営林署内の宿舍改築工事の際、遺構は検出されなかったが、重弧文をもつ弥生式土器、土師器、瓦器片が少量出土したことであり、現在では弥生時代遺跡として認定されている（熊本市文化財調査会1971）。これまでの発掘成果によると、構内の西側を中心として弥生時代～近世の遺構・遺物が確認されている。

合津マリンステーションは、熊本県上天草市松島町大字合津に所在する。遺跡は本地区のある松島の南西部端、標高12mの丘陵端部に位置する。この松島を含めた一帯は有明海から不知火海へ抜ける海上交通の要衝にあたり、天草で唯一の形象埴輪を出土したカミノハナ古墳群や長沙連古墳、大戸鼻古墳群など重要な古墳が密集しているように、古来より重要な拠点として意識されていたところでも

2. 調査に至る経緯

ある。また、縄文時代にはカルワ島遺跡や柳遺跡のように海岸部や海底に位置する遺跡群が数多く発見されている。合津マリンステーションは、1956年に天草で初めて発見された縄文時代遺跡として著名な前島貝塚（熊本県遺跡地図57-013）とその東部にある梅殿古墳（同014）の隣接地にあたり、同貝塚の広がりや敷地内に残存する可能性も大きく、古墳関連の遺構の存在も予想されるような位置にある（熊本県教育委員会1968）。実際、1969年に実験所の北部丘陵斜面にある宿舍が建設された際、建設業者によって7本の石斧が発見されているし、実験所の船着場南側の海岸では本学考古学研究室の学生諸氏によって縄文時代早期～前期を中心とした土器や石器が採集されている。よって実験所内とその周辺は縄文時代の遺跡・遺構が存在する可能性がきわめて高いところとして周知されていたところであった。本地区においては、1995年に臨界実験所実験棟改築工事に伴う発掘調査によって、前島貝塚が貝塚ではなく、本丘陵上には縄文時代早期の縄文時代早期の遺物包含層や遺構群が存在することが明らかになった（熊本大学埋蔵文化財調査室1996・小畑2001）。

2. 調査に至る経緯

熊本大学の校地は先に示したように8地区に分散しており、どの校地も狭隘化してきているため、かねてから校地の移転などが議論されてきた。昭和60年に当時の熊本県知事から校地移転を検討する旨の申し出があり、その件について学内で議論され、本荘地区の医学部・附属病院を除き他の地区は現地再開発が決定された。本荘地区も平成5年に現地再開発することが決定されたので、全学が現地再開発で取り組むこととなった。その後それぞれの地区での再開発構想が検討され、基本的な計画が出来上がった地区から文教施設費を概算要求し、それらが認められたところから再開発事業が始まった。一方、黒髪地区などにおいては、従来から建設工事などによって古代や先史時代の遺物が発見されていたにもかかわらず、埋蔵文化財包蔵地としては周知されていなかった。

平成5年10月から黒髪南地区において情報処理センターの建設工事が始まったところ、熊本市教育委員会文化課から工事前に埋蔵文化財の発掘調査が必要である旨の連絡があり、同課へ出向き確認したところ、平成5年4月1日から熊本市文化財保護審議会において黒髪地区などが埋蔵文化財の包蔵地として追加指定されていることが判明した。そこで大学が計画している建設工事の予定地に係わる試掘調査の届を同課に提出して、調査を依頼した。試掘調査の結果では、ほとんどの建設工事に先立ち発掘調査が必要であるということになった。

今後の発掘調査について同課に相談したところ、以下のような回答があった。

①国の機関（大学等）な考古学研究室などがあって専門のスタッフを擁していることでもあり、熊本大学においてもそのような機関を設け、そこが実施機関として発掘調査を担当願いたい。

②熊本市が平成6年度発掘調査の依頼を受けたとしても、それを実施する場合、既に他の発掘調査予定が半年分はあるので、急いでも9月または10月頃から調査を始めることとなる。

以上のことから、熊本大学の再開発事業には事前の試掘および発掘調査を行うことが必須条件であり、そのためには大学独自の調査組織を早急に設けることが必要となった。まずは発掘調査組織の中心となるべく、文学部考古学研究室に協力を依頼し、このことについて承諾を得た後、急ぎ委員会などの組織作りを行い、責任体制を確立するための作業が始められた。本学の状況および他大学に既に設置されている同種組織の内容を勘案しながら検討した結果、熊本大学埋蔵文化財調査委員会（以下「調査委員会」と略する）を設けることとなった。また、この調査委員会の下に熊本大学埋蔵文化財調査室（以下「調査室」と略する）を置き、発掘調査の実務を担当することとした。

平成6年4月7日をもって熊本大学埋蔵文化財委員会規則が定められ、調査委員会が設置され、委員会内に調査室が置かれ、平成6年5月16日、委員会委員の委嘱、調査室長および調査員・事務補佐員が就任し、正式に調査室業務が始動した。調査室発足後は、文学部考古学研究室の甲元眞之教授をはじめとしたスタッフの多大なる協力のもと平成6年度建設予定地の調査を中心に発掘調査が実施された。以下の経緯については『熊本大学埋蔵文化財調査室年報』1を参照されたい。

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

以後平成20年3月末日現在まで、再開発計画に則り行われた事業の事前調査として、表2のような調査が実施されてきた。本書はこの中から1996・1997年度に実施した発掘調査の成果を報告する。試掘・立会調査などについては年報において既報告であるので、本書からは除外した。1996年度は黒髪南地区において工学部校舎建設に伴う発掘調査（9601調査地点）と本荘地区において医学部校舎建設に伴う発掘調査（9601調査地点）の2箇所の発掘調査を実施し、1997年には黒髪南地区において、9603調査地点と隣接する地点において発掘調査（9704調査地点）を実施した。

表2 既往調査地点と本書収録調査地点一覧

1994年度							
94・4・15～17	9401	〈黒北〉運動場整備（照明塔建設）工事	発掘調査	128㎡	古代	古代土師器・須恵器	年報1
94・4・21	9402	〈黒北・南〉基幹整備（教育学部エレベーター室取設）工事	発掘調査	47.5㎡	現代	ガラス・磁器片	年報1
94・4・25	9403	〈黒北・南〉地区基幹整備（工学部エレベーター室取設）工事	発掘調査	48㎡		包含層確認・土器片	年報1
94・5・13～14	9404	〈黒北〉福利施設建設予定地の樹木移植	立会調査	30㎡	古代		年報1
94・5・17～6・25	9405	〈京町〉附属中学校舎者建設工事	発掘調査	400㎡	弥生・近世	縄文土器・弥生土器・須恵器・土師器・近世陶磁器・砥石・銅銭・瓦・ガラス瓶	年報1 本報告1
94・5・20/23/24	9406	〈黒北〉武夫原運動場整備（集水枡埋設）工事	発掘調査	100㎡	古代		年報1
94・5・23～7・28	9407	〈黒北〉福利施設建設工事	発掘調査	1,290㎡	古代		年報1 本報告1
94・8・1～8・10	9408	〈渡鹿〉グラウンド集水枡整備工事	発掘調査 立会調査	40.4㎡	古代	土師器	年報1 本報告1
94・8・11	9409	〈黒北〉武夫原器具庫新営工事・外灯基礎工事	立会調査	23.4㎡		包含層に達せず遺構なし、土師器片、	年報1
94・8・12	9410	〈京町〉附属中学校電気引き込み配線工事	立会調査	13㎡		遺構・遺物なし、	年報1
94・8・22	9411	〈黒北〉基幹整備（附属図書館スロープ取設）工事	立会調査	25.5㎡		包含層に達せず、遺構・遺物なし、	年報1
94・9・12～10・31	9412	〈黒南〉工学部実験棟新営工事	発掘調査	743.6㎡	古代	古代竪穴住居址、古代土師器・須恵器・瓦・土製印・鉄器・縄文土器	年報1 本報告1
94・11・14～12・22	9413	〈渡鹿〉グラウンド整備工事	発掘調査	200㎡	縄文・古代	古代竪穴住居址・道路址、古代土師器・須恵器・布目瓦・砥石・鉄器・縄文土器・石器	年報1 本報告1
95・1・17～21	9414	〈黒北〉福利施設設備工事	立会調査	169㎡		遺構・遺物なし、	年報1
95・1・9～11、1・26～2・1	9415	〈黒南〉工学部共同溝工事	立会調査	50㎡		遺構・遺物なし、	年報1
95・2・27	9416	〈城東〉附属幼稚園排水管敷設工事替工事	立会調査	129.7㎡		遺構・遺物なし、	年報1
95・3・15～23	9417	〈黒南〉福利施設設備工事	立会調査				

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

1995年度							
95・4・25～5・2	9501	〈黒南〉工学部研究実験棟新営1期共同溝建設工事	発掘調査	90㎡	古代～近世	古代竪穴住居址・柱穴・溝、縄文後期土器片・古代土師器・須恵器	年報2 本報告1
95・5・9～10	9502	〈黒南〉工学部附属工学機器センター新営工事	試掘調査	20㎡	古代	包含層確認・古代土師器・須恵器	年報2
95・5・15～16	9503	〈黒南〉工学部RI研究実験棟建設及び基礎掘削	試掘調査	20㎡	古代	集石、古代土師器・須恵器	年報2
95・5・29/30 ・6・21	9504～06	〈黒南〉工学部研究実験棟新営電気設備（その2）に伴う高圧ケーブル埋設	立会調査	38㎡		遺構・遺物なし。	年報2
95・8・21		〈黒南〉工学部通信設備埋設	立会調査	14㎡		遺構・遺物なし。	年報2
95・8・22	9508	〈黒南〉事務局前外灯配線改修	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし。	年報2
95・9・8～ 10・12	9509	〈合津〉理学部附属臨海実験所実験棟改築工事	発掘調査	298㎡	縄文	集石、縄文早期土器・石器	年報2
95・11・2	9510	〈黒南〉工学部研究実験棟新営1期に伴うガス配管	立会調査		古代	古代包含層確認・古代土器片	年報2
95・11・6～8	9511	〈本荘南〉医学部RI総合センター遺伝子実験施設建設及び外溝切り替え	試掘調査	200㎡	古代	古代包含層確認・竪穴住居址、古代土師器・須恵器	年報2
95・11・13～16	951	〈黒南〉工学部研究実験棟新営1期に伴う排水枡設置	発掘調査	60㎡	古代	古代竪穴住居址・柱穴・包含層、縄文後期土器片・古代土師器・須恵器	年報2 本報告1
95・11・17	9513	〈黒南〉工学部研究実験棟新営1期に伴う外溝	立会調査			遺構・遺物なし。	年報2
95・11・17	9514	〈黒南〉工学部研究実験棟新営1期に伴う外溝	立会調査		古代	古代土師器・須恵器片	年報2
95・11・21～22	9503	〈黒南〉工学部RI研究実験棟建設に伴う基礎掘削	立会調査		古代	古代土師器・須恵器	年報2
95・11・22	9515	〈黒南〉工学部研究実験棟新営1期に伴う外溝	立会調査		古代	包含層確認・古代土師器	年報2
95・11・24	9511	〈本荘南〉医学部RI総合センター遺伝子実験施設建設工事	立会調査			一部包含層確認・遺構・遺物なし。	年報2
95・11・28～29	9516	〈黒南〉工学部研究実験棟新営1期に伴う外溝	発掘調査	72㎡	縄文～古代	包含層・柱穴、縄文土器片・古代土師器	年報2 本報告1
95・12・1	9511	〈本荘南〉医学部RI総合センター遺伝子実験施設建設に伴う外溝切替	立会調査			包含層確認・遺構・遺物なし。	年報2
95・12・4	9517	〈本荘南〉医学部RI総合センター遺伝子実験施設に伴う樹木移植	立会調査			遺構・遺物なし。	年報2
95・12・5	9518	〈黒南〉工学部RI研究実験棟建設に伴う外溝工事	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし。	年報2
95・12・12～14	9519	〈黒南〉工学部研究実験棟新営1期に伴うガス配管	立会調査		古代	古代柱穴・溝、古代土師器・須恵器	年報2
95・12・18	9520	〈黒北〉教養部前道路改修	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし。	年報2
95・12・25～ 96・2・22	9511	〈本荘南〉医学部RI総合センター遺伝子実験施設建設	発掘調査	976.9㎡	縄文・古代	古代竪穴住居址・掘立柱建物・溝・道路・方形竪穴遺構・土壌、縄文土器・石器・古代土師器・須恵器・鉄器	年報2 本報告1
96・3・1	9521	〈黒南〉工学部校舎新営	試掘調査		弥生	弥生土壌・ビット、弥生中期土器	年報2
96・3・8	9522	〈黒北〉文学部・第五高等学校記念庭園植栽工事	立会調査		古代	包含層確認・古代土師器	年報2
96・3・21	9523	〈城東〉教育学部附属幼稚園園水遊び場兼足洗い場設備寄贈受入	立会調査			遺構・遺物なし。	年報2
96・3・25～26	9524	〈京町〉教育学部附属小学校給排水管取替工事	立会調査	27.6㎡		遺構・遺物なし。	年報2
1996年度							
96・4・19	9601	〈本荘北〉医学部校舎建設	試掘調査	33㎡	古代	古代包含層・溝、古代土師器・須恵器	本書
96・5・10	9602	〈黒北〉法文学部記念植樹	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし。	年報3
96・5・10～ 6・24	9603	〈黒南〉工学部校舎建設	発掘調査	1000㎡	縄文・弥生・古代	縄文後期包含層・古代竪穴住居址・溝・掘立柱建物・土壌・柱穴、縄文後期土器・弥生中期土器・古代土師器・須恵器・鉄器・瓦	本書
96・5・13	9604	〈黒北〉教育学部ATMネットワーク付設工事	立会調査	40㎡	近代	遺構・遺物なし。	年報3
96・5・14	9605	〈京町〉教育学部附属小学校ATMネットワーク付設工事	立会調査	14㎡		近代磁器	年報3
96・5・15	9606	〈大江〉薬学部ATMネットワーク付設工事	立会調査			遺構・遺物なし。	年報3
96・6・17	9607	〈黒北〉法文学部外灯設置工事	立会調査	4㎡	古代	一部包含層確認、古代須恵器	年報3
96・6・19	9608	〈黒南〉工学部RI実験棟配線工事	立会調査	21㎡		遺構・遺物なし。	年報3
96・8・5	9609	〈黒北〉入試保管庫建設工事（試掘）	発掘調査	4㎡		遺構・遺物なし。	年報3
96・8・6～9	9601	〈本荘北〉医学部校舎建設に伴う樹木移植・貯水槽建設工事（1・2・3区）	発掘調査	45.7㎡	古墳・古代	古墳時代前期竪穴住居址・古代竪穴住居址、古墳時代土師器・古代土師器・須恵器	本書
96・8・22～27	9601	〈本荘北〉医学部校舎建設に伴う切り替え道路建設（4区）	発掘調査	37.4㎡	古代	竪穴住居址・柱穴、古代土師器・須恵器	本書
96・8・29～30	9601	〈本荘北〉医学部校舎建設に伴う切り替え道路建設（5区）	発掘調査	28.2㎡	古代	竈址、古代土師器・須恵器	本書
96・9・6	9610	〈黒北〉教養部夏目漱石像建立	試掘調査	9㎡		遺構・遺物なし。	年報3
96・10・1～9	9601	〈本荘北〉医学部校舎建設に伴う排水管切り替え工事（6区）	発掘調査	104.3㎡	古代	古代道路・竪穴住居址、古代土師器・須恵器	本書
96・10・11～ 97・1・17	9601	〈本荘北〉医学部校舎本体工事（本調査区）	発掘調査	1686㎡	縄文・古墳・古代	縄文包含層・古墳土壌・古代道路・竪穴住居址・掘立柱建物・土壌・近代墓地、縄文後期土器・古墳／古代土師器・須恵器・鉄器・石器	本書
96・10・21～29	9601	〈本荘北〉医学部校舎建設に伴う排水管切り替え工事（7・8・9区）	発掘調査	62.5㎡	古代	古代竪穴住居址・竈、古代土師器・須恵器	本書
96・11・12～13	9601	〈本荘北〉医学部校舎建設に伴う排水管切り替え工事（10区）	発掘調査	21.8㎡	古代	古代竪穴住居址、古代土師器・須恵器	本書
96・11・12	9611	〈黒南〉工学部外灯付設工事	立会調査	0.4㎡		遺構・遺物なし。	年報3
96・12・18	9612	〈黒南〉工学部電線埋設工事	立会調査	74.8㎡		遺構・遺物なし。	年報3
97・3・3～31	9613	〈黒南〉工学部研究実験棟Ⅱ新営機械設備工事	立会調査	175㎡		遺構・遺物なし。	年報3
97・3・7	9614	〈黒南〉工学部衝撃エネルギー実験所火薬庫取設工事	立会調査	109㎡		遺構・遺物なし。	年報3

I 構内遺跡と調査の概要

1997年度							
97・4・8	9701	(本荘南) 医学部情報リテラシー教育施設電気設備その他の改修工事	立会調査	21㎡		一部包含層を確認・遺構なし、古代土器片	年報4
97・5・7	9702	(黒南) 理学部ヘリウム棟増築・ヘリウム管理設工事	立会調査	126.6㎡		遺構・遺物なし、	年報4
97・5・28	9703	(本荘北) 医学部外来臨床研究棟血液製剤管理室取設工事	試掘調査	4㎡		遺構・遺物なし、	年報4
97・7・28～ 11・4	9704	(黒南) 工学部校舎新営工事	発掘調査	1783.3㎡	弥生・古代・近世	弥生時代要墳墓・古代堅穴住居址・溝・掘立柱建物・柱穴・近世墓、弥生中期甕棺・土師器・鉄器・古代須恵器・近世陶磁器	本書
97・10・29	9705	(京町) 教育学部附属中学校女性立像建立	立会調査	2.6㎡		遺構・遺物なし、	年報4
97・10・22	9706	(黒北) 法文学部龍南健児像建立	立会調査	1.2㎡		遺構・遺物なし、	年報4
97・11・11～ 98・3・31	9707	(本荘北) 医学部基礎研究棟屋外配線工事	立会調査	370㎡	古代・近代	近代墓地・古代土塋・柱穴、甕・人骨・墓石等・古代土器、	年報4
98・1・30～ 2・12	9708	(黒北) 法・文・教育学部外灯設備増設工事	立会調査	61.9㎡	古代	溝、	年報4
98・2・3～ 2・13	9709	(黒南) 管財係黒髪6号宿舍取り壊し工事	立会調査	116㎡	古代	一部包含層を確認・遺構なし、磨耗した古代土器、	年報4
1998年度							
98・4・14	9804	(黒南) 工学部校舎建設に伴う排水管撤去工事	立会	10㎡		掘削により遺構なし、	年報5
98・6・26～7・2	9801	(本荘南) 医学部エイズ学研究センター・動物資源開発センター新営支障配管替工事	立会	2.4㎡	古代	遺構・遺物認められず、	年報5
98・7・6	9801	(本荘南) 同樹木伐採工事	立会			遺構・遺物なし	年報5
98・7・13	9809	(黒南) 工学部3号館電気設営工事	立会	3㎡	古代	遺物包含層を確認、	年報5
98・7・28～ 9・10	9801	(本荘南) 医学部エイズ学研究センター・動物資源開発センター新営工事	発掘調査	972㎡	縄文・古代・近世	堅穴住居址・掘立柱建物・溝・土塋	年報5
98・9・21～22	9803	(黒北) 文化部室取設工に伴う樹木移植工事	立会	9㎡		遺物・遺構なし、	年報5
98・9・25～ 11・6	9802	(黒北) 文化部室取背設その他の工事	発掘調査	575㎡	縄文・弥生・近世	縄文土器・弥生土器・石器等・土塋・溝・縄文・弥生遺物包含層確認	年報5
98・9・28	9805	(本荘北) 大学病院病棟新営工事	試掘調査	10㎡	古墳・古代	古墳・古代土器	年報5
98・9・29	9806	(本荘北) 大学病院中央診療棟新営工事	試掘調査	5㎡		河成砂礫層を検出。遺構・遺物なし、	年報5
98・9・30	9807	(本荘北) 大学病院薬剤部注射患者毎セット支給室等取設工事	試掘調査	2㎡	古代	遺物包含層・柱穴検出。古代土器片、	年報5
98・10・6	9808	(黒南) 工学部1・9号館電気埋設工事	立会調査	30㎡		遺構面に達せず。遺物なし、	年報5
98・10・28～ 11・20	9807	(本荘北) 大学病院薬剤部注射患者毎セット支給室等取設工事	発掘調査	175㎡	古代	縄文土器・石鉄等・古代堅穴住居址・土塋・溝・近代溝	年報5
98・11・2	9801	医学部エイズ学研究センター・動物資源開発研究センター関連図書館解体工事	発掘調査	139㎡		削平のため存在せず、	年報5
98・12・14～ 12・18	9810	(黒南) 理学部自然科学等総合実験棟新営支障配管替工事	立会	35㎡	古代	遺物包含層・柱穴検出、古代土器片、	年報5
98・12・16	9802	(黒北) 文化部室新営排水管敷設工事	立会	35㎡	古代	遺構面確認・遺構・遺物はなし、	年報5
98・12・17～ 99・1・10	9805	(本荘北) 大学病院病棟新営に伴う支障配管替工事	立会	333㎡	古代	堅穴住居址、古代土器片	年報5
99・1・12	9811	(黒南) 工学部実験室新設工事	試掘調査	14㎡	縄文後期	土器	年報5
99・1・21～ 3・25	9810	(黒南) 理学部自然科学等総合実験棟新営工事	発掘調査	1,098㎡	縄文・古代・近代	縄文土器・石鉄等、古代堅穴住居址・柱穴・溝・近世溝	年報5
99・2・2	9802	(黒北) 環境整備事業に伴う文化部室解体	立会調査	260㎡		遺構・遺物なし	年報5
99・2・10	9802	(黒北) 環境整備事業に伴う建築工事	立会調査	40㎡		遺構面には達せず・遺物なし	年報5
99・2・18	9802	(黒北) 環境整備事業に伴う植樹工事	立会調査	12.3㎡		地表面下2mで弥生時代遺物包含層・遺構面を確認、遺構・遺物なし	年報5
99・2・9～ 3・9	9802	(黒北) 環境整備事業に伴う電気配線工事	立会調査	4㎡		地表面下90cmで水田土を検出、遺構・遺物なし	年報5
99・3・11～12	9812	(大江) 渡鹿団地東側ブロック塀改修工事	立会調査	70㎡		包含層・遺構面確認、遺構・遺物なし	年報5
99・3・10～31	9801	(本荘南) 医学部エイズ学研究センター・動物資源開発研究センター新営に係る配管切替工事	立会調査	57.5㎡	古代	一部包含層・遺構面確認(ピット)・遺物なし	年報6
1999年度							
99・4・5～8・31	9901	(本荘北) 病棟(軸)新営工事	発掘調査	2,405㎡	縄文・古墳・古代・近代	縄文時代石器・玉・古墳時代住居址・溝・土師器・古代住居址・柱穴溝・土塋墓・土師器・須恵器・鉄器・胎衣甕・土鏡・近代溝、	年報6
99・6・14～ 7・14	9902	(本荘南) 医学部エイズ学研究センター・動物資源開発研究センター新営電設工事立会	立会調査	40㎡	古代	古代柱穴、溝、遺物を少量検出	年報6
99・6・17	9903	(黒南) 工学部研究実験棟Ⅱ-2-2新営工に伴う植樹立会	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報6
99・7・19/26	9904	(本荘南) 医学部エイズ学研究センター・動物資源開発研究センター新営基礎工事立会	立会調査	2㎡	古代	遺構・遺物なし	年報6
99・7・29～ 7・30	9905	(黒南) 自然科学研究科・理学部総合研究実験棟新営ガス設営工事	立会調査	50㎡		遺物・遺構なし	年報6
99・7・2～8・7	9906	(黒南) 自然科学研究科・理学部総合研究実験棟新営電気設営工事立会	立会調査	200㎡	古代	古代溝6条・柱穴2個、古代土器片少量を検出	年報6
99・9・22～ 10・5	9907	(黒南) 工学部実験用プレハブ新築工事	発掘調査	136.5㎡	縄文前期～晩期	ビット群、縄文土器片出土	年報6
99・11・24～ 11・25	9908	(黒東) 附属看護学校給食室増改築工事	試掘調査	42㎡	近世以降	トレンチ2本設定して調査したが、遺構なし、近世磁器片	年報6
00・2・14～ 3・24	9909	(黒南) 工学部衛学・極限環境研究センター・サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー棟新営工事	試掘調査	1,853㎡	近世・近代	畑址・墓地、近世陶磁器、煙管、銅・鉄銭	年報6
00・1・25	9910	(本荘北) 血液照射管理室増改築試掘	試掘調査	2㎡		掘乱著しく、遺構・遺物ともに確認できず	年報6

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

00・3・6～14	9911	〈黒南〉水生動物飼育舎建築工事	発掘調査	70.9㎡	縄文土器・古代土師器・須恵器	年報7
00・3・14	9912	〈黒南・東〉外灯取設工事立会	立会調査	3㎡	遺物・遺構ともに確認できず	年報6
00・3・2	9913	医学部液化窒素供給設備新設工事立会	立会調査	7.84㎡	遺構・遺物なし	年報6
00・3・16～17	9914	〈本荘南〉さく井設備工事立会	立会調査	25㎡	遺構・遺物なし	年報6
2000年度						
00・4・7	0001	〈黒南〉水生動物飼育舎新営給水管設営工事	立会調査	6.1㎡	遺構・遺物なし	年報7
00・4・11	0002	〈黒南〉水生動物飼育舎新営電気設営工事	立会調査	4.1㎡	遺構・遺物なし	年報7
00・4・17	0003	〈本荘北〉附属病院格納庫移設工事	試掘調査	5.8㎡	遺構・遺物なし	年報7
00・10・23	0004	〈黒南〉工学部衛餐・極限環境研究センター・サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー棟新営電気設営工事	立会調査	18㎡	遺構・遺物なし	年報7
00・10・30	0005	〈黒南〉工学部植栽工事	立会調査	63㎡	遺構・遺物なし	年報7
00・11・6～22	0006	〈本荘北〉附属病院基幹・環境整備第3井戸入水槽設営工事（Ⅰ区）	発掘調査	119.4㎡	縄文・古墳古代 縄文時代石器・古墳時代柱穴・住居址・土師器・須恵器	年報7
00・11・22	0006	〈本荘北〉附属病院基幹・環境整備第1井戸入水槽設営工事	試掘調査	4㎡	近・現代墓 近・現代墓石・墓壇・遺骨	年報7
00・11・27～29	0006	〈本荘北〉附属病院基幹・環境整備給水管配管工事	立会調査	85.5㎡	遺構・遺物なし	年報7
00・12・4～13	0006	〈本荘北〉附属病院基幹・環境整備排水水管配管工事（Ⅱ区）	発掘調査 立会調査	32㎡	縄文・古代 土壇状遺構・縄文時代石器・土師器・ガラス玉・鉄器・須恵器	年報7
00・12・8～01・1・10	0006	〈本荘北〉附属病院基幹・環境整備電気設営工事（Ⅳ区）	立会調査	31.5㎡	古代 遺構なし、土師器数点	年報7
00・12・19～20	0006	〈本荘北〉附属病院基幹・環境整備排水水管配管工事（Ⅲ区）	発掘調査 立会調査	20.4㎡	古代 住居址・土師器	年報7
00・12・26～28	0006	〈本荘北〉附属病院基幹・環境整備給水管配管工事	立会調査	100.7㎡	近・現代墓 近代墓壇・墓石・遺骨	年報7
01・1・29	0006	〈本荘北〉附属病院基幹・環境整備排水水管配管工事（Ⅴ区）	立会調査	7㎡	遺物・遺構なし	年報7
01・1・22～30	0007	〈京町〉附属中学校体育器具庫新営工事	発掘調査	119.4㎡	弥生・古代 弥生・古代土師器・鉄器・土製紡錘車	年報7
01・2・5	0008	〈黒北〉生涯学習領域研究センタースロープ取設工事	立会調査	28㎡	攪乱のため遺物・遺構なし	年報7
01・2・6～9	0009	〈黒南〉理学部1・2号館身体障害者用設備整備工事	立会調査	70㎡	古代 包含層を確認、古代土師器・須恵器	年報7
01・2・16～19	0010	〈黒北〉体育系部室解体・新営工事	立会調査	372㎡	遺物・遺構なし	年報7
01・2・22	0011	〈大江〉旧食堂解体撤去工事・旧ボイラー室解体撤去工事	立会調査	132㎡	遺物・遺構なし	年報7
01・3・5～6	0012	〈黒北〉外灯取付工事	立会調査	3㎡	遺物・遺構なし	年報7
01・3・6	0013	〈大江〉屋内運動場〔尚武館〕取り壊し工事	立会調査	500㎡	遺物・遺構なし	年報7
01・3・22	0014	〈黒北〉旧生活協同組合事務所解体撤去工事	立会調査	66㎡	遺物・遺構なし	年報7
2001年度						
01・4・9～7・3	0101	〈本荘北〉附属病院医学部総合研究棟新営工事	発掘調査	1733.75㎡	古墳・古代・近世・近代 住居址・溝・畑址・墓鉄鏃・土師器・須恵器	年報8
01・5・14	0102	〈黒南〉基幹・環境整備	試掘調査	4.8㎡		年報8
01・5・14	0103	京町団地高圧ケーブル改修工事	立会調査	59.5㎡	遺構・遺物なし	年報8
01・7・9～26	0102	〈黒南〉基幹・環境整備	発掘調査	418.5㎡	縄文 縄文土器・寛永通宝・風倒木痕・防空壕	年報8
01・7・4～10・29	0104	〈本荘北〉附属病院基幹・環境整備（共同溝設置）	発掘調査	1,023.8㎡	縄文・弥生・古墳・古代 住居址・溝・縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・石器・鉄鏃・青銅器	年報8
01・7・13	0105	〈京町〉正門取設工事	立会調査	7.12㎡	遺構・遺物なし	年報8
01・7・30～11・14	0106	〈黒北〉大学教育研究センター等改修工事	立会調査	3,907㎡	遺構・遺物なし	年報8
01・7・31	0107	〈大江〉薬学部共同実験棟改修工事	立会調査	97.84㎡	遺構・遺物なし	年報8
01・8・1/13	0108	〈京町〉キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	25㎡	遺構・遺物なし	年報8
01・8・2/21	0109	〈黒北〉キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	58㎡	遺構・遺物なし	年報8
01・8・27	0110	〈大江〉薬学部キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	20㎡	遺構・遺物なし	年報8
01・9・4	0111	〈本荘南〉医学部キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	2.78㎡	遺構・遺物なし	年報8
01・8・22/9・4	0112	〈黒北〉食堂南側テラス整備工事	立会調査	662㎡	遺構・遺物なし	年報8
01・9・14/10・1	0113	〈本荘南〉医療技術短期大学キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	105㎡	遺構・遺物なし	年報8
01・9・17	0114	〈本荘北〉附属病院キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	38㎡	遺構・遺物なし	年報8
01・10・19	0115	〈黒南〉理学部2号館南側排水工事	立会調査	8.4㎡	遺構・遺物なし	年報8
01・10・22～02・2・19	0116	〈本荘北〉附属病院基幹・環境整備（A～D地区・ボイラー設備更新等）	立会調査	426.4㎡	遺構・遺物なし	年報8
01・12・8～02・2・9	0117	〈本荘北〉医学部総合研究棟新営機械設備工事	立会調査	133.1㎡	古代 住居址・柱基礎土師器・須恵器	年報8
01・12・12～02・2・4	0118	〈黒南〉基幹・環境整備（特高変電設備等・植栽その他）	立会調査	111.7㎡	遺構・遺物なし	年報8
02・2・25～3・20	0119	〈本荘北〉医療用ガス供給設備室取設工事	発掘調査	205.8㎡	縄文・古墳・古代 住居址・溝・掘立柱建物址・縄文土器・土師器・須恵器・鉄鏃	年報8
02・3・18	0120	〈本荘北〉総合研究棟周辺環境整備工事	立会調査	1492.7㎡	遺構・遺物なし	年報8
02・3・18	0121	〈本荘北〉附属病院西病棟（仕上Ⅱ）新営工事	立会調査	1076.4㎡	溝？・遺物なし	年報8
02・3・22	0122	〈本荘北〉附属病院西病棟電気設備工事（仕上Ⅱ）	立会調査	54㎡	遺構・遺物なし	年報8
2002年度						
02・4・3～4	0201	〈黒北〉大学教育研究センターC棟空調機取設工事給排水及び室外機基礎工事	立会調査	29.3㎡	遺構・遺物なし	年報9
02・4・15～16	0202	〈黒北〉外灯設備工事	立会調査	199㎡	遺構・遺物なし	年報9
02・4・17	0203	〈黒南〉インキュベーション施設新営工事	試掘調査	3㎡		年報9
02・4・17	0204	〈黒南〉総合研究棟新営工事	試掘調査	4㎡		年報9
02・4・24	0205	〈黒南〉食堂裏エコクリーンソイル工事	立会調査	0.73㎡	遺構・遺物なし	年報9

I 構内遺跡と調査の概要

02・5・20～29	0206	(黒南) 総合研究棟新営に伴う樹木移植工事	発掘調査	28㎡	縄文・古墳	遺構・遺物なし	年報9
02・5・30～8・2	0203	(黒南) インキューベーション施設新営工事	発掘調査	810㎡	近世	煙址	年報9
02・6・3	0207	(黒南) 総合研究棟新営一次掘削に伴う電気工事	立会調査	32㎡		遺構・遺物なし	年報9
02・6・12～8・14	0204	(黒南) 総合研究棟新営工事	発掘調査	2,803㎡	縄文・古墳・古代	住居址・溝・火葬墓・縄文土器・土師器・須恵器	年報9
02・7・2	0208	(黒北) 図書館南側学生部駐車場拡張工事	立会調査	24㎡		遺構・遺物なし	年報9
02・8・29	0209	(京町) 附属小学校スロープ取設工事	立会調査	13㎡		遺構・遺物なし	年報9
02・10・1～10・3・11・18	0210	(黒南) 工学部樹木移植工事	発掘調査	61.19㎡		包含層・縄文土器・石鏃	年報9
02・10・7	0211	(本荘北) 医学部総合研究棟新営工事(渡り廊下部分)	立会調査	32㎡		遺構・遺物なし	年報9
02・12・3/5/11	0212	(黒南) 通用門拡張工事	立会調査	480㎡		遺構・遺物なし	年報9
	0213	(本荘北) 総合研究棟新営電気設備工事	立会調査	216㎡		遺構・遺物なし	年報9
03・2・7	0214	(本荘北) 基幹環境整備外灯工事	立会調査	216㎡		遺構・遺物なし	年報9
03・2・18	0215	(大江) 薬学部実験動物慰霊碑建立工事	立会調査	3.4㎡		遺構・遺物なし	年報9
03・2・21	0216	(黒北) 外灯設備工事	立会調査	18.5㎡		遺構・遺物なし	年報9
03・3・7	0217	(本荘南) 体育部室(プレハブ)新設工事	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報9
03・3・10	0218	(黒北) 外灯設備工事	立会調査	27㎡	古代	住居址・土師器・須恵器・砥石	年報9
03・3・11	0219	(本荘南) 塀新設工事	立会調査	36㎡		遺構・遺物なし	年報9
03・3・26	0220	(新南) 教育学部新南側農場竹藪・畑地境界掘り	立会調査	40㎡	古代	住居址・柱穴・溝・古代土師器・須恵器	年報9
2003年度							
03・4・10	0301	(黒南) 工学部薬品庫新設工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報10
03・4・10	0302	(黒南) 総合研究棟共同溝設備工事	試掘調査	9.6㎡		土師器	年報10
03・5・20	0303	(黒南) 事務局排水管修理工事	立会調査	16.8㎡		遺構・遺物なし	年報10
03・6・2～7・2	0304	(本荘北) 基幹・環境整備工事	発掘調査	333.5㎡	縄文・古墳・弥生・古代	住居址・溝・縄文石器・弥生土器・土師器・近代磁器	年報10
03・7・18	0302	(黒南) 総合研究棟共同溝設備工事	立会調査	296㎡		遺構・遺物なし	年報10
03・8・19	0305	(京町) 附属小・中学校フェンス取設工事	立会調査	44.3㎡		遺構・遺物なし	年報10
03・8・6～9・12	0302	(黒南) 総合研究棟共同溝設備工事(Ⅰ区)	発掘調査	168.2㎡		遺構・遺物なし	年報10
03・9・4～9・8	0306	(本荘南) 医療技術短期大学部北側駐車場環境整備工事	立会調査	539.2㎡		遺構・遺物なし	年報10
03・9・5	0307	(薬) 大江総合研究棟給排水管および電気工事	立会調査	7.54㎡		遺構・遺物なし	年報10
03・9・29	0308	(宇留毛) 小頃宿舎1棟揚水管漏水修理工事	立会調査	3.64㎡		遺構・遺物なし	年報10
03・10・2	0309	(本荘南) 動物慰霊碑新設工事	立会調査	4.02㎡		遺構・遺物なし	年報10
03・10・1～10・10	0302	(黒南) 総合研究棟共同溝設備工事	発掘調査	253.5㎡	近代・古代	溝・ピット・陶磁器・土師器・弥生土器	年報10
03・10・27		(黒北) 教室新築工事	試掘調査	13.75㎡		遺構・遺物なし	年報10
03・11・6		(薬) 記念館建設工事	試掘調査	7.4㎡	古代	土師器	年報10
03・11・17～28	0310	(本荘南) 発生医学研究センター施設整備事業	立会調査	557㎡		遺構・遺物なし	年報10
03・11・26	0302	(黒南) 総合研究棟共同溝設備工事(ガス管)	立会調査	3.6㎡		遺構・遺物なし	年報10
03・12・9		(本荘南) 発生医学研究センター整備事業本体工事	試掘調査	26.58㎡		遺構・遺物なし	年報10
03・12・10	0311	(本荘北) 中央診療棟(軸)設営工事	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報10
04・1・13	0312	薬草園取設工事	立会調査	11.2㎡		遺構・遺物なし	年報10
04・1・14	0307	(薬) 大江総合研究棟給排水管及び電気工事	立会調査	45.5㎡		遺構・遺物なし	年報10
04・1・15～19	0313	(黒北) 教室新築工事	立会調査	398.8㎡		遺構・遺物なし	年報10
04・1・23～27	0314	(本荘南) 医学部B棟・E棟・RⅠ・旧動物舎取壊工事	発掘調査	1,567㎡	古代	溝・ピット・土師器	年報10
04・1・30	0315	(本荘北) 東側駐車場整備工事	立会調査	30.7㎡		遺構・遺物なし	年報10
04・2・9～2・16	0316	(黒南) 理学部4号館周辺プレハブ等設置工事	立会調査	83㎡		遺構・遺物なし	年報10
04・2・23	0317	(本荘北) 借樹の木移植	立会調査	16㎡		遺構・遺物なし	年報10
04・3・4	0318	(黒北) 附属養護学校門横市道水道修理工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報10
04・3・5～9	0314	(本荘南) 医学部B棟・E棟・RⅠ・旧動物舎取壊工事	発掘調査	1,567㎡	中世・古代	溝・ピット・陶磁器・土師器	年報10
04・3・9	0319	(黒北) 井戸改修工事	立会調査	23㎡		遺構・遺物なし	年報10
04・3・9	0320	(黒北) 福利施設空調設備取設工事	立会調査	13.19㎡		遺構・遺物なし	年報10
04・3・10	0321	(黒南) 外灯設備工事	立会調査	3.4㎡		遺構・遺物なし	年報10
04・3・10	0322	(黒南) 総合研究棟外灯設備工事	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報10
04・3・10	0313	(黒北) 教室新築工事	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報10
04・3・10	0323	(黒北) 教室新築工事(空調機取設)	立会調査	44㎡		遺構・遺物なし	年報10
04・3・11	0324	(本荘南) 外灯設備工事	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報10
04・3・11	0325	(本荘南) 外灯設備工事	立会調査	11.2㎡		遺構・遺物なし	年報10
04・3・15	0326	(黒北) 外灯設備工事	立会調査	3.54㎡		縄文土器片	年報10
04・3・16	0327	(薬) 外灯設備工事	立会調査	11.8㎡		遺構・遺物なし	年報10
04・3・17	0323	(黒北) 教室新築工事(植栽)	立会調査	8.92㎡	古代	土師器・須恵器片	年報10
04・3・22	0328	(京町) 教育学部附属小中学校街路灯設備工事	立会調査	7㎡		遺構・遺物なし	年報10
04・3・19	0329	(黒北) 消火栓応急処置	立会調査	1.08㎡		遺構・遺物なし	年報10
2004年度							
04・4・7	0401	黒髪団地北地区教室新築工事(渡廊下設置)	立会調査	33.8㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・4・9		本荘団地北地区中央診療棟(軸)設営工事	試掘調査	10.44㎡	古代	溝?・土師器	年報11
04・4・13～5・31	0402	本荘団地南地区発生医学研究センター建設工事	発掘調査	1241.75㎡	古代	土師器・須恵器・縄文土器	年報11
04・5・26		黒髪団地北地区熊本大学大学院社会文化科学研究科研究室新築工事	試掘調査	7.76㎡	古代	ピット・土師器	年報11
04・5・14	0403	本荘団地北地区中央診療棟(軸)設営工事	立会調査	150㎡	古代	土師器	年報11
04・5・21	0404	薬学部地区植物園支柱ほか設置工事	立会調査	3.3㎡		遺構・遺物なし	年報11
04・6・25	0405	薬学部地区宮本記念館新営機械設備及びその他工事	立会調査	68.48㎡		遺構・遺物なし	年報11

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

04・6・28		本荘団地北地区（医病）基幹・環境整備工事	試掘調査	10㎡	古代・縄文	土師器・縄文土器・土壌	年報 11
04・5・24	0406	薬学部地区宮本記念館（仮称）建設工事（旧建物撤去・樹木撤去・電気配線・給水管配管・ガス配管・樹木移植）	立会調査	1332.4㎡		遺構・遺物なし	年報 11
04・5・26							
04・6・4							
04・10・26～28							
04・11・12							
04・11・29							
04・7・26	0408	宇留毛団地小磯宿舍湯水管漏水配管改修工事	立会調査	26.2㎡		遺構・遺物なし	年報 11
04・7・29	0409	黒髪団地北地区記念碑設置工事	立会調査	72㎡		遺構・遺物なし	年報 11
04・8・6							
04・8・20							
04・8・23		黒髪団地南地区理学部駐輪場取設工事	試掘調査	11㎡	古代	柱穴・須恵器・土師器	年報 11
04・8・9	0410	黒髪団地北地区熊本大学大学院社会文化科学研究科研究室新築工事	立会調査	370㎡		遺構・遺物なし	年報 11
04・8・10～11							
04・11・5							
04・11・11							
04・8・17～19・23	0411	本荘団地北地区（医病）基幹・環境整備（ポンプ室・ＲＩ実験棟取壊・ガス切替・水道プラグ止・周辺設備関連）工事	立会調査 発掘調査	420㎡		土師器・須恵器・縄文土器・堅穴住居址・溝・ピット	年報 11
04・9・3							
04・9・14～22							
05・1・27～							
04・9・16	0412	本荘団地北地区附属病院都市ガス漏配管修理工事	立会調査	5.7㎡		遺構・遺物なし	年報 11
04・9・16	0413	京町地区附属中学校台風被害による倒木起し	立会調査	8㎡		遺構・遺物なし	年報 11
04・9・16	0414	黒髪団地南地区工学部台風被害による倒木起し	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報 11
04・9・21	0415	薬学部地区宮本記念館新営機械設備及びその他工事	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報 11
04・9・21	0416-1	本荘団地北地区附属病院台風被害による倒木起し	立会調査	8㎡		遺構・遺物なし	年報 11
04・9・21	0416-2	本荘団地南地区医学部台風被害による倒木起し	立会調査	1.5㎡		遺構・遺物なし	年報 11
04・10・12	0417	黒髪団地北地区重要文化財案内板設置工事	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報 11
04・10・12	0417	黒髪団地南地区重要文化財案内板設置工事	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報 11
04・10・19	0418	黒髪団地北地区夏目漱石記念碑欄柱設置工事	立会調査	0.3㎡		遺構・遺物なし	年報 11
04・10・22	0419	本荘団地北地区附属病院福利厚生施設引込配線工事	立会調査	2.23㎡		遺構・遺物なし	年報 11
04・11・1～28	0411	本荘団地北地区（医病）基幹・環境整備	発掘調査	551㎡	縄文・古墳・古代	堅穴住居址・掘立柱建物址・溝・畑・土師器・須恵器・縄文土器・鉄器・勾玉・石器	年報 11
04・11・26	0420	薬学部地区テニスコート整備工事	立会調査	695㎡		遺構・遺物なし	年報 11
04・11・29	0421	黒髪団地南地区さく井設備工事	立会調査	43㎡		遺構・遺物なし	年報 11
04・12・6	0422	本荘団地北地区中央診療棟（軸）工事	立会調査	66.39㎡		遺構・遺物なし	年報 11
04・12・15		黒髪北地区情報ネットワーク館関連工事	試掘調査	18㎡	古代	住居址・柱穴・須恵器・土師器	年報 11
04・12・24	0423	黒髪団地北地区記念館（木造）取壊工事	立会調査	754㎡		遺構・遺物なし	年報 11
04・1・11	0424	本荘団地北地区ボンベ庫取設工事	立会調査	14.5㎡		遺構・遺物なし	年報 11
05・2・1～2・7～9	0425	黒髪北地区情報ネットワーク館事前工事（配管工事）	立会調査	160.08㎡	古代	土師器・須恵器	本報告 3
05・2・21～3・30、5・9～6・10	0425	黒髪北地区情報ネットワーク館建設工事	発掘調査	1170.4㎡	古代	土師器・須恵器	本報告 3
05・2・4・8～9	0426	本荘団地北地区防火水槽取設工事	試掘・発掘調査	84㎡	中～近世	土師器・須恵器・馬骨・銅銭	年報 11
05・2・4	0427	黒髪団地北地区資料館前水道管漏水修理工事	立会調査	1.5㎡		遺構・遺物なし	年報 11
05・2・21～22	0428	黒髪団地南地区樹木移植工事	立会調査	19㎡		遺構・遺物なし	年報 11
05・2・21	0429	薬学部地区雨水設備工事	立会調査	4.25㎡		遺構・遺物なし	年報 11
05・2・28、3・14、4・1	0430	本荘団地南地区駐車場環境整備工事	立会調査	1.846㎡			
05・3・1	0431	黒髪南地区事務局倉庫新営工事	立会調査	1.2㎡		遺構・遺物なし	
05・3・1	0432	教育学部附属中学校卒業記念植栽等工事	立会調査	0.945㎡		遺構・遺物なし	
05・3・1	0433	教育学部附属幼稚園掲示板設置工事	立会調査	0.81㎡		遺構・遺物なし	
05・3・2	0434	黒髪南地区工学部危険薬品庫改修工事（仮称）	立会調査	192.5㎡		遺構・遺物なし	
05・3・9	0435	黒髪南地区さく井設備工事（追加分）	立会調査	5.6㎡		遺構なし・土師器	
05・3・10・15・16・18	0436	黒髪南地区事務局倉庫改修工事	立会調査	62.14㎡		遺構なし	
05・3・14・16	0437	大江地区薬学部外灯設備工事	立会調査	8.1㎡		遺構・遺物なし	
05・3・22	0438	教育学部附属幼稚園遊具取設工事	立会調査	4.14㎡		遺構・遺物なし	
05・3・23	0439	黒髪南地区樹木植栽工事	立会調査	6㎡		遺構・遺物なし	
05・3・24	0440	教育学部附属中学校洗濯機置き場新設工事	立会調査			遺構・遺物なし	
05・3・24	0441	教育学部附属小学校遊具取設工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	
05・3・24	0442	（本荘北）附属病院福利厚生ガス管工事	立会調査	9.18㎡		遺構・遺物なし	
05・3・24	0443	（本荘北）中央診療棟連絡棟Ⅱ管工事	立会調査	0.8㎡		遺構・遺物なし	
05・3・25	0444	黒髪東地区教育学部附属養護学校給水管漏水改修工事	立会調査	1.74㎡		遺構・遺物なし	
05・3・28	0445	黒髪南地区事務局前樹木移植工事	立会調査	3.355㎡		遺構・遺物なし	
2005年度							
05・4・19～4・20	0501	本荘団地南地区駐車場環境整備工事（追加）	立会調査	28㎡	古代	土師器・須恵器	年報 12
05・4・27	0502	医学部附属病院排水貯留槽ポンプアップ排水管補修	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報 12
05・2・4～6・10	0425	（黒髪）情報ネットワーク館本体工事	発掘調査	1065.2㎡	縄文・古代	堅穴住居址・掘立柱建物・縄文土器・土師器・須恵器・黒色土器	本報告 3
05・5・30、6・4～6・5、6・14	0503	（本荘）発生医学研究センター施設整備事業（外構）	立会調査	2337.2㎡		遺構・遺物なし	年報 12
05・6・7、6・10	0504	小磯宿舍埋設ガス配管漏れ補修・新設工事	立会調査	7㎡		遺構・遺物なし	年報 12

I 構内遺跡と調査の概要

05・6・9～ 6・10 6・12	0505	(医病) 基幹・環境整備 (設備・曳き家前)	立会調査	55.96㎡		遺構・遺物なし	年報 12
05・6・20	0506	(大江) 薬学部テニスコートフェンス取設	立会調査	2.28㎡		遺構・遺物なし	年報 12
05・6・21	0507	(本荘中) 敷地境界ブロック改修工事	立会調査	10.5㎡		遺構・遺物なし	年報 12
05・7・8	0508	(黒髪) 情報ネットワーク館仮設進入路工事	立会調査	40.9㎡	古代	土師器・須恵器	年報 12
05・7・13～ 7・14 7・19～ 9・30	0509	(医病) 基幹・環境整備 (曳き家・移動先)	発掘調査	1147㎡	縄文・弥生 古墳・古代	住居址・溝・土師器・須恵器	年報 12
05・7・19	0511	本荘団地北地区雨水配管補修	立会調査	7.6㎡	古代	包含層・土師器・須恵器	年報 12
05・8・1	0512	教育学部附属幼稚園物置設置	立会調査	0.96㎡		遺構・遺物なし	年報 12
05・8・2～ 8・3	0513	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－1 工④	立会調査	9.7㎡	古代	土師器・須恵器	年報 12
05・8・2～ 8・25	0513	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2 理②	立会調査	198.75㎡	古代	土師器・須恵器	年報 12
05・8・5	0514	医学部南地区テニスコート内給水設備工事	立会調査	19.94㎡		遺構・遺物なし	年報 12
05・8・5～ 8・10	0513	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－1 工⑤	立会調査	17.8㎡		遺構・遺物なし	年報 12
05・8・8～ 8・18	0513	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2 工①	発掘調査	80.88㎡	古代	住居址・土師器・須恵器	年報 12
05・8・18	0515	本荘団地(南地区) 駐車場環境整備工事(その2)、追加変更	立会調査	235.98㎡	古代	住居址・土師器・須恵器	年報 12
05・8・18～ 8・23	0515	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2 工⑥	立会調査	14.7㎡		遺構・遺物なし	年報 12
05・8・19～ 8・29	0513	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－4 工③	立会調査	259.㎡		遺構・遺物なし	年報 12
05・8・24	0516	本荘団地中地区外灯設備工事	立会調査	11.4㎡		遺構・遺物なし	年報 12
05・8・23～ 8・29	0513	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2 工②	立会調査	17.2㎡		遺構・遺物なし	年報 12
05・8・25	0513	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－1 工⑦	立会調査	14.7㎡		遺構・遺物なし	年報 12
05・8・25	0513	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2 工⑧	立会調査	86.1㎡		遺構・遺物なし	年報 12
05・8・25	0513	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－1 理③	立会調査	65.㎡		遺構・遺物なし	年報 12
05・8・25	0513	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－1 理④	立会調査	120.25㎡		遺構・遺物なし	年報 12
05・8・29～ 8・30	0513	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2 工④	立会調査	24.6㎡		遺構・遺物なし	年報 12
05・8・30～ 9・1	0513	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2 工⑩	立会調査	20.4㎡		遺構・遺物なし	年報 12
05・9・1～ 9・13	0513	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－1 理①	発掘調査	67.6㎡	縄文・古代	堅穴住居址・縄文土器・土師器・須恵器	年報 12
05・9・1. 9・20	0517	(医病) 基幹・環境整備 (曳き家・現在地)	立会調査	1337㎡		遺構・遺物なし	年報 12
05・9・4～ 9・5	0513	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－1 理⑤	立会調査	48.75㎡		遺構・遺物なし	年報 12
05・9・12～ 9・27	0513	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2 工⑨	立会調査	43.9㎡		遺構・遺物なし	年報 12
05・9・13	0518	附属病院都市ガス設備改修工事	立会調査	29㎡		遺構・遺物なし	年報 12
05・9・14	0519	(黒髪北) 学務部倉庫取設工事	立会調査	157.76㎡		遺構・遺物なし	年報 12
05・9・15	0513	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－5 工④	立会調査	0.79㎡		包含層・ピット	年報 12
05・9・15	0513	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－1 工⑤	立会調査	40.5㎡		遺構・遺物なし	年報 12
05・9・15	0520	本荘団地北地区入退院棟前スロープ取設工事	立会調査	17.18㎡		遺構・遺物なし	年報 12
05・9・15	0521	本荘団地(北地区) 台風倒木引起し	立会調査	2.355㎡		遺構・遺物なし	年報 12
05・9・16～ 10・2	0513	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2 工②	立会調査	97.342㎡	古代	土師器・須恵器	年報 12
05・9・16	0522	医学部附属病院管理棟屋外給水バルブ取替工事	立会調査	2.25㎡		遺構・遺物なし	年報 12
05・9・27	0523	(医病) 中央診療棟(仕上)	立会調査	57.6㎡		遺構・遺物なし	年報 12
05・10・11～ 11・7	0513	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2、3 工③	立会調査	150㎡	古代	住居址・溝・土師器・須恵器	年報 12
05・10・11	0524	本荘団地(北地区) 駐車ゲート整備工事	立会調査	261.33㎡		遺構・遺物なし	年報 12
05・10・13～ 10・14, 10・17～ 10・18	0525	(黒髪) 情報ネットワーク設備工事	立会調査	73.6㎡	古代	柱穴・土師器・須恵器	年報 12
05・10・14	0526	埋文調査室内部改修機械設備工事	立会調査	2.0㎡		遺構・遺物なし	年報 12
05・10・19～ 10・20	0527	(黒髪北) 文法学部本館スロープ整備工事	立会調査	44㎡		遺構・遺物なし	年報 12
05・10・21	0528	工学部ものづくり実習室新営工事	立会調査	810㎡		遺構・遺物なし	年報 12
05・10・25	0529	(医病) 外来臨床研究棟玄関前環境整備工事	立会調査	381.12㎡		遺構・遺物なし	年報 12
05・10・26	0530	薬学部温床室(苗床温室) 補修工事	立会調査	5.5㎡		遺構・遺物なし	年報 12
05・11・4	0531	旧情報処理センター屋外階段取設工事	立会調査	9㎡		遺構・遺物なし	年報 12
05・11・7	0532	教育学部附属養護学校給水引き込み漏水補修	立会調査	3.5㎡		遺構・遺物なし	年報 12
05・11・7	0533	(黒北) ボイラー室給水管補修工事	立会調査	1.1㎡		遺構・遺物なし	年報 12
05・11・16, 11・21	0534	黒髪南地区囲墻改修工事	立会調査	124.3㎡		遺構・遺物なし	年報 12
05・11・29 12・15	0513	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2 工⑨	立会調査	48㎡	古代	住居址・柱穴	年報 12

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

05・11・29～ 12・5	0513 理⑥	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2	発掘調査	24㎡	古代	住居址・溝・ビット・土師器・須恵器	年報12
05・12・4	0513 工⑦	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	117.4㎡	古代	土師器	年報12
05・12・7	0513 工⑧	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	87㎡	古代	ビット・土師器・須恵器	年報12
05・12・9	0513 工⑨	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	25㎡	古代	包含層・土師器・須恵器	年報12
05・12・12	0513 工⑩	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2、5	立会調査	㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・12	0535	教育学部新南部農場竹藪抜根	立会調査	455.7㎡		柱穴	年報12
05・12・13	0513 工21	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・13	0513 工22	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・13	0513 工23	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	87.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・13	0513 工24	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	18㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・14	0513 理⑦	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	86.6㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・14	0536	医学部弓道場設備工事	立会調査	82.73㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・15	0513 理⑧	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－1、2	立会調査	286.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・16	0537	理学部プレハブ倉庫新営工事	立会調査	167㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・19～ 12・21、 12・26	0538	(黒髪) 情報ネットワーク館設備工事（追加）	立会調査	70.235㎡	古代	土師器・須恵器	年報12
06・1・6～ 1・11、 2・27～ 3・2							
05・12・22	0539	本荘団地（中地区）ゴミ置場取設	立会調査	48.51㎡		遺構・遺物なし	年報12
05・12・26	0513 理⑨	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・1・4～ 1・19	0513 理⑩	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2	発掘調査	89㎡	古代	住居址・土師器・須恵器	年報12
06・1・5	0513 理⑪	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	70㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・1・10、 1・25	0540	本荘団地（南地区）埋設ガス管改修工事	立会調査	61.8㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・1・17	0513 工25	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－7	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・1・20	0513 工26	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－7	立会調査	708㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・1・26、 2・2 2・10 2・27	0541	(黒髪南) 理学部駐輪場整備工事（追加・再追加含む）	立会調査	1110.6㎡	古代	土師器・須恵器	年報12
06・1・23	0513 工27	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－7	立会調査	45.4㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・1・24	0513 工28	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	12㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・1・26	0513 工29	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	40㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・1・27	0542	(医病) 基幹・環境整備（曳き家・移動経路）	立会調査	1464㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・1・30	0513 工30	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－3	立会調査	656.1㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・2・13	0543	附属病院職員厚生施設園庭整備	立会調査	338.9㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・2・16、 3・13	0544	(医病) 基幹・環境整備（設備・曳き家後）	立会調査	39㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・2・17	0545	教育学部附属幼稚園ブランコ用ゴムマット布設	立会調査	12㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・2・24、 3・7～ 3・8、 3・13、 3・16～ 3・17	0546	(黒髪) 情報ネットワーク館新営工事に伴う外構工事	立会調査	1837㎡	古代	住居址・土師器・須恵器	年報12
06・3・10	0547	(黒髪) 北地区学生会館西側バイク置場設置工事	立会調査	48㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・3・13	0548	本荘団地（中地区）渡り廊下設置	立会調査	5.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・3・24	0549	(医病) 外来化学療法センター屋外污水配管工事	立会調査	1.92㎡		遺構・遺物なし	年報12
06・3・30	0550	ぎ木補修工事	立会調査	0.91㎡		遺構・遺物なし	年報12
2006年度							
06・4・11	0601	教育学部附属中学校テニスコート移設	立会調査	5.94㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・4・11	0602	(黒髪北) 接土工事	立会調査	6㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・4・11	0603	(黒髪北) 資料館改修工事	発掘調査	32.1㎡	古代	土師器	年報13
06・4・11～ 4・12	0604	(黒髪北) 資料館改修工事（屋外排水）	発掘調査	25.12㎡	古代	土師器	年報13
06・4・12	0606	工学部研究実験用車庫取設工事	立会調査	49.05㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・4・13	0605	放送大学案内板取設工事	立会調査	1.5㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・4・18～ 4・19	0607	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-9	立会調査	5.2㎡		遺構・遺物なし	年報13

I 構内遺跡と調査の概要

06・4・21	0608	(黒髪北) 前面歩道配管補修工事	立会調査	1.3㎡		遺構・遺物なし	年報 13
06・4・24	0609	理学部駐輪場ガス洩れ補修	立会調査	1.7㎡		遺構・遺物なし	年報 13
06・5・2	0610	教育学部附属小学校遊具新設	立会調査	0.98㎡		遺構・遺物なし	年報 13
06・5・11	0611 ①	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	32㎡		遺構・遺物なし	年報 13
06・5・22 5・25	0611 ②	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	129㎡		遺構・遺物なし	年報 13
06・5・22	0612 ①	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	発掘調査	1.1㎡	古代	柱穴・土師器	年報 13
06・5・22～ 5・24	0612 ②	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6	発掘調査	24㎡	古代	柱穴・土師器・須恵器	年報 13
06・6・12	0614	(黒髪) 環境安全センター給水配管補修	立会調査	0.57㎡		遺構・遺物なし	年報 13
06・6・19	0613	附属病院中央診療棟新営電気設備工事	立会調査	72.4㎡		遺構・遺物なし	年報 13
06・6・22 6・28 7・3	0615	附属病院中央診療棟新営機械設備(衛生) 工事	立会調査	153㎡	古代	土師器・須恵器	年報 13
06・6・27 7・7	0612 ③	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	21.98㎡	古代	土師器・須恵器	年報 13
06・8・7	0616	教育学部附属中学校給水管補修工事	立会調査	1.7㎡		遺構・遺物なし	年報 13
06・8・11	0617	(黒髪) プール附属家等環境配慮改修(アスベスト処理) 工事	立会調査	0.59㎡		遺構・遺物なし	年報 13
06・8・11	0618	医学部附属病院駐車場側溝修理	立会調査	8.75㎡		遺構・遺物なし	年報 13
06・8・21	0619	教育学部附属養護学校屋外人工芝張替その他工事	立会調査	420.51㎡		遺構・遺物なし	年報 13
06・8・24～ 8・25	0611 ③	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-3	立会調査	20.7㎡		遺構・遺物なし	年報 13
06・8・31～ 9・1	0611 ④	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	64.1㎡	古代	溝・土師器	年報 13
06・9・7	0620	教育学部附属小学校プール系統給水漏水補修工事	立会調査	2.8㎡			年報 13
06・9・11	0611 ⑤	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-10	立会調査	49.64㎡		遺構・遺物なし	年報 13
06・9・12	0611 ⑥	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-10	立会調査	140㎡		遺構・遺物なし	年報 13
06・9・14～ 9・15	0611 ⑦	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-10	立会調査	32.96㎡		遺構・遺物なし	年報 13
06・9・20～ 9・21	0611 ⑧	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-10	立会調査	55.1㎡			年報 13
06・10・2	0611 ⑨	黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	10.5㎡		遺構・遺物なし	年報 13
06・10・2	0621	(黒髪) プール附属家等環境配慮改修(アスベスト処理) 工事その 2	立会調査	44㎡		遺構・遺物なし	年報 13
06・10・2 10・27 10・30 11・13	0622	(医病) 環境整備(西側駐車場等) 工事	発掘調査	8,077.5㎡ (50.68㎡)	古代	土師器・須恵器	年報 13
06・10・10 10・12	0623	黒髪団地外灯取設その他工事	立会調査	26.79㎡		遺構・遺物なし	年報 13
06・10・13	0624	附属病院設備管理棟アキュムレータードレン管漏れ修理	立会調査	2.16㎡		遺構・遺物なし	年報 13
06・10・16	0625	(医病) 基幹・環境整備(外灯) 工事	立会調査	296.4㎡		遺構・遺物なし	年報 13
06・10・19	0626	(医病) 基幹整備(ボイラー設備他更新) 工事	立会調査	106.7㎡		遺構・遺物なし	年報 13
06・10・25	0627	(大江地区) 雨水設備工事	立会調査	0.24㎡		遺構・遺物なし	年報 13
06・11・2	0628	医学部附属病院管理棟北側外灯撤去工事	立会調査	2.8㎡			年報 13
06・11・17 11・27 12・4	0629	(本荘) 医学部保健学科校舎改修電気設備工事	立会調査	239.4㎡	古代	土師器	年報 13
06・11・20	0630	黒髪南地区工学部通用門周辺植栽	立会調査	15㎡		遺構・遺物なし	年報 13
06・11・30	0631	渡鹿団地防火用水撤去工事	立会調査	56.93㎡		遺構・遺物なし	年報 13
06・12・1	0632	事務局正門樹木植替え	立会調査	3.36㎡		遺構・遺物なし	年報 13
06・12・15 12・18～ 12・25 12・27～ 12・28	0612 ④	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6	発掘調査	162.7㎡	古代	土師器・須恵器・動物骨	年報 13
07・1・4～ 1・9							
06・12・19	0633	本荘北地区南側駐車場歩道環境整備工事	立会調査	2943.79㎡		遺構・遺物なし	年報 13
06・12・25 07・4・2	0634	(本荘) 医学部保健学科校舎改修機械設備工事	立会調査	113.36㎡		遺構・遺物なし	年報 13
07・1・10～ 1・11 1・19	0635	附属養護学校ガス漏れ緊急立会	立会調査	13.45㎡		遺構・遺物なし	年報 13
07・1・18 1・22～ 1・23	0636	理学部 4 号館昇降路取設工事	発掘調査	30.35㎡	古代	土師器・須恵器・礫	年報 13
07・1・30	0637	(本荘) 医学部保健学科校舎改修工事	立会調査	341.2㎡		遺構・遺物なし	年報 13
07・2・1	0638	(宇留毛) ゴミ置き場取設工事	立会調査	35㎡		遺構・遺物なし	年報 13
07・2・20	0639	(本荘) 医学部保健学科校舎 CT 用接地工事	立会調査	4.35㎡		遺構・遺物なし	年報 13
07・2・26	0640	黒髪団地北地区知命堂ガス漏れ調査	立会調査	1.52㎡		遺構・遺物なし	年報 13
07・3・1	0641	(本荘中) 医学部門衛所取り壊し工事	立会調査	52.42㎡		遺構・遺物なし	年報 13
07・3・6	0642	宇留毛団地災害復旧工事	立会調査	134.82㎡		遺構・遺物なし	年報 13
07・3・8	0643	(黒髪南) 理学部温室取り壊し工事	立会調査	101.7㎡	古代	土師器	年報 13
07・3・8	0644	(南地区) 西側囲障改修工事	立会調査	55.28㎡		遺構・遺物なし	年報 13
07・3・12	0645	本荘南地区テニスコート埋設給水管漏水工事	立会調査	763㎡		遺構・遺物なし	年報 13
07・3・20	0646	(医病) 環境整備(救急棟改修) 機械設備工事	立会調査	5.77㎡		遺構・遺物なし	年報 13
07・3・22	0647	(教) 附属幼稚園囲障改修工事	立会調査	25.7㎡		遺構・遺物なし	年報 13
07・3・26	0648	(医病) 環境整備(山崎記念館外部改修) 工事	立会調査	1.15㎡		遺構・遺物なし	年報 13

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

2007年度					
07・4・10	0701	(教) 附属養護学校東門等改修工事	立会調査	4852㎡	
07・4・13	0702	教育学部附属幼稚園飼育小屋取設工事	立会調査	1821㎡	遺構・遺物なし
07・4・16 4・20	0703 ①	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備事業-6	立会調査	61㎡	
07・5・7～ 5・8	0704	(黒髪南) 新営工事に伴う樹木移植工事	立会調査	446㎡	
07・6・13	0705	(医病) 東病棟新営に伴う支障配線替工事(電気設備)	立会調査	7㎡	遺構・遺物なし
07・6・19	0703 ②	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備事業-13	立会調査	469.2㎡	遺構・遺物なし
07・6・20	0706	本荘南地区保健学科通用門整備	立会調査	17.4㎡	遺構・遺物なし
07・6・25	0703 ③	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備事業-13	立会調査	31.4㎡	
07・6・26 6・29 7・10 7・18～ 7・19	0707	(本荘) 医学部図書館義棟新営工事	立会調査		(一次掘削立会)
07・6・28	0708	(本荘北) 仮設渡り廊下取設工事	立会調査	43.5㎡	
07・6・28	0709	大教センター南側雨水管つまり修理	立会調査	1.50㎡	遺構・遺物なし
07・7・3	0703 ④	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備事業-6.14	立会調査	36㎡	遺構・遺物なし
07・7・4	0710	(京町) 教育学部附属小中学校仮設校舎取設工事(変更)	立会調査	601.92㎡	
07・7・9～ 7・10	0703 ⑤	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備事業-6	立会調査	60㎡	
07・7・17	0711	(医病) 基幹・環境整備(旧中央診療棟取り壊しに伴う電気設備)工事	立会調査	8.34㎡	
07・7・19	0703 ⑥	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備事業-13	立会調査	1,603.6㎡	
07・7・30～ 9・3	0707	(本荘) 医学部図書館義棟新営工事	発掘調査	1,590㎡	縄文・古代 縄文時代石器・縄文土器・土師器・須恵器・古代鉄器 (一次掘削立会)
07・8・7	0712	(医病) 東病棟新営工事	立会調査		
07・8・10	0713	薬学部屋外給水管漏水修理工事	立会調査	1㎡	遺構・遺物なし
07・8・22	0714	(黒髪南) 理学部 1.2 号館揭示板取設工事	立会調査	15.7㎡	遺構・遺物なし
07・8・23	0715	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-19	立会調査	2.09㎡	遺構・遺物なし
07・8・27～ 10・25	0712	(医病) 東病棟新営工事	発掘調査	1,133㎡	縄文・古墳・縄文土器・土師器・須恵器・石器・古代鉄器・古代銅器・古代獣骨・中世銅銭
07・9・3	0716	本荘南地区駐車場出入口整備	立会調査	294.8㎡	遺構・遺物なし
07・9・14	0717	(医病) 基幹・環境整備(旧中央診療棟取り壊しに伴う機械設備)工事	立会調査	93.7㎡	
07・9・25～ 9・27 10・2	0703 ⑦	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備事業-6.16	発掘調査	121.5㎡	古代 土師器・須恵器
07・9・27 10・1～ 10・2	0718	(大江) 薬学部本館耐震改修工事	発掘調査	264.32㎡	古代 土師器
07・10・4 10・15～ 10・16 10・22 10・25	0719	(京町) 教育学部附属小中学校校舎等改修工事	立会調査	308.68㎡	
08・1・30～ 2・13					
07・10・19	0720	事務局南側等屋外給水管補修工事	立会調査	2.5㎡	
07・10・26～ 11・28	0719	(京町) 教育学部附属小中学校校舎等改修工事	発掘調査	1,177.07㎡	古代 土師器・須恵器
07・12・3～ 12・4 12・6～ 12・7	0721	(京町附属小中) 校舎等機械設備改修	立会調査	1,319.85㎡	
08・1・18					
07・12・5	0722	(黒髪) 工学部 8 号館内部改修その他工事	立会調査	97㎡	
07・12・5	0723	(黒髪) 工学部 8 号館内部改修電気設備工事	立会調査	14.1㎡	
07・12・7 12・10 12・12	0724	(本荘中) 医学部基礎研究棟(C棟とりこわし)工事	立会調査	1,000㎡	古代 土抗・ビット・土師器
07・12・7	0725	(京町) 教育学部附属小・中学校校舎等改修電気設備工事	立会調査	90㎡	包含層
07・12・10	0703 ⑧	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備事業-6.18	立会調査	148.75㎡	
07・12・14～ 12・27	0721	(京町附属小中) 校舎等機械設備改修	発掘調査	121.84㎡	古代・近代 土師器・須恵器・近代陶磁器
07・12・19	0726	医学部基礎研究棟北側喫煙所	立会調査	1㎡	
08・1・16～ 1・17	0703 ⑨	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備事業-20	立会調査	94.5㎡	遺構・遺物なし
08・1・22	0727	(黒髪) 工学部 8 号館耐震改修機械設備工事	立会調査	12㎡	
08・1・22	0728	(黒髪) 工学部 8 号館内部改修機械設備工事	立会調査	40㎡	
08・1・23	0703 ⑩-2	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備事業-6.18	立会調査	89㎡	遺構・遺物なし
08・1・25	0703 ⑩	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備事業-10	立会調査	904.8㎡	
08・1・29～ 1・30	0703 ⑩-3	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備事業-6.18	立会調査	96.7㎡	古代 土師器
08・2・1 2・4	0703 ⑩-4	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備事業-6.18	立会調査	30.8㎡	古代 土師器
08・2・14	0729	(黒髪南) ボイラー等撤去工事	立会調査	38.8㎡	遺構・遺物なし

(2008.2.14現在)

Ⅱ 本莊北地区の調査

1. 医学部校舎建設に伴う発掘調査（9601調査地点）

（1）調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

医学部再開発計画に基づき、1996年度より医学部附属病院の北西部駐車場内に医学部校舎建設が開始されることとなった。附属病院内は「熊本大学病院敷地遺跡」として熊本市遺跡地図（No.8-95）に登録されており、また、1963年に同敷地内の北西の一角から土師器・須恵器・布目瓦などの古代遺物が発見されたという報告がある。このため、1996年4月19日に同建設予定地内において試掘調査を実施した（9601調査）。試掘トレンチは、敷地長軸を横断するように、幅2m、長さ17m（トレンチ1）と5m（トレンチ2）の2本を東西に設定し、黄色の地山層まで掘り下げた。その結果、奈良時代の土師器や須恵器などの遺物を多量に含む溝状遺構や該期の包含層を確認した。これを受けて、施設部との協議を行い、同年9月後半より発掘調査を実施することとなった。

本調査を実施した1996年度は、本調査を含めて発掘調査2件、立会調査10件、試掘調査2件を実施した。調査回数としては1995年度よりやや少ない21回であるが、本調査地点の約2,000㎡の発掘調査があったため、発掘調査の面積比にすれば全体で昨年の2倍強とった。期間的にも、昨年度末に実施予定であった医学部校舎の試掘調査が4月に始まり、さらに黒髪南地区における工学部校舎の発掘調査（9603調査）を5・6月にかけて実施し、それに引き続き8月からの医学部校舎の予備調査、10月から1月中旬までの本調査と、多忙を極めた。

とくに本調査地点の調査は建物部分の発掘に先立ち、樹木移植および移転、貯水槽建設、排水管切り替え工事に伴う調査が必要で、8月から調査体制に入ったものの、事前工事（道路切り替え工事）の予想外の遅延に伴い、発掘調査の着手時期も順延せざるをえなかった。そのため、待機していた9月には調査が一部しか実施できず、排水管切り替えは10月の本調査開始とともに着工され、断続的に本調査実施中も継続して排水管付設部分の発掘調査を実施するなど、調査は困難を極めた。しかも、多量の遺物を含む溝などの奈良～平安時代の遺構が濃密な上、当初予想していなかった縄文時代後期～晩期の遺物包含層、そして極めつけは60基あまりの無縁仏を埋葬した近代墓地が発見されるなど、大幅な調査の遅延を余儀なくされた。60基あまりの墓からは完全な25体の人骨と26体分の人骨の一部が出土し、調査は難渋を極めた。このため施設部および工事関係者との協議により、調査期間を3週間ほど延期することとし、1997年1月17日をもって調査は無事終了した。

しかし、本発掘調査で検出した奈良～平安時代の道路、溝、竪穴住居址、および私寺の存在を予想させる多量のヘラ書き・墨書土器の発見などは、本地域の古代史の様相を知る上で貴重な成果と思われる。また、近代の墓とは言え、六道銭の副葬や甕棺・箱棺葬の存続を確認できたこと、そしてその記録や物質資料は、民俗誌や伝承でしか残らなくなっている明治～昭和初期にかけての埋葬習俗を知る上で、今後重要な歴史資料となると思われる。限られた期間と体制の中でできる限り記録収集に努めたつもりである。出土した人骨は、本学医学部解剖第一教室の鑑定を経た後、再び茶毘に付された。故人の冥福をお祈りするとともに、これらの成果が学術資料として活用されることを願う。

調査区の呼称は、本調査区（建物本体部）を、20号溝を境に東西に分けて呼称し、東側をⅠ区、西側をⅡ区と呼称した。Ⅰ区の東端には近代墓地があり、この部分は別途「近代墓地」と呼称している。また、本調査区の掘削前および調査中に併行して樹木切り替えや道路切り替えのための発掘調査を実施したが、この部分はⅠ～Ⅹ区と呼称した。また、遺構の呼称も調査区ごとに名称をつけている。遺構の番号の前に「○区」のないものは本調査区内の遺構群のことである。留意されたい。

1. 医学部校舎建設に伴う発掘調査 (9601調査地点)

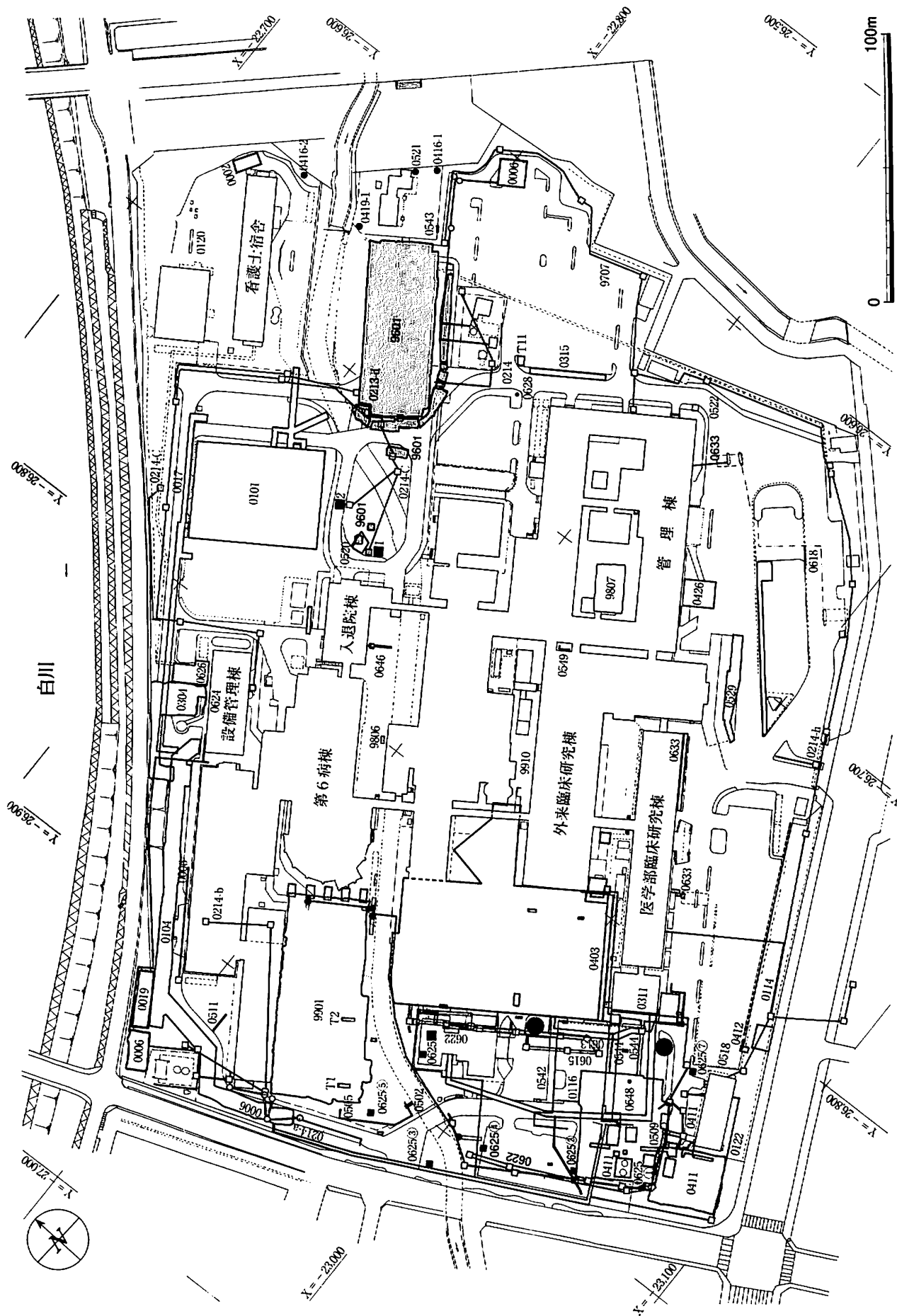


図2 本荘地区における既往調査地点と9601調査地点位置図 (1/2000)

b. 調査の経過

1996年4月19日 試掘調査（33㎡）。

1996年8月6日～同年8月9日 1～3区（樹木移植および貯水槽建設に伴う調査）

（1区10.1㎡、2区6.8㎡、3区28.8㎡）。

1996年8月22日～同年8月26日 4区（道路切り替えに伴う調査）（37.4㎡）。

1996年9月1日～同年9月2日 5区（道路切り替えに伴う調査）（28.2㎡）。

1996年10月1日～同年10月9日 6区（排水管切り替えに伴う調査）（104.3㎡）。

1996年10月11日 本調査（I区）（1100㎡）調査開始。

1996年10月21日～同年10月29日 7～9区（排水管切り替えに伴う調査）

（7区10.1㎡、8区37.4㎡、9区15.0㎡）。

1996年11月12日～同年11月13日 10区（排水管切り替えに伴う調査）（21.8㎡）。

1996年11月28日 本調査区II区（586㎡）調査開始。

1997年1月6日 近代墓地本格調査開始。

1997年1月17日 発掘調査終了。

c. 調査の組織

調 査 員：小畑弘己

事 務 担 当：矢野希久代

発掘作業員：飯田孝俊・今村佳子・上田健太郎・上田一美・江島賢一・岡崎光子・岡村久美子・小倉卓・押方富江・甲斐田末男・窪田千代子・古賀敬子・小細工洋子・木庭義光・柴田やよひ・小路岳彦・土田ちえみ・野田和美・林田恵子・番山明子・福岡理恵・福田久美子・藤木聡・藤原由博・古川紀子・益永武史・松井昭子・丸山京子・美浦雄二・水上順子・元島陸美・森田ミドリ・山下直哉・吉岡和哉・若杉あずさ・若杉竜太

整理作業員：伊藤千代子・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・古賀敬子・首藤優子・末吉美紀・溜渕俊子・土田ちえみ・長谷智子・林田恵子・増井弘子・山岸早苗

調査協力者：高木正文（熊本県教育庁文化課）・網田龍生・稲津暢洋（熊本市教育委員会文化課）・岡本真也（熊本県教育庁文化課）・木下尚子（熊本大学文学部）・蔵富士寛（福岡市教育委員会埋蔵文化財課）、福田正文

（2）調査区の基本層序

本地点は旧駐車場のためアスファルトで覆われ、その下がバラス（厚さ10cm）で覆われていた。その下部は厚さ20cmほどの攪乱・埋土であり、さらにその下部には昭和28年の白川洪水の際に堆積したと思われる厚さ10cmあまりの砂層が堆積していた。その下部には近代～近世と思われる肉眼で淡茶褐色にみえるやや赤味を帯びた土壌が堆積し、その下部に不整合に肉眼で黒褐色にみえる古代遺物包含層・遺構検出面の土層へと続く。縄文時代の遺物はこの4層と5層の境目を中心に出土する。5層の下は黄褐色土の無遺物の地山層、青灰色砂層へと続く（図3）。

1層－攪乱・埋土層（厚さ20cm）

2層－青灰色砂層（昭和28年の白川洪水の層、厚さ10cm）

3層－暗赤褐色土層（Hue 5 YR 3 / 2、厚さ20～40cm）

4層－暗赤褐色土層（Hue 2.5 YR 3 / 2、厚さ30cm）。4層が古代の遺物包含層。

5層－黒褐色土層（Hue 10 YR 2 / 3、厚さ20cm）。5層が縄文時代遺物包含層。

1. 医学部校舎建設に伴う発掘調査（9601調査地点）

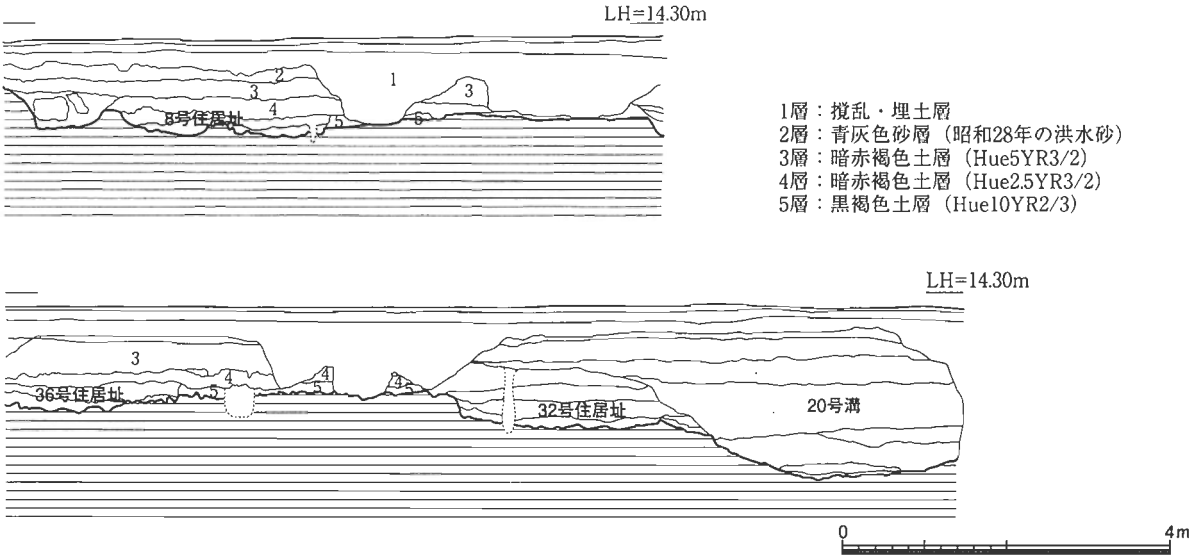


図3 9601調査地点南壁土層断面実測図（1/100）

（3）検出遺構と遺物

a. 近代墓地（小松原墓地）の調査

本調査区東隅の70mにおいて、およそ60基あまりの墓からなる近代の墓地跡を検出した（図5）。この一画は、昭和48年に附属病院の敷地になる以前には、隣接する浄土真宗仙崇寺の墓所であり、その一部が発掘によって明らかにされたものである。墓地の範囲はより東に広がるが、今回の調査地点はその西辺にあたる。その方向は旧排水溝に沿ったほぼ北方向に一致し、以前ここに土手および水路があったとの旧聞がある。これは本調査区内の墓地部分から3mほど西側で検出した攪乱溝に相当すると思われる。墓もこのラインに沿うように配置することから、すべて寺の墓所内に営まれた墓であると考えられる。

墓の造営時期は、寺が先々代の住職の時開基されたことから、明治の初め頃から昭和48年頃と推定される。これは、第12号墓の蓋石に刻まれた明治34年の年号や甕棺自体の型式が19世紀後半以降のものであることから、ほぼ妥当であると考えられる。

<墓>

調査によって検出された墓の総数は55基（表3参照）である。埋葬主体は、釘の残り具合から推定される長方形の棺桶（伸棺）（1基）や、やや短い長方形棺桶（横臥棺）（2）基、方形の箱棺（座棺）（25）基、肥前系甕を用いた甕棺（21）基、骨壺（1基）である。時期的には、墓壇の切り合いから、箱棺、甕棺、長方形棺の順で変移したと考えられる。

埋葬姿勢は、座棺および甕棺の場合、膝を立て座った姿勢で、手は眼前で合掌していたと思われる。ほとんどの人骨において頭蓋骨が立て膝の間の胸部および腹部に落ち込んで検出された。また、横臥人骨も眼前で合掌していた。頭位は切り合い関係から古い墓と推定される47号・49号墓が西を向いている。これに対し、一列に並ぶ3・51・2・17・18・39・55号墓は東を向き、15・46・32・28号墓のように南北方向を向いて対向する墓もある。前者が西方浄土を意識して埋葬されたのに対し、後者は墓道側（墓の正面）を向いていた可能性が高く、新たな墓の配置変化による規制を受けたものと考えられる。墓の内部には、遺体の安定を図るために入れられた籾殻や大鋸屑、鉋屑が入っていた。伝聞



図4 9601調査地点遺構配置図 (1/400)

図中アミ部分は攪乱・本図はカタタ Ver.3にて作成したものを再トレースした)

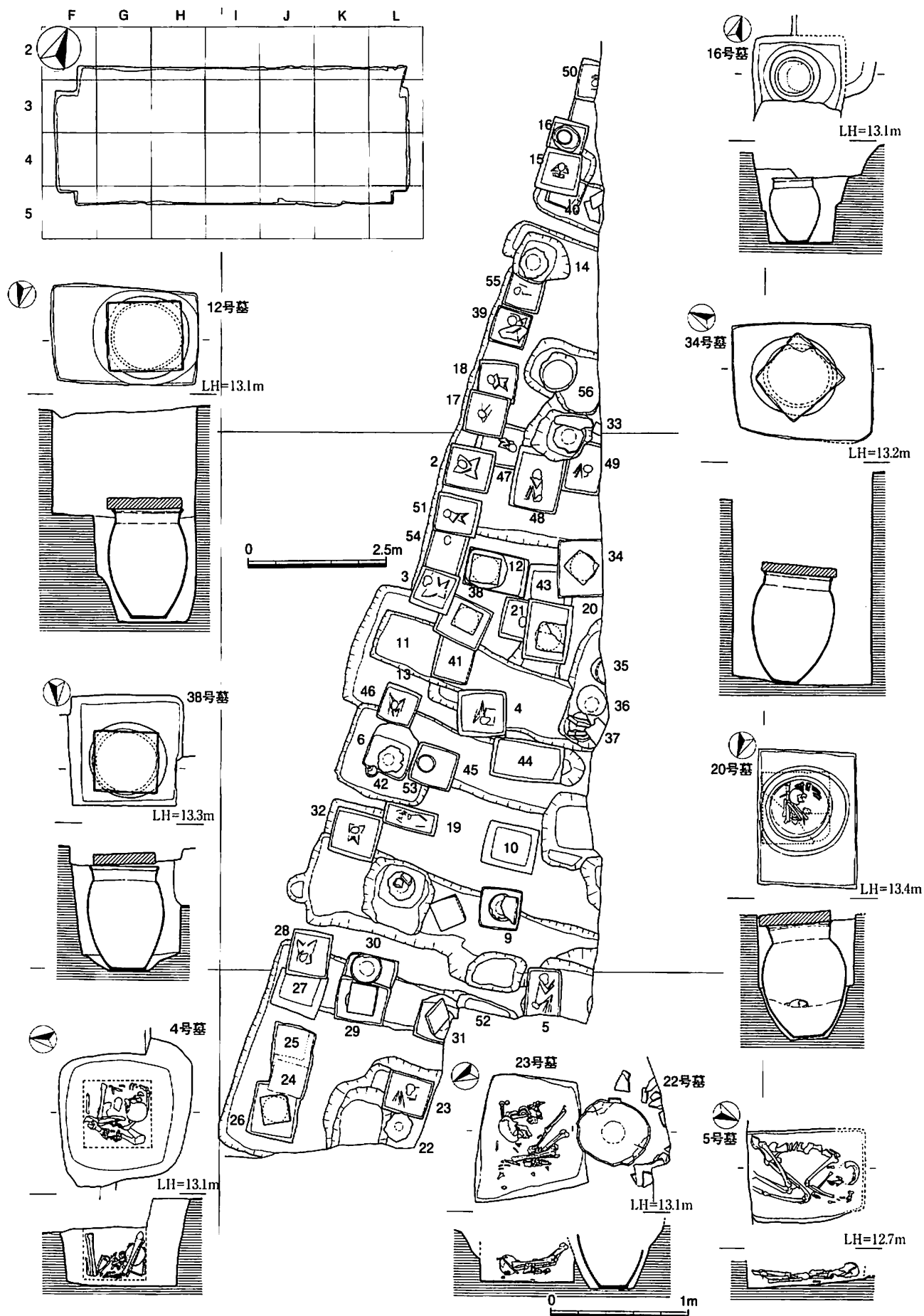


図5 9601調査地点近代墓地配置図 (1/100) 及び墓実測図 (1/40)

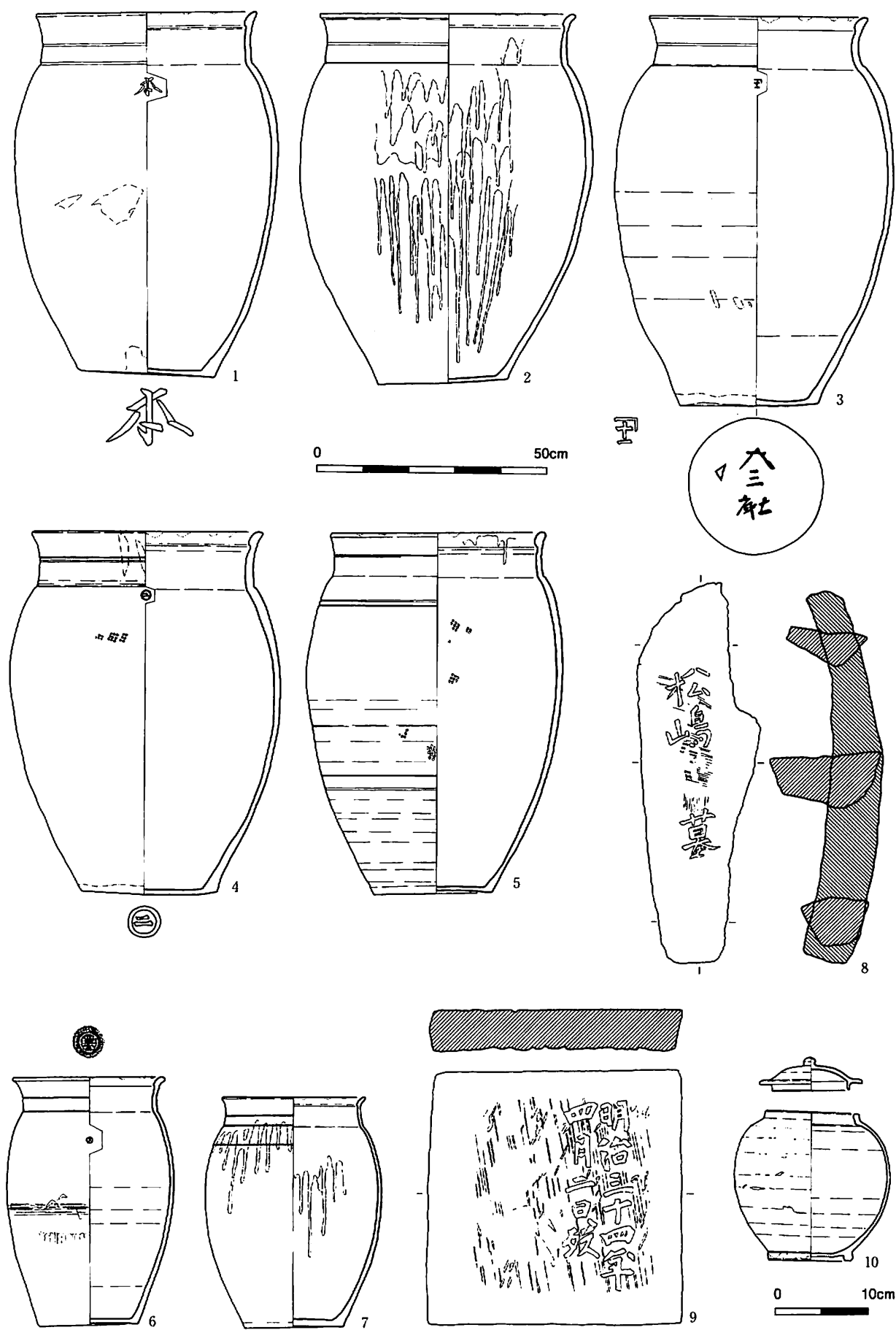


図6 甕棺・標石・蓋石・骨壺実測図 (1/12・1/6)

1. 医学部校舎建設に伴う発掘調査（9601調査地点）

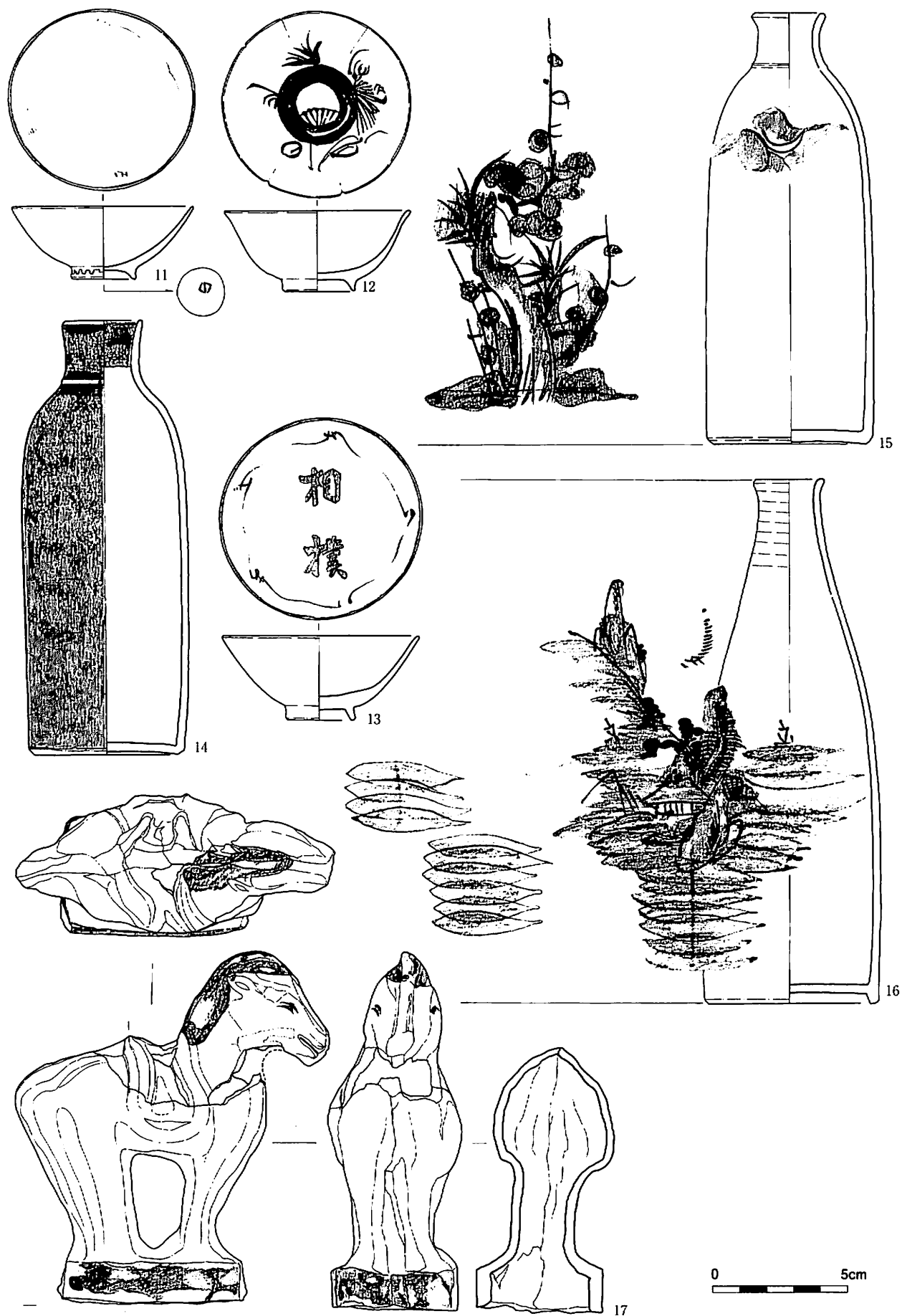


图7 副葬品実測图1（1 / 2）

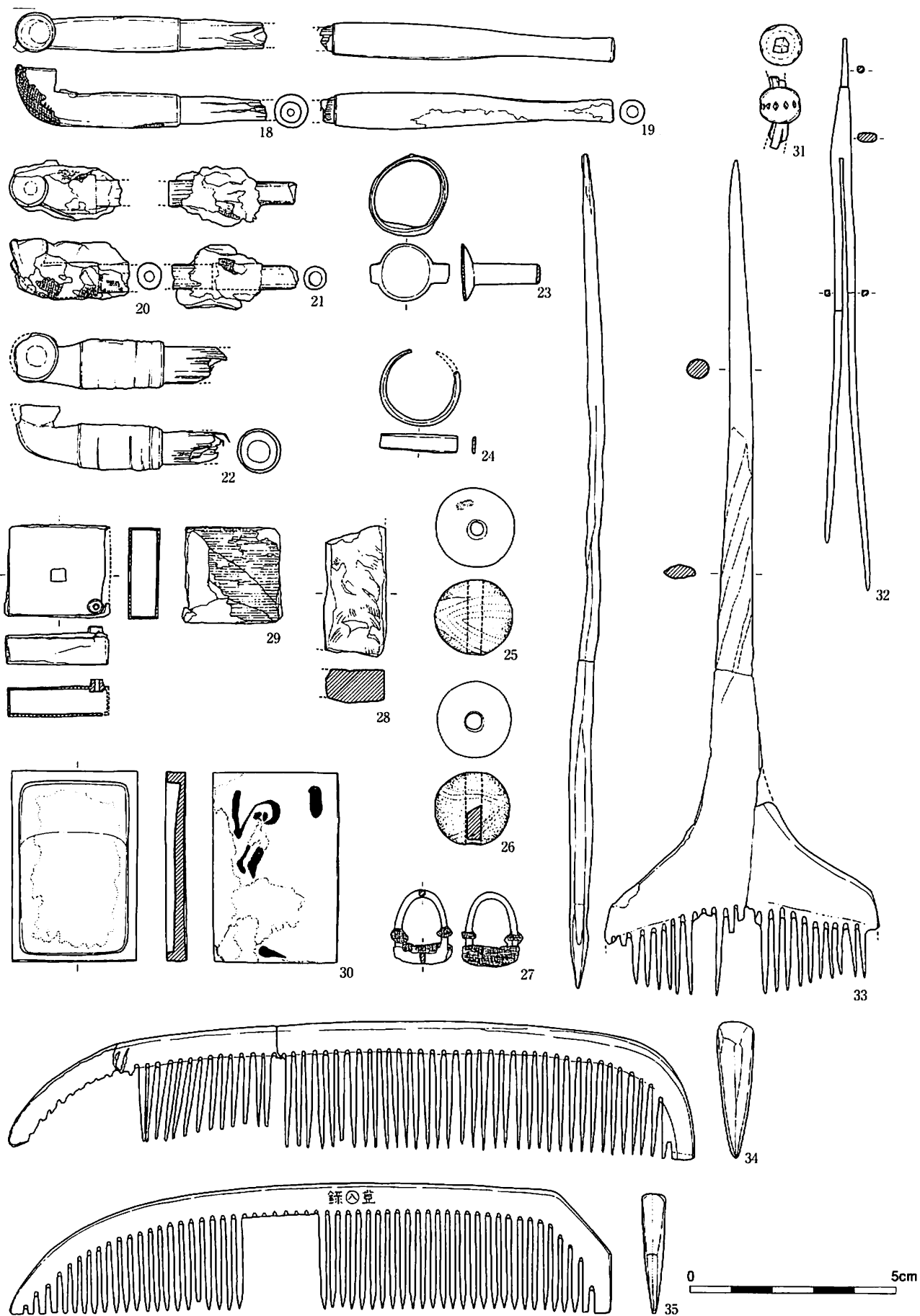


図8 副葬品実測図2 (3 / 4)

1. 医学部校舎建設に伴う発掘調査（9601調査地点）

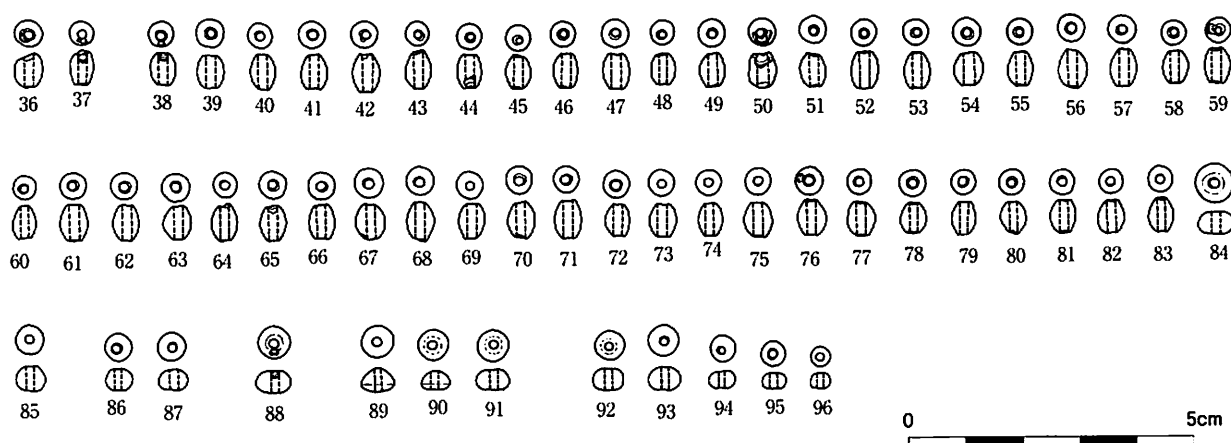


図9 数珠玉実測図（3 / 4）

表3 9601調査地点近代墓埋葬主体別集計表

主体部	改葬の有無		人 骨 の 残 り 具 合			副葬品
	改葬	未掘	全身	一部	無し	
甕 棺	14	7	7	13	1	8
座 棺	7	18	15	10		12
臥 棺	1	2	2	1		2
骨 壺	1		1	1		
不 明	8			4	4	
合 計	28	27	25	25	5	22

によると布に入れて枕代わりに、また遺体の間にも詰めたという。

人骨は50体あまり残っていた。改葬によって人骨の回収が行われたものがほとんどであるが、無縁のため未掘のままほぼ完全な状態で現地に残された遺体は26体にもなる（表4）。

<副葬品>

副葬品としては、身に付けていた櫛や簪、指輪（銅製）の他、数珠玉、煙管、六道銭などがある。7号甕棺には硯、銅製水滴、墨（？）が入っていた（図8：28-30）。また、3つの墓から徳利と酒杯がセットで出土した。また43号墓は破壊されているが、子どもの墓と思われ、素焼きの馬と扇を持った人形が副葬されていた（図7：17）。同じ子どもの墓と思われる19号墓には足元に鮑の殻が添えてあった。

六道銭は、18号墓（新寛永通寶1枚）（図10：116）、34号（乾隆通寶1枚、嘉慶通寶1枚、不明1枚）（図10：101-103）、49号墓（古寛永通寶1枚、新寛永通寶5枚-マ頭通1枚含む）（図10：104-109）、51号墓（古寛永通寶1枚、寛永通寶文銭2枚、新寛永通寶3枚-マ頭通1枚含む）（図10：110-115）から出土した。これらは箱棺墓の場合はすべて胸元および腹部から煙管などと一緒に出土している。布が付着しており、頭陀袋等に入れられ、首に下げられた状態を示す出土状況である。また、48号墓および32号墓の覆土上部からそれぞれ明治10年～大正10年にかけての一銭銅貨4枚（銹着）、昭和10年の一銭銅貨が出土した（図10：97-100）。また、15号墓からは昭和17年のアルミニウム硬貨1枚、40号墓からは同じアルミニウム硬貨と思われるもの2枚（銹着・腐食）が出土した。

今回出土した銅銭は甕棺の型式や副葬銭の年代からみても、あきらかに明治期の副葬品であり、このような風習が中世末から引き続き行われていたことを証明している。さらに34号墓の六道銭のうち

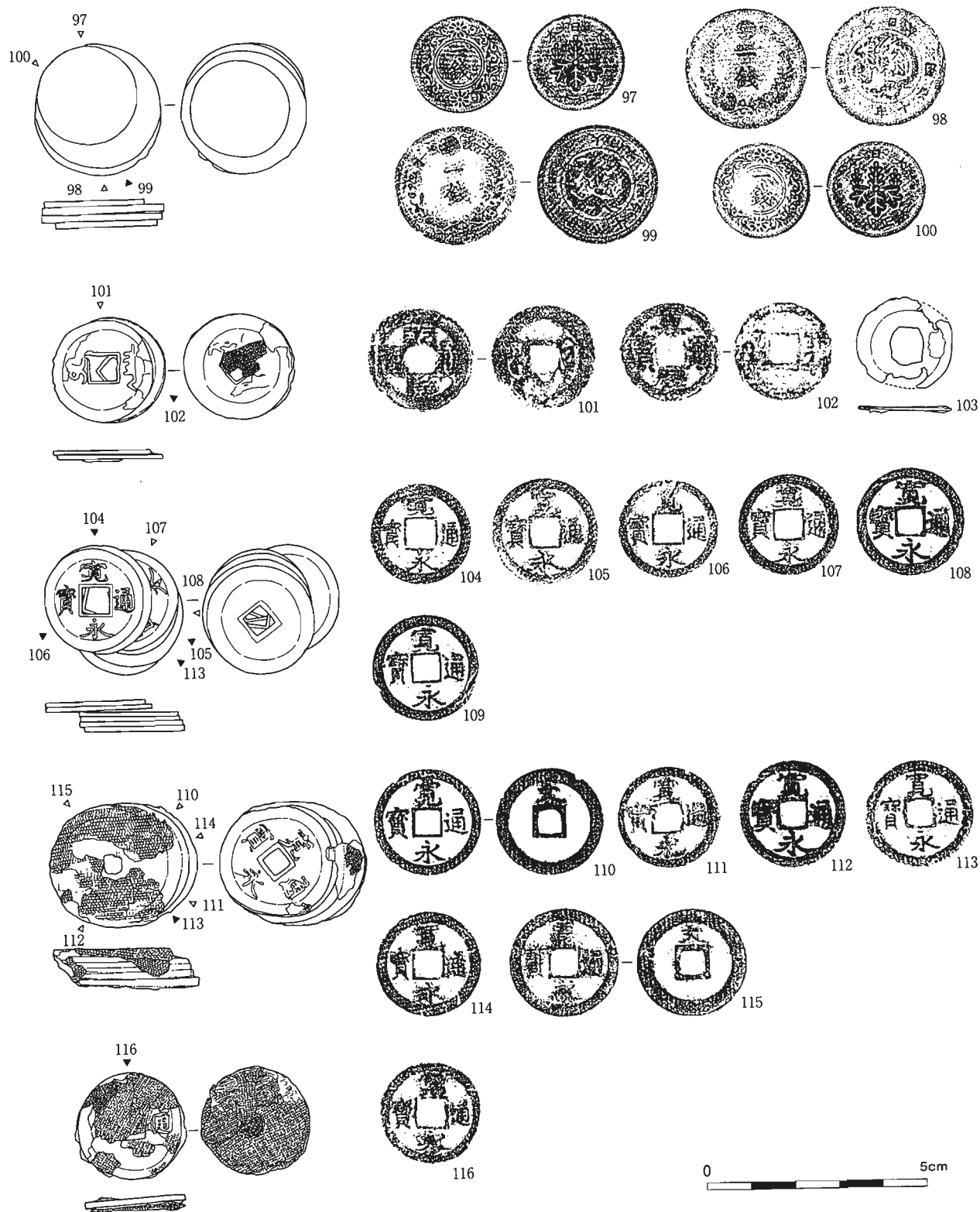


図10 六道銭実測図 (3 / 4)

の乾隆通寶と嘉慶通寶は清銭であり、初鋳年代はそれぞれ1736年と1796年である。甕棺は肩に「本」の字を刻み、19世紀後半以降のものである (図6 : 1)。本墓地においては、甕棺はもっとも新しい埋葬法であり、凝灰岩の蓋石裏面に明治34年の年号を刻んだものも存在することから、甕棺の使用時期

1. 医学部校舎建設に伴う発掘調査（9601調査地点）

表 4 9601調査地点近代墓一覧表

No	主体	改葬	頭位	顔向	埋葬姿勢	副葬品	骨の残り具合	性別	年齢	備考
1	甕棺	有り	不明	不明	不明	無し	骨片数片	男性	不明	
2	座棺	無し	西	東	座位	数珠玉	全身	女性	40～50代	初燬入る
3	座棺	無し	西	東	座位	無し	全身	男性	10後～20前	墓壇東上部に茶碗
4	座棺	無し	東	西	座位	無し	全身	男性	60代	
5	臥棺	無し	北西	北東	屈葬・横臥	無し	全身	男性	40～50代	歯の磨耗大白歯中程度
6	甕棺	破壊	不明	不明	不明	無し	一部	不明	成人	
7	甕棺	有り	不明	不明	座位	紅硯・煙管・墨・簪玉	骨盤他	女性	20～30代	初燬入る
9	甕棺	有り	不明	不明	不明	無し	頭骨なし	女性	20代	
10	座棺	不明	不明	不明	不明	無し	一部	不明	70代	
11	不明	有り	不明	不明	不明	無し	無し	—	—	
12	甕棺	無し	不明	不明	座位	簪玉・飾・飾櫛	全身	女性	20～25	石蓋裏「明治34年没」銘・お歯黒・焼け跡有
13	不明	有り	不明	不明	不明	無し	無し	—	—	
14	甕棺	有り	不明	不明	不明	無し	下半身・顎骨？	不明	老人	
15	座棺	無し	南	北	座位	徳利・猪口・アルミ銭	全身	男性	40～50代	
16	甕棺	無し	南	不明	不明	数珠玉 1	ほぼ全身？	不明	3才前後	大白歯が骨質の中に埋まっている
17	座棺	無し	西	東	座位	銅製簪・銅製指輪	全身	女性	70代	
18	座棺	無し	西	東	座位	数珠玉多数・寛永通寶 1	全身	女性	20後～30代	
19	臥棺	有り	西	不明	仰臥伸展	鮑殻	頭骨以外	不明	子ども	
20	甕棺	無し	南	北	座位	無し	全身	女性	60～70代	初燬入る。甕底墨書銘
21	座棺	無し	東	西	座位	無し	全身	男性	20～30代	
22	甕棺	有り	不明	不明	不明	無し	一部	不明	不明	
23	座棺	無し	東	西	座位	刺歯	全身	女性	70代	頭がかなり長頭
24	座棺	有り？	不明	不明	不明	無し	一部	不明	不明	
25	座棺	有り？	不明	不明	不明	無し	一部	不明	不明	
26	甕棺	無し	不明	不明	不明	無し	頭骨以外	女性	20～30代	お歯黒
27	不明	不明	不明	不明	不明	無し	無し	—	—	掘り方の残る
28	座棺	無し	南	北	座位	銅製指輪	全身	女性	40代	きわめて長頭
29	甕棺	有り	不明	不明	不明	無し	一部	女性	70代	椎体に前縦肋骨骨化
30	甕棺	有り	不明	不明	不明	無し	一部	不明	成人～壮年	
31	甕棺	有り	不明	不明	不明	無し	頭蓋なし	女性	70代	椎体の一部変形
32	座棺	無し	北	南	座位	数珠玉 1	全身	女性	70代	墓壇覆土上部より一銭銅貨
33	甕棺	有り	東	西	座位	無し	一部	男性	60～70代	上部に松鳩銘の墓石
34	甕棺	無し	北	南	座位	消銭 2・不明銭 1	全身	男性	20代前	鮑屑入る、火葬痕有り、傷多数
35	甕棺	有り	不明	不明	不明	徳利・酒杯	一部	不明	20～30代	
36	甕棺	有り	不明	不明	不明	徳利・酒杯・煙管雁首	一部	男性	30代	初燬入る
37	甕棺	有り	不明	不明	不明	煙管雁首	少量	男性	70代	初燬入る
38	甕棺	無し	南	北	座位	数珠玉（青） 2	全身	女性	70代	
39	座棺	無し	西	東	座位	無し	全身	女性	20～30代	頭蓋内部に縫合有り、歯の磨耗ほとんど無し
40	座棺	有り	北	南	座位	プラスチック製飾・アルミ銭	脚骨のみ	女性	成人	
41	座棺	有り	不明	不明	不明	数珠玉 2	一部	女性	50代	
42	骨壺	無し	—	—	—	無し	火葬骨	不明	不明	
43	座棺	無し	不明	不明	不明	陶製人形・馬	一部	不明	10代	乳歯有り
44	不明	有り	不明	不明	不明	無し	一部	不明	壮年	墓壇上部より指輪付き指骨
45	甕棺	無し	不明	不明	不明	無し	全身	不明	生後 1 才未満	木蓋か？
46	座棺	無し	南	北	座位	無し	全身	女性	10後～20前	頭髮が膝の間に置かれる
47	座棺	無し	東	西	座位	無し	全身	女性？	60代	
48	臥棺	無し	北	西	左横臥屈肢	数珠玉 5	全身	男性	70代	墓壇上部に一銭銅貨 4 枚、かなり長頭
49	座棺	無し	東	西	座位	六道銭（寛永通寶）	全身	女性	成人	
50	座棺	無し	東	西	座位	無し	一部	不明	30～40代	
51	座棺	無し	西	東	座位	煙管・六道銭・銅製金具	全身	男性	70代	頭蓋冠に凹凸有り
52	座棺？	有り	不明	不明	不明	無し	一部	不明	60代	金歯
53	不明	不明	不明	不明	不明	無し	無し	—	—	掘り方のみ残る
54	座棺	有り	不明	不明	不明	無し	頭骨のみ	不明	不明	
55	座棺	有り	西	不明	座位	無し	頭骨無し、下顎以下残る	男性？	50～60代	
56	甕棺	有り	不明	不明	不明	無し	無し	—	—	円形の掘り方のみ残る

はこれを前後する年代が想定される。よって、これら清銭も江戸時代に輸入されたものではなく、明治期以降にもたらされた銭で、当時小額銭として依然として流通していた穴開き銭の一つであった可能性が高い。これを裏づけるように明治19年の大蔵省出納局長からの日本銀行への通知に「中国銅銭 永楽・道光・康熙・咸豊」を旧来どおり受けとるよう指示が出されている。

b. 縄文時代・古代の遺構・遺物

調査区全体で8世紀後半～9世紀初めにかけての古代遺構を確認した。検出した遺構は、竪穴住居跡20基、掘立柱建物2基、土塋6基、溝3条、道路跡などがある（図4）。Ⅱ区を中心に7世紀代に遡る遺構も含まれる。また、調査区中央部を流れる大溝（20号溝）は近世末以降のものである。

<道路跡>（図4）

I区で検出した道路跡は、2号溝と3号溝に挟まれた幅約4m（溝の心々で6m）ほどのもので、ほぼ南北方向をとる。この2つの溝は断面形状に差があり、出土遺物の量も3号溝が少ないなど、若干様相を異にしている。しかし、道路面には部分的ではあるが細かい礫を含む暗茶色褐土層が10cmほど残っており、敷き詰められた舗装面が存在した可能性がある。また、溝の間には遺構が存在しないことから、道路面と認定して間違いないであろう。2・3号溝は幅2.5m、深さ1mあまりで、断面形はゆるいV字形を呈する。土層の堆積状況を観察すると、底面近くは幅1mほどの台形状に掘り返しが行われ、最終的には一度期に埋め戻しが行われている状況がうかがえる（図12）。この埋め戻しの際に、2号溝・3号溝ともに部分的ではあるが、白色粘土塊が多量に投棄されていた状況を観察できた。2つの溝には2ヶ所ほど両岸に3～5本の杭を打ち込んだ痕跡があり、橋もしくは高架式の便所の可能性もある（図版15：写真81）。

<溝>

20号溝（図4）

調査区中央部を北から南へ貫く幅5m、深さ1.5mの大溝である。基本層序の3層で覆われる。その下部の覆土から近世陶磁器が検出された。

1号溝（図4・11・12）

2号溝と3号溝で挟まれた道路の側溝が埋まった後、調査区の西方向から延び、道路部分を横断して、方向を北に変えて、2号溝に重なるように延びる溝が1号溝である。調査区ほぼ中央で20号溝を挟むように幅が5mほどに拡張する部分（溜池）になり、水はこの部分から南へ流れていたと考えられる。それ以外の部分の幅は1mほどで、深さは最深部分で検出面から1.8mほどである。断面形はU字形で、壁は垂直に立ち上

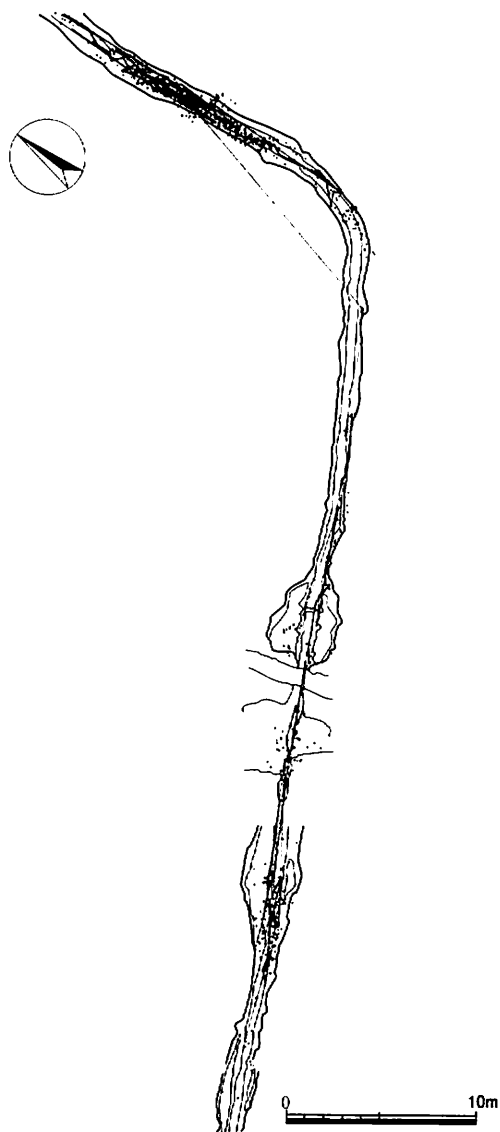
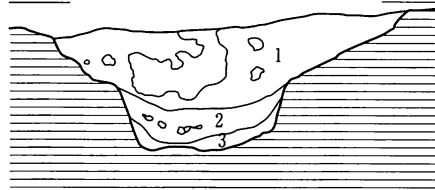


図11 1号溝遺物接合状況（1/400）

2号溝

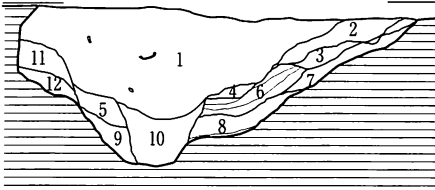
LH=13.20m



- 1層：黒褐色土 (Hue 5YR 2/2)
 2層：暗赤褐色土 (Hue 5YR 3/2)
 3層：極暗赤褐色土 (Hue 5YR 2/3) 硬くしまる鉄分沈殿層

3号溝

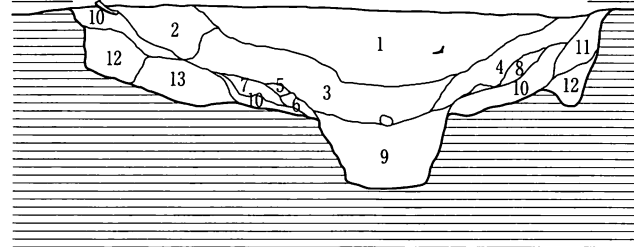
LH=13.20m



- | | |
|--------------------------|----------------------------|
| 1層：極暗褐色土 (Hue 7.5YR 2/3) | 8層：黒褐色土 (Hue 10YR 2/3) |
| 2層：黒褐色土 (Hue 7.5YR 3/2) | 鉄分の沈殿層混じる |
| 3層：極暗褐色土 (Hue 7.5YR 2/3) | 9層：暗褐色土 (Hue 7.5YR 3/4) 硬い |
| 4層：黒褐色土 (Hue 10YR 2/3) | 10層：黒褐色土 (Hue 10YR 2/2) |
| 5層：黒褐色土 (Hue 7.5YR 3/2) | 11層：黒褐色土 (Hue 7.5YR 3/2) |
| 6層：黒褐色土 (Hue 7.5YR 3/2) | 12層：極暗褐色土 (Hue 7.5YR 2/3) |
| 7層：暗褐色土 (Hue 7.5YR 3/3) | |

1号溝拡張部

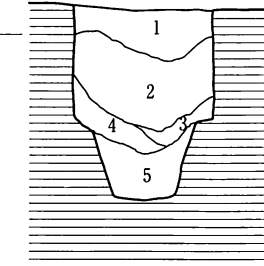
LH=13.10m



- 1層：黒褐色土 (Hue 10YR 2/3) パミス直径5mm大の焼土 (赤色) を少し含む
 2層：暗褐色土 (Hue 10YR 3/4)
 3層：黒褐色土 (Hue 7.5YR 3/2) 直径2~3cmの黄褐色砂 (岩) (Hue 2.5YR 5/4) を多く含む
 4層：暗褐色土 (Hue 7.5YR 3/3) 焼土直径5mm (赤色) を含む
 5層：にぶい黄褐色砂質土 (Hue 10YR 4/3)
 6層：暗褐色土 (Hue 10YR 3/3)
 7層：黒褐色土 (Hue 10YR 2/3) 粘性がある
 8層：暗褐色土 (Hue 7.5YR 3/3) 焼土 (Hue 5YR 4/3) ・灰含む
 9層：褐色土 (Hue 10YR 4/4)
 10層：灰黄褐色砂質土 (Hue 10YR 4/2) 地山の砂・砂岩を含む
 11層：暗褐色土 (Hue 10YR 3/3) やわらかい 赤色のパミス状の粘土 (焼土) 含む
 12層：黒褐色土 (Hue 10YR 2/3) 少し粘性あり
 13層：褐色土 (Hue 10YR 4/6) 均質でまじりがない

1号溝

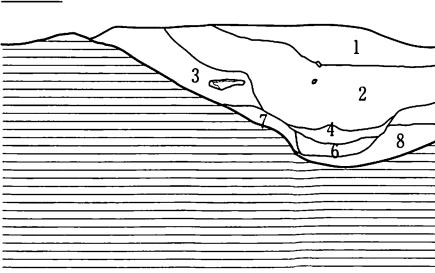
LH=13.00m



- 1層：褐色土 (Hue 10YR 4/4)
 約3cm大の灰色の砂岩ブロックをまばらに含む
 2層：暗褐色土 (Hue 10YR 3/3)
 灰色の砂岩ブロックと炭化物のブロックを含む
 3層：褐色土 (Hue 10YR 4/6)
 4層：にぶい黄褐色土 (Hue 10YR 4/3)
 3~5cm大の灰色の砂岩ブロックを含む
 5層：暗褐色土 (Hue 10YR 3/3)
 約7cm大の砂岩ブロックを含む

図12 1~3号溝土層断面実測図 (1/50)

3号溝



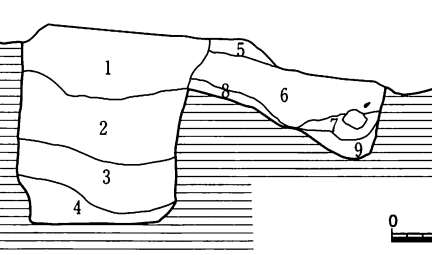
- 1層：褐色土 (Hue 10YR 4/4)
 2層：褐色土 (Hue 10YR 4/4)
 炭化物や土器片・小石等を含む
 3層：褐色土 (Hue 7.5YR 4/4)
 4層：褐色土 (Hue 7.5YR 4/4)
 6層に含まれているような砂粒を若干含む
 5層：黒褐色土 (Hue 7.5YR 3/2)
 6層：にぶい黄褐色土 (Hue 10YR 4/3) 砂質
 7層：暗褐色土 (Hue 10YR 3/4)
 8層：黒褐色土 (Hue 7.5YR 3/2)

- 1層：暗褐色土 (Hue 7.5YR 3/4) 1mm~1cmの礫や炭化物を含む
 2層：褐色土 (Hue 7.5YR 4/4) 砂礫が多く混ざる
 3層：暗褐色土 (Hue 10YR 3/4) にぶい黄褐色 (Hue 10YR 4/3) の砂質ブロック・炭化物が入る
 4層：暗褐色土 (Hue 10YR 3/3) 砂礫を含む
 5層：褐色土 (Hue 10YR 4/4) 1mm~1cm大の礫・砂礫を含む
 6層：暗褐色土 (Hue 10YR 3/4) 土器片・炭化物・砂礫を含む
 7層：暗褐色土 (Hue 10YR 3/3) 砂礫・小石・土器片を含む
 8層：暗褐色土 (Hue 10YR 3/4) にぶい黄褐色 (Hue 10YR 4/3) の砂質ブロックが入る
 9層：暗褐色土 (Hue 10YR 3/4) 1cm大の砂礫や炭化物を含む

LH=13.50m

1号溝

2号溝



0 2m

がる。覆土は灰や焼土を混じるもので、部分的に堆積状況は異なるが、ほぼ全域に白灰色土層が50cm以上の厚さで堆積していた。2号溝に重なる部分には多量の遺物が廃棄されており、遺物の接合状況や埋土の堆積状況から、火事場処理の廃棄物を一度に溝中へ廃棄したものと考えられる。総量でコンテナ箱80個分の土器類を中心とする遺物が出土している。

遺物（須恵器・土師器）の位置を記録したものの中で、それらの接合状況を線で結んで表示したのが図11である。遺物の集中は2号溝と重なる北東部分であり、ここに分布する遺物間で接合例が多い。15mほど離れたものが接合した例がある。また、東－西方向の部分においても接合例が認められ10m間隔のものがよく接合している。また、これら集中区を繋ぐ遺物も存在する。

<住居址>

6区1号住居址（図13）

6区の東端で検出した長さ1.8m、幅1.5mの正方形に近い小形の竪穴住居址である。北東隅を攪乱によって一部破壊されるが、深さは検出面から25cmほどで残存状況は良好である。床面中央部に直径1mほどの硬化面が認められ、その上部と南西隅に破片の状態で土器類が検出された。土器片は土師器を中心としたもので、火を受けて表面が薄く剥げた状態のものがほとんどである。

9区1・2号住居址（図13）

9区は8区と連続して東側に位置する調査区であるが、西側を攪乱によって大きく破壊されている。5×3mほどの部分の未攪乱の部分で隣接する竈2基を検出した。竈1は調査区北西隅に、竈2は調査区ほぼ中央に位置している。掘り下げると幅3×2.5mの竪穴住居（硬化面の広がり）を確認した。この部分の中央に竈2があり、支柱が残っていることから、2基の竪穴住居址が重なったもので、竈2が新しく、床面はこれより上位にあったものと判断した。第1号住居址は竈が北西隅につくタイプである。竈周辺からは砂岩礫に伴って数点の土師器が出土した。

8区1・2号住居址（図13）

8区の北西部に未攪乱の部分があり、そこで竪穴住居址のほぼ半分ほどのコーナー部分を検出し、調査区北東部の攪乱によって破壊された部分に50cm四方の焼土の広がりを確認した。前者を1号住居址、後者を2号住居址とした。

3区1・2・13・21号住居址（図14）

3区は調査範囲の西端に位置する4×8mの調査区で、地表から50cmほど掘り下げた時点で、南端に2.5×2mほどの不整形の硬化面を、北東隅に2×2mの範囲に砂岩礫と土器の破片が集中する部分が確認できた（第1面）。これを下げると、4基ほどの竪穴住居址が切り合っている状況が確認できた。調査区が狭いため、明確な切り合いの前後関係や各住居址の規模は把握できていない。うち調査区の北西部に竈を有する第13号住居址と南東部に住居址のおよそ半分ほどが検出された21号住居址が明らかな住居址と判断できたものである。3号住居址は南側の硬化面をもつ住居址と重なるが、その部分での平面形（壁面）は把握できなかった。また最終的に南西部に住居壁と思われる部分を確認した。これらをそれぞれ1号と2号住居址と称する。

4区1号住居址

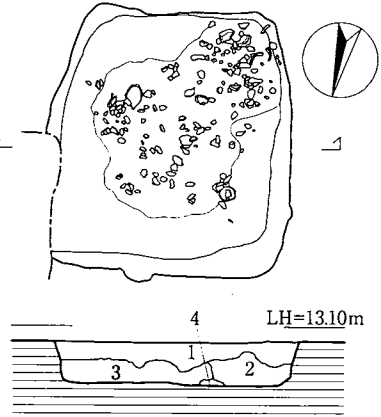
4区はそのほとんどを後世の攪乱によって破壊されていたが、南西隅に残る未破壊の部分（2×1m）に竪穴住居址の床と思われる硬化面と竈の粘土と思われるものを検出した。1号住居址と称する。

5区1号住居址（図14）

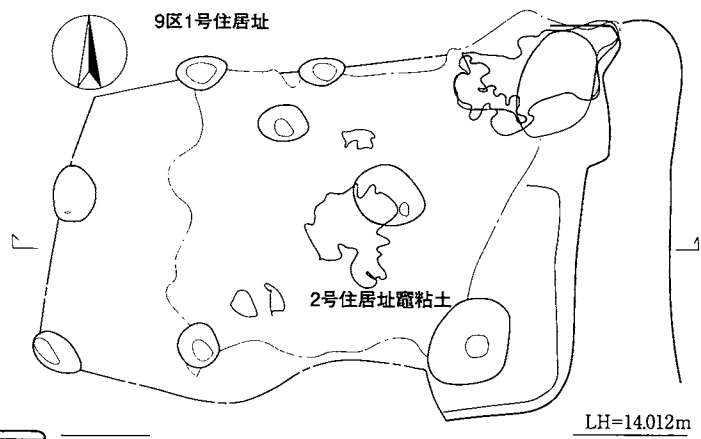
5区は4区に隣接する調査区（3×9m）である。その半分を後世の攪乱によって破壊されていたが、未破壊部分に20個ほどのピットと南西隅に破壊を免れ、良好な残存状態の竈1基を検出した。

1. 医学部校舎建設に伴う発掘調査（9601調査地点）

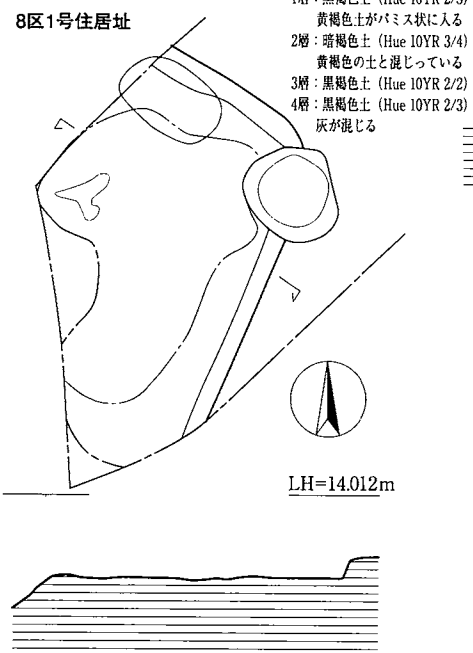
6区 1号住居址



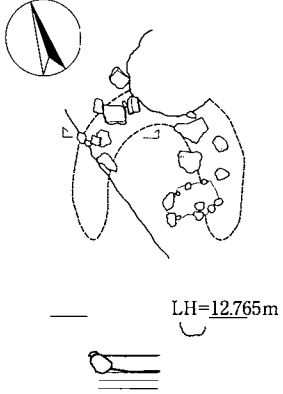
9区1号住居址



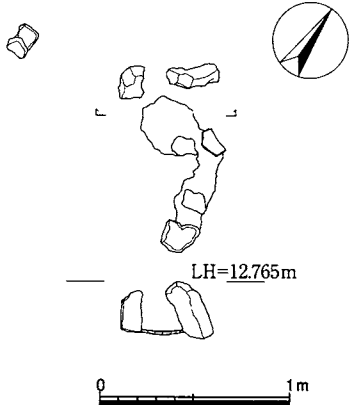
8区1号住居址



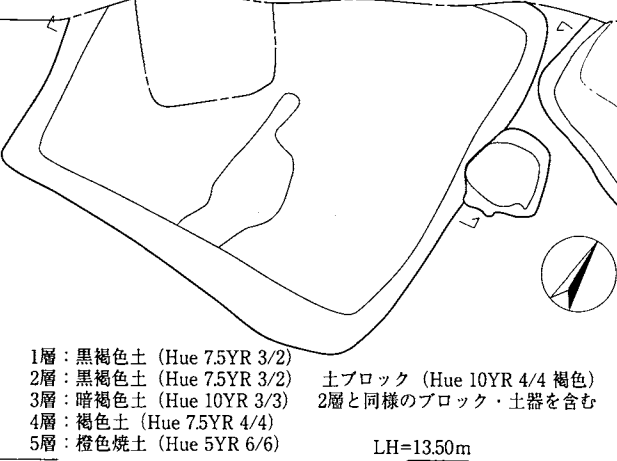
9区2号住居址竈



9区1号住居址竈



4号住居址



5号住居址

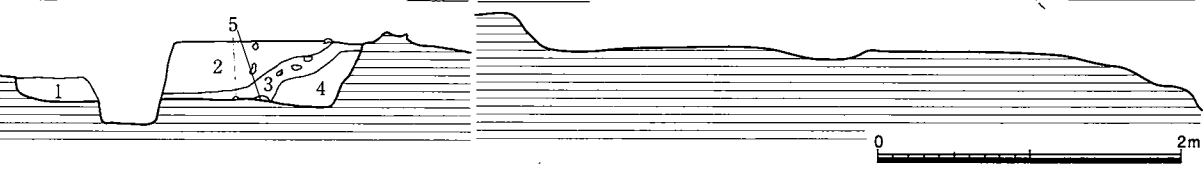


図13 各トレンチ検出の竪穴住居址実測図（1 / 50・1 / 40）

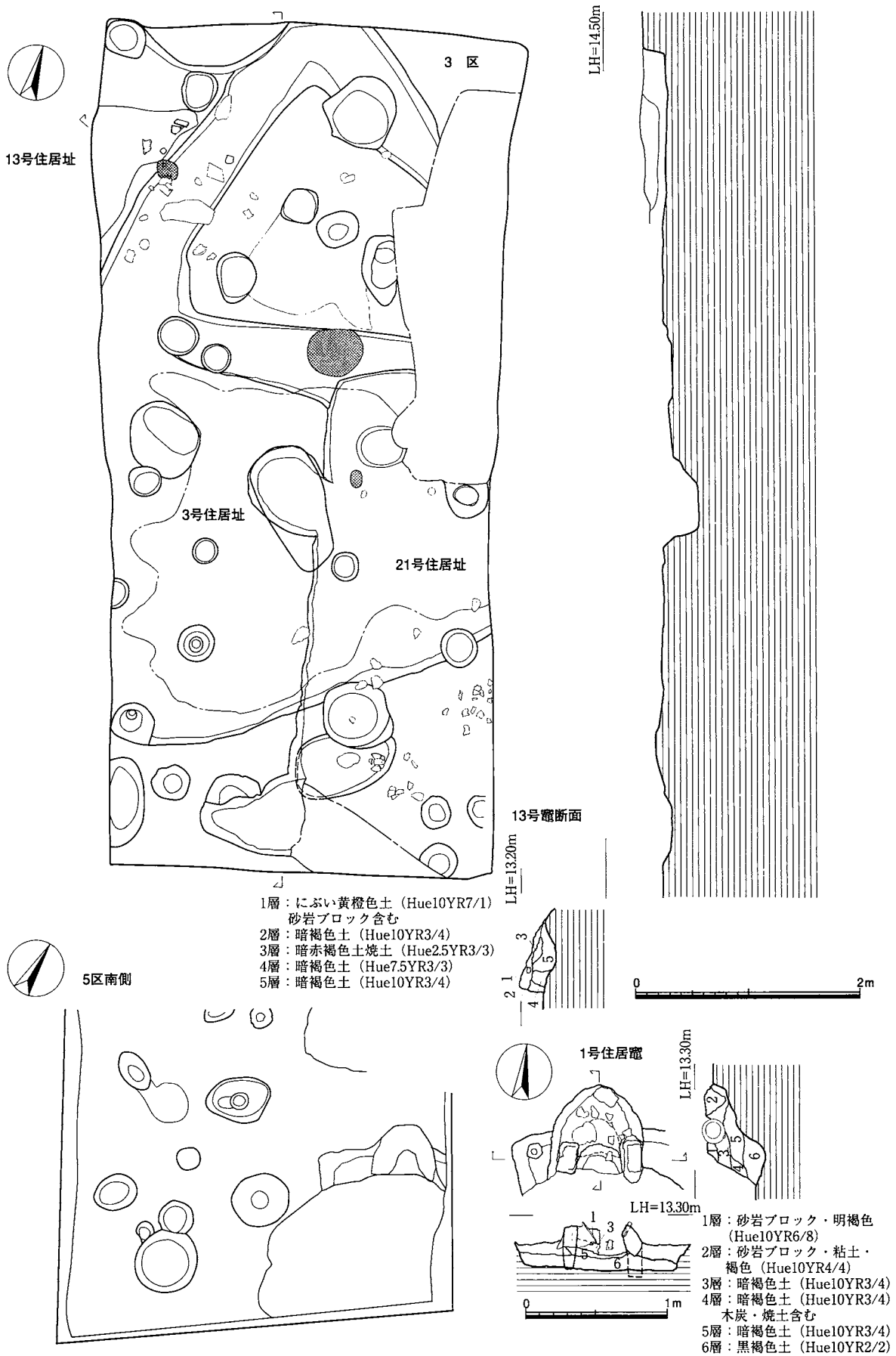


図14 3区遺構・5区1号住居址竈実測図 (1/50・1/40)

1. 医学部校舎建設に伴う発掘調査（9601調査地点）

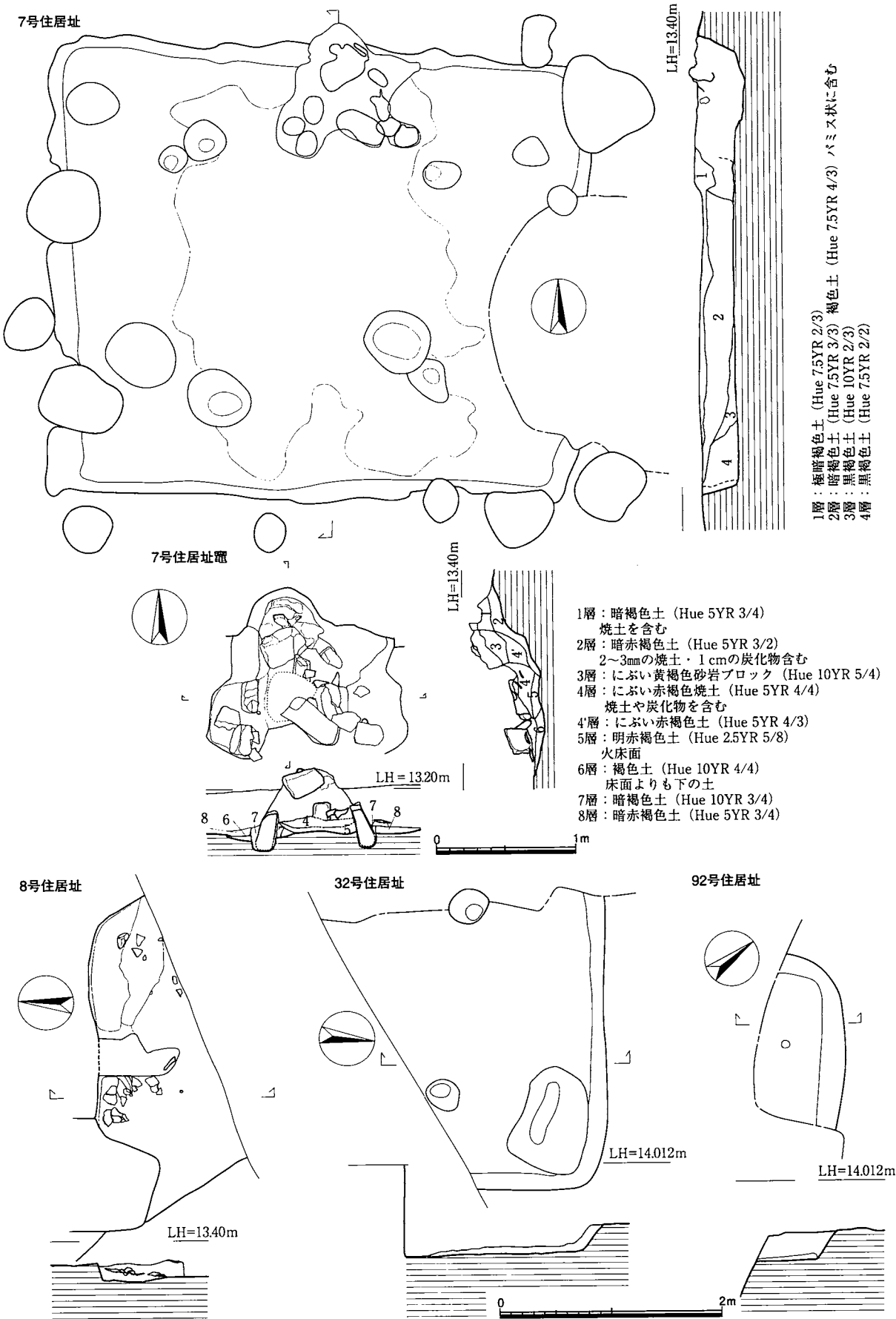


図15 7・8・32・92号竪穴住居址実測図（1/50・1/40）

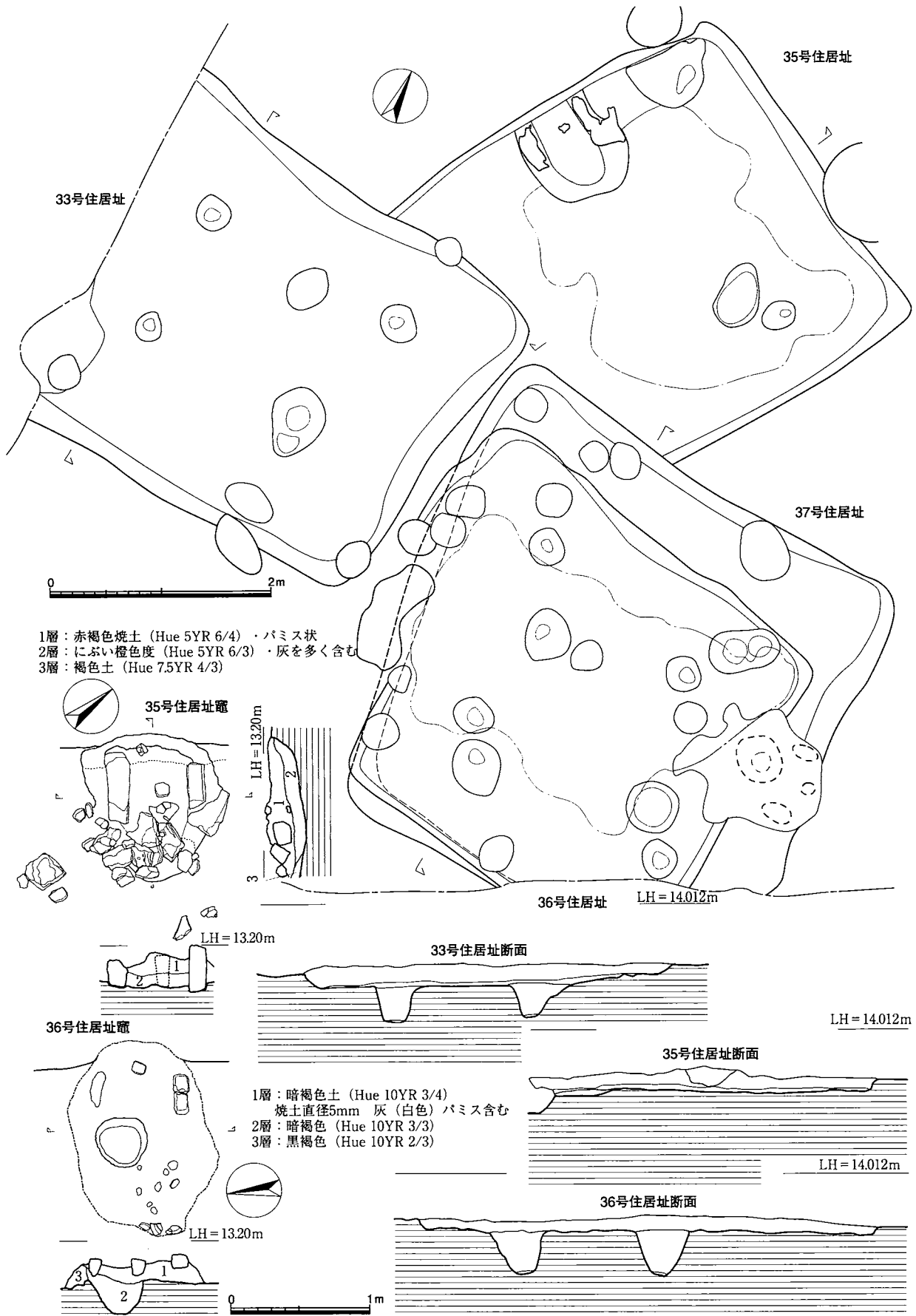


図16 33・35・36・37号竪穴住居址実測図 (1/50・1/40)

1. 医学部校舎建設に伴う発掘調査（9601調査地点）

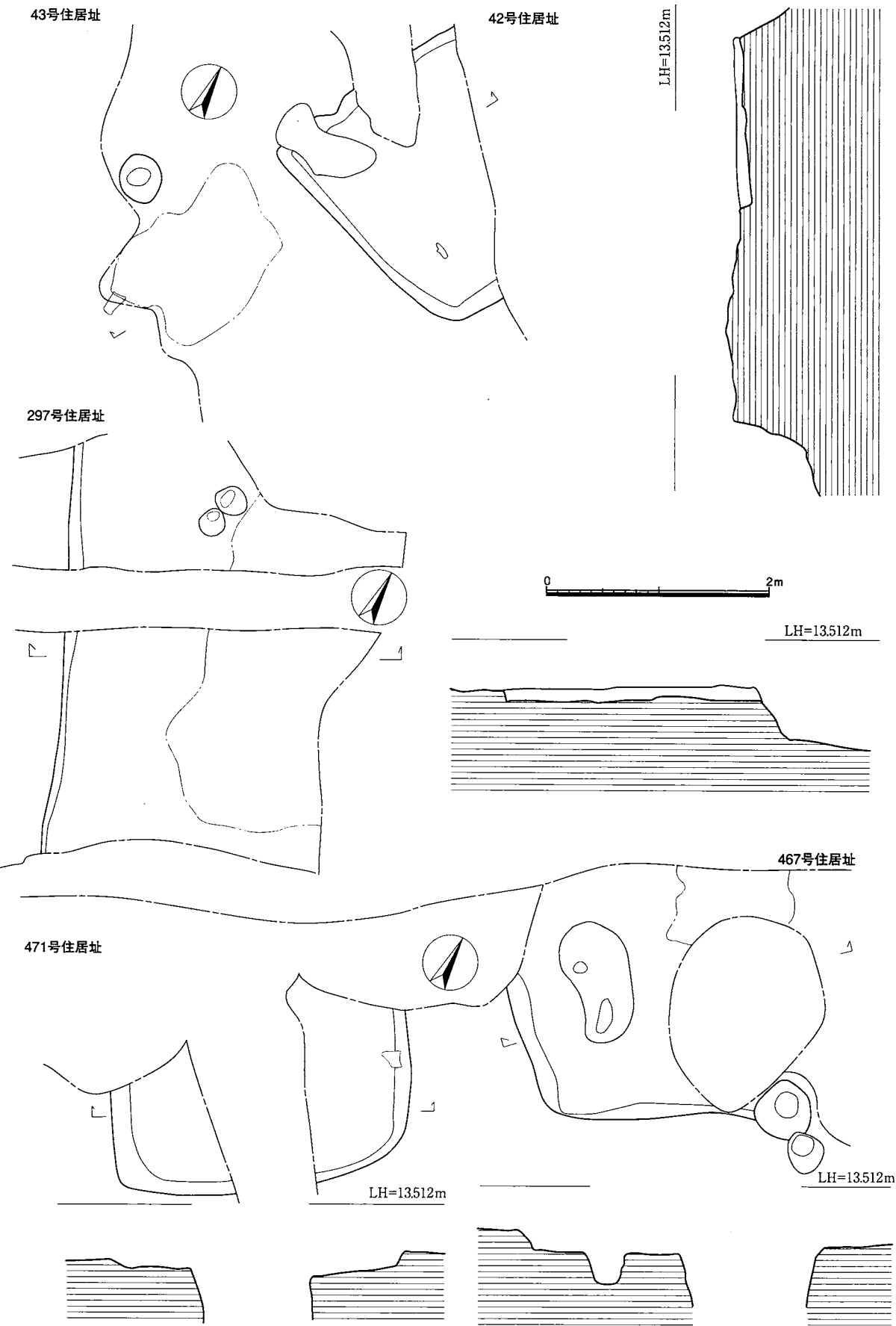


図17 42・43・297・467・471号竪穴住居址実測図（1/50）

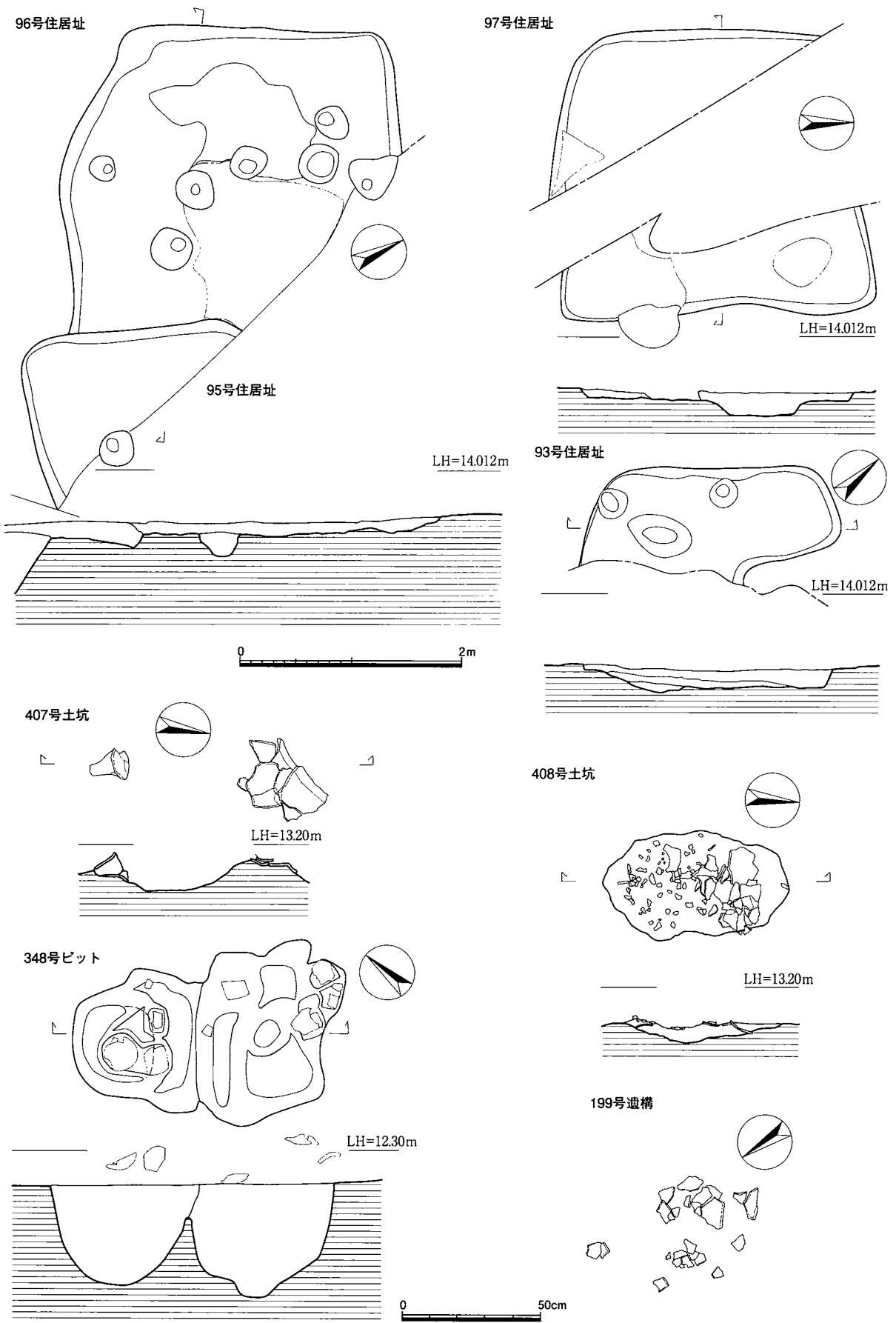


図18 93・95・96・97号住居址・407・408号土坑・348号ピット・199号遺構実測図（1/50・1/20）

（1号住居址とする）。竈は住居址の北辺に設置されたもので、解体すると、竈の中央部左側に完形の土師器甕（図20：129）が検出され、その周囲に破片になった土師器坏（図20：128）や須恵器坏蓋（図20：127）が散乱した状態で検出された。両袖の基礎石である砂岩礫とそれを覆う袖部分の粘土も良好に残っており、内部には灰土がかなり厚く堆積していることから、廃絶後に祭祀行為によって破壊されたものと推定される。

4・5・6号住居址（図13）

調査区Ⅰ区の北東部のほぼ中央、調査区壁と接する部分で検出した竪穴住居址である。4号住居址は2.5×2.5mほどの方形の竪穴住居址である。5号住居址はそれに隣接する若干大きめの住居址であるが、床部分のほとんどを攪乱によって破壊されている。南壁に近い部分から須恵器の円面硯（図31：452）が出土した。6号住居址は4号と平行して検出したものであるが、やや細長いプランをもつ。いずれも主軸はほぼ南北方向である。

7号住居址（図15）

調査区Ⅰ区のほぼ中央部、3号溝に平行する方向に軸をもつ竪穴住居址であり、今回の調査で検出した竪穴住居址中もっとも大きなものである。北辺中央に大きな竈が敷設されている。床面には硬化面が残り、その範囲の中に四個の柱穴が認められる。竈は砂岩角礫と粘土・焼土が散乱した状態で、両袖部の砂岩角礫2個が埋設状態を保っていたにすぎない。支柱も砂岩礫で作られている。

8号住居址（図15）

調査区Ⅰ区の南壁中央部に位置する軸を南北にとる竪穴住居址である。北壁に竈と思われる焼土や粘土塊が認められ、その近くから鉄製鎌（図35：540）と土師器甕（図31：469）が出土した。北辺の長さは3mほどである。

32・33・35・36・37号住居址（図15・16）

調査区Ⅰ区南西部に集中して切り合って位置する竪穴住居址であ。32号住居址は単独で検出したが、20号溝に破壊され、北東隅のみ残る。33号住居址も竈が存在したであろう西壁を20号溝に破壊されている。4本柱である。35号住居址は竈を西辺にもつ。竈は両袖部の砂岩礫製の袖基礎部と支柱が残存し、前面に破壊された壁体の砂岩礫が散乱していた。36号住居址は4×4mの正方形に近い竪穴住居址である。竈はほとんど破壊されているが、両袖の基礎石と支柱は残存していた。37号住居址は35号と36号に切られた部分にある。

その他の住居址（図17・18）

これ以外に部分的に破壊された竪穴住居址がⅡ区からも多数検出されている。43号住居址は南辺に竈の痕跡をとどめる。42号北西隅に焼土が認められた。ほぼ南北方向に基軸をもつものがほとんどである。

<掘立柱建物址>

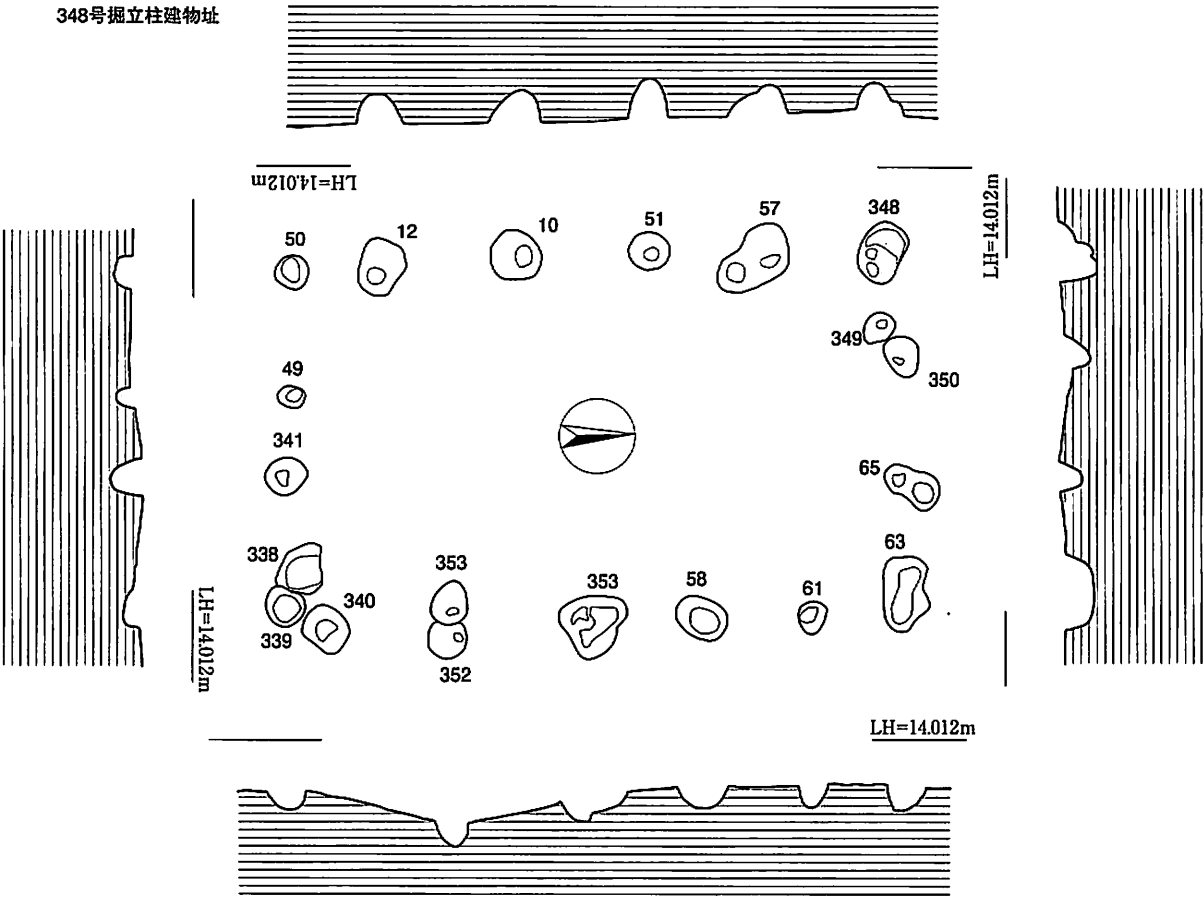
348号掘立柱建物址（図19）

本掘立柱建物址は、7号住居址に重なるようにして検出したため、調査の最終段階まで把握できていなかった。長軸方向はほぼ北である。建物の桁行4間、梁行3間で、柱痕跡からみて2回ほどの建て替えが認められる。北西隅の柱穴から土師器坏などの遺物が出土した。図31：471・472などの土師類が出土した（図18）。9世紀初め頃のものと考えられる。

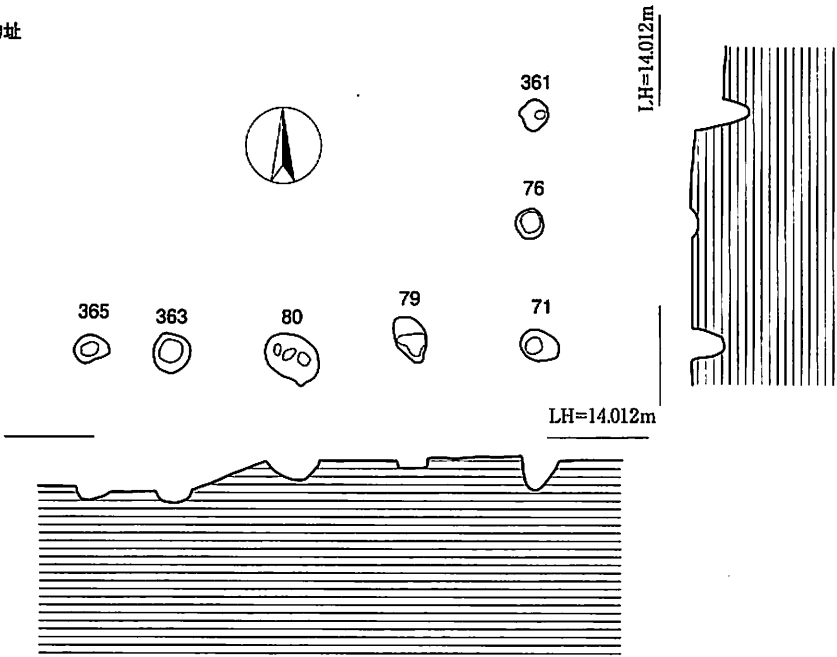
365号掘立柱建物址（図19）

348号掘立柱建物址の北東部に位置し、348号と同じ方向をもつ建物である。柱穴が調査区外へ延びるため、全容は不明である。348号とともに1号溝に付随する建物址と思われる。

348号掘立柱建物址



365号掘立柱建物址



0 4m

図19 348号・365号掘立柱建物址実測図 (1 / 100)

<土 坑>

407号土坑（図18）

土師器甑（図32：487）が焼けた状態で薄く剥がれた破片の状態で出土した。

408号土坑（図18）

鉢や高坏・甕（図32：488～490）などが集中して出土した。

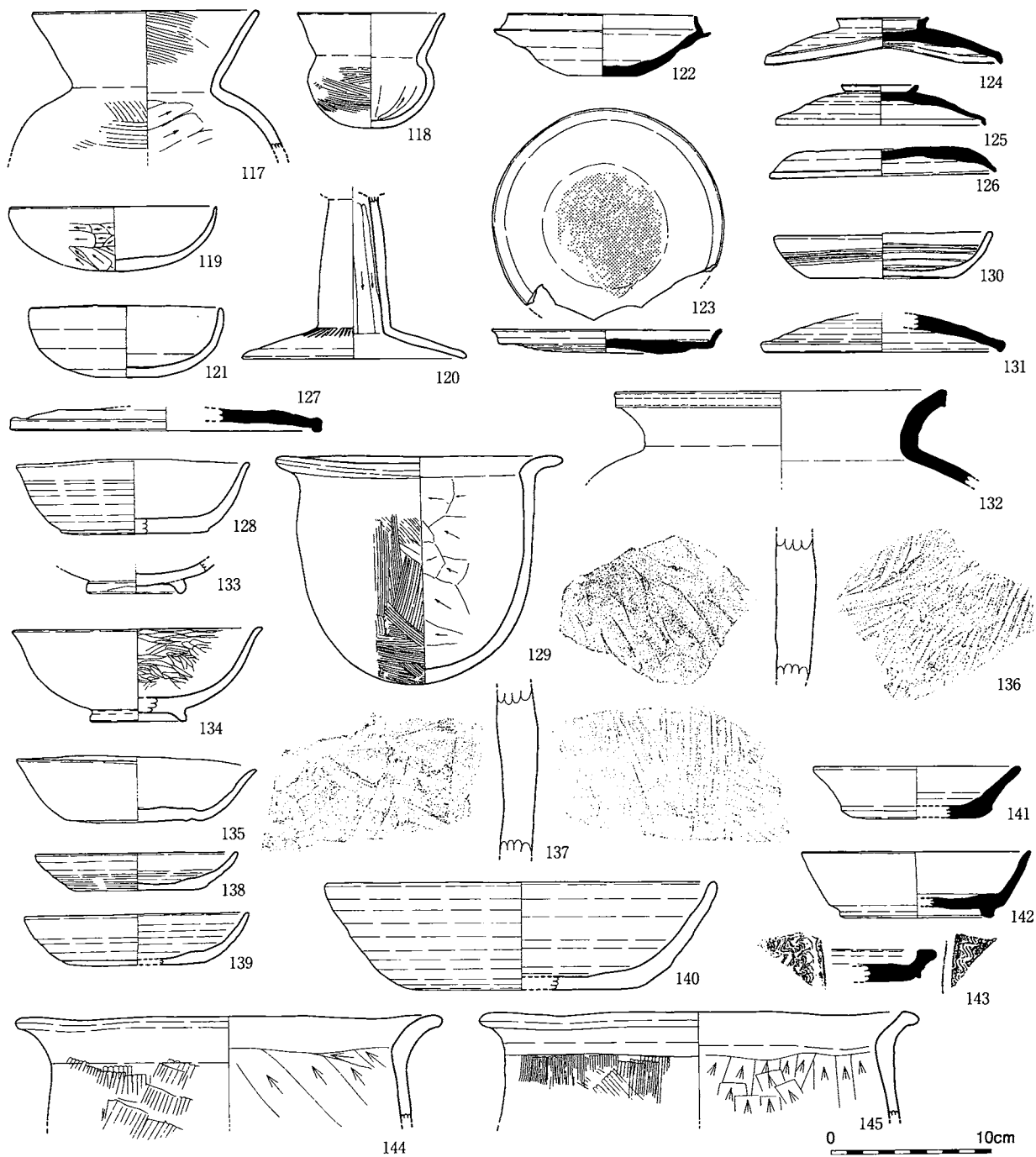


図20 9601調査地点各トレンチ出土遺物実測図（1 / 4）

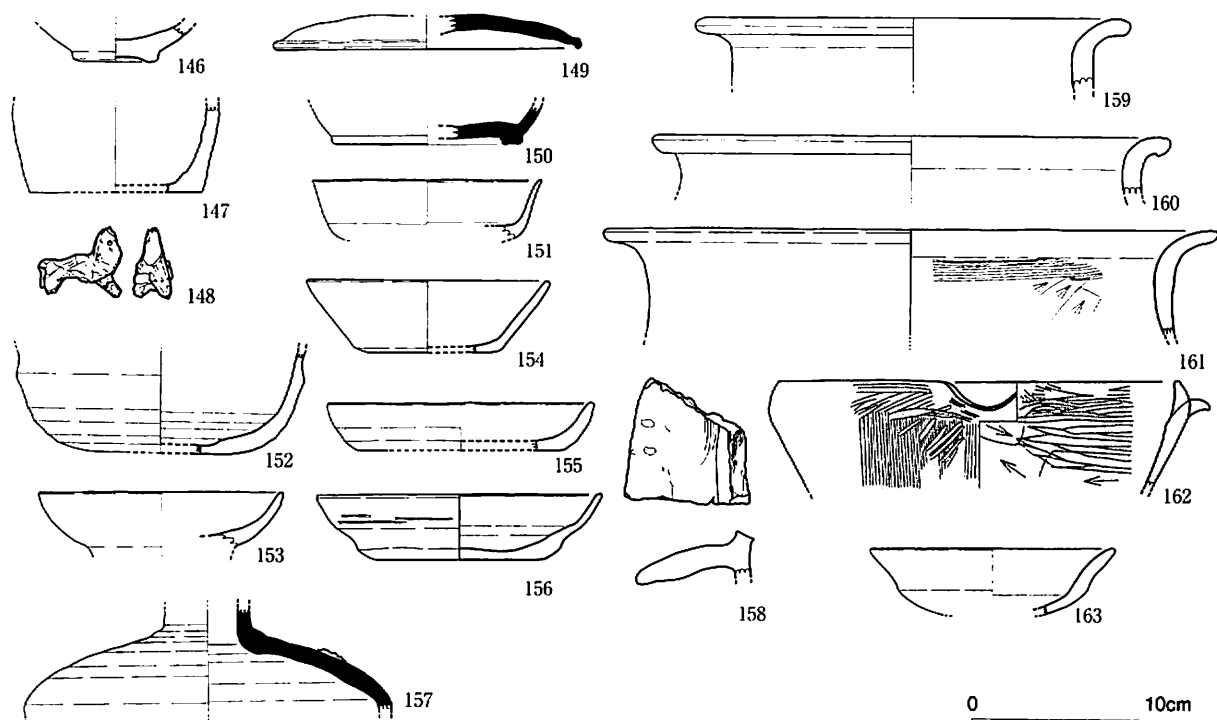


図21 20号溝出土遺物実測図 (1 / 4)

<出土遺物>

1～10区出土遺物 (図20)

図20：117～120は3区21号住居址から出土した古墳時代前期の土師器類である。5世紀代前半のものと考えられる。周辺地域の調査において、当該期の竪穴住居址が多数発見されつつあるが、本調査地点では本住居址1例のみである。122は須恵器坏で、若干時期が下る。本調査区からは古代の須恵器類も出土しており、123はつまみの無い須恵器の坏蓋で、内面に朱の痕跡が認められる。朱の皿として使用されたものである。127～129は5区1号住居址の竈から出土した。130は6区1号住居址から出土した丹塗り磨研の土師器坏である。133と134は8区から出土した内面黒色の土師器碗である。8区からは136・137のような移動式の竈片と思われる遺物も出土しており、時期的に新しい様相を示す。10区は調査面積が狭いため確認はできていない。硬化面などが存在し、住居内の様相を呈していた。出土遺物も8世紀後半代の土師器の坏・甕や須恵器の坏など(図20：138～143)が出土している。

20号溝出土遺物 (図21)

20号溝からは本調査地点でもっとも新しい遺構であり、近世陶磁器とともに、内部からは縄文～古代の遺物も一緒に出土している。146は唐津系の陶器皿、147は陶器壺の底部である。148は土製の玩具であり、これら遺物から近世に掘削された濠であることがわかる。

1号溝出土遺物 (図22～29)

1号溝は、今回の調査でもっとも多量に遺物を出土した遺構である。須恵器・土師器などの容器類のほか、鉄製鎌や斧などの鉄製品も出土した。

須恵器の器種には、大甕、甕、盤口壺、短口壺、坏、碗、高坏、皿、坏蓋、鉢(赤焼け)などがある。坏蓋(図22：164～204)は古いタイプの204を除いて、宝珠形や輪状のつまみをもつもので、古式の若干の背の高い径の小さなものも認められるが、大半は扁平な大型のものが主体を占め、8世紀後半～9世紀初頭の様相を示している。坏・皿(図23：205～227)も古墳時代の205を除くと、8世

1. 医学部校舎建設に伴う発掘調査（9601調査地点）

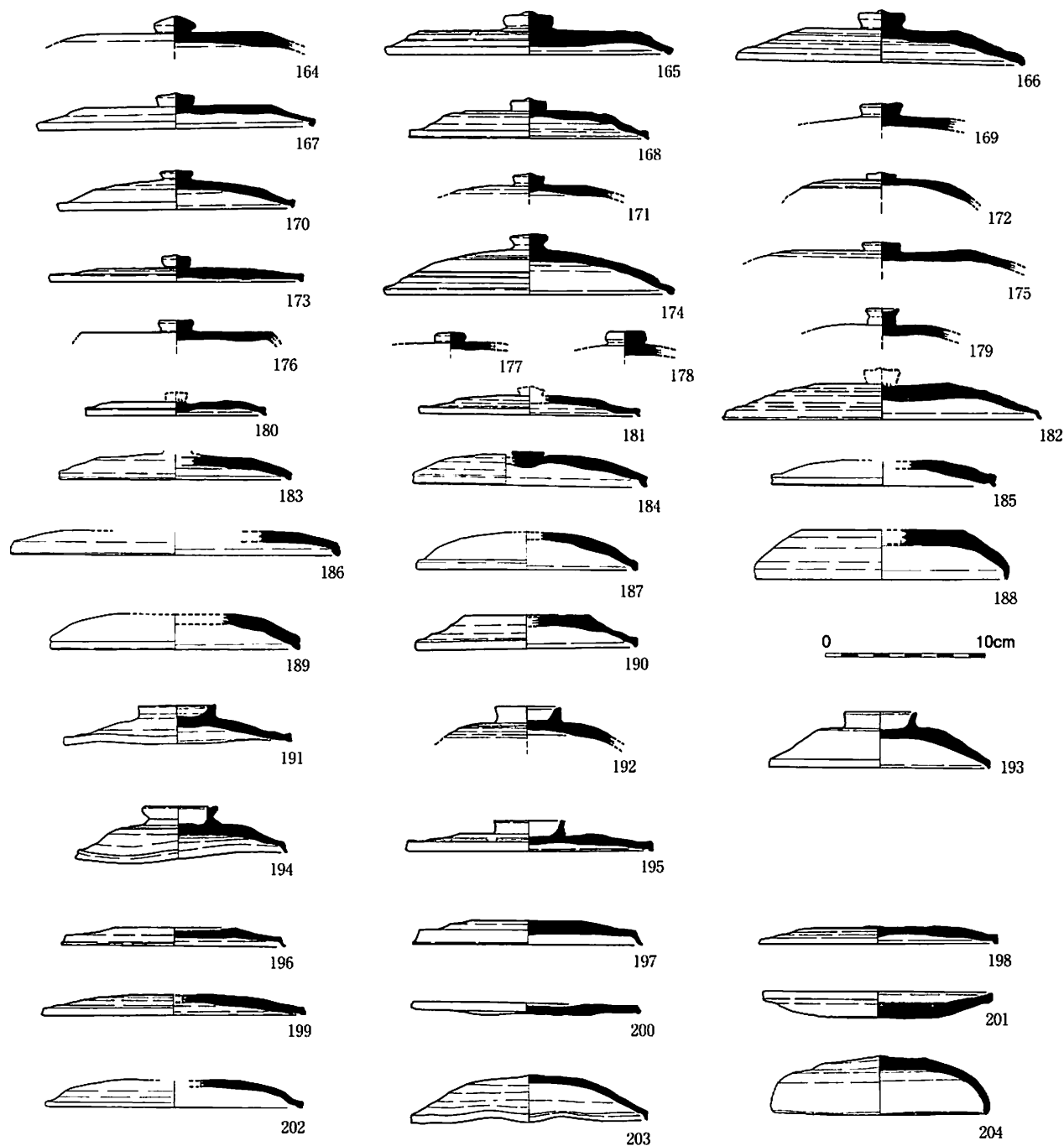


図22 1号溝出土遺物実測図1（1 / 4）

紀後半以降のものがほとんどである。碗（図23：228～258、図24：259～304）も時期の上るものも含まれているが、8世紀後半～9世紀初頭のもが主体を占める。304は若干時期の下るものであろう。また金属製の碗を模倣したようなもの（図26：335）もある。

その他の器種（図25・26）は上記三器種に比べ出土量はきわめて少ない。図25：311と312は赤焼の陶鉢である。315は口径40cmほどの大甕であり、復元すると1m近い器高になるものと思われる。

土師器には、甕、鉢、甗、坏（回転ヘラ磨き）、碗、高坏などがあり、これも須恵器と同じく、供膳具が主体を占める。坏・皿類は普通の回転ナデによる器面調整のものがほとんどであるが、赤色顔

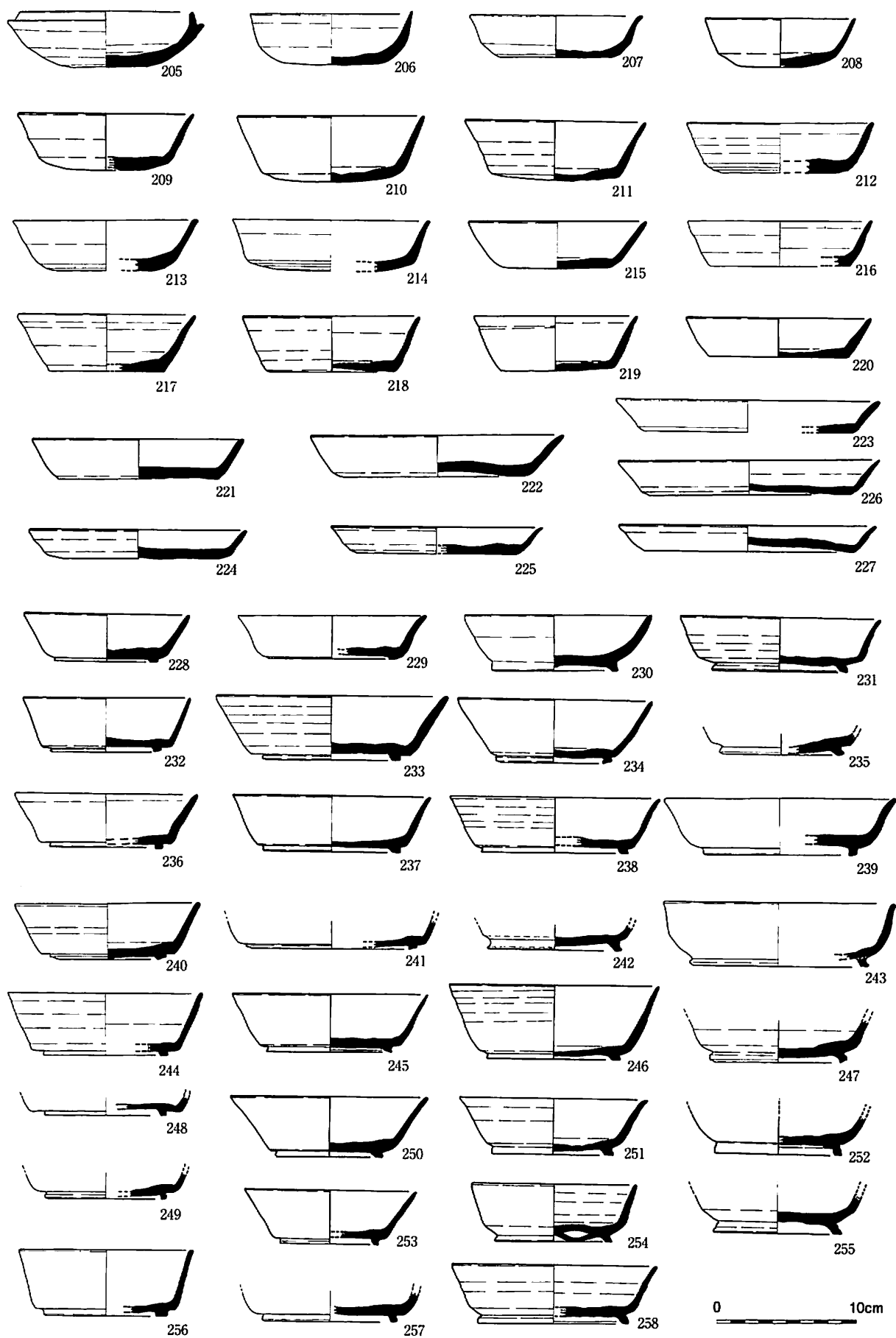


図23 1号溝出土遺物実測図2 (1 / 4)

1. 医学部校舎建設に伴う発掘調査（9601調査地点）

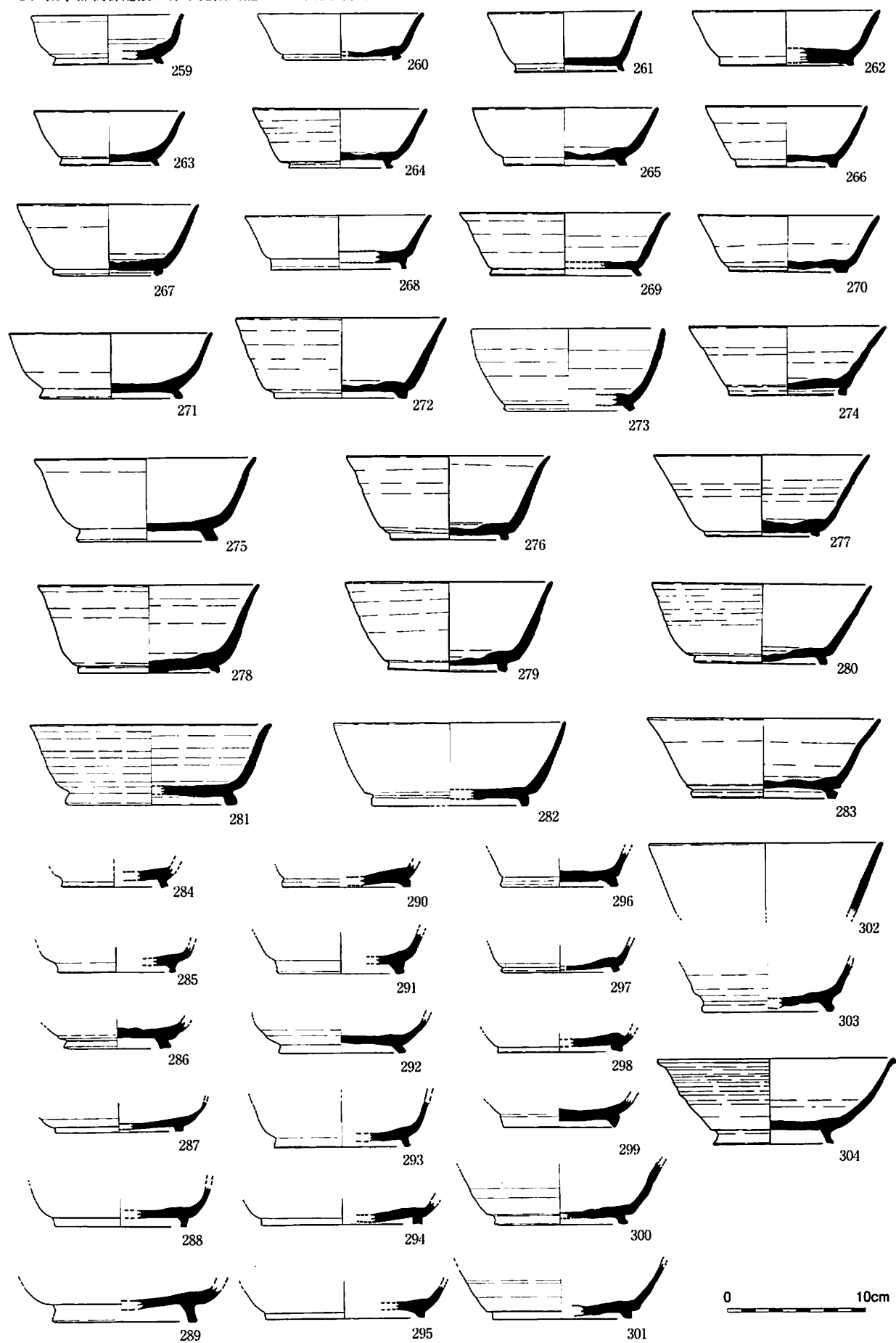


図24 1号溝出土遺物実測図3（1 / 4）

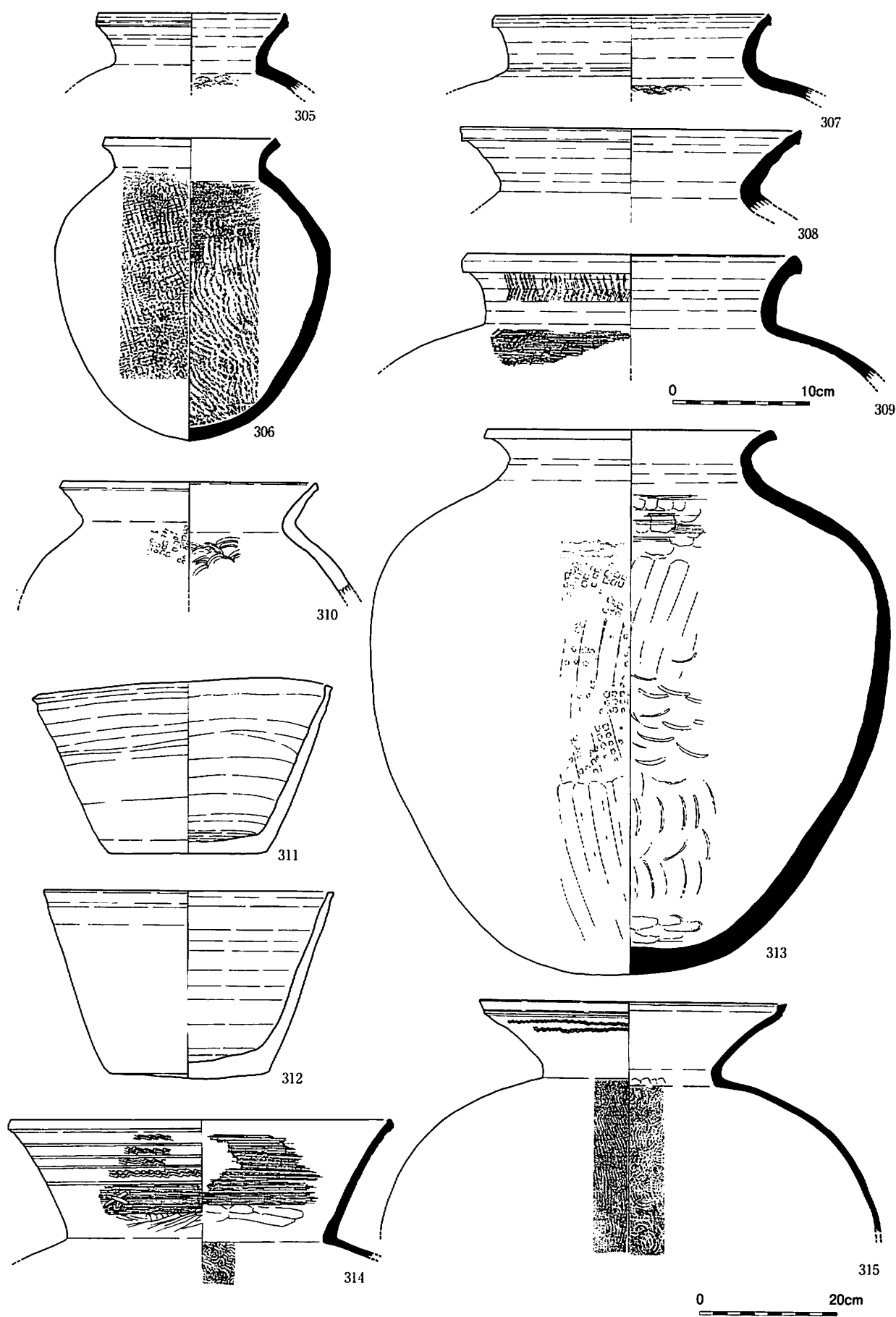


図25 1号溝出土遺物実測図4 (1 / 4・1 / 8)

1. 医学部校舎建設に伴う発掘調査 (9601調査地点)

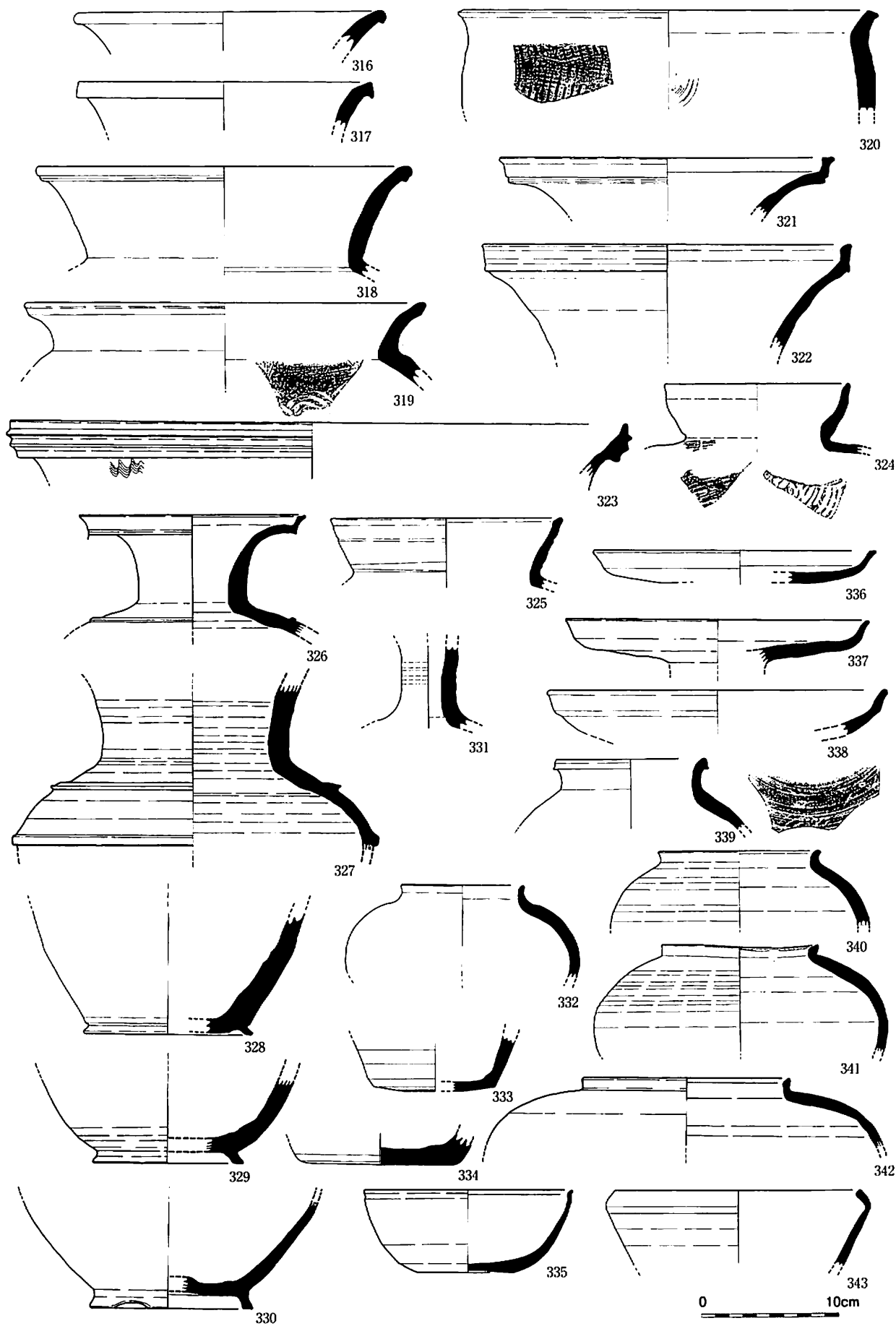


図26 1号溝出土遺物実測図 5 (1 / 4)

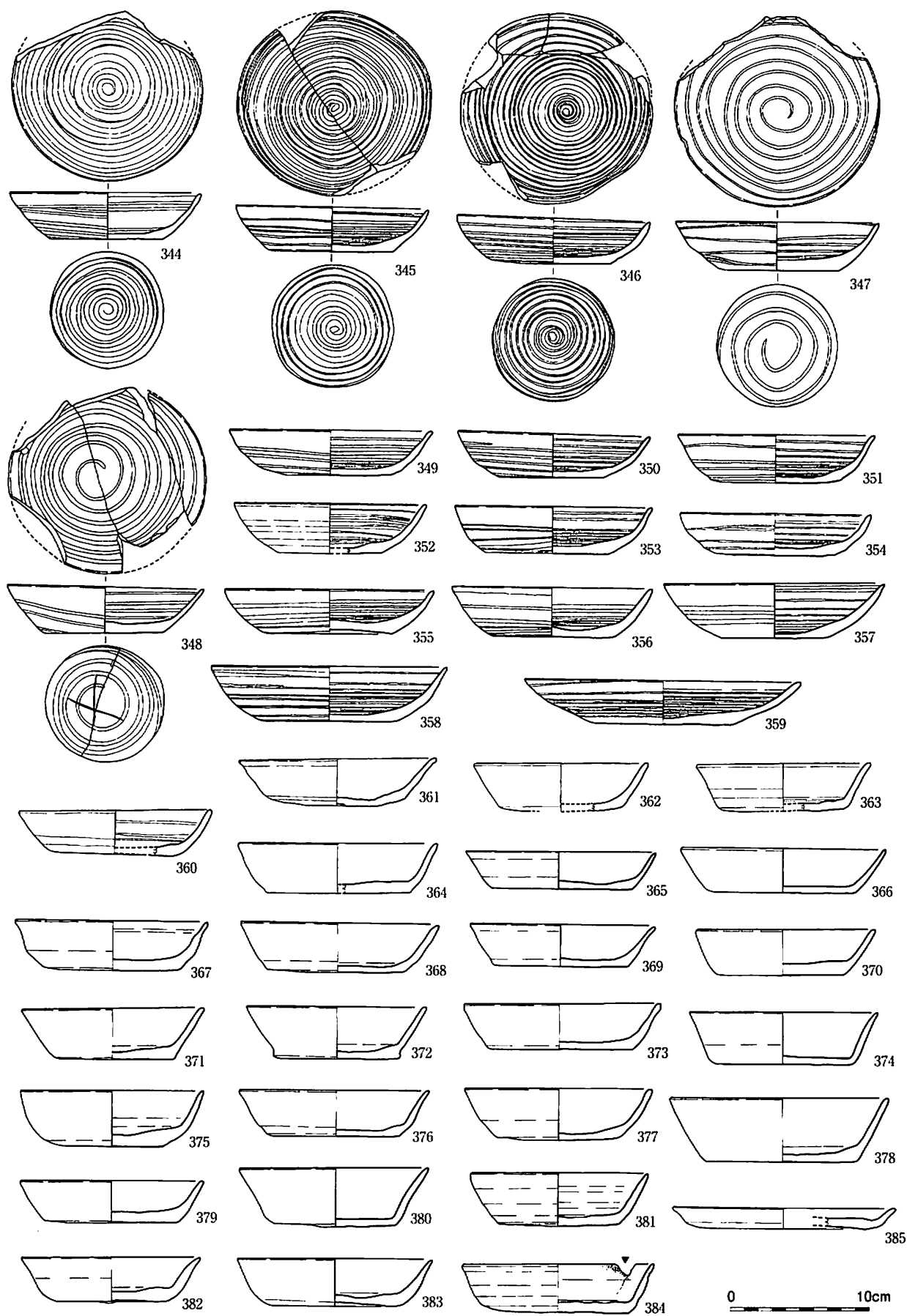


図27 1号溝出土遺物実測図6 (1 / 4)

1. 医学部校舎建設に伴う発掘調査 (9601調査地点)

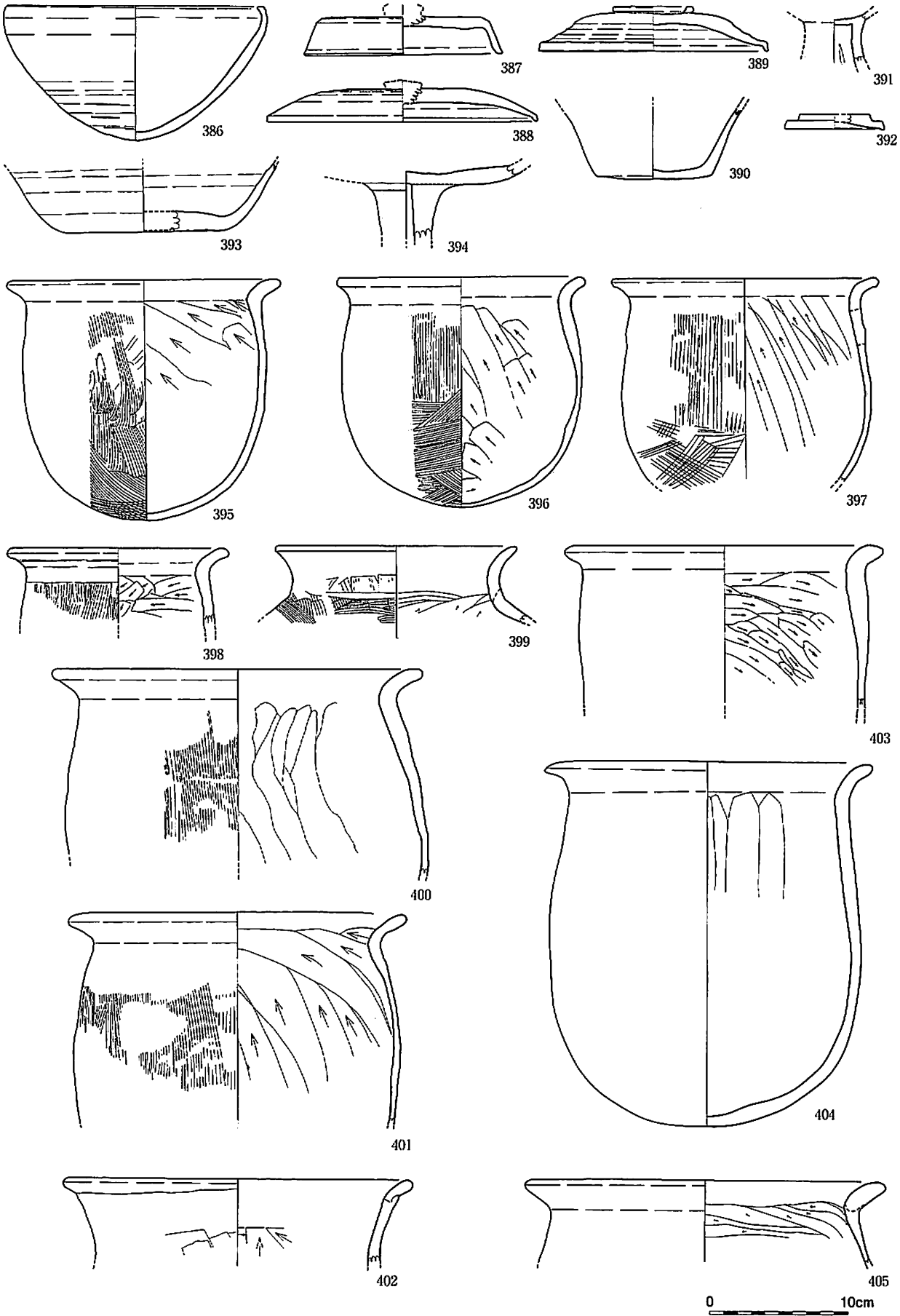


図28 1号溝出土遺物実測図7 (1 / 4)

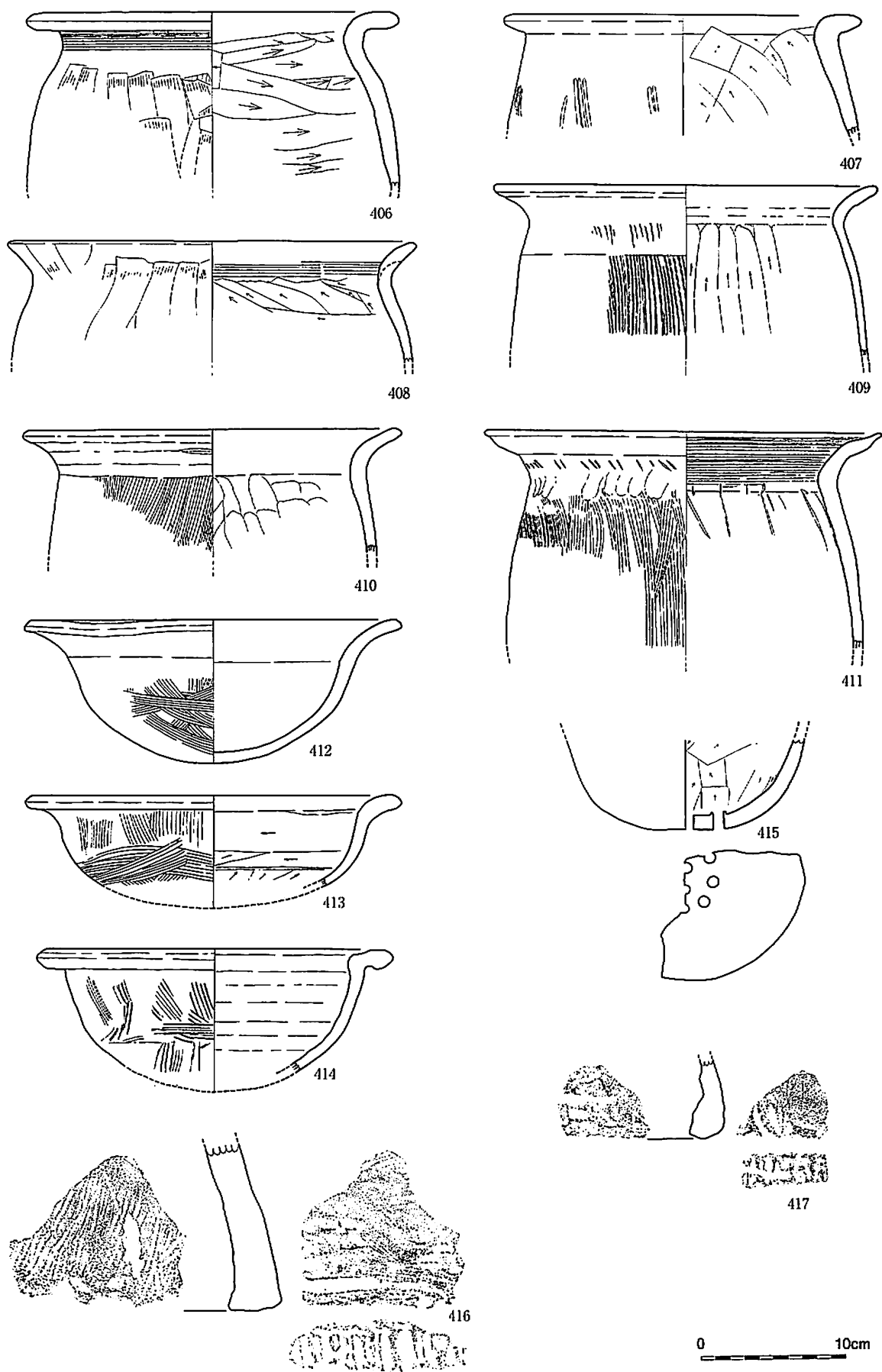


図29 1号溝出土遺物実測図8 (1 / 4)

料を入れた回転ヘラ磨きの優品がかなり多量に含まれている（図27：344～360）。須恵器を模倣した鉢や蓋、高坏などは量的にきわめて少ない。

これに対して煮沸用の甕の類（図28：395～405、図29：406～411）は多数出土している。このほか、鉢（図29：412～414）や甗（図29：415）も量的には甕に劣るが、若干含まれている。また、移動式竈の破片と思われる資料が2点（図29：416・417）発見されている。

2・3号溝出土遺物（図30）

2号溝は本調査区Ⅰ区において1号溝と重なるため、当初は遺物を分離して取上げていなかった。また、2・3号溝の埋め立てられた時期が1号溝と非常に近い時期と予想されるため、廃棄時期の遺物が区別しにくい状況である。遺物の構成は1号溝とよく似ている。

2・3号溝出土品も8世紀後半代の資料とともに、若干時期が上る資料（図30：418・419・443・445）などを含んでいる。図30：434は下層から出土した坏であるが、ヘラ切り離しの丸みを帯びた底部をもっている。図30：438の土師器甕も1号溝出土品とは形態的に異なっている。これらの点からみて、2・3号溝の掘削時期は7世紀末～8世紀初頭までは遡る可能性がある。

住居址その他遺構出土遺物（図31・32）

図31：452は調査区5号住居址から出土した須恵器の円面硯である。海と陸部の一部で、脚部などを破損している。使用によって陸部の削りの稜が摩滅している。図31：454～457は7号住居址から出土した土師器の甕と坏である。図31：459は32号住居址から出土した土師器坏である。図31：460は35号住居址から出土した土師器坏の破片である。図31：461・462は36号住居址から出土した須恵器碗と土師器坏である。これら住居址は33号・37号住居址との切り合い関係があるが、36号住居址が切り合い関係においてももっとも新しく8世紀後半代と考えられ、33・35号住居が明確な時期決定の遺物はないが、4本柱という住居址の構造から7世紀末から8世紀初頭のものと推定される。図31：463～468は42号住居址から出土した土師器坏類である。図31：475～477は96号住居址から出土した須恵器坏・蓋と土師器甕であり、7世紀末～8世紀初頭の様相を示している。図31：478・479は97号住居址出土の須恵器碗と土師器碗である。8世紀後半代のものと思われる。図32：485は297号住居址から出土した土師器甕の口縁部の破片である。図32：491～493は近代墓地の下部で検出した500号竪穴住居址出土遺物である。8世紀後半代遺構の特徴を示す。本住居址は、攪乱が著しく、わずかな掘方を確認したにすぎない（図版8・写真54）。

ヘラ書き・墨書土器（図33・34）

土師器坏の内面にヘラもしくは刀子によって文字を刻んだものがある。1号溝を中心に23点出土した。すべて焼成前の刻書である。文字としては「杵本」および「杵本寺」と書いたものが6点と一番多い。これは音で「くほんじ」と読むことができる。この一帯は「九品寺」の地名があり、本来は「久本寺」がこの地名の由来であったと思われる。これに関連すると思われる「佛」銘のヘラ書きがある。これらはいずれも在地産の坏であり、煤が付着し、器表面の荒れも著しいことから、灯明皿として長期間使用されたものと思われる。この多量の使用場所を示す灯明皿の存在から、1号溝で囲まれた範囲におそらくこの地域の豪族の氏寺と考えられる「久本寺」が存在していたことを示している。これら土師器坏は灯明皿として特別に注文生産された製品であった可能性が高い。

ヘラ書き土器には、これ以外に、「立人カ」が2点、「田井」銘が3点（うち1点是不鮮明）ある。図33：515は「二カ」、図33：507は「屎」である。また、円文刺突や×印を書いたものなどの例がある。

墨書は、土師器坏以外に、須恵器の碗などにも認められ、底部外面に記される。しかし、破片が小

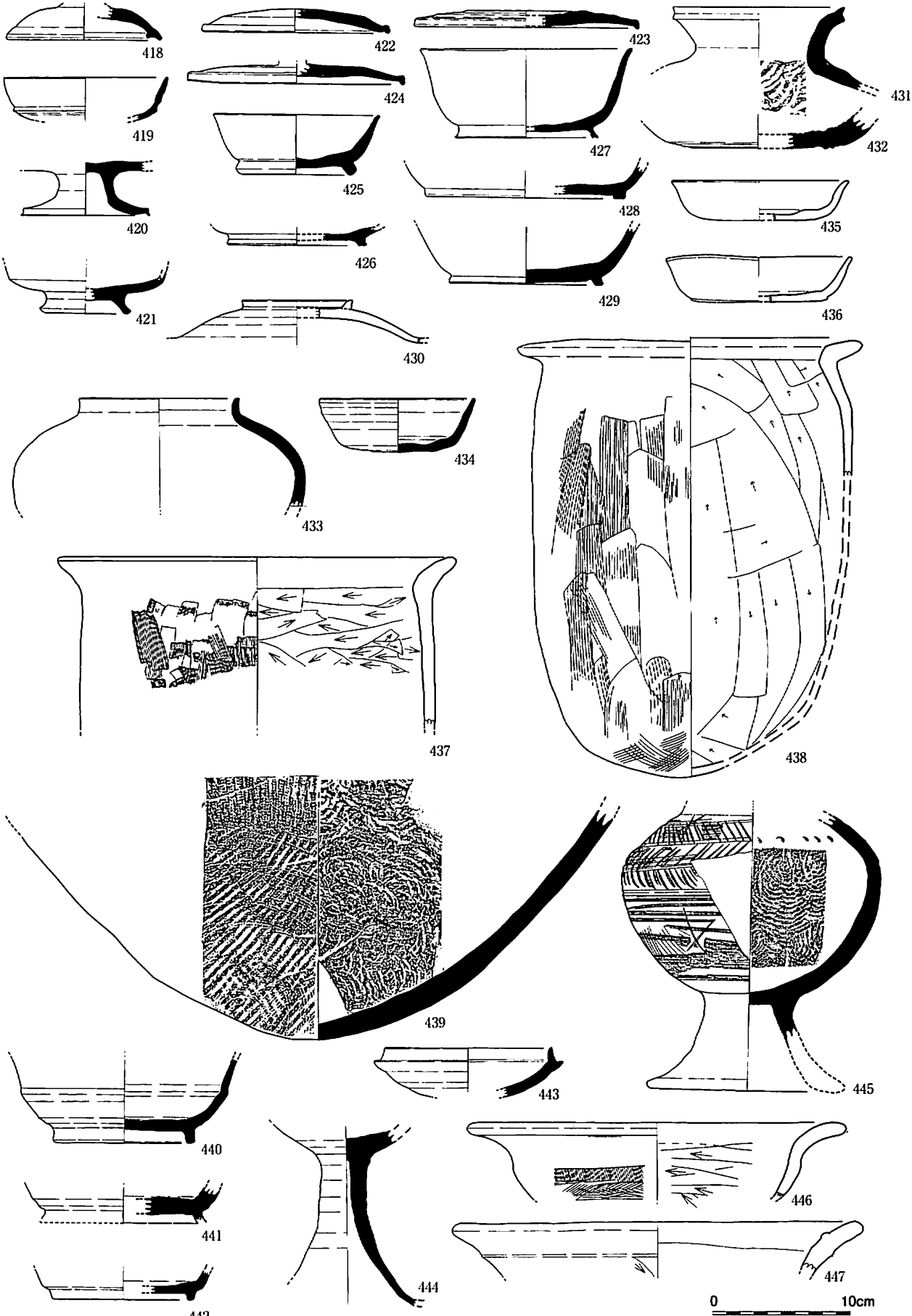


図30 2・3号溝出土遺物実測図 (1 / 4)

1. 医学部校舎建設に伴う発掘調査 (9601調査地点)

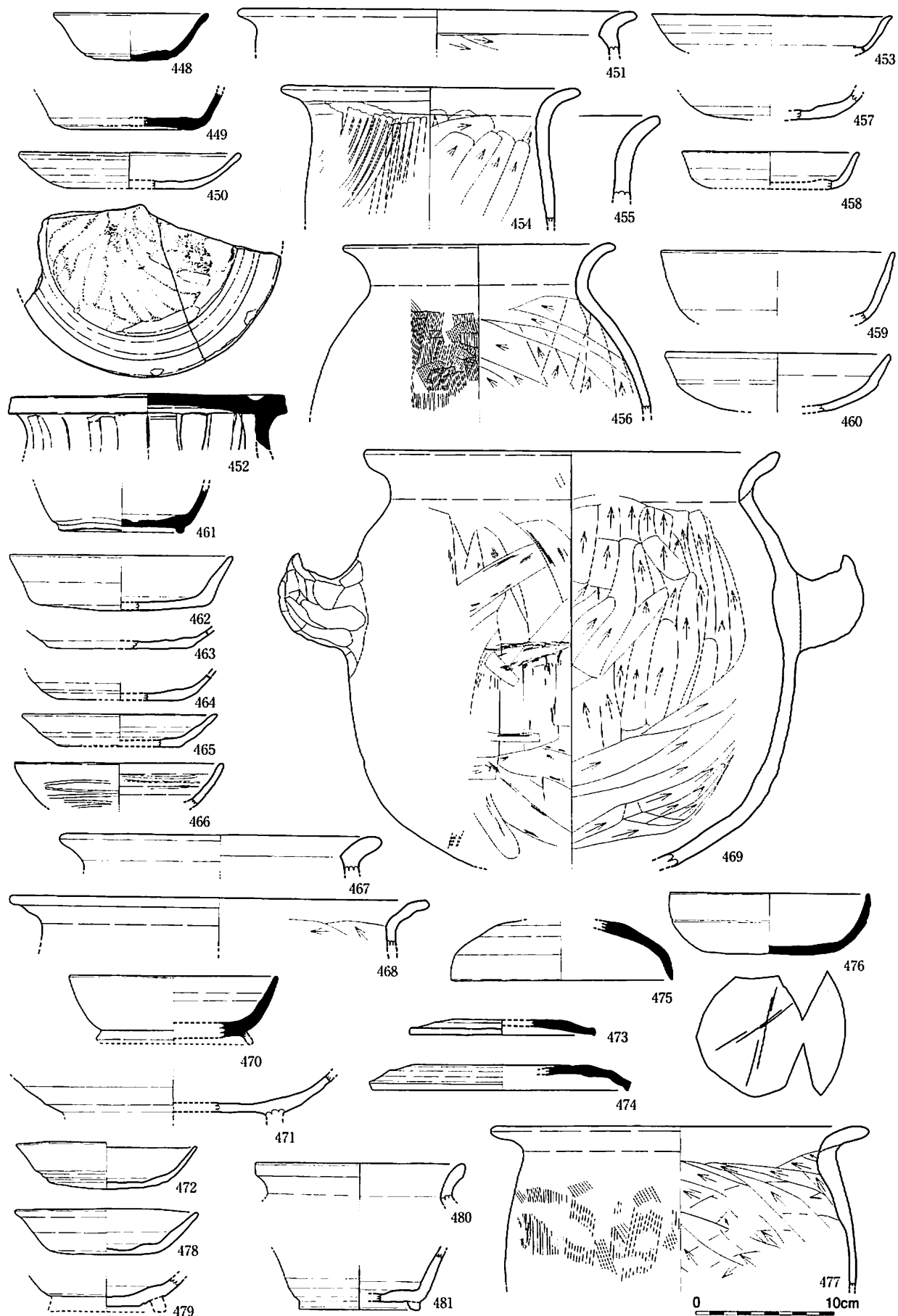


図31 9601調査地点各遺構出土遺物実測図1 (1 / 4)

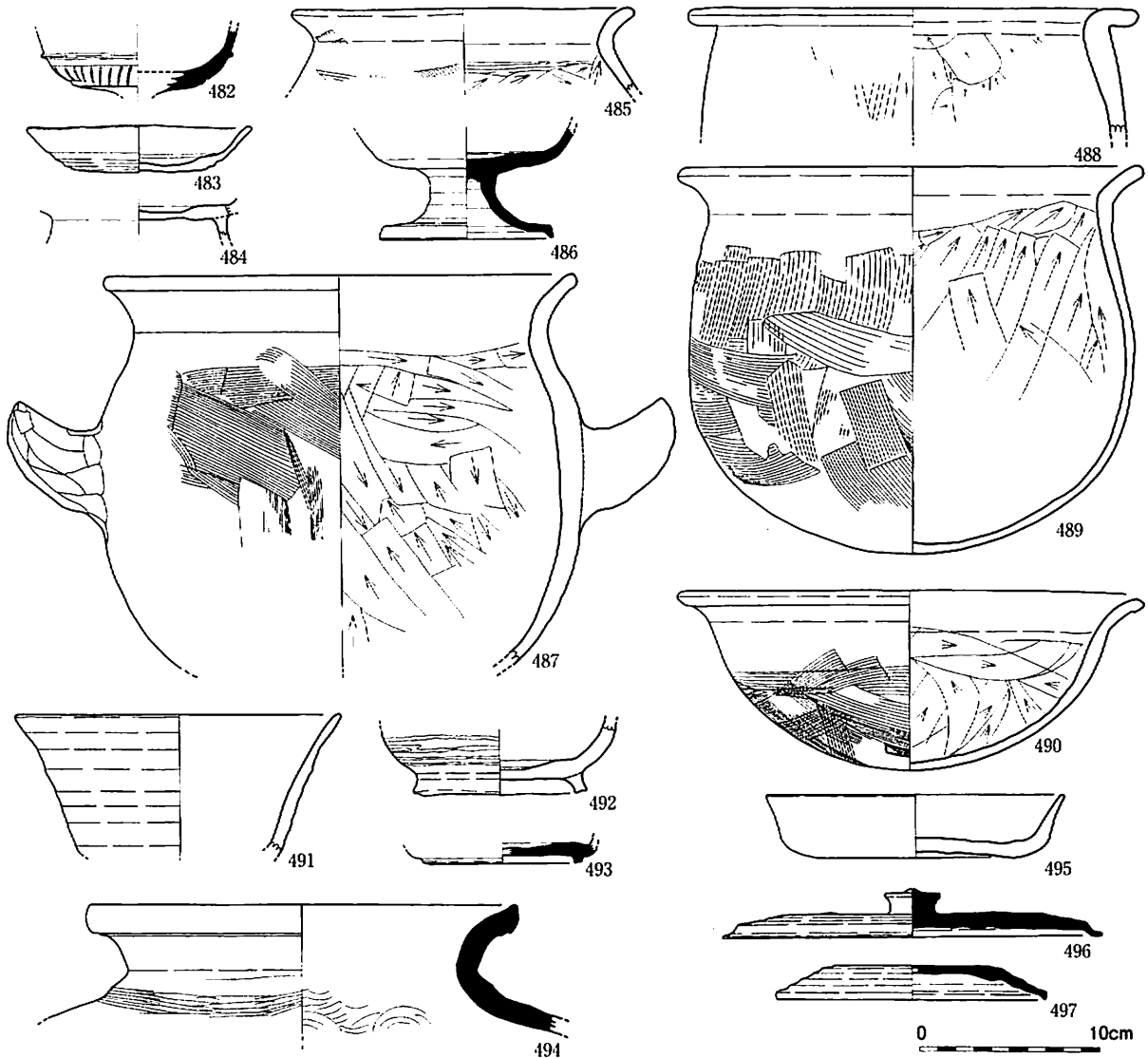


図32 9601調査地点各遺構出土遺物実測図2 (1 / 4)

さいものや墨書が不鮮明なものが多く、判読できたものはわずかである。判読できたものには、図34：521の「野□」、図34：524の「文?」、図34：532のへら書き土器にも存在した「立人（合）」、図34：537の「水?」がある。また、図34：527・529・530・535の文字も「立人（合）」に似る。

鉄 器 (図35)

鉄製品は1号溝を中心として19点ほどが出土した。器種としては、鎌（図35：539～542）、刀子（543～552）、鍬（553～557）、斧（558）などがある。

土製品 (図36)

土製品には、管状土錘（図36：559～562）、紡錘車（566～568・570）、紡錘車未製品（569）などがある。567以外は土器片を加工して製作したもので、569は未穿孔の状態のものである。

石製品 (図36)

石製品には、勾玉（563）、硯（572）、砥石（564・565・571・573・574）などがある。563は滑石製、565・571は流紋岩製、564・573・574は砂岩製、572は凝灰岩（赤間石）製である。

縄文土器・石器 (図37～39)

1. 医学部校舎建設に伴う発掘調査 (9601調査地点)

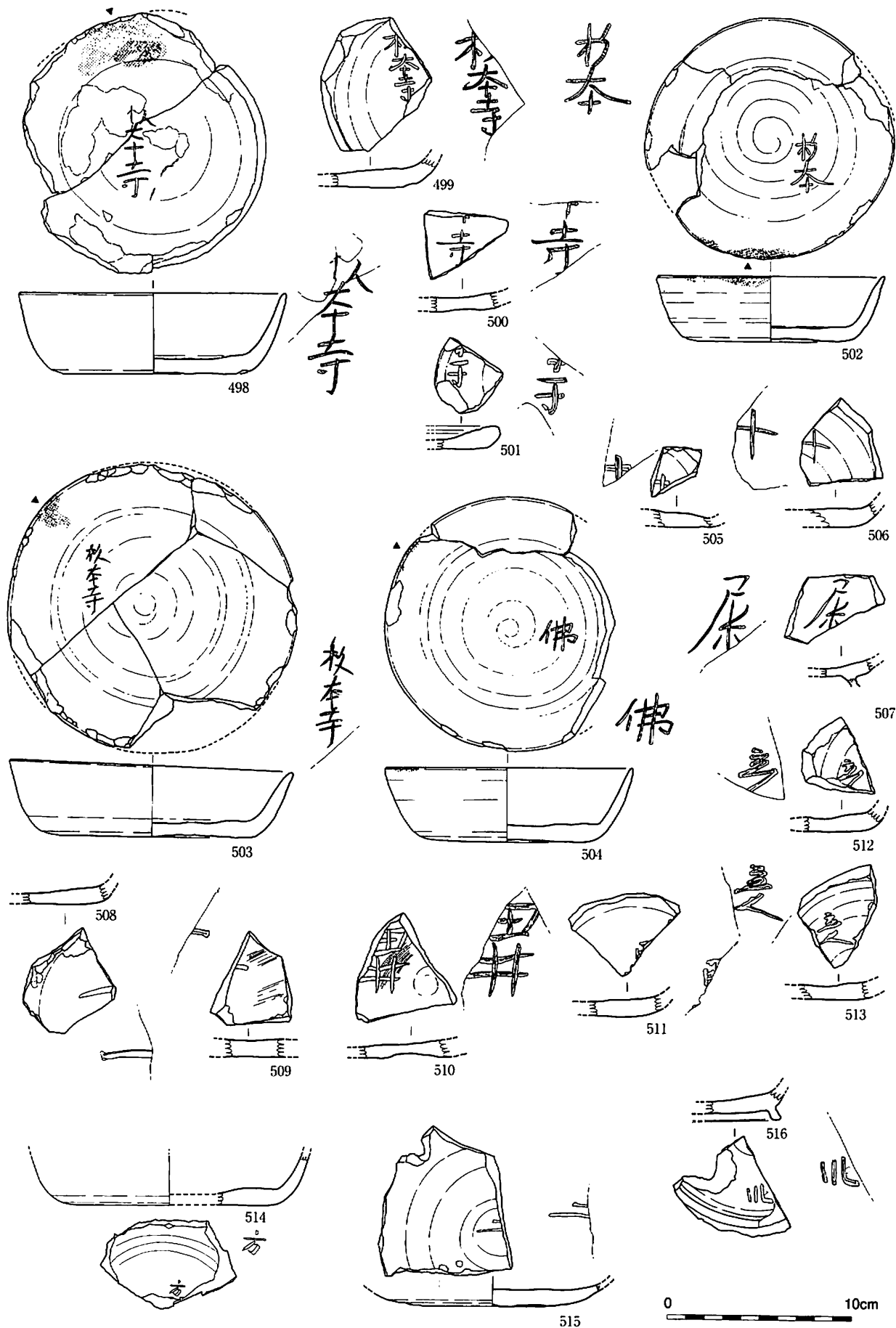


図33 ヘラ書き土器実測図 (1 / 3)

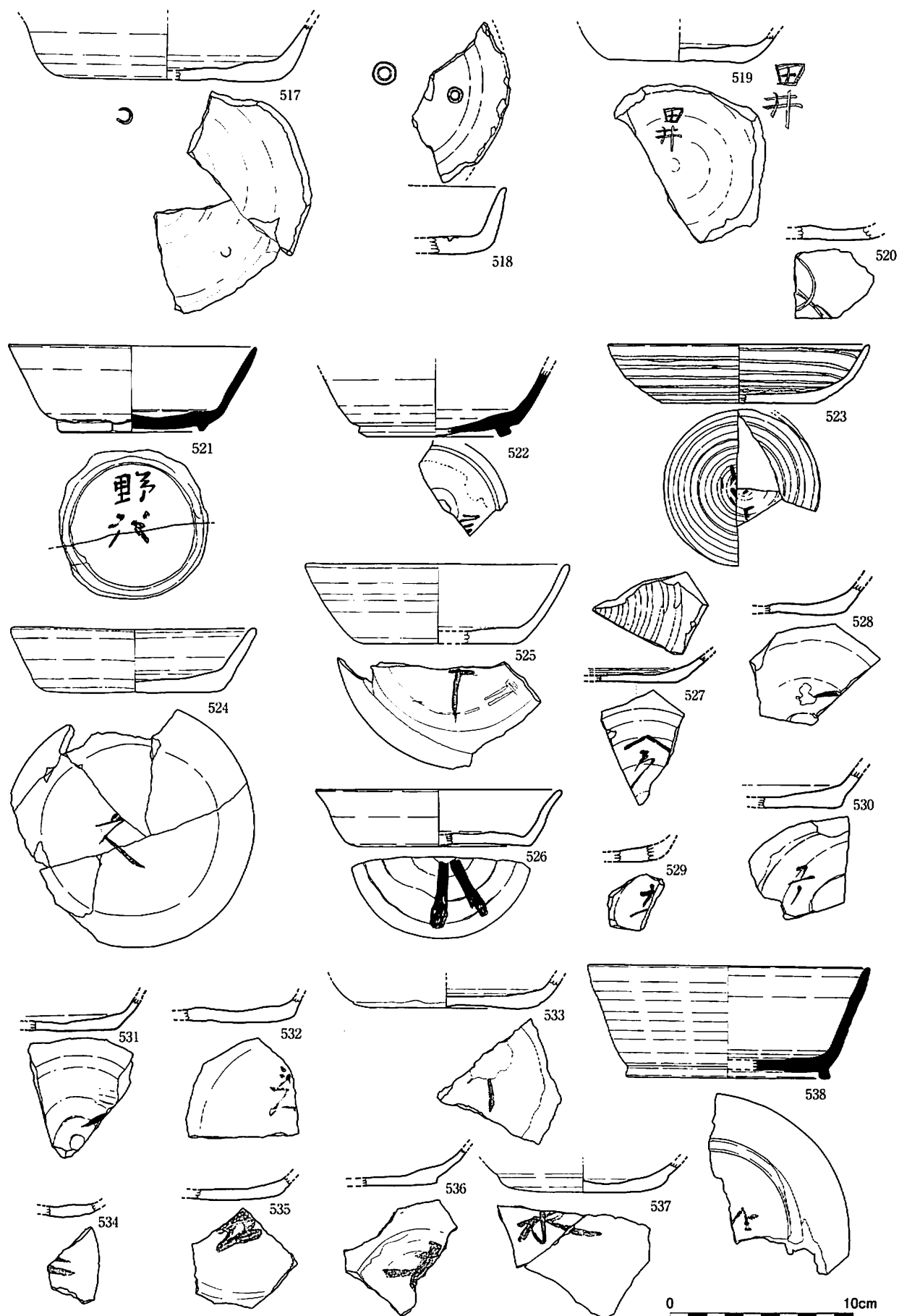


図34 ヘラ書き・墨書土器実測図 (1 / 3)

1. 医学部校舎建設に伴う発掘調査（9601調査地点）

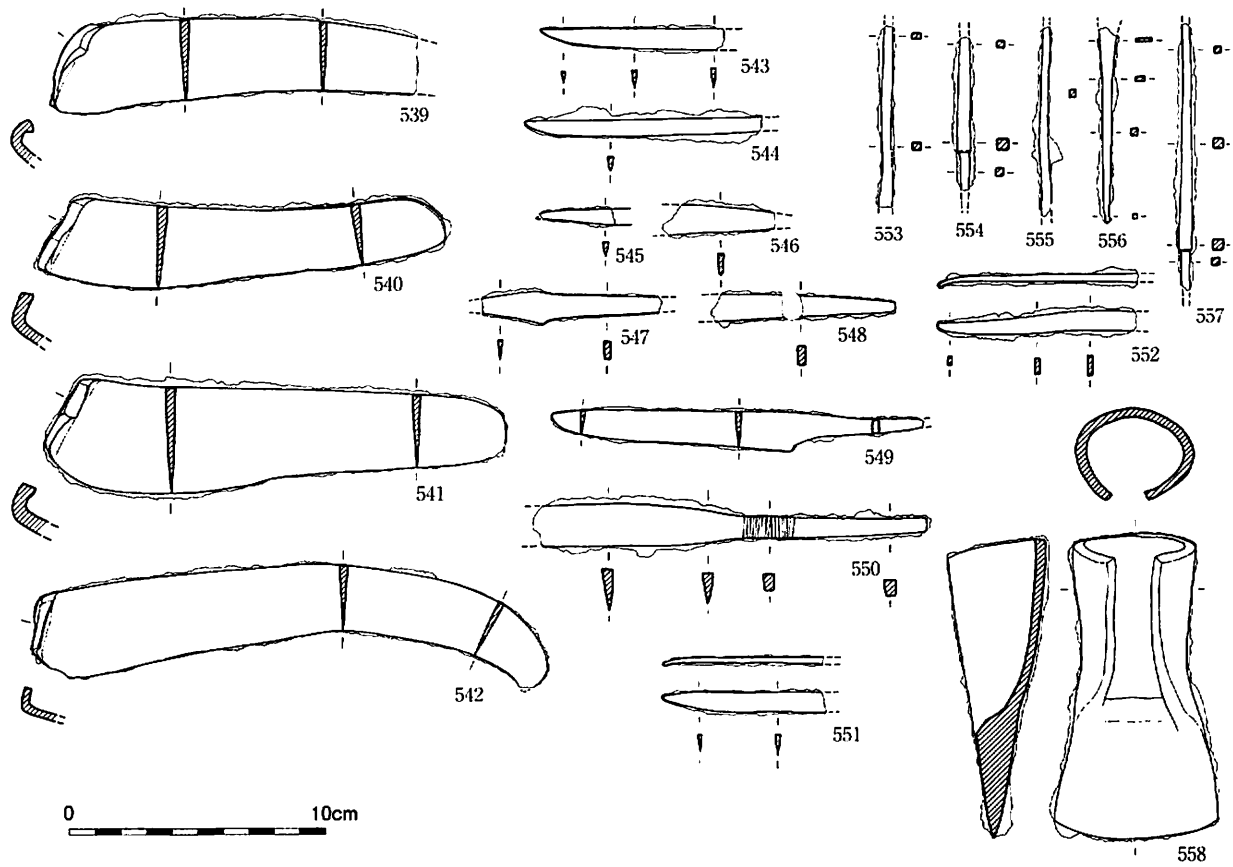


図35 各遺構出土鉄器実測図（1 / 3）



図36 各遺構出土土製品・石製品実測図（1 / 4）

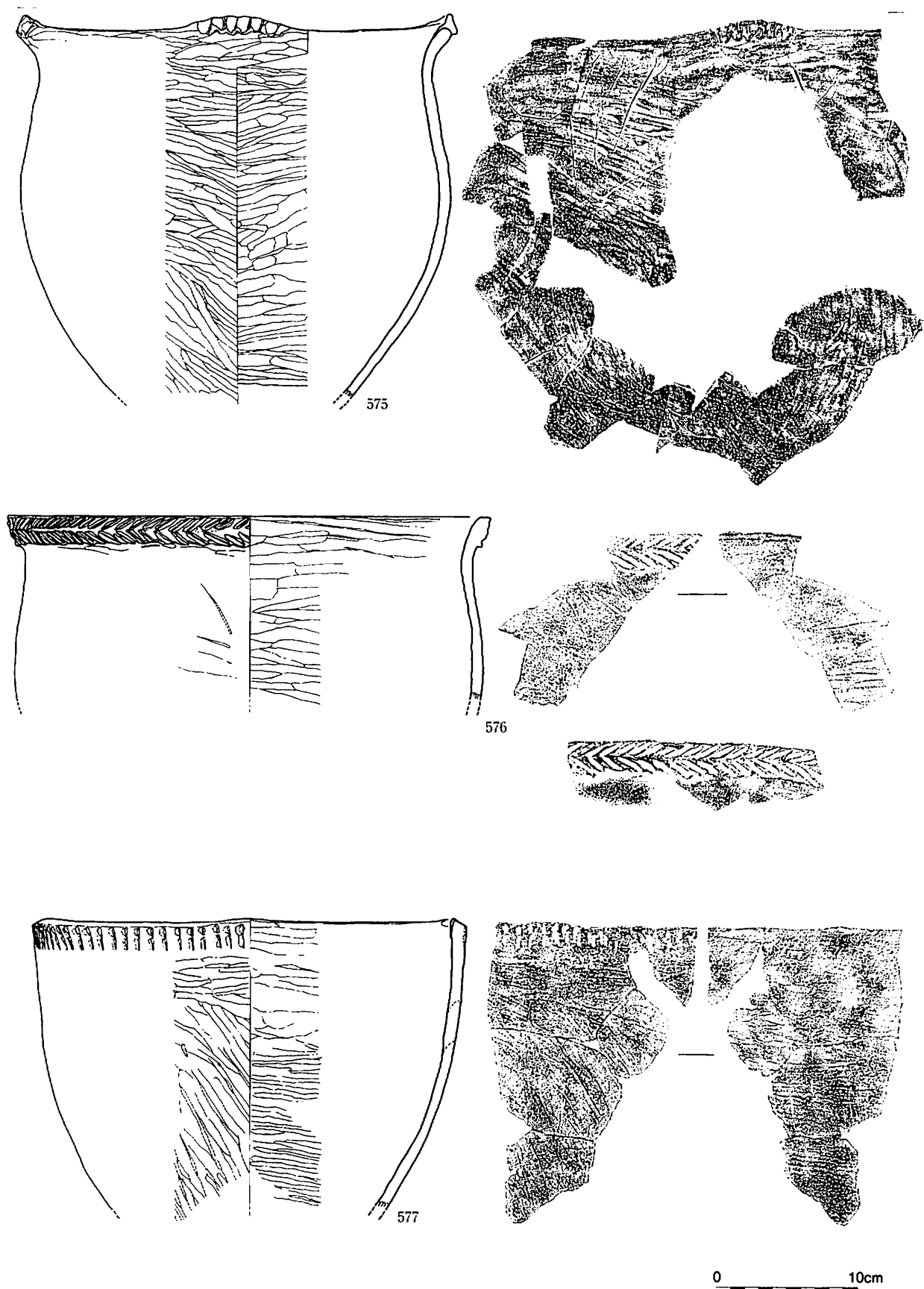


図37 縄文土器実測図 (1 / 4)

1. 医学部校舎建設に伴う発掘調査（9601調査地点）

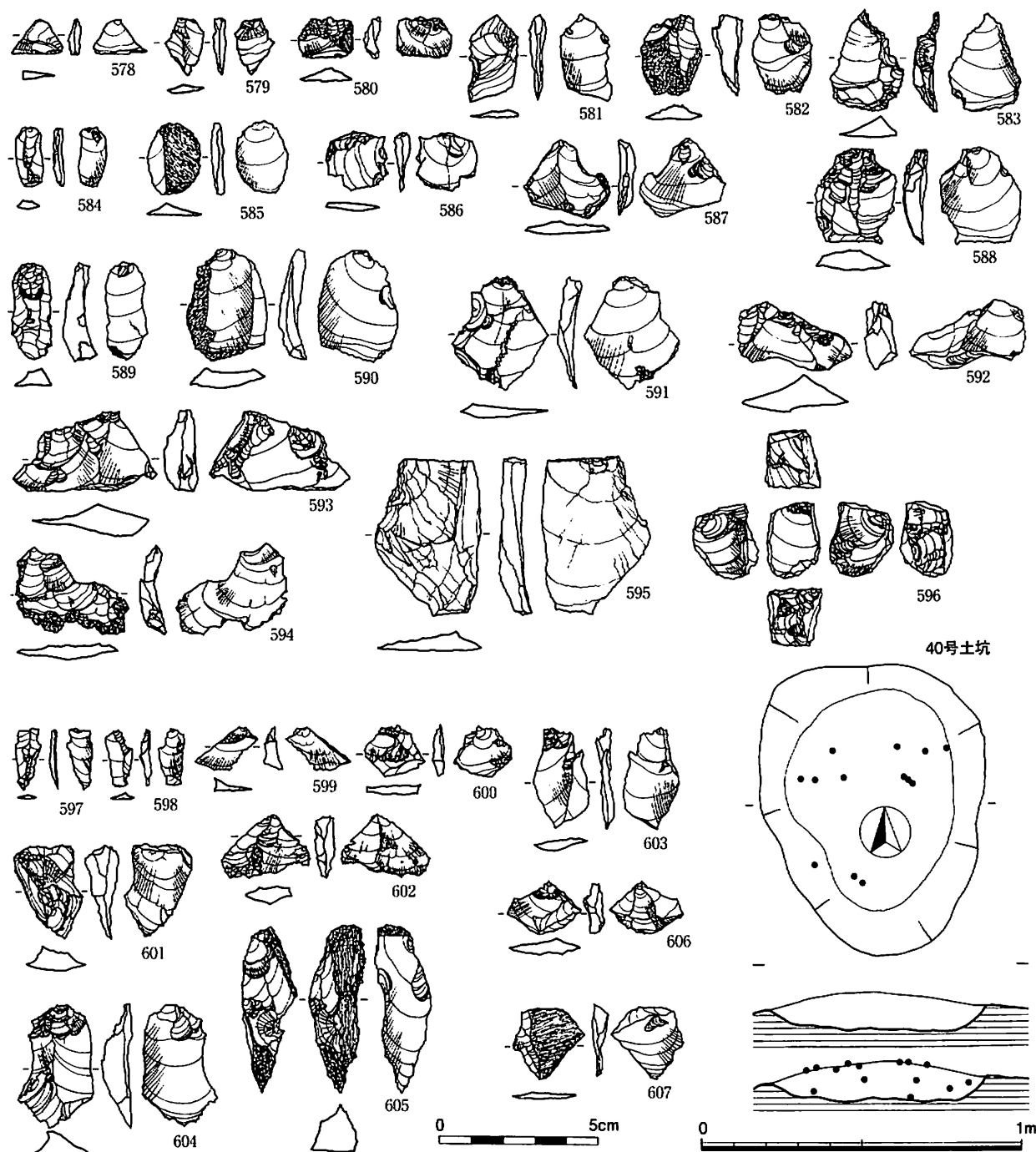


図38 縄文時代石器実測図（1 / 2）及び40号土坑実測図（1 / 20）

I・J-3・4区の5層を中心として、北久根山式土器の深鉢土器を主体とする縄文土器（図37）や石器が出土している。図37：575は波状の口縁をもつ深鉢形土器で、この部分に貝殻背部による刺突を6回ほど施している。図37：576・577は平口縁部の深鉢形土器で、576は口唇部を粘土貼り付けによって肥厚させ、この部分の外面に沈線による綾杉状の文様を連続して描いている。また、577は二又の先端部をもつ工具による連続刺突文を口縁外面に施す。

石器としては。調査区I区中央部の1号溝と3号溝の交差する部分の南側に位置する40号土坑より黒曜石を中心とした剥片・チップが30点ほど出土した。595の安山岩の剥片以外は佐賀県腰岳産と思

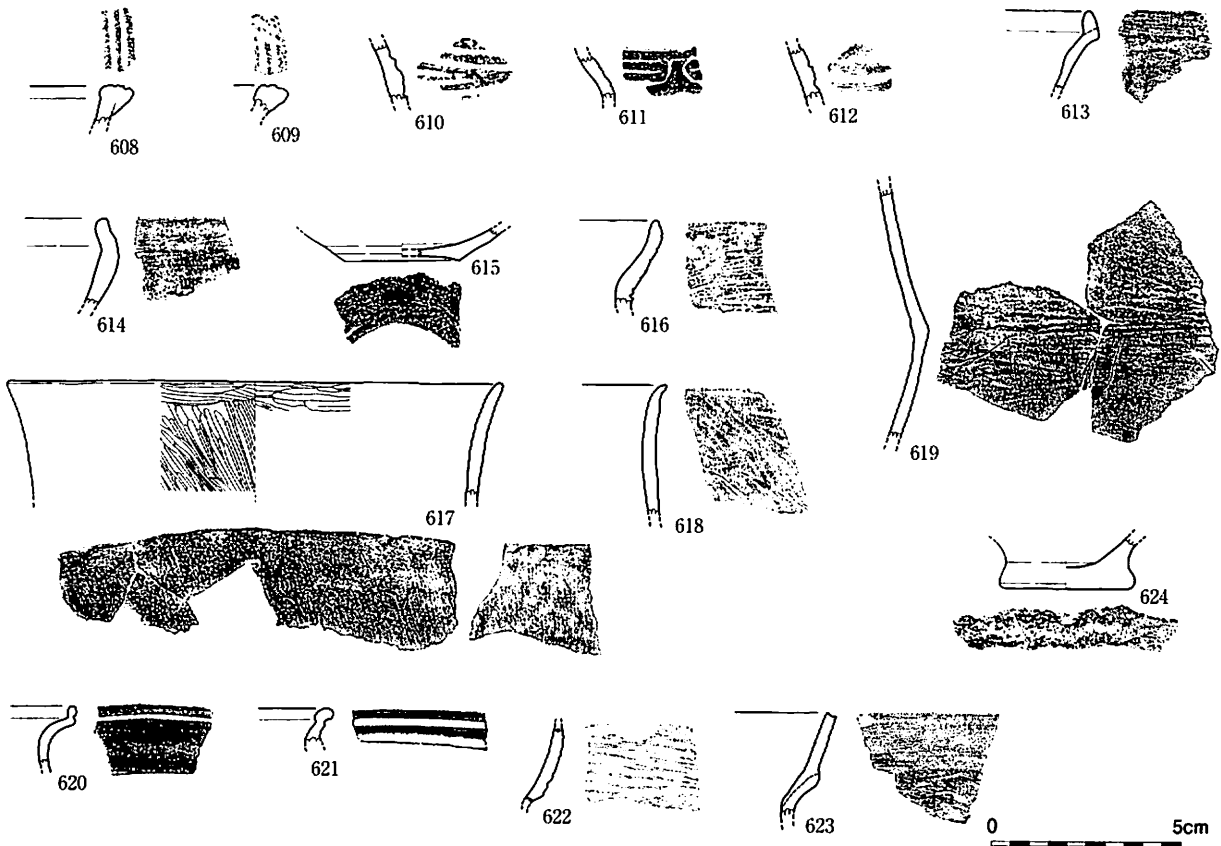


図39 各遺構及び包含層出土縄文土器実測図（1 / 4）

われる黒曜石製である（図38）。黒曜石の剥片は2～5 cmほどの1個の角礫から剥離された状況であり、接合を試みたが時間不足で接合していない。3 cm角の方形の残核（596）1点を含む。安山岩の剥片（595）は自然面打面の石核から剥離された剥片である。剥片のうちでもっとも大きい。

このほか、包含層および攪乱部から40点余りの縄文土器片が出土している。うち特徴的なものを実測表示した。いずれも後期中葉～晩期前半にかけてのもので、深鉢形土器や鉢形土器を中心としている（図39）。

（4）まとめ

縄文時代の遺物として、遺物点数はあまり多くないが、縄文時代後期前葉に遡る深鉢土器（北久根山式）・石器類を検出できた。これは、白川沿いの北方1.2kmに位置する鹿渡貝塚とほぼ同じ時期・同タイプのもので、この一帯では初めての検出例である。また、後期後葉になると、昨年調査した医学部構内の調査地点（9509）でも若干の遺物が出土しており、今回も破片ではあるが若干出土している。包含層は黄色基盤土層上の暗褐色土中に包含層が認められ、今後は本層の精査を必要とする。

古墳時代の遺構は、前期の土師器をもつ3区21号住居址がある。付近一帯における該期の遺構の発見は今回が初めてであり、点的な発見ながらその意義は大きい。また、II区を中心に古墳時代後期の遺物も出土することから、古墳時代の遺構の広がりには調査区のより西側に求められよう。

古代に関しては、ほぼ南北方向をとる道路跡を検出できたことは大きな成果である。この道路は、熊本平野の条里復元案の里境から1町西にふれた坪境に相当し、この一帯まで条里が施行されていた

可能性を示すものである。この道路の設置時期は明確ではないが、7世紀末～8世紀初頭の竪穴住居群がすでにこの方向を意識していること、2号溝内の最下層から出土する遺物にはこの時期まで遡る遺物も含まれることから、8世紀中頃までには設置された可能性が高い。

また、この道の廃絶後、方向の異なる溝（1号溝）が掘削され、8世紀後半～9世紀初めにかけての遺物を多量に含んでいた。これは地割りの変化を示すもので、道路遺構が設置後すぐに廃絶されたことを意味している。

1号溝から出土した刻書土器中に表れる「杵本寺」は、先に述べたように当地の豪族の氏寺がここに存在した可能性を示している。肥後国詫間郡村誌の渡鹿村および戸島村の項に、「杉本（スキノト）」の字地名が見られることから、この「杵」字が「杉」に当てられ、後に音読みで「クホンジ」と読まれ、現在の「九品寺」に変化した可能性が高い。遺跡周辺の大江遺跡群や新屋敷遺跡、渡鹿遺跡などでの発掘調査によって、1997年時点までに約50点の墨書土器やヘラ書き土器が発見されているが、今回の調査例は、未実測品も含めて40点ほどであり、一調査地点からの出土数としては大量出土の部類に入る。また、「田井」の字体は、大江遺跡41次調査や同16次調査で出土したものとときわめてよく似ている。これらの同じ地名・場所名を示すものが、離れた地点から出土する理由は今のところ判然としない。しかし、本調査地点では、注文品のヘラ書き土器が灯明皿として使用され、それとともに坏蓋を利用した墨・朱皿、須恵器の円面硯などが出土していることから、僧侶など識字層が存在したことは明らかである。また、同タイプの須恵器碗や回転ヘラ磨きの坏が多いことやほぼ完全に近い形のものが焼土や灰とともに一気に廃棄されていることなどは、多量の供膳具を有する大型建物が存在し、その火事場処理を行ったものと考えられ、単に字の書かれた土器を集落に持ち込んだという性格のものではない。やはり寺院が被災し、それが廃棄されたことを強く示唆している。ただし、寺院の建物に相当する建物は調査区北東部分で2棟あまりの掘立柱建物を確認しているにすぎず、今後は、周辺とくに調査区北側部分の調査が重要と思われる。

また、近代墓地の調査においては、西方浄土を向いた墓が古く、その後は墓域（区画）に規制された方向や配置を取ることが確かめられた。箱棺から甕棺へ、そして長棺へと埋葬施設の変化が認められたこと、また、遺体安定のために大鋸屑や靱殻、鮑屑などを棺に入れることなどは、民俗資料や伝聞に一致した。死者に鮑を添えることは北九州市の宗玄寺近世墓地にも認められる。また、幼児に蛤を副葬することは福岡市席田青木遺跡でも認められ、まだ少ない例ではあるが、貝副葬の風習として共通するものがあり、興味深い。さらに寛永通寶を基軸とする六道銭副葬が明治初期まで確認されたこと、その一部に清銭が使用されていたことなどは、銭貨流通史や六道銭埋葬の風習に関する歴史を知る上で貴重な資料となった。清銭は、江戸時代に発行後まもなく入ってきているものもあるが、そのほとんどが明治以降の遺構から出土するものがほとんどで、明治時代の「円」を軸とする新貨条例後も民間では使用されており、明治初期に開港されたところから流入してきた貨幣であることが判明している。

表 5 9601調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺 物	種類(器種)	法量 (cm)	残 存 量	特 徴	色 調	出土遺構	備 考
6	1	陶器	甕棺	口径 51 器高 79.5	完形	内：同転ナデ 外：同転ナデ	内：Hue 5 YR 3 / 2 外：Hue 5 YR 3 / 2	34号墓	肩部「本」刻書
	2	陶器	甕棺	口径 55.8 器高 81.2	完形	内：同転ナデ 外：同転ナデ	内：Hue 5 YR 3 / 2 外：Hue 5 YR 3 / 2	12号墓	
	3	陶器	甕棺	口径 47.7 器高 84.2	完形	内：同転ナデ 外：同転ナデ	内：Hue 5 YR 3 / 2 外：Hue 5 YR 3 / 2	20号墓	肩部に「主」銘印・底部に「大三？」銘墨書
	4	陶器	甕棺	口径 49 器高 78.4	完形	内：同転ナデ 外：同転ナデ	内：Hue 5 YR 3 / 2 外：Hue 5 YR 3 / 2	26号墓	肩部に「九二」銘印
	5	陶器	甕棺	口径 47.1 器高 77.8	完形	内：同転ナデ 外：同転ナデ	内：Hue 5 YR 3 / 2 外：Hue 5 YR 3 / 2	35号墓	
	6	陶器	甕棺	口径 32.8 器高 54	完形	内：同転ナデ 外：同転ナデ	内：Hue 5 YR 3 / 2 外：Hue 5 YR 3 / 2	45号墓	肩部に「丸？」銘印
	7	陶器	甕棺	口径 30.9 器高 50.3	完形	内：同転ナデ 外：同転ナデ	内：Hue 5 YR 3 / 2 外：Hue 5 YR 3 / 2	16号墓	
	8	石製品	墓石	長さ 82.8 幅 2.71 厚さ 11.3	完形			33号墓上	安山岩「松島〇〇墓」銘
	9	石製品	甕棺蓋石	長さ 54.0 幅 53.5 厚さ 7.5	完形			12号墓	凝灰岩 裏面「明治三十四年四月二日没〇〇〇」銘
	10	白磁	骨董	口径 10.4 底径 9.2 器高 16.2 最大径16.6	完形	内： 外：	内：白色 外：白色	42号墓	灰白色釉
7	11	磁器	猪口	口径 6.6 底径 2.4 器高 2.7	完形	内： 外：	内：白色 外：白色	35号墓	金粉文字
	12	磁器	猪口	口径 6.9 底径 2.7 器高 2.9	ほぼ完形	内： 外：	内：白色 外：白色	36号墓	釉の上に呉須で模様を描く
	13	磁器	猪口	口径 7.2 底径 2.5 器高 3.1	完形	内： 外：	内：白色 外：白色	15号墓	金粉文字「相模」ほか
	14	磁器	徳利	口径 2.8 胴部 6 器高 16	ほぼ完形	内： 外：	内：白色 外：白色	35号墓	コバルト釉
	15	磁器	徳利	口径 2.7 胴部 16 器高 16	完形	内： 外：	内：白色 外：白色	36号墓	染付
	16	磁器	徳利	口径 2.6 胴部 6.6 器高 19.3	完形	内： 外：	内：白色 外：白色	15号墓	染付
	17	土製品	馬置物	長さ 13.2 幅 11.6 厚さ 4.9	ほぼ完形	素焼き、彩色、 絵つけ	Hue7.5YR 5 / 4	43号墓	重量120g 土
8	18	銅製品	煙管雁首	長さ 3.9 幅 0.9 厚さ 1.4				51号墓	重量10.8g 銅・竹 布付着
	19	銅製品	煙管吸口	長さ 6.8 幅 0.85 厚さ 0.75				51号墓	重量10.8g 銅・竹 布付着
	20	銅製品	煙管雁首	長さ 2.6 幅 0.91 厚さ 1.25	1 / 4			7号墓	重量4.3g 銅・竹 布付着
	21	銅製品	煙管吸口	長さ 3.1 幅 0.59 厚さ 1.6	1 / 4			7号墓	重量3.8g 銅・竹 布付着
	22	銅製品	煙管雁首	長さ 3.6 幅 11.3 厚さ 1.3	1 / 2			36号墓	重量9.2g 銅・竹
	23	銅製品	指輪	長さ 1.45 幅 2.0 厚さ 0.13	完形			44号墓上	重量2.1g 青銅
	24	銅製品	指輪	長さ 0.5 幅 1.9 厚さ 1.0	完形			28号墓	重量0.7g 青銅
	25	石製品	替玉	長さ 1.89 幅 1.71	完形		オレンジ色	7号墓	重量8.5g 瑪瑙
	26	石製品	替玉	長さ 1.88 幅 1.88	完形		オレンジ色	12号墓	重量7.8g 瑪瑙
	27	銅製品	金具	長さ 1.85 幅 1.5 厚さ 0.14	完形			51号墓	重量0.4g 青銅 布付着
	28	墨	墨	長さ 3.1 幅 1.4 厚さ 0.9	約 1 / 2			7号墓	重量2.4g 炭
	29	銅製品	水滴	長さ 2.2 幅 2.3 厚さ 0.6	完形			7号墓	重量3.5g 銅
	30	石製品	硯	長さ 4.6 幅 3.0 厚さ 0.5	完形			7号墓	重量10.6g 粘板岩 朱付着
	31	銅製品	簪	長さ 1.0 幅 1.8 厚さ 1.8	飾り部 のみ			7号墓	重量1.1g 銅
	32	銅製品	簪	長さ 13.7 幅 0.5 厚さ 0.25	完形			18号墓	重量4.7g 青銅
	33	木製品	櫛	長さ 20.5 幅 6.5 厚さ 0.95	一部欠け			12号墓	重量10g 木製
	34	木製品	櫛	長さ 3.1 幅 16.7 厚さ 0.45	一部欠け			12号墓	重量15g 木製
	35	プラスチック類	長さ	長さ 14.4 幅 3.0 厚さ 0.5	一部欠け		黄色	40号墓	重量10.6g プラスチック 歯が6本欠けている
9	36	ガラス製品	数珠	長さ 0.6 幅 0.45	一部欠け			2号墓	重量0.1g 白色ガラス（不透明） 歯が欠ける
	37	ガラス製品	数珠	長さ 0.61 幅 0.39	完形			2号墓	重量0.1g 純色不透明ガラス

1. 医学部校舎建設に伴う発掘調査（9601調査地点）

図	番号	遺 物	種類(器種)	法量 (cm)	残 存 量	特 徴	色 調	出土遺構	備 考
9	38	ガラス製品	数珠	長さ 0.51 幅 0.43	一部欠け			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	39	ガラス製品	数珠	長さ 0.57 幅 0.49	完形			18号墓	重量0.3g 透明ガラス
	40	ガラス製品	数珠	長さ 0.59 幅 0.42	完形			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	41	ガラス製品	数珠	長さ 0.59 幅 0.45	完形			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	42	ガラス製品	数珠	長さ 0.65 幅 0.45	完形			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	43	ガラス製品	数珠	長さ 0.65 幅 0.41	完形			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	44	ガラス製品	数珠	長さ 0.54 幅 0.42	一部欠け			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	45	ガラス製品	数珠	長さ 0.51 幅 0.41	完形			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	46	ガラス製品	数珠	長さ 0.56 幅 0.42	完形			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	47	ガラス製品	数珠	長さ 0.61 幅 0.48	完形			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	48	ガラス製品	数珠	長さ 0.52 幅 0.41	完形			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	49	ガラス製品	数珠	長さ 0.53 幅 0.43	完形			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	50	ガラス製品	数珠	長さ 0.55 幅 0.47	一部欠け		少し黄色味	18号墓	重量0.3g 透明ガラス
	51	ガラス製品	数珠	長さ 0.56 幅 0.44	完形			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	52	ガラス製品	数珠	長さ 0.61 幅 0.44	完形			18号墓	重量0.12g 透明ガラス 赤色顔料付着
	53	ガラス製品	数珠	長さ 0.58 幅 0.46	完形			18号墓	重量0.3g 透明ガラス
	54	ガラス製品	数珠	長さ 0.55 幅 0.5	完形			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	55	ガラス製品	数珠	長さ 0.57 幅 0.44	完形			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	56	ガラス製品	数珠	長さ 0.65 幅 0.51	完形			18号墓	重量0.38g 透明ガラス
	57	ガラス製品	数珠	長さ 0.59 幅 0.51	完形			18号墓	重量0.39g 透明ガラス
	58	ガラス製品	数珠	長さ 0.57 幅 0.48	完形			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	59	ガラス製品	数珠	長さ 0.58 幅 0.45	一部欠け			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	60	ガラス製品	数珠	長さ 0.61 幅 0.43	完形			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	61	ガラス製品	数珠	長さ 0.61 幅 0.48	完形			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	62	ガラス製品	数珠	長さ 0.61 幅 0.5	完形			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	63	ガラス製品	数珠	長さ 0.55 幅 0.48	完形			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	64	ガラス製品	数珠	長さ 0.61 幅 0.45	完形			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	65	ガラス製品	数珠	長さ 0.57 幅 0.48	完形			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	66	ガラス製品	数珠	長さ 0.58 幅 0.45	完形			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	67	ガラス製品	数珠	長さ 0.57 幅 0.5	完形			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	68	ガラス製品	数珠	長さ 0.64 幅 0.47	完形			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	69	ガラス製品	数珠	長さ 0.59 幅 0.46	完形			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	70	ガラス製品	数珠	長さ 0.61 幅 0.49	完形			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	71	ガラス製品	数珠	長さ 0.63 幅 0.48	完形			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	72	ガラス製品	数珠	長さ 0.54 幅 0.44	完形			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	73	ガラス製品	数珠	長さ 0.6 幅 0.49	完形			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	74	ガラス製品	数珠	長さ 0.62 幅 0.46	完形			18号墓	重量0.3g 透明ガラス
	75	ガラス製品	数珠	長さ 0.58 幅 0.49	完形			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	76	ガラス製品	数珠	長さ 0.59 幅 0.46	一部欠け			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	77	ガラス製品	数珠	長さ 0.56 幅 0.47	完形			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	78	ガラス製品	数珠	長さ 0.54 幅 0.46	完形			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	79	ガラス製品	数珠	長さ 0.54 幅 0.44	完形			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	80	ガラス製品	数珠	長さ 0.53 幅 0.45	完形			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	81	ガラス製品	数珠	長さ 0.53 幅 0.44	完形			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	82	ガラス製品	数珠	長さ 0.52 幅 0.45	完形			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	83	ガラス製品	数珠	長さ 0.58 幅 0.47	完形			18号墓	重量0.2g 透明ガラス
	84	ガラス製品	数珠	長さ 0.41 幅 0.65	完形			18号墓	重量0.3g 透明ガラス
	85	ガラス製品	数珠	長さ 0.46 幅 0.5	完形			32号墓	重量0.2g 白色ガラス
	86	ガラス製品	数珠	長さ 0.37 幅 0.47	完形			33号墓	重量0.1g 白色ガラス
	87	ガラス製品	数珠	長さ 0.35 幅 0.46	完形			33号墓	重量0.1g 白色ガラス
	88	ガラス製品	数珠	長さ 0.41 幅 0.55	一部欠け			38号墓	重量0.2g ブルーガラス

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色 調	出土遺構	備 考
9	89	ガラス製品	数珠	長さ 0.41 幅 0.58	完形			41号墓	重量0.2g 白色ガラス
	90	ガラス製品	数珠	長さ 0.34 幅 0.53	完形			41号墓	重量0.2g 白色ガラス
	91	ガラス製品	数珠	長さ 0.38 幅 0.55	完形			41号墓	重量0.2g 白色ガラス
	92	ガラス製品	数珠	長さ 0.35 幅 0.51	完形			48号墓	重量0.2g 白色ガラス
	93	ガラス製品	数珠	長さ 0.26 幅 0.4	完形			48号墓	重量0.1g 透明ガラス
	94	ガラス製品	数珠	長さ 0.24 幅 0.32	完形			48号墓	重量0.1g 透明ガラス
	95	ガラス製品	数珠	長さ 0.35 幅 0.51	完形			48号墓	重量0.2g 白色ガラス
	96	ガラス製品	数珠	長さ 0.29 幅 0.44	完形			48号墓	重量0.1g 白色ガラス
10	97	銭	六道銭	長さ 2.3 幅 2.3 厚さ 0.13	完形			48号墓上	重量3.8g 銅 一銭 大正十年
	98	銭	六道銭	長さ 2.79 幅 2.80 厚さ 0.16	完形			48号墓	重量7g 銅 一銭 明治十年
	99	銭	六道銭	長さ 2.81 幅 2.81 厚さ 0.16	完形			48号墓	重量7.1g 銅 一銭 明治十八年
	100	銭	六道銭	長さ 2.30 幅 2.29 厚さ 0.13	完形			48号墓	重量3.7g 銅 一銭 大正八年
	101	銭	六道銭	長さ 2.40 幅 2.39 厚さ 0.12	完形			34号墓	重量2.8g 銅 乾隆通宝 (1736)
	102	銭	六道銭	長さ 2.27 幅 2.23 厚さ 0.11	完形			34号墓	重量1.7g 銅 嘉慶通宝 (1796)
	103	銭	六道銭	長さ 2.20 幅 2.15 厚さ 0.89	一部欠け			34号墓	重量0.7g 青銅 銭名不明
	104	銭	六道銭	長さ 2.31 幅 2.30 厚さ 0.10	完形			49号墓	重量2.4g 青銅 寛永通寶 (新)
	105	銭	六道銭	長さ 2.45 幅 2.44 厚さ 0.1	完形			49号墓	重量2.9g 青銅 寛永通寶 (新・マ頭通)
	106	銭	六道銭	長さ 2.26 幅 2.27 厚さ 0.12	完形			49号墓	重量2.9g 青銅 寛永通寶 (新)
	107	銭	六道銭	長さ 2.31 幅 2.31 厚さ 0.08	完形			49号墓	重量2.1g 青銅 寛永通寶 (新)
	108	銭	六道銭	長さ 2.46 幅 2.47 厚さ 0.11	完形			49号墓	重量3.1g 青銅 寛永通寶 (古)
	109	銭	六道銭	長さ 2.42 幅 2.43 厚さ 0.12	完形			49号墓	重量3.4g 青銅 寛永通寶 (新)
	110	銭	六道銭	長さ 2.48 幅 2.47 厚さ 0.12	完形			51号墓	重量2.6g 青銅 寛永通寶 (文)
	111	銭	六道銭	長さ 2.31 幅 2.30 厚さ 0.1	完形			51号墓	重量2.8g 青銅 寛永通寶 (新)
	112	銭	六道銭	長さ 2.47 幅 2.45 厚さ 0.11	完形				重量2.3g 青銅 寛永通寶 (古)
	113	銭	六道銭	長さ 2.42 幅 2.45 厚さ 0.12	完形			51号墓	重量2.9g 青銅 寛永通寶 (新)
	114	銭	六道銭	長さ 2.41 幅 2.39 厚さ 0.11	完形			51号墓	重量2.9g 青銅 寛永通寶 (新・マ頭通)
	115	銭	六道銭	長さ 2.50 幅 2.49 厚さ 0.12	完形			51号墓	重量3.7g 青銅 寛永通寶 (文)
	116	銭	六道銭	長さ 2.33 幅 2.29 厚さ 0.13	完形			18号墓	重量2.6g 青銅 寛永通寶 (新)
20	117	土師器	壺	口径 14.2	口縁部・頸部 1 / 4	内：ケズリ 外：ハケ目、ナデ	内：Hue 10YR 6 / 2 外：Hue 7.5YR 4 / 3	3区 21号住居址 P22	
	118	土師器	埴	口径 9.2 器高 7.4	2 / 3	内：ナデ 外：ハケ目	内：Hue 外：Hue 10YR 5 / 4	3区 21号住居址 P22・P35	回転指ナデ
	119	土師器	坏	口径 12.9 器高 4.2	2 / 3	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 7.5YR 6 / 4 外：Hue 7.5YR 6 / 4	3区 21号住居址 P28・P15	内外面にススあり
	120	土師器	高坏	底径 14	脚部のみ	内：回転ヨコナデ、ヘラ削り 外：回転ヨコナデ、ヘラ削り	内：Hue 10YR 7 / 6 外：Hue 10YR 7 / 6	3区 21号住居址 P18	
	121	土師器	碗	口径 14.2 器高 4.4	1 / 2	内：磨き 外：ナデ	内：Hue 5 YR 4 / 8 外：Hue 5 YR 4 / 8	3区	丹塗りあり
	122	須恵器	坏	口径 11.8 器高 3.9	1 / 3	内：回転ナデ 外：回転ヘラ削り、回転ナデ	内：Hue 5 Y 4 / 1 外：Hue N 3 / 0	3区 P27	
	123	須恵器	蓋 (朱皿)	口径 14 器高 1.4	3 / 4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 10YR 6 / 2 外：Hue 10YR 6 / 2	3区 P 9	内面に赤墨の痕跡あり
	124	須恵器	蓋	口径 15 器高 2.9	1 / 2	内：回転ナデ 外：回転ヘラ削り、回転ナデ	内：Hue 2.5YR 5 / 2 外：Hue 5 Y 5 / 2	3区	包含層
	125	須恵器	坏蓋	口径 13.2 器高 2.6	1 / 2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5 Y 5 / 2 外：Hue 5 Y 5 / 1	3区 P 5	
	126	須恵器	坏蓋	口径 14.2 器高 1.7	1 / 2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 10YR 5 / 1 外：Hue 10YR 5 / 2	3区 包含層	
	127	須恵器	蓋	口径 19.6	1 / 3	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5Y 7 / 1 外：Hue 7.5Y 7 / 1	5区 1号住居址 竈 P 1	

1. 医学部校舎建設に伴う発掘調査 (9601調査地点)

図	番号	遺 物	種類(器種)	法量 (cm)	残 存 量	特 徴	色 調	出土遺構	備 考
20	128	土師器	坏	口径 14.6 底径 9.2 器高 4.7	1 / 2	内: 回転ナデ 外: 回転ヘラ削り	内: Hue 5 YR 7 / 6 外: Hue 5 YR 7 / 4	5区 1号住居址	赤色顔料・赤色化粧土
	129	土師器	甕	口径 13 器高 13.9	ほぼ完形	内: ヘラ削り 外: ハケ目	内: Hue 2.5YR 5 / 6 外: Hue 2.5YR 5 / 6	5区 1号住居址 竈	外面にスス付着あり
	130	土師器	坏	口径 13.8 底径 9 器高 2.9	口縁部欠 ほぼ完形	内: 回転ヘラ磨き 外: 回転ヘラ磨き	内: Hue 2.5YR 6 / 6 外: Hue 5 YR 6 / 6	6区 2号住居址	赤色顔料・赤色化粧土
	131	須恵器	蓋	口径 15.4	1 / 6	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 10Y 8 / 1 外: Hue 7.5Y 8 / 1	6区	
	132	須恵器	壺	口径 20.8	口縁部 1 / 8	内: タタキ 外: 回転ナデ	内: Hue 10YR 5 / 3 外: Hue 2.5Y 7 / 3	6区 R67	口縁部と外面に自然釉あり、青海波紋あり
	133	土師器	碗	底径 6.25	底部のみ	内: ヘラ磨き 外: ヘラ磨き	内: Hue 5 Y 2 / 1 外: Hue 5 Y 2 / 1	8区	黒色磨研土器
	134	土師器	碗	口径 15.6 底径 6 器高 5.8	1 / 4	内: ヘラ磨き 外: ヘラ磨き	内: Hue 2.5Y 2 / 1 外: Hue 2.5Y 2 / 1	8区	黒色磨研土器
	135	土師器	坏	口径 15.7 底径 9 器高 4.1	ほぼ完形	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 10YR 8 / 2 外: Hue 10YR 8 / 4	8区	緋色有り
	136	土師器	かまど		胴部破片	内: 削りの後ナデ 外: 太いハケ	内: Hue 5 YR 5 / 6 外: Hue 7.5YR 6 / 6	8区	
	137	土師器	かまど		胴部破片	内: 削りの後ナデ 外: 太いハケ	内: Hue 5 YR 6 / 8 外: Hue 7.5YR 6 / 6	8区	
	138	土師器	坏	口径 12.6 底径 8.6 器高 2.3	1 / 2	内: 回転ヘラ磨き 外: 回転ヘラ磨き	内: Hue 7.5YR 6 / 6 外: Hue 10YR 7 / 4	10区	赤色顔料・赤色化粧土
	139	土師器	坏	口径 14 底径 8.6 器高 3.2	1 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 YR 6 / 8 外: Hue 5 YR 6 / 6	10区	赤色顔料・赤色化粧土
	140	土師器	鉢	口径 24.6 底径 14.4 器高 6.75	1 / 2	内: 丹塗り 外: 丹塗り	内: Hue 2.5YR 5 / 6 外: Hue 2.5YR 5 / 6	10区 包含層(住居 覆土)	赤色顔料・赤色化粧土、内面圧痕 有り
	141	須恵器	坏	口径 13	1 / 3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5YR 6 / 1 外: Hue 5 Y 7 / 1	10区	スス付着あり
	142	須恵器	碗	口径 14.4 底径 9.6 器高 4.1	1 / 2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5Y 7 / 1 外: Hue 5 Y 6 / 2	10区	自然釉あり
	143	須恵器	壺		口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5Y 5 / 1 外: Hue 2.5Y 5 / 1	10区	波状文、自然釉あり
	144	土師器	甕	口径 26.6	口縁部 1 / 5	内: ヘラ削り 外: ハケ目	内: Hue 10YR 8 / 3 外: Hue 10YR 8 / 4	10区	
	145	土師器	甕	口径 27.6	口縁部 1 / 5	内: ヘラ削り 外: ハケ目	内: Hue 10YR 7 / 6 外: Hue 10YR 6 / 4	10区	内外面にススあり
21	146	陶器	碗	底径 4.4	底部のみ	内: 指ナデ 外: 指ナデ	内: Hue 5 YR 5 / 6 外: Hue 7.5YR 8 / 3	20号溝	スス付着あり
	147	陶器	瓶	底径 9	底部 1 / 5	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 2.5YR 5 / 6 外: Hue 5 YR 4 / 6	20号溝	
	148	土師器	土馬	器高 3.7	一部欠損	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 10YR 8 / 4 外: Hue 10YR 8 / 4	20号溝	
	149	須恵器	蓋	口径 16.2	1 / 6	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 5 B 5 / 1 外: Hue 2.5GY 5 / 1	20号溝	
	150	須恵器	高台付坏	底径 10	底部 1 / 3	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue N 8 / 0 外: Hue N 8 / 0	20号溝	
	151	土師器	坏	口径 12	口縁部のみ 1 / 6	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 7.5YR 7 / 6 外: Hue 7.5YR 8 / 6	20号溝	
	152	土師器	坏		破片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 7.5YR 8 / 6 外: Hue 5 YR 7 / 8	20号溝	
	153	土師器	坏	口径 12.8	口縁部 1 / 6	内: ヘラ磨き 外: ヘラ磨き	内: Hue 2.5YR 5 / 6 外: Hue 7.5YR 6 / 4	20号溝	赤色顔料・赤色化粧土、スス付着 有り
	154	土師器	坏	口径 12.8 底径 6.2 器高 3.8	1 / 8	内: 指ナデ 外: 指ナデ	内: Hue 5 YR 5 / 6 外: Hue 5 YR 5 / 6	20号溝	
	155	土師器	坏	口径 14 底径 10.8 器高 2.5	口縁部 1 / 8	内: ナデ?ミガ キ? 外: ナデ?ミガ キ?	内: Hue 7.5YR 7 / 3 外: Hue 10YR 7 / 3	20号溝	
	156	土師器	坏	口径 15.0 底径 8.6 器高 3.45	1 / 3	内: ナデ、ヘラ 削り 外: ナデ、ヘラ 削り	内: Hue 10YR 6 / 4 外: Hue 10YR 7 / 4	20号溝・1号溝	赤色顔料・赤色化粧土
	157	須恵器	壺?	胴径 19.2	頸部 1 / 2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5Y 6 / 3 外: Hue 2.5Y 6 / 3	20号溝・1号溝	表面に粘土付着あり
	158	土師器	かまど		破片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 5 YR 7 / 6 外: Hue 2.5YR 6 / 6	20号溝	
	159	土師器	甕	口径 23	口縁部 1 / 8	内: ナデ、削り 外: ナデ	内: Hue 7.5YR 8 / 4 外: Hue 7.5YR 8 / 3	20号溝	
	160	土師器	甕	口径 27.4	破片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 5 YR 7 / 4 外: Hue 7.5YR 6 / 4	20号溝	外面にススあり
	161	土師器	甕	口径 32.4	口縁部 1 / 8	内: ヘラ削り 外: ハケ目	内: Hue 7.5YR 8 / 4 外: Hue 7.5YR 7 / 6	20号溝	
	162	土師器	鉢	口径 21	口縁部 1 / 8	内: 削り 外: ハケ目	内: Hue 10YR 7 / 6 外: Hue 7.5YR 7 / 6	20号溝・1号溝拡張 部1層	丹塗りあり
	163	土師器	高坏	口径 14.8	口縁部 1 / 4	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 5 Y 5 / 1 外: Hue 5 Y 5 / 1	20号溝	丹塗りあり
22	164	須恵器	蓋		1 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 7 / 1 外: Hue 5 Y 7 / 1	1号溝	外面 回転ヘラ切り
	165	須恵器	蓋	口径 18 器高 2.8	3 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5Y 7 / 1 外: Hue 7.5Y 7 / 1	1号溝	中層
	166	須恵器	蓋	口径 18 器高 3.2	3 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 10Y 7 / 1 外: Hue 10Y 6 / 1	1号溝	焼きムラあり
	167	須恵器	蓋	口径 17.2 器高 2.3	2 / 3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 5 / 1 外: Hue 5 Y 5 / 1	1号溝	外面に自然釉あり
	168	須恵器	蓋	口径 15 器高 2.7	2 / 3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue N 5 / 0 外: Hue N 5 / 0	1号溝	部分的に自然釉あり
	169	須恵器	蓋		1 / 12	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 8 / 1 外: Hue 5 Y 8 / 1	1号溝	中層
	170	須恵器	蓋	口径 14.8 器高 2.5	1 / 8	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue N 5 / 0 外: Hue N 5 / 0	1号溝	内外面に自然釉あり
	171	須恵器	蓋		1 / 8	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 5 / 1 外: Hue 5 Y 5 / 1	1号溝(2号溝 上 層)	

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
22	172	須恵器	蓋		1 / 5	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 5 / 1 外: Hue 5 Y 5 / 1	1号溝	外面に沈線あり
	173	須恵器	蓋	口径 15.8 器高 1.7	ほぼ完形	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 6 / 1 外: Hue 5 Y 6 / 1	1号溝	
	174	須恵器	蓋	口径 18.2 器高 3.8	1 / 5	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 7 / 1 外: Hue 5 Y 7 / 2	1号溝	
	175	須恵器	蓋		1 / 5	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 5 / 1 外: Hue 5 Y 5 / 1	1号溝	
	176	須恵器	蓋		1 / 3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 5 / 4 外: Hue 5 Y 5 / 4	1号溝 拡張部1層 (20号溝西)	
	177	須恵器	蓋		1 / 12	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 5 / 1 外: Hue 5 Y 5 / 1	1号溝 中層	
	178	須恵器	蓋		1 / 10	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 6 / 1 外: Hue 5 Y 6 / 1	1号溝	つまみ部分のみ
	179	須恵器	蓋		1 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5Y 6 / 2 外: Hue 7.5Y 6 / 2	1号溝	外面にワラが燃えた様な痕あり
	180	須恵器	蓋	口径 11.3	1 / 3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 PB 5 / 1 外: Hue 5 GY 6 / 1	1号溝	
	181	須恵器	蓋	口径 14.8	1 / 2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue N 5 / 5 外: Hue N 5 / 5	1号溝	
	182	須恵器	蓋	口径 20	1 / 2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 6 / 1 外: Hue 10Y 6 / 1	1号溝	
	183	須恵器	蓋	口径 14.4 器高 2.1	1 / 5	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 PB 5 / 1 外: Hue 5 PB 5 / 1	1号溝 50682	
	184	須恵器	蓋	口径 14.6	1 / 8	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5GY 7 / 1 外: Hue 2.5GY 7 / 1	1号溝拡張部2層・ 拡張部1層	自然釉あり
	185	須恵器	蓋	口径 14 器高 1.6	1 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue N 4 / 1 外: Hue N 5 / 1	1号溝 50096	自然釉あり
	186	須恵器	蓋	口径 20.4 器高 1.6	口縁部1 / 6	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue N 6 / 0 外: Hue 5 PB 5 / 1	1号溝 (Ⅱ区) 1層	自然釉あり
	187	須恵器	蓋	口径 13.8 器高 2.3	1 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue N 7 / 1 外: Hue N 7 / 1	1号溝 78	圧痕あり
	188	須恵器	蓋	口径 15 底径 10.1 器高 3.1	1 / 2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5Y 5 / 1 外: Hue 10Y 4 / 1	1号溝最下層・中・ 下層・攪乱	内面の一部に自然釉あり
	189	須恵器	蓋	口径 15.6 器高 2.2	1 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5Y 6 / 1 外: Hue 7.5Y 6 / 1	1号溝 3層	
	190	須恵器	蓋	口径 14 器高 2.1	1 / 5	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5Y 7 / 1 外: Hue 2.5Y 7 / 1	1号溝	つまみ無
	191	須恵器	蓋	口径 14.2 器高 2.4	1 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 10YR 4 / 1 外: Hue N 5 / 0	1号溝 (Ⅱ区) 2層	外面に自然釉あり
	192	須恵器	蓋		1 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5YR 5 / 2 外: Hue 7.5YR 6 / 8	1号溝 (Ⅱ区) 2層	
	193	須恵器	蓋	口径 13.8 器高 3.5	1 / 2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5Y 6 / 3 外: Hue 5 PB 6 / 1	1号溝	自然釉あり
	194	須恵器	蓋	口径 13.2 器高 3.5	ほぼ完形	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5YR 5 / 3 外: Hue 7.5YR 5 / 3	1号溝 拡張部1	
	195	須恵器	蓋	口径 15.5 器高 2	1 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5Y 4 / 2 外: Hue 7.5YR 4 / 2	1号溝・1号溝付近 攪乱	外面に自然釉あり
	196	須恵器	蓋	口径 14 器高 1.1	2 / 3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 10Y 6 / 1 外: Hue 5 BG 4 / 1	1号溝 上層	自然釉あり
	197	須恵器	蓋	口径 14.4 器高 1.5	ほぼ完形	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 7 / 1 外: Hue 5 Y 7 / 1	1号溝	
	198	須恵器	蓋	口径 15 器高 1.1	完形	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5Y 8 / 2 外: Hue 7.5Y 8 / 2	1号溝	
	199	須恵器	蓋	口径 16.4	1 / 2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 6 / 1 外: Hue 5 Y 6 / 1	1号溝 拡張部1層	
	200	須恵器	蓋	口径 14.4 器高 0.9	完形	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5Y 6 / 1 外: Hue 2.5Y 6 / 1	1号溝 下層	つまみ無
	201	須恵器	蓋(墨皿)	口径 19.4 底径 7.4 器高 1.7	2 / 3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 5 / 1 外: Hue 5 Y 5 / 1	1号溝	墨痕
	202	須恵器	蓋	口径 16	1 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5YR 6 / 1 外: Hue 7.5YR 6 / 1	1号溝 中層・最下 層	自然釉あり
	203	須恵器	蓋	口径 15 器高 3	2 / 3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 5 / 1 外: Hue 5 Y 6 / 1	1号溝 (Ⅱ区) 1層	つまみ無, 自然釉あり
	204	須恵器	蓋	口径 13.7 器高 3.7	3 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue N 6 / 0 外: Hue N 5 / 0	1号溝	外面に一部に自然釉あり
23	205	須恵器	坏	口径 14 器高 4.15	2 / 3	内: 回転ナデ 外: ヘラ削り, 回転ナデ	内: Hue 5 Y 6 / 1 外: Hue 5 Y 6 / 2	1号溝	
	206	須恵器	坏	口径 11.6 底径 8.2 器高 3.7	1 / 2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 5 / 3 外: Hue 5 Y 5 / 3	1号溝	内外面に自然釉とワラの痕あり
	207	須恵器	坏	口径 12.6 底径 8.0 器高 3	1 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5YR 3 / 1 外: Hue Y 4 / 2	1号溝 50569・拡 張部1・2層	口縁部に自然釉あり
	208	須恵器	坏	口径 10.8 底径 6.4 器高 3.5	1 / 2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 YR 6 / 1 外: Hue 5 YR 6 / 1	1号溝	外面に自然釉あり
	209	須恵器	坏	口径 12.6 器高 4.1	1 / 2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 4 / 1 外: Hue 5 Y 6 / 1	1号溝	
	210	須恵器	坏	口径 13.2 底径 8 器高 4.8	ほぼ完形	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 10Y 5 / 1 外: Hue 10Y 5 / 1	1号溝 拡張部1層	内外面にワラが燃えた様な痕あり
	211	須恵器	坏	口径 13 底径 9 器高 4.3	1 / 2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 5 / 1 外: Hue N 4 / 0	1号溝 1層	外面(底面以外)全面釉
	212	須恵器	坏	口径 13.4 底径 8.4 器高 3.6	1 / 5	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5Y 6 / 4 外: Hue 2.5Y 6 / 4	1号溝中・下層・2 層	外面にワラの痕, 内面に自然釉あり
	213	須恵器	坏	口径 13.2 底径 7 器高 3.55	1 / 5	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5Y 7 / 2 外: Hue 2.5Y 5 / 2	1号溝 拡張部1層	
	214	須恵器	坏	口径 14 底径 6.2 器高 3.6	1 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 5 / 1 外: Hue 10YR 6 / 1	1号溝 拡張部3層	
	215	須恵器	坏	口径 12.8 底径 8 器高 3.4	1 / 3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5YR 6 / 1 外: Hue 7.5YR 6 / 1	1号溝	内外面にワラが燃えた様は線状痕あり

1. 医学部校舎建設に伴う発掘調査（9601調査地点）

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色 調	出土遺構	備 考
23	216	須恵器	坏	口径 底径 13.2 10	口縁部 1 / 2	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue 5 B 4 / 1 外: Hue 5 B 4 / 1	1号溝 白色灰層 上・2号溝 下層 (灰) M66	内外面にワラの痕
	217	須恵器	坏	口径 底径 器高 12.6 8.2 4.1	1 / 4	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue 5 Y 6 / 1 外: Hue 5 Y 6 / 2	1号溝 (攪乱)	
	218	須恵器	坏	口径 底径 器高 12 9 4	1 / 2	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue 5 Y 6 / 2 外: Hue 5 Y 6 / 1	1号溝	ワラ灰の痕あり
	219	須恵器	坏	口径 器高 11.6 3.9	ほぼ完形	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue 5 Y 4 / 2 外: Hue 5 Y 4 / 2	1号溝	ワラ灰の痕あり
	220	須恵器	坏	口径 底径 器高 13.3 10 3.3	1 / 3	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue 5 Y 5 / 2 外: Hue 5 Y 5 / 2	1号溝 4層・白色 灰層土	口縁部自然軸あり
	221	須恵器	皿	口径 底径 器高 15 11.4 2.9		内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue 10YR 7 / 3 外: Hue 10YR 7 / 3	1号溝	
	222	須恵器	皿	口径 底径 器高 18.2 15 3	1 / 4 口縁部欠	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue 5 Y 5 / 1 外: Hue 5 Y 5 / 1	1号溝	
	223	須恵器	皿	口径 底径 器高 18.8 15 2.3	1 / 4	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue 7.5Y 6 / 1 外: Hue 7.5Y 5 / 1	1号溝 拡張部・3 層	底部にワラの痕
	224	須恵器	皿	口径 器高 15.5 2.1	ほぼ完形	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue 2.5Y 7 / 1 外: Hue 2.5Y 7 / 1	1号溝	
	225	須恵器	皿	口径 器高 15.2 1.9	1 / 4	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue 5 GY 4 / 1 外: Hue 5 GY 4 / 1	1号溝 白色灰層土	
	226	須恵器	皿	口径 底径 器高 18.8 14.4 2.5	口縁部 1 / 2 欠	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue 5 Y 7 / 1 外: Hue 5 Y 7 / 1	1号溝	
	227	須恵器	皿	口径 底径 器高 18.6 10.5 1.8	ほぼ完形	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue 2.5Y 7 / 1 外: Hue 2.5Y 7 / 1	1号溝	
	228	須恵器	碗	口径 底径 器高 11.8 9.4 3.4	2 / 3	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue 7.5Y 5 / 1 外: Hue 7.5Y 5 / 1	1号溝	
	229	須恵器	碗	口径 底径 器高 13.4 9.4 3.1	1 / 4	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue N 4 / 0 外: Hue N 4 / 0	1号溝 (Ⅱ区) 1層	
	230	須恵器	碗	口径 底径 器高 13.4 9 4	口縁部 3 / 2 欠	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue 7.5Y 5 / 1 外: Hue 7.5Y 4 / 1	1号溝	
	231	須恵器	碗	口径 底径 器高 14.2 9.9 3.9	1 / 2	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue 2.5Y 7 / 1 外: Hue 2.5Y 7 / 1	1号溝 (Ⅱ区) 1 層・拡張部 (Ⅱ区) 2層	
	232	須恵器	碗	口径 底径 器高 11.8 9.8 3.9	1 / 2	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue 7.5Y 6 / 1 外: Hue N 5 / 0	1号溝	
	233	須恵器	碗	口径 底径 器高 16.6 9.8 4.6	口縁部 1 / 10	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue N 4 / 0 外: Hue 10Y 4 / 1	1号溝・2号溝	
	234	須恵器	碗	口径 底径 器高 14 4.5	2 / 3	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue 7.5Y 5 / 1 外: Hue 10Y 6 / 1	1号溝 上層	
	235	須恵器	碗	口径 底径 器高 9	底部 1 / 4	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue N 5 / 0 外: Hue N 5 / 0	1号溝 2層	
	236	須恵器	碗	口径 底径 器高 13 8 8	1 / 8	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue N 5 / 0 外: Hue N 5 / 0	1号溝 下層	
	237	須恵器	碗	口径 底径 器高 14.1 4	1 / 4	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue 5 Y 6 / 1 外: Hue 5 Y 6 / 1	1号溝 拡張部 2層	
	238	須恵器	碗	口径 底径 器高 15 10.6 4	1 / 3	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue 5 Y 5 / 1 外: Hue N 1 / 4	1号溝 (Ⅱ区) 1層	外面に自然軸あり
	239	須恵器	碗	口径 底径 器高 16.6 11 4	1 / 8	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue 2.5Y 8 / 1 外: Hue 2.5Y 8 / 1	1号溝 (Ⅱ区) 拡張 部 4層	
	240	須恵器	碗	口径 底径 器高 13.2 8.3 4	ほぼ完形	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue 2.5GY 5 / 1 外: Hue 2.5GY 5 / 1	1号溝 最下層・ベ ルト 4層	外面に一部自然軸あり
	241	須恵器	碗	口径 底径 器高 12.2	底部 1 / 6	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue N 7 / 0 外: Hue 10YR 6 / 1	1号溝 (Ⅱ区) 1層	外面一部自然軸あり
	242	須恵器	碗	口径 底径 器高 9.6	底部 1 / 3	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue 7.5Y 6 / 1 外: Hue 7.5Y 6 / 1	1号溝 50416	
	243	須恵器	碗	口径 底径 器高 16.6 12.8 4.5	口縁部 1 / 8 底部欠	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue 2.5Y 6 / 2 外: Hue 2.5Y 6 / 2	1号溝 (Ⅱ区) 1層	
	244	須恵器	碗	口径 底径 器高 13.8 8.8	口縁部 1 / 8 底部欠	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue N 6 / 0 外: Hue N 6 / 0	1号溝 2層	
	245	須恵器	碗	口径 底径 器高 14 4.2	1 / 2	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue 7.5Y 7 / 1 外: Hue 7.5Y 7 / 1	1号溝 上層	
	246	須恵器	碗	口径 底径 器高 15 5.4	口縁部一部欠	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue 5 Y 5 / 1 外: Hue 7.5Y 5 / 1	1号溝	
	247	須恵器	碗	口径 底径 器高 9.8	底部 1 / 2	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue 7.5Y 7 / 1 外: Hue 7.5Y 7 / 1	1号溝 (Ⅱ区) 拡張 部・攪乱	炭灰付着
	248	須恵器	碗	口径 底径 器高 8.6	底部 1 / 2	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue 7.5Y 6 / 1 外: Hue 7.5Y 5 / 1	1号溝 攪乱	
	249	須恵器	碗	口径 底径 器高 8.6	底部 1 / 4	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue 7.5Y 6 / 1 外: Hue 7.5Y 6 / 1	1号溝 拡張部 1層	外面一部自然軸あり
	250	須恵器	碗	口径 底径 器高 14 4.3	1 / 3	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue 7.5Y 5 / 1 外: Hue 7.5Y 5 / 1	1号溝 2層下部	
	251	須恵器	碗	口径 底径 器高 13.6 4	口縁部 1 / 3 欠	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue 5 Y 6 / 1 外: Hue 5 Y 6 / 1	1号溝 1層・2層 上・中層	外面に自然軸あり
	252	須恵器	碗	口径 底径 器高 9.2	底部 1 / 2	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue 7.5YR 6 / 6 外: Hue 7.5YR 6 / 6	1号溝	底部に自然軸付着あり
	253	須恵器	碗	口径 底径 器高 12.2 3.9	1 / 2	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue 5 Y 6 / 1 外: Hue 5 Y 6 / 1	1号溝	
	254	須恵器	碗	口径 底径 器高 11.9 4.2	1 / 3	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue 5 GY 5 / 1 外: Hue 5 GY 5 / 1	1号溝	底部気泡あり
	255	須恵器	碗	口径 底径 器高 9.2	底部のみ	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue 5 Y 7 / 1 外: Hue 5 R 4 / 1	1号溝	底部全面に自然軸付着あり
	256	須恵器	碗	口径 底径 器高 12.4 8.8 47.5	1 / 8	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue 5 Y 6 / 1 外: Hue 7.5Y 5 / 1	1号溝	
	257	須恵器	碗	口径 底径 器高 9.6	底部 1 / 4	内: 同転ナデ 外: 同転ナデ	内: Hue N 7 / 0 外: Hue N 7 / 0	1号溝 中層	外面底部近くに自然軸あり

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
23	258	須恵器	碗	口径 14.8 底径 10.9 器高 4.2	1 / 3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 6 / 2 外: Hue 5 Y 6 / 2	1号溝	
24	259	須恵器	碗	口径 11 底径 8 器高 3.6	1 / 6	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 10Y 5 / 1 外: Hue N 7 / 1	1号溝 (Ⅱ区) 拡張部 攪乱	自然釉あり
	260	須恵器	碗	口径 12 底径 8.6 器高 3.4	1 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue N 7 / 0 外: Hue N 7 / 0	1号溝 (Ⅱ区) 1層	
	261	須恵器	碗	口径 11.2 底径 4.4	口縁部 1 / 5 欠	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 6 / 1 外: Hue 5 Y 6 / 1	1号溝	自然釉あり (ワラ灰の痕)
	262	須恵器	碗	口径 13.6 底径 4.1	口縁部 1 / 4 欠 口縁部一部欠	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5Y 6 / 3 外: Hue N 5 / 0	1号溝	
	263	須恵器	碗	口径 10.9 底径 4	口縁部 1 / 2 欠 口縁部一部欠	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue N 5 / 0 外: Hue N 5 / 0	1号溝	
	264	須恵器	碗	口径 12.6 底径 4.4	口縁部 1 / 3 欠	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 6 / 1 外: Hue 5 Y 6 / 1	1号溝	外面に自然釉あり
	265	須恵器	碗	口径 13.3 底径 8.9 器高 4.3	2 / 3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 5 / 1 外: Hue N 5 / 0	1号溝	
	266	須恵器	碗	口径 11.8 底径 4.5	口縁部 1 / 4 欠	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 6 / 1 外: Hue 5 Y 6 / 1	1号溝	
	267	須恵器	碗	口径 13.1 底径 7.9 器高 6.2	ほぼ完形	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 7 / 1 外: Hue 7.5Y 6 / 1	1号溝	
	268	須恵器	碗	口径 13.4 底径 9.8 器高 3.9	1 / 3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 YR 6 / 6 外: Hue 2.5YR 3 / 2	1号溝 拡張部	
	269	須恵器	碗	口径 15 底径 4.6	口縁部 1 / 2 欠 口縁部一部欠	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 7 / 1 外: Hue 5 Y 6 / 1	1号溝	胴部に自然釉あり
	270	須恵器	碗	口径 13.1 底径 4.1	1 / 2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 6 / 1 外: Hue 7.5Y 6 / 1	1号溝	
	271	須恵器	碗	口径 14.6 底径 4.8	1 / 3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5Y 6 / 1 外: Hue 7.5Y 6 / 1	1号溝 2層	
	272	須恵器	碗	口径 15.1 底径 5.9	ほぼ完形	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5Y 6 / 1 外: Hue 5 Y 5 / 1	1号溝	
	273	須恵器	碗	口径 14 底径 9.4 器高 6	口縁部 1 / 8 欠	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 5 / 1 外: Hue 5 Y 5 / 1	1号溝	
	274	須恵器	碗	口径 14.3 底径 5.1	2 / 3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 7 / 2 外: Hue 5 Y 5 / 1	1号溝	
	275	須恵器	碗	口径 16 底径 6.1	口縁部 3 / 4 欠	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5R 3 / 1 外: Hue 7.5R 4 / 1	1号溝	
	276	須恵器	碗	口径 14.8 底径 7.1	ほぼ完形	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 6 / 1 外: Hue 7.5Y 6 / 1	1号溝	
	277	須恵器	碗	口径 15.8 底径 5.9	1 / 2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5Y 8 / 2 外: Hue 7.5Y 8 / 2	1号溝 包含層	
	278	須恵器	碗	口径 16 底径 6.4	1 / 2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 7 / 2 外: Hue 5 Y 7 / 2	1号溝 上層	
	279	須恵器	碗	口径 15 底径 6.6	口縁部 1 / 2 欠	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 7 / 1 外: Hue N 6 / 0	1号溝	
	280	須恵器	碗	口径 15.8 底径 5.8	口縁部 1 / 4 欠	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 6 / 1 外: Hue 7.5Y 5 / 1	1号溝	
	281	須恵器	碗	口径 17.4 底径 12.4 器高 5.8	1 / 3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5YR 5 / 2 外: Hue 2.5YR 4 / 3	1号溝	内外面に自然釉あり
	282	須恵器	碗	口径 16.8	1 / 3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5Y 6 / 1 外: Hue 2.5Y 6 / 1	1号溝	
	283	須恵器	碗	口径 16.8 底径 5.8	1 / 2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 6 / 2 外: Hue 5 Y 6 / 2	1号溝	
	284	須恵器	碗	底径 7.6	底部 1 / 3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue N 6 / 0 外: Hue N 6 / 0	1号溝 (Ⅱ区) 拡張部 4層・(Ⅱ区) 拡張部	外面に自然釉あり
	285	須恵器	碗	底径 10.4	底部 1 / 8	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue N 7 / 0 外: Hue N 6 / 0	1号溝 下層	
	286	須恵器	碗	底径 7.6	底部 2 / 3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 10YR 5 / 3 外: Hue 2.5YR 5 / 2	1号溝 2層	外面に自然釉あり
	287	須恵器	碗	底径 9.2	底部 1 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5Y 7 / 1 外: Hue 7.5Y 7 / 2	1号溝	
	288	須恵器	碗	底径 9.6	底部 1 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 10YR 8 / 2 外: Hue 10YR 8 / 2	1号溝 50638	
	289	須恵器	碗	底径 10.4	底部 1 / 3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5YR 5 / 4 外: Hue 7.5YR 5 / 4	M 1 2層	
	290	須恵器	碗	底径 10.2	底部 1 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5Y 6 / 1 外: Hue 7.5Y 7 / 1	1号溝 50633	
	291	須恵器	碗	底径 9.2	底部 1 / 5	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue N 7 / 0 外: Hue N 7 / 0	1号溝・2号溝 中層	
	292	須恵器	碗	底径 9.2	底部 1 / 2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 10Y 6 / 1 外: Hue 10Y 6 / 1	1号溝 1層 (20号溝 西側)	
	293	須恵器	碗	底径 9.8	口縁部 1 / 3 欠	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5Y 8 / 3 外: Hue 2.5Y 8 / 3	1号溝 中層	
	294	須恵器	碗	底径 11.6	底部 1 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5Y 7 / 1 外: Hue 7.5Y 7 / 1	1号溝 (Ⅱ区) 1層	
	295	須恵器	碗	底径 11.4	底部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue N 6 / 0 外: Hue N 6 / 0	1号溝 拡張部ベル ト2層	外面に自然釉あり
	296	須恵器	碗	底径 8.8	底部 3 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5G 6 / 1 外: Hue N 5 / 0	1号溝 2層・3層	
	297	須恵器	碗	底径 8.6	底部 1 / 3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 6 / 1 外: Hue 5 Y 6 / 1	1号溝 1層	
	298	須恵器	碗	底径 9	底部 1 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue N 6 / 0 外: Hue N 5 / 0	1号溝 50144	
	299	須恵器	碗	底径 8	底部 3 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5YR 5 / 1 外: Hue 5 YR 6 / 1	1号溝 中～下層・ 包含層	
	300	須恵器	碗	底径 9.6	底部 3 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5Y 7 / 2 外: Hue 10Y 4 / 1	1号溝 上層	
	301	須恵器	碗	底径 10.0	口縁部 1 / 3 欠	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 PB 7 / 1 外: Hue N 6 / 0	1号溝 拡張部ベル ト1～2層	
	302	須恵器	碗	口径 17	口縁部 1 / 8	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 6 / 1 外: Hue 7.5Y 6 / 6	1号溝	
	303	須恵器	碗	底径 9.6	底部 1 / 3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue N 7 / 0 外: Hue N 6 / 0	1号溝	

1. 医学部校舎建設に伴う発掘調査 (9601調査地点)

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
24	304	須恵器	碗	口径 16.2 底径 8.8 器高 6.2	2 / 3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5Y 5 / 3 外: Hue N 6 / 0	1号溝 中層・攪乱	外面に自然釉あり
25	305	須恵器	甕	口径 13.6 器高 61	口縁部 1 / 2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5YR 5 / 3 外: Hue 7.5YR 5 / 3	1号溝	
	306	須恵器	甕	口径 12.3 底径 22.3 器高 20	4 / 5	内: 同心円タタキ 外: 平行タタキ	内: Hue 7.5YR 7 / 4 外: Hue 10YR 7 / 1	1号溝 1号溝付近 攪乱	外面に自然釉あり
	307	須恵器	甕	口径 20.4	口縁部 1 / 8	内: タタキ 外: タタキ	内: Hue 7.5YR 4 / 2 外: Hue 2.5YR 4 / 4	1号溝	内外面に自然釉あり
	308	須恵器	甕	口径 25	口縁部 1 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5Y 5 / 1 外: Hue 5 B 5 / 1	1号溝 1層	一部自然釉あり
	309	須恵器	甕	口径 24.9	口縁部 1 / 6	内: タタキ 外: タタキ	内: Hue 5 YR 6 / 1 外: Hue 5 YR 6 / 1	1号溝	外面に自然釉あり
	310	須恵器	甕	口径 18.5	口縁部 1 / 6	内: 同心円タタキ 外: 格子タタキ	内: Hue 5 YR 7 / 6 外: Hue 5 YR 6 / 8	1号溝	赤焼け
	311	須恵器	鉢	口径 21.7 底径 11.6 器高 12.5	ほぼ完形	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5YR 7 / 6 外: Hue 2.5YR 7 / 6	1号溝 下層	赤焼け
	312	須恵器	鉢	口径 21 底径 11.6 器高 13.7	底部・胴部 1 / 6	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5YR 5 / 6 外: Hue 2.5YR 5 / 6	1号溝	赤やけ
	313	須恵器	甕	口径 21 器高 39.8	4 / 5	内: 回転ナデ 外: タタキ, 回 転ナデ	内: Hue N 7 / 0 外: Hue N 7 / 0	1号溝	自然釉が多く付着
	314	須恵器	大甕	口径 56	口縁部 1 / 8	内: 同心円タタキ 外: 平行波状文	内: Hue 2.5Y 2 / 1 外: Hue 2.5YR 7 / 1	1号溝 (Ⅱ区) 拡張 部1層	
	315	須恵器	大甕	口径 55.8	口縁部・胴部 1 / 8	内: 同心円タタキ 外: 平行タタキ	内: Hue 7.5Y 4 / 1 外: Hue 5 PB 5 / 1	1号溝	口縁部に自然釉が多く付着
26	316	須恵器	甕	口径 23.6	口縁部 1 / 8	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5Y 6 / 1 外: Hue 7.5Y 5 / 1	1号溝 99	
	317	須恵器	甕	口径 21.6	口縁部 1 / 8	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5Y 6 / 1 外: Hue N 5 / 0	1号溝 (攪乱)	
	318	須恵器	甕	口径 27.2	口縁部 1 / 8	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 PB 4 / 1 外: Hue 5 PB 4 / 1	1号溝 50668	自然釉あり, 圧痕あり
	319	須恵器	甕	口径 29	口縁部 1 / 8	内: タタキ痕 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 5 / 1 外: Hue 5 Y 3 / 1	1号溝	口縁部及び外面に自然釉あり
	320	須恵器	甕	口径 30.4	口縁部破片	内: タタキ 外: タタキ	内: Hue 5 YR 7 / 6 外: Hue 5 YR 7 / 6	1号溝 1層	
	321	須恵器	甕	口径 24.2	口縁部片	内: 回転ヘラ削り 外: 回転ナデ	内: Hue 5 GY 8 / 1 外: Hue 5 GY 8 / 1	1号溝 上層下	自然釉あり
	322	須恵器	壺	口径 26.8	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 6 / 1 外: Hue N 7 / 0	1号溝 50654	自然釉あり, 圧痕あり
	323	須恵器	甕	口径 45.6	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ヘラ削り	内: Hue 7.5YR 4 / 1 外: Hue 7.5YR 4 / 1	1号溝 (Ⅱ区) 1層	波状文あり
	324	須恵器	壺	口径 13.2	口縁部 1 / 8	内: タタキ 外: タタキ	内: Hue N 4 / 0 外: Hue N 4 / 0	1号溝 (2号溝側攪 乱)	自然釉あり
	325	須恵器	壺	口径 16.8	口縁部 1 / 8	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 PB 4 / 1 外: Hue 10BG 6 / 1	1号溝 拡張部3層	外面に自然釉あり
	326	須恵器	長頸壺	口径 16.4 器高 8.2	口縁部のみ	内: 回転ナデ 外: 回転ヘラ削り	内: Hue 10YR 7 / 1 外: Hue 10YR 7 / 1	1号溝	内・外面ともに自然釉付着あり
	327	須恵器	壺		胴部 2 / 3のみ	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5Y 6 / 1 外: Hue 7.5Y 4 / 1	1号溝 攪乱	外面に自然釉あり
	328	須恵器	高台付鉢	底径 12	底部 1 / 8	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5Y 6 / 1 外: Hue 5 B 5 / 1	1号溝 50672	外面に自然釉あり
	329	須恵器	鉢	底径 11		内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 10BG 4 / 1 外: Hue N 3 / 0	1号溝 (1号溝付近 攪乱)	
	330	須恵器	鉢	底径 11.8	胴部・底部 1 / 5	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5Y 5 / 4 外: Hue 2.5Y 7 / 1	1号溝 (1号溝付近 攪乱)	胴部に自然釉あり
	331	須恵器	壺		頸部 1 / 2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 PB 5 / 1 外: Hue 5 PB 6 / 1	1号溝 50012	自然釉あり
	332	須恵器	壺	口径 9 最大径17	口縁部・胴部 1 / 8	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 PB 6 / 1 外: Hue 5 PB 5 / 1	1号溝 (Ⅱ区) 3層	自然釉あり
	333	須恵器	鉢	底径 8.7	底部 1 / 3	内: 回転ナデ 外: 回転ヘラ削り	内: Hue 10Y 4 / 1 外: Hue 10Y 6 / 1	1号溝 白色灰層土	
	334	須恵器	鉢	底径 10	底部 3 / 4	内: 底部指で削 取り 外: ヘラ切り	内: Hue N 6 / 0 外: Hue N 7 / 0	1号溝	
	335	須恵器	坏	口径 15.2 底径 6.9 器高 6	1 / 5	内: 回転ナデ 外: 一部ヘラ削り	内: Hue 10YR 4 / 2 外: Hue 10R 4 / 4	1号溝 2層	赤焼け
	336	須恵器	高坏	口径 20.6 器高 2.3	1 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue N 5 / 0 外: Hue N 6 / 0	M 1下層, M 1攪乱 M 2溝中層, M 2中 下層	外面に自然釉あり
	337	須恵器	高坏	口径 22	1 / 5	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 6 / 1 外: Hue 5 Y 6 / 2	1号溝	全面に自然釉付着あり
	338	須恵器	皿	口径 24.6	口縁部 1 / 6	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5YR 5 / 1 外: Hue 5 YR 5 / 1	1号溝	内外面に自然釉あり
	339	須恵器	壺	口径 10.8	口縁部 1 / 2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue N 4 / 0 外: Hue N 4 / 0	1号溝 (2号溝 248)	青海波紋あり
	340	須恵器	短頸壺	口径 11.8	口縁部 1 / 6	内: ヘラ削り, 回転ナデ 外: ヘラ削り, 回転ナデ	内: Hue 10BG 5 / 1 外: Hue 5 B 5 / 1	1号溝・20号溝	外面に自然釉あり
	341	須恵器	短頸壺	口径 11.4 最大径21.4	口縁部・胴部 3 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 10YR 7 / 1 外: Hue 5 YR 5 / 1	1号溝 上層	
	342	須恵器	短頸壺	口径 15.2	胴部 1 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 6 / 1 外: Hue 5 Y 5 / 1	1号溝	残存高さ4. 9cm
	343	須恵器	鉢	口径 17.8	1 / 6	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue N 6 / 0 外: Hue 5 B 5 / 1	1号溝	一部に自然釉あり
27	344	土師器	坏	口径 13.7 底径 7.9 器高 3.4	ほぼ完形	内: 回転ヘラ磨 き, 回転ナデ 外: 回転ヘラ磨 き, 回転ナデ	内: Hue 2.5YR 6 / 8 外: Hue 5 YR 6 / 6	1号溝	赤色顔料・赤色化粧土
	345	土師器	坏	口径 13.8 底径 8.7 器高 3.2	ほぼ完形	内: 回転ヘラ磨 き, ヘラ削り 外: 回転ヘラ磨 き, ヘラ削り	内: Hue 5 YR 5 / 6 外: Hue 7.5YR 6 / 6	1号溝	赤色顔料・赤色化粧土
	346	土師器	坏	口径 13.9 底径 8.8 器高 3.3	ほぼ完形	内: 回転ヘラ磨 き, 回転ナデ 外: 回転ヘラ磨 き, 回転ナデ	内: Hue 5 YR 6 / 6 外: Hue 5 YR 6 / 6	1号溝	赤色顔料・赤色化粧土

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
27	347	土師器	坏	口径 14.7 底径 9.3 器高 3.5	口縁部 1 / 3 欠	内: 回転ヘラ磨き 回転ナデ 外: 回転ヘラ磨き 回転ナデ	内: Hue 5 YR 6 / 6 外: Hue 5 YR 6 / 6	1号溝	赤色顔料・赤色化粧土
	348	土師器	坏	口径 14.7 底径 8.5 器高 3.3	口縁部 1 / 3 欠	内: 回転ヘラ磨き 回転ナデ 外: 回転ヘラ磨き 回転ナデ	内: Hue 5 YR 6 / 8 外: Hue 5 Y 7 / 6	1号溝 白色灰層土	赤色顔料・赤色化粧土
	349	土師器	坏	口径 14.6 底径 7.7 器高 3.3	口縁部 1 / 3 欠	内: 回転ヘラ磨き 回転ナデ 外: 回転ヘラ磨き 回転ナデ	内: Hue 2.5YR 6 / 8 外: Hue 5 YR 6 / 6	1号溝	赤色顔料・赤色化粧土
	350	土師器	坏	口径 13.9 器高 3.2	3 / 4	内: 回転ヘラ磨き 回転ナデ 外: 回転ヘラ磨き 回転ナデ	内: Hue 5 YR 6 / 6 外: Hue 5 YR 6 / 6	1号溝	赤色顔料・赤色化粧土
	351	土師器	坏	口径 14.1 底径 8 器高 3.5	2 / 3	内: 回転ヘラ磨き 回転ナデ 外: 回転ヘラ磨き 回転ナデ	内: Hue 5 YR 6 / 8 外: Hue 5 YR 7 / 8	1号溝 拡張部 2層	赤色顔料・赤色化粧土
	352	土師器	坏	口径 13.8 底径 7.4 器高 3.6	1 / 3	内: 回転ヘラ磨き 回転ナデ 外: 回転ヘラ磨き 回転ナデ	内: Hue 5 YR 7 / 8 外: Hue 2.5YR 7 / 8	1号溝	赤色顔料・赤色化粧土
	353	土師器	坏	口径 14.3 底径 8.8 器高 3.4	口縁部 1 / 4 欠	内: 回転ヘラ磨き 回転ナデ 外: 回転ヘラ磨き 回転ナデ	内: Hue 2.5YR 6 / 6 外: Hue 5 YR 6 / 6	1号溝	赤色顔料・赤色化粧土
	354	土師器	坏	口径 13.8 底径 8.6 器高 3	3 / 4	内: 回転ヘラ磨き 回転ナデ 外: 回転ヘラ磨き 回転ナデ	内: Hue 5 YR 6 / 6 外: Hue 2.5YR 6 / 8	1号溝 上～下層	赤色顔料・赤色化粧土
	355	土師器	坏	口径 15 底径 9.3 器高 3.2	1 / 2	内: 回転ヘラ磨き 回転ナデ 外: 回転ヘラ磨き 回転ナデ	内: Hue 5 YR 6 / 8 外: Hue 5 YR 6 / 8	1号溝	赤色顔料・赤色化粧土
	356	土師器	坏	口径 14.4 底径 8.7 器高 3.6	3 / 4	内: 回転ヘラ磨き 回転ナデ 外: 回転ヘラ磨き 回転ナデ	内: Hue 7.5YR 7 / 6 外: Hue 7.5YR 7 / 6	1号溝	赤色顔料・赤色化粧土
	357	土師器	坏	口径 16 底径 7.8 器高 3.9	1 / 4	内: 回転ヘラ磨き 回転ナデ 外: 回転ヘラ磨き 回転ナデ	内: Hue 7.5YR 6 / 6 外: Hue 7.5YR 6 / 6	1号溝 中層	赤色顔料・赤色化粧土
	358	土師器	坏	口径 17 底径 9.8 器高 4	1 / 3	内: 回転ヘラ磨き 回転ナデ 外: 回転ヘラ磨き 回転ナデ	内: Hue 5 YR 7 / 8 外: Hue 2.5YR 6 / 6	1号溝 2層	赤色顔料・赤色化粧土
	359	土師器	坏	口径 19.9 底径 10.6 器高 3	1 / 3	内: 回転ヘラ磨き 回転ナデ 外: 回転ヘラ磨き 回転ナデ	内: Hue 10YR 7 / 4 外: Hue 10YR 7 / 4	1号溝 拡張部 1・3層	赤色顔料・赤色化粧土
	360	土師器	坏	口径 13.8 底径 8.6 器高 3.4	3 / 4	内: 回転ヘラ磨き 回転ナデ 外: 回転ヘラ磨き 回転ナデ	内: Hue 2.5YR 6 / 6 外: Hue 5 YR 6 / 4	1号溝	赤色顔料
	361	土師器	坏	口径 14.2 底径 9.5 器高 4.6	3 / 4	内: 回転ヘラ磨き 回転ナデ 外: 回転ヘラ磨き 回転ナデ	内: Hue 2.5YR 5 / 6 外: Hue 2.5YR 6 / 6	1号溝	赤色顔料・赤色化粧土
	362	土師器	坏	口径 12.6	口縁部欠・底部欠 1 / 2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5YR 6 / 6 外: Hue 2.5YR 6 / 6	1号溝	赤色顔料・赤色化粧土
	363	土師器	坏	口径 12.6 底径 8.6 器高 3.4	1 / 3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5YR 6 / 8 外: Hue 5 YR 6 / 8	1号溝	赤色顔料・赤色化粧土
	364	土師器	坏	口径 14.2 底径 10.4 器高 3.6	1 / 3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5YR 6 / 6 外: Hue 2.5YR 6 / 8	1号溝 拡張部	赤色化粧土
	365	土師器	坏	口径 13.7 底径 10 器高 2.7	完形	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 YR 6 / 6 外: Hue 2.5YR 5 / 8	1号溝	赤色顔料・赤色化粧土
	366	土師器	坏	口径 14.8 底径 10.7 器高 3.2	ほぼ完形	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5YR 5 / 8 外: Hue 2.5YR 5 / 8	1号溝	赤色化粧土
	367	土師器	坏	口径 13.8 底径 9.9 器高 3.6	ほぼ完形	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 YR 5 / 8 外: Hue 5 YR 5	1号溝 拡張部 2層	赤色顔料・赤色化粧土
	368	土師器	坏	口径 14.2 底径 9.9 器高 3.6	ほぼ完形	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 YR 5 / 6 外: Hue 5 YR 6 /	1号溝	赤色顔料・赤色化粧土
	369	土師器	坏	口径 13.4 底径 9.7 器高 3	ほぼ完形	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5YR 6 / 8 外: Hue 2.5YR 6 / 8	1号溝	赤色顔料・赤色化粧土
	370	土師器	坏	口径 12.9 底径 9.3 器高 3.3	口縁部 1 / 4 欠	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 YR 6 / 8 外: Hue 5 YR 6 / 8	1号溝 上層	赤色顔料・赤色化粧土
	371	土師器	坏	口径 13 底径 8.7 器高 3.6	口縁部 1 / 3 欠	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 YR 6 / 8 外: Hue 5 YR 6 / 7	1号溝	赤色顔料・赤色化粧土
	372	土師器	坏	口径 13 底径 9.2 器高 3.7	1 / 2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5YR 6 / 8 外: Hue 2.5YR 6 / 8	1号溝	赤色顔料・赤色化粧土
	373	土師器	坏	口径 14.3 底径 10.6 器高 3.2	2 / 3 口縁部 1 / 2 欠	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5YR 5 / 8 外: Hue 2.5YR 5 / 8	1号溝	赤色顔料・赤色化粧土
	374	土師器	坏	口径 13.5 底径 10.4 器高 3.3	1 / 2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5YR 6 / 8 外: Hue 7.5YR 6 / 8	1号溝	赤色顔料・赤色化粧土
	375	土師器	坏	口径 13 底径 7.5 器高 4	ほぼ完形	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 YR 6 / 8 外: Hue 7.5YR 8 / 6	1号溝	赤色顔料・赤色化粧土
	376	土師器	坏	口径 13.6 底径 9.1 器高 3.3	2 / 3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5YR 6 / 6 外: Hue 2.5YR 6 / 6	1号溝	赤色顔料・赤色化粧土

1. 医学部校舎建設に伴う発掘調査 (9601調査地点)

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
27	377	土師器	坏	口径 13.5 底径 8.8 器高 3.7	口縁部 1 / 2 欠	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 YR 7 / 8 外: Hue 5 YR 7 / 6	1号溝	赤色顔料・赤色化粧土
	378	土師器	坏	口径 16 底径 11.1 器高 4.6	2 / 3 口縁部 2 / 3 欠	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5YR 6 / 8 外: Hue 10R 6 / 6	1号溝	赤色顔料・赤色化粧土
	379	土師器	坏	口径 13 底径 9.5 器高 3	口縁部 1 / 2 欠	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 YR 6 / 1 外: Hue 5 YR 7 / 6	1号溝	赤色顔料・赤色化粧土
	380	土師器	坏	口径 13.7 底径 9.1 器高 4	口縁部 1 / 3 欠	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5YR 7 / 6 外: Hue 7.5YR 8 / 6	1号溝 (Ⅱ区) 拡張部 2・3層	赤色顔料・赤色化粧土
	381	土師器	坏	口径 12.8 底径 8.8 器高 3.8	1 / 3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5YR 6 / 4 外: Hue 7.5YR 6 / 4	1号溝	赤色顔料・赤色化粧土
	382	土師器	坏	口径 12.8 底径 7 器高 3.2	口縁部 1 / 2 欠	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 YR 7 / 6 外: Hue 5 YR 7 / 6	1号溝 3層	赤色顔料
	383	土師器	坏	口径 13.9 底径 9 器高 3.4	1 / 3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5YR 6 / 6 外: Hue 7.5YR 6 / 6	1号溝	赤色顔料
	384	土師器	坏	口径 13.4 底径 3.5	ほぼ完形	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 YR 6 / 6 外: Hue 5 YR 6 / 6	1号溝	赤色顔料
	385	土師器	皿	口径 16 底径 12.2 器高 1.5	1 / 6	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 YR 5 / 6 外: Hue 5 YR 5 / 6	1号溝 (90020)	赤色顔料・赤色化粧土
28	386	土師器	鉢	口径 18.5 器高 10	1 / 3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5YR 6 / 8 外: Hue 5 YR 6 / 8	1号溝	赤色顔料・赤色化粧土
	387	土師器	蓋	口径 14.4	2 / 3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 YR 5 / 8 外: Hue 5 YR 5 / 8	1・2号溝	赤色顔料・赤色化粧土
	388	土師器	蓋	口径 19.6	1 / 3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 YR 7 / 8 外: Hue 5 YR 7 / 8	1号溝	赤色顔料・赤色化粧土
	389	土師器	蓋	口径 16.6 器高 3.3	2 / 3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 YR 6 / 6 外: Hue 2.5YR 6 / 8	1号溝	赤色顔料・赤色化粧土
	390	土師器	坏	底径 8.3	口縁部欠	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 YR 6 / 8 外: Hue 7.5YR 7 / 6	1号溝	赤色顔料・赤色化粧土
	391	土師器	高坏		脚部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 10YR 7 / 4 外: Hue 2.5YR 4 / 8	1号溝 50311	丹塗有り
	392	土師器	高坏脚?	底径 7.2 器高 1.1	1 / 2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 YR 6 / 6 外: Hue 5 YR 6 / 6	M 1Ⅱ区 1層, M 1Ⅱ区 拡張部	赤色顔料・赤色化粧土
	393	土師器	鉢	底径 11	1 / 5	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 10YR 8 / 3 外: Hue 2.5YR 7 / 6	1号溝	
	394	土師器	高坏		脚部 1 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 YR 6 / 8 外: Hue 5 YR 5 / 8	1号溝 拡張部 1層	赤色顔料・赤色化粧土
	395	土師器	甕	口径 19.6 器高 17.3	1 / 4	内: ヘラ削り 外: ハケ目	内: Hue 5 YR 7 / 3 外: Hue 5 YR 7 / 4	1号溝下層・50327・50101・50322・中層・50146	スス付着あり
	396	土師器	甕	口径 17.9 器高 16.7	1 / 3	内: ヘラ削り 外: ハケ目	内: Hue 7.5YR 7 / 6 外: Hue 5 YR 5 / 4	1号溝	外面にススあり, 内面底にコゲあり
	397	土師器	甕	口径 18.8	1 / 4	内: ヘラ削り 外: ハケ目	内: Hue 10YR 7 / 3 外: Hue 10YR 7 / 4	1号溝 中層・攪乱	底部付近ススあり
	398	土師器	甕	口径 16	口縁部 1 / 4	内: ヘラ削り 外: ハケ目	内: Hue 10YR 6 / 2 外: Hue 10YR 6 / 3	1号溝	内面にコゲあり
	399	土師器	甕	口径 17.4	口縁部 1 / 4	内: 削り 外: ハケ目	内: Hue 5 YR 6 / 3 外: Hue 5 YR 6 / 6	1号溝・3号溝 下層	
	400	土師器	甕	口径 26.6	口縁部 1 / 2	内: ヘラ削り 外: ハケ目	内: Hue 10YR 7 / 4 外: Hue 7.5YR 6 / 4	1号溝	外面一部にスス痕・コゲ痕あり
	401	土師器	甕	口径 24.4	口縁部 1 / 2	内: ヘラ削り 外: ハケ目, ナデ	内: Hue 7.5YR 8 / 2 外: Hue 7.5YR 8 / 2	1号溝 50185・50186・下層・中層・攪乱	
	402	土師器	甕	口径 25	口縁部 1 / 6	内: ヘラ削り 外: ハケ目	内: Hue 5 YR 6 / 4 外: Hue 2.5YR 6 / 6	1号溝 下層・包含層	
	403	土師器	甕	口径 23	口縁部・胴部 1 / 4	内: ヘラ削り 外: ナデ	内: Hue 10YR 7 / 6 外: Hue 10YR 7 / 4	1号溝	
	404	土師器	甕	口径 23.5 器高 26.4	1 / 2	内: ヘラ削り 外: ナデ	内: Hue 5 YR 6 / 6 外: Hue 5 YR 6 / 6	1号溝	外面スス付着
	405	土師器	甕	口径 26	口縁部 1 / 2	内: ヘラ削り 外: ハケ目, ナデ	内: Hue 5 YR 6 / 6 外: Hue 10YR 8 / 4	1号溝 50084・50079	
29	406	土師器	甕	口径 25.6	口縁部 1 / 4	内: ヘラ削り 外: ハケ目	内: Hue 5 YR 6 / 6 外: Hue 5 YR 6 / 8	1号溝・2号溝 上層	
	407	土師器	甕	口径 24.6	口縁部 1 / 2	内: ヘラ削り 外: ナデ	内: Hue 5 YR 7 / 6 外: Hue 5 YR 7 / 6	1号溝 50305・2号溝 B東周・攪乱	ススあり
	408	土師器	甕	口径 28	口縁部 1 / 6	内: ヘラ削り 外: ハケ目	内: Hue 7.5YR 7 / 3 外: Hue 7.5YR 6 / 4	1号溝 50386・116	
	409	土師器	甕	口径 26.7	1 / 3	内: ケズリ 外: ハケ目	内: Hue 10YR 7 / 4 外: Hue 10YR 6 / 3	1号溝	スス付着あり
	410	土師器	甕	口径 26.1	口縁部 1 / 3	内: ヘラ削り 外: ハケ目	内: Hue 2.5YR 6 / 2 外: Hue 10YR 7 / 4	1号溝	
	411	土師器	甕	口径 28	口縁部 1 / 2	内: ヘラ削り 外: ハケ目, ナデ	内: Hue 10YR 7 / 6 外: Hue 7.5YR 7 / 6	1号溝	
	412	土師器	鉢	口径 26 器高 9.9	1 / 4	内: ヘラ削り 外: ハケ目	内: Hue 10YR 7 / 4 外: Hue 10YR 6 / 4	1号溝 中層・下層	外面にコゲあり
	413	土師器	鉢	口径 26	1 / 2 底部欠	内: ヘラ削り 外: ハケ目	内: Hue 5 YR 6 / 6 外: Hue 5 YR 4 / 3	1号溝 下層	外面にスス付着あり
	414	土師器	鉢	口径 22	底部 1 / 4 欠	内: ヘラ削り 外: ハケ目, ナデ	内: Hue 5 YR 6 / 6 外: Hue 5 YR 6 / 6	1号溝 拡張部 1・2 1層	
	415	土師器	甕		底部片	内: ヘラ削り 外: ハケ目, ナデ	内: Hue 10YR 8 / 2 外: Hue 10YR 8 / 3	1号溝 (90009)	黒斑あり
	416	土師器	移動式甕		底部破片	内: 削りの後ナデ 外: 太いハケ	内: Hue 7.5YR 6 / 6 外: Hue 5 YR 5 / 6	1号溝	底部にすだれ状の圧痕あり
	417	土師器	移動式甕		底部破片	内: 削りの後ナデ 外: 太いハケ	内: Hue 7.5YR 6 / 6 外: Hue 7.5YR 6 / 6	1号溝	底部にすだれ状の圧痕あり
30	418	須恵器	蓋	口径 11.2	1 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue N 5 / 0 外: Hue N 5 / 0	2号溝 310・最下層	外面に自然釉あり
	419	須恵器	坏	口径 11.8	1 / 6	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5Y 5 / 1 外: Hue 7.5Y 5 / 1	2号溝 383	自然釉あり
	420	須恵器	高坏	底径 9.2	脚部一部欠	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue N 6 / 0 外: Hue N 6 / 0	2号溝 350	外面に自然釉あり
	421	須恵器	碗	底径 6.6	底部 1 / 2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 5 / 1 外: Hue 5 Y 6 / 1	2号溝 384	

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
30	422	須恵器	蓋	口径 13.6 器高 1.7	1 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5Y 6 / 1 外: Hue 7.5Y 6 / 1	2号溝 上層	口縁部の一部自然釉あり
	423	須恵器	蓋	口径 16.4 器高 1.2	1 / 2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5Y 7 / 1 外: Hue 7.5Y 7 / 1	2号溝 293・294	
	424	須恵器	蓋	口径 15.7 器高 1.5	ほぼ完形	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5Y 5 / 1 外: Hue 7.5Y 5 / 1	2号溝 367・中・下層	口縁部の一部自然釉あり
	425	須恵器	碗	口径 12 底径 8.7 器高 4.35	2 / 3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5Y 6 / 1 外: Hue 7.5Y 5 / 1	2号溝	
	426	須恵器	碗	底径 10	底部 1 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5Y 6 / 1 外: Hue N 6 / 0	2号溝 中・下層・上層	
	427	須恵器	碗	口径 15.4 底径 10.4 器高 6.5	1 / 8	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 10YR 5 / 1 外: Hue N 7 / 0	2号溝 下層	自然釉あり
	428	須恵器	碗	底径 14.6	底部 1 / 5	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue N 8 / 0 外: Hue N 8 / 0	2号溝 最下層	
	429	須恵器	碗	底径 11.2	底部 1 / 3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 7 / 1 外: Hue 5 Y 7 / 1	2号溝 最下層	
	430	土師器	蓋		1 / 6	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 YR 6 / 8 外: Hue 2.5YR 5 / 8	2号溝	赤色顔料・赤色化粧土
	431	須恵器	壺	口径 12.5	口縁部 3 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 8 / 2 外: Hue 5 Y 8 / 2	2号溝 207	
	432	須恵器	鉢	底径 9.8	底部 1 / 3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 6 / 1 外: Hue 5 Y 6 / 1	2号溝 (付近攪乱)	内面に自然釉あり
	433	須恵器	壺	口径 11.6	口縁部 1 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 5 / 1 外: Hue 5 Y 2 / 1	2号溝	外面に自然釉厚く付着あり
	434	須恵器	坏	口径 11.3 底径 8.1 器高 3.9	1 / 2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 6 / 2 外: Hue 5 Y 7 / 2	2号溝・1号溝	口縁部近くに自然釉あり
	435	土師器	坏	口径 13 底径 6 器高 3	1 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5YR 6 / 4 外: Hue 7.5YR 5 / 3	2号溝	
	436	土師器	坏	口径 13.6 底径 10 器高 3.4	1 / 2 口縁部一部欠・ 底部一部欠	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5YR 7 / 6 外: Hue 5 YR 7 / 6	2号溝	赤色顔料・赤色化粧土
	437	土師器	甕	口径 28.8	口縁部 1 / 4	内: ヘラ削り 外: ハケ目	内: Hue 7.5YR 8 / 2 外: Hue 10YR 8 / 2	2号溝 213・上層	
	438	土師器	甕	口径 25 器高 32	1 / 2	内: 削り 外: ハケ目	内: Hue 10YR 7 / 2 外: Hue 5 YR 7 / 6	2号溝	
	439	須恵器	甕		底部片	内: タタキ 外: タタキ、ハケ目	内: Hue 10Y 5 / 1 外: Hue 7.5Y 4 / 1	2号溝・1号溝	
	440	須恵器	壺?	底径 10.2	底部 1 / 2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5YR 5 / 4 外: Hue 5 YR 5 / 3	2号溝	外面に自然釉あり
	441	須恵器	碗	底径 10	底部 1 / 3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5Y 4 / 1 外: Hue 7.5Y 4 / 1	3号溝	外面に自然釉あり
	442	須恵器	碗	底径 10.2	底部 1 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 7 / 1 外: Hue 5 Y 6 / 2	3号溝	
	443	須恵器	坏	口径 13.8	1 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ 外: ヘラ削り、回転ナデ	内: Hue 5 Y 7 / 2 外: Hue 5 Y 8 / 1	3号溝	
	444	須恵器	高坏		坏脚部 1 / 3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 10BG 7 / 1 外: Hue 10BG 7 / 1	3号溝	一部に自然釉あり
	445	須恵器	脚台付壺	最大径 18.8 底径 14.2	1 / 5	内: 同心円タタキ 外: キザミ目、タタキ	内: Hue N 6 / 0 外: Hue N 6 / 0	3号溝	内外面に自然釉あり 内面底部に青海波文あり
	446	土師器	甕	口径 27.6	口縁部 1 / 8	内: ヘラ削り 外: ハケ	内: Hue 2.5YR 6 / 6 外: Hue 2.5YR 7 / 8	3号溝	
	447	土師器	甕	口径 30	口縁部 1 / 3	内: ヘラ削り 外: ナデ	内: Hue 7.5YR 8 / 4 外: Hue 7.5YR 7 / 4	3号溝	
31	448	須恵器	坏	口径 11.2 底径 5.4 器高 3.5	1 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 10Y 6 / 1 外: Hue 10Y 6 / 1	4号住居址 覆土	外面の一部に釉あり
	449	須恵器	坏	底径 9	底部 1 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 YR 6 / 6 外: Hue 5 YR 6 / 6	4号住居址 覆土・ベルト	
	450	土師器	坏	口径 16 底径 9.2 器高 2.7	1 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5YR 5 / 8 外: Hue 2.5YR 5 / 8	4号住居址	赤色顔料・赤色化粧土
	451	土師器	甕	口径 28.8	口縁部片	内: ナデ、ヘラ削り 外: ナデ	内: Hue 5 YR 7 / 6 外: Hue 5 YR 6 / 6	5号住居址 P 4	口縁部ススあり
	452	須恵器	円面碗	直径 19.7	1 / 2 脚部 1 / 2 欠	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 3 / 2 外: Hue 5 YR 5 / 3	5号住居址	
	453	土師器	坏	口径 17.4	口縁部 1 / 8	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5YR 8 / 8 外: Hue 5 YR 7 / 8	16号住居址	赤色顔料・赤色化粧土
	454	土師器	甕	口径 21.6	口縁部 1 / 8	内: ヘラ削り 外: ハケ目	内: Hue 10YR 7 / 6 外: Hue 7.5YR 7 / 6	7号住居址	
	455	土師器	甕		口縁部片	内: ナデ 外: ハケ目	内: Hue 10YR 6 / 3 外: Hue 7.5YR 6 / 3	7号住居址	
	456	土師器	壺	口径 19.7	1 / 3	内: ヘラ削り 外: ハケ目	内: Hue 7.5YR 7 / 6 外: Hue 5 YR 6 / 6	7号住居址	
	457	土師器	坏		底部 1 / 3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 YR 7 / 6 外: Hue 2.5YR 6 / 6	7号住居址	
	458	土師器	坏	口径 12.8	口縁部 1 / 6	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5YR 8 / 5 外: Hue 10YR 8 / 3	15号住居址	
	459	土師器	坏	口径 17	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5YR 7 / 4 外: Hue 7.5YR 7 / 4	32号住居址	赤色顔料
	460	土師器	高坏	口径 16.2	坏部 1 / 4	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 2.5YR 5 / 6 外: Hue N1.5 / 0	35号住居址	赤色顔料
	461	須恵器	碗	底径 9	底部 1 / 2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 Y 6 / 2 外: Hue 5 Y 6 / 1	36号住居址	
	462	土師器	坏	口径 16 底径 12 器高 4	1 / 2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5YR 5 / 6 外: Hue 2.5YR 6 / 6	36号住居址	赤色顔料・赤色化粧土、外面スス付着
	463	土師器	坏	底径 10	底部 1 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 YR 6 / 6 外: Hue 5 YR 6 / 6	42号住居址 P 2	赤色顔料・赤色化粧土
	464	土師器	坏	底径 9	底部 1 / 4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5 YR 6 / 8 外: Hue 5 YR 6 / 8	41号住居址 P 1	赤色顔料・赤色化粧土
	465	土師器	坏	口径 14 底径 9 器高 2.35	1 / 8	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5YR 6 / 6 外: Hue 2.5YR 6 / 6	42号住居址 P 2	赤色顔料・赤色化粧土

1. 医学部校舎建設に伴う発掘調査（9601調査地点）

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
31	466	土師器	坏	口径 15	口縁部 1 / 8	内：ナデ、磨き 外：ナデ、磨き	内：Hue 5 YR 7 / 6 外：Hue 7.5YR 8 / 6	42号住居址 P 2	赤色顔料・赤色化粧土
	467	土師器	甕	口径 23.2	口縁部 1 / 8	内：ヘラ削り 外：ナデ	内：Hue 10YR 8 / 3 外：Hue 10YR 8 / 4	42号住居址	一部ふきこぼれ?
	468	土師器	甕	口径 30.2	口縁部片	内：ヘラ削り 外：ナデ	内：Hue 10YR 8 / 3 外：Hue 10YR 8 / 3	42号住居址 P13	全体にスス付着
	469	土師器	甕	口径 29.6	1 / 3	内：ヘラ削り 外：ハケ目	内：Hue 5 YR 5 / 6 外：Hue 5 YR 5 / 6	8号住居址 P 1・ 36号ビット446	
	470	須恵器	碗	口径 15	1 / 8	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5GY 7 / 1 外：Hue 2.5GY 6 / 1	53号遺構	
	471	土師器	坏		底部 1 / 6	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR 6 / 4 外：Hue 5 YR 5 / 4	438号ビット	赤色顔料・赤色化粧土
	472	土師器	坏	口径 13 底径 8.4 器高 3.1	ほぼ完形	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5YR 5 / 6 外：Hue 5 YR 5 / 4	438号ビット	赤色顔料・赤色化粧土
	473	須恵器	蓋	口径 13.4 器高 1.1	1 / 4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 10Y 6 / 1 外：Hue 10Y 6 / 1	66号遺構	口縁部自然釉あり
	474	須恵器	蓋	口径 19.4	1 / 8	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5GY 8 / 1 外：Hue 2.5GY 8 / 1	65号遺構	
	475	須恵器	蓋	口径 16	1 / 6	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5 Y 7 / 1 外：Hue 5 Y 6 / 1	96号住居址	
	476	須恵器	坏	口径 14.6 器高 4.4	1 / 3	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5 PB 6 / 1 外：Hue 5 PB 6 / 1	96号住居址 P10・ 405号遺構 P 2	内外面に自然釉あり
	477	土師器	甕	口径 27.4	口縁部 1 / 4	内：ヘラ削り 外：ハケ目、ナデ	内：Hue 5 YR 7 / 6 外：Hue 5 YR 7 / 6	96号住居址 P 7・ P14・P 8・掘り方	外面にススあり
	478	須恵器	坏	口径 13.2 底径 8 器高 3.2	3 / 4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5Y 6 / 1 外：Hue 7.5Y 6 / 1	97号住居址	
	479	土師器	碗	底径 8	底部 1 / 4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR 7 / 6 外：Hue 7.5YR 7 / 6	97号住居址	
	480	土師器	壺	口径 15.2	口縁部 1 / 8	内：ナデ 外：ヘラ削り	内：Hue 7.5YR 8 / 3 外：Hue 10YR 8 / 4	99号遺構	
	481	土師器	碗	底径 8.8	底部 1 / 4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5 YR 7 / 8 外：Hue 5 YR 7 / 8	99号遺構	
32	482	須恵器	高坏		坏底部 口縁部欠 脚部欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue N 8 / 0 外：Hue N 8 / 0	235号遺構	
	483	土師器	坏	口径 12.4 器高 3.5	1 / 4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR 6 / 6 外：Hue 7.5YR 6 / 6	267号遺構	赤色顔料・赤色化粧土、口縁スス 付着
	484	土師器	碗		底部 1 / 3	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5YR 5 / 8 外：Hue 2.5YR 5 / 8	267号遺構	赤色顔料・赤色化粧土
	485	土師器	甕	口径 19	口縁部 1 / 4	内：ヘラ削り 外：ハケ目	内：Hue 2.5YR 6 / 6 外：Hue 5 YR 7 / 6	297号住居址	
	486	須恵器	高坏	底径 9.6	口縁部 1 / 4欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5 Y 7 / 2 外：Hue 5 Y 7 / 1	469号ビット	
	487	土師器	甕	口径 26.2 器高 21.7	1 / 4	内：ヘラ削り 外：ハケ目	内：Hue 7.5YR 6 / 6 外：Hue 5 YR 7 / 8	407号土坑 P 1	
	488	土師器	甕	口径 25	口縁部 1 / 8	内：ヘラ削り 外：ハケ目	内：Hue 7.5YR 7 / 6 外：Hue 7.5YR 7 / 6	408号土坑	
	489	土師器	甕	口径 25.8 器高 21.5	1 / 2	内：ヘラ削り 外：ハケ目	内：Hue 10YR 7 / 3 外：Hue 10YR 7 / 3	408号土坑・244号遺 構・Ⅱ区複乱	
	490	土師器	鉢	口径 26	2 / 3	内：ヘラ削り 外：ハケ目	内：Hue 7.5YR 8 / 4 外：Hue 7.5YR 8 / 4	408号土坑	外面にススあり
	491	土師器	鉢	口径 18	口縁部 1 / 2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5 YR 6 / 6 外：Hue 2.5YR 5 / 6	500号住居址	赤色顔料・赤色化粧土
	492	土師器	碗	底径 9.6	底部 1 / 2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5 YR 6 / 6 外：Hue 7.5YR 7 / 4	500号住居址	赤色顔料・赤色化粧土
	493	須恵器	碗	底径 8.8	底部 1 / 4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR 6 / 1 外：Hue 7.5YR 5 / 1	500号住居址	
	494	須恵器	壺	口径 23.8	口縁部 1 / 6	内：タタキ、ナデ 外：ハケ目、ナデ	内：Hue 5 PB 6 / 1 外：Hue 5 PB 6 / 1	Ⅱ区複乱	自然釉あり。背海波紋あり
	495	土師器	坏	口径 16.6 底径 11 器高 3.5	1 / 2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR 7 / 6 外：Hue 7.5YR 7 / 6	複乱（20号溝西側）	赤色顔料・赤色化粧土
	496	須恵器	蓋	口径 21 器高 3.2	1 / 5	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5Y 6 / 1 外：Hue 2.5Y 6 / 1	複乱	
	497	須恵器	蓋	口径 15 器高 1.9	1 / 5	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5 Y 6 / 1 外：Hue 5 Y 6 / 1	複乱	つまみ無
33	498	土師器	坏	口径 14.2 底径 9.8 器高 4.4	3 / 4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 10YR 6 / 4 外：Hue 2.5YR 7 / 6	1号溝	「杉本寺」・刻書、赤色顔料
	499	土師器	坏		底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR 7 / 3 外：Hue 7.5YR 7 / 3	1号溝	「杉本寺」・ヘラ書・灯明皿、赤色 顔料
	500	土師器	坏		破片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 10YR 7 / 3 外：Hue 10YR 7 / 3	1号溝	「(杉本) 寺」・ヘラ書・灯明皿
	501	土師器	坏・蓋?		底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5YR 3 / 5 外：Hue 2.5YR 5 / 8	1号溝	「(杉本) 寺」・ヘラ書、赤色化粧 土
	502	土師器	坏	口径 12.4 底径 7.8 器高 3.5	ほぼ完形	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5 YR 7 / 8 外：Hue 5 YR 7 / 8		「杉本」・ヘラ書・灯明皿、赤色顔 料・赤色化粧土
	503	土師器	坏	口径 15.5 底径 11.8 器高 4.2	ほぼ完形	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR 7 / 6 外：Hue 7.5YR 7 / 6	第3調査区	「杉本寺」・ヘラ書・灯明皿、赤色 顔料
	504	土師器	坏	口径 13.4 底径 9.4 器高 4	4 / 5	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 10YR 8 / 4 外：Hue 10YR 8 / 4	1号溝	「佛」・ヘラ書・灯明皿、赤色顔料
	505	土師器	坏		破片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR 6 / 6 外：Hue 7.5YR 6 / 6	2号溝	「寺」カ・ヘラ書、赤色顔料
	506	土師器	坏		底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5 YR 6 / 8 外：Hue 5 YR 6 / 8	1号溝	「十」カ・ヘラ書、赤色顔料
	507	土師器	碗		底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5 YR 6 / 6 外：Hue 5 YR 6 / 6	1号溝	「屎」・ヘラ書、赤色顔料・赤色化 粧土
	508	土師器	坏		底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR 7 / 6 外：Hue 2.5YR 6 / 8	1号溝	文字不明・ヘラ書
	509	土師器	坏		破片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5 YR 7 / 6 外：Hue 5 YR 7 / 6	1号溝	文字不明・ヘラ書、赤色顔料
	510	土師器	坏		底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR 7 / 6 外：Hue 10YR 7 / 4	2号溝B	「田井」・ヘラ書
	511	土師器	坏		底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5 YR 7 / 6 外：Hue 5 YR 7 / 6	32号住居址	「田井」カ・ヘラ書、赤色顔料

図	番号	遺 物	種類(器種)	法 量 (cm)	残 存 量	特 徴	色 調	出土遺構	備 考
33	512	土師器	坏		底部片	内：同転ナデ 外：同転ナデ	内：Hue 5 YR 6 / 6 外：Hue 5 YR 6 / 6	1号溝	「立（人）」・ヘラ書、赤色顔料
	513	土師器	坏		底部片	内：同転ナデ 外：同転ナデ	内：Hue 7.5YR 6 / 6 外：Hue 7.5YR 6 / 6	1号溝	「立人」・ヘラ書、赤色顔料
	514	土師器	坏	底径 11.6	底部1 / 6	内：同転ナデ 外：同転ナデ	内：Hue 7.5YR 7 / 6 外：Hue 2.5YR 7 / 8	カクラン	「方」・ヘラ書
	515	土師器	坏		底部片	内：同転ナデ 外：同転ナデ	内：Hue 10YR 7 / 3 外：Hue 10YR 7 / 3	包含層	「二」カ・ヘラ書、赤色顔料
	516	土師器	碗		底部片	内：同転ナデ 外：同転ナデ	内：Hue 5 YR 6 / 6 外：Hue 5 YR 6 / 6	2号溝	「川」カ・ヘラ書、赤色顔料・赤色化粧土
34	517	土師器	坏	底径 12.2	底部1 / 5	内：同転ナデ 外：同転ナデ	内：Hue 10YR 7 / 4 外：Hue 10YR 7 / 4	1号溝	円文・刺突記号、赤色顔料
	518	土師器	坏		口縁部片	内：同転ナデ 外：同転ナデ	内：Hue 10YR 8 / 4 外：Hue 10YR 8 / 4	1号溝	円文・刺突記号、赤色顔料
	519	土師器	坏	底径 7	底部1 / 2	内：同転ナデ 外：同転ナデ	内：Hue 10YR 7 / 4 外：Hue 10YR 7 / 4	M 3	「田井」・ヘラ書、赤色顔料
	520	土師器	坏		破片	内：同転ナデ 外：同転ナデ	内：Hue 7.5YR 7 / 6 外：Hue 5 YR 6 / 6	カクラン	底部にヘラ書あり・不明
	521	須恵器	碗	口径 13.4 底径 8 器高 4.7	ほぼ完形	内：同転ナデ 外：同転ナデ	内：Hue 5 Y 7 / 1 外：Hue N 6 / 0	1号溝	野？・墨書
	522	須恵器	碗		底部片	内：同転ナデ 外：同転ナデ	内：Hue 2.5Y 5 / 1 外：Hue N 5 / 0	1号溝	文字不明・墨書
	523	土師器	坏	口径 14.3 底径 8.4 器高 3.2	口縁部 1 / 3 欠	内：同転ヘラ磨 外：同転ヘラ磨	内：Hue 10YR 7 / 3 外：Hue 5 YR 6 / 6	1号溝	文字不明・墨書、赤色顔料・赤色化粧土
	524	土師器	坏	口径 13.2 底径 9.4 器高 3.6	4 / 5	内：同転ナデ 外：同転ナデ	内：Hue 2.5YR 6 / 6 外：Hue 2.5YR 6 / 6	1号溝	「文？」・墨書、赤色顔料・赤色化粧土
	525	土師器	坏	口径 14.4 底径 8.4 器高 4.3	1 / 6	内：同転ナデ 外：同転ナデ	内：Hue 5 YR 7 / 6 外：Hue 5 YR 7 / 6	1号溝	文字不明・墨書
	526	土師器	坏	口径 13.4 器高 3.1	1 / 2	内：同転ナデ 外：同転ナデ	内：Hue 5 YR 4 / 8 外：Hue 5 YR 4 / 8	1号溝	文字不明・墨書、赤色化粧土
	527	土師器	坏		底部片	内：同転ヘラ磨き 外：同転ヘラ磨き	内：Hue 2.5YR 5 / 8 外：Hue 7.5YR 6 / 4	包含層	「立人」カ・墨書、赤色顔料・赤色化粧土
	528	土師器	坏		底部1 / 4	内：同転ナデ 外：同転ナデ	内：Hue 7.5YR 7 / 4 外：Hue 2.5YR 6 / 8	1号溝	文字不明・墨書、赤色顔料・赤色化粧土
	529	土師器	坏		底部片	内：同転ナデ 外：同転ナデ	内：Hue 10YR 7 / 6 外：Hue 5 YR 6 / 6	1号溝	「立人」カ・墨書、赤色顔料
	530	土師器	坏		底部1 / 4	内：同転ナデ 外：同転ナデ	内：Hue 2.5YR 6 / 6 外：Hue 2.5YR 6 / 6	1号溝	「立人」カ・墨書、赤色顔料・赤色化粧土
	531	土師器	坏		底部1 / 5	内：同転ナデ 外：同転ナデ	内：Hue 5 YR 6 / 8 外：Hue 5 YR 6 / 8	1号溝	文字不明・墨書、赤色顔料・赤色化粧土
	532	土師器	坏		底部1 / 4	内：同転ナデ 外：同転ナデ	内：Hue 5 YR 6 / 6 外：Hue 7.5YR 6 / 4	M 2	「立人」カ・墨書、赤色顔料・赤色化粧土
	533	土師器	坏	底径 10	底部1 / 6	内：同転ナデ 外：同転ナデ	内：Hue 2.5YR 6 / 8 外：Hue 5 YR 6 / 6	包含層墓地	文字不明・墨書、赤色顔料・赤色化粧土
	534	土師器	坏		底部片	内：同転ナデ 外：同転ナデ	内：Hue 7.5YR 7 / 6 外：Hue 5 YR 6 / 6	カクラン	文字不明・墨書、赤色顔料・赤色化粧土
	535	土師器	坏		底部片	内：同転ナデ 外：同転ナデ	内：Hue 5 YR 6 / 8 外：Hue 7.5YR 7 / 6	包含層	「立人」カ・墨書、赤色顔料・赤色化粧土
	536	土師器	坏		底部片	内：同転ナデ 外：同転ナデ	内：Hue 5 YR 6 / 8 外：Hue 5 YR 6 / 6	Ⅱ区 包含層	文字不明・墨書、赤色化粧土
	537	土師器	坏	底径 8.2	底部1 / 4	内：同転ナデ 外：同転ナデ	内：Hue 5 YR 6 / 6 外：Hue 7.5YR 7 / 6	P57	「水？」・墨書、赤色顔料・赤色化粧土
	538	須恵器	碗	口径 15.4 底径 11.2 器高 6	1 / 4	内：同転ナデ 外：同転ナデ	内：Hue 5 Y 8 / 1 外：Hue 5 Y 5 / 1	Ⅱ区カクラン	底部に墨書あり
35	539	鉄器	鎌	長さ 14.1 幅 4.6 厚さ 0.39	先端部割れ			1号溝 2層上	重量52.5g 鉄
	540	鉄器	鎌	長さ 16.4 幅 3.51 厚さ 0.74	完形			8号住居址	重量130g 鉄 鍛造
	541	鉄器	鎌	長さ 18.0 幅 4.56 厚さ 0.59	完形			包含層	重量450.5g 鉄 鍛造
	542	鉄器	鎌	長さ 20.1 幅 3.4 厚さ 0.3	完形			2号溝	重量53.6g 鉄
	543	鉄器	刀子	長さ 7.26 幅 1.01 厚さ 0.51	基部欠損			1号溝（Ⅱ区）1層	重量7.4g 鉄 鍛造、両関式
	544	鉄器	刀子	長さ 9.04 幅 1.22 厚さ 0.68	基部欠損			1号溝	重量9.8g 鉄 鍛造
	545	鉄器	刀子	長さ 2.96 幅 0.79 厚さ 0.31	基部欠損			1号溝	重量1.5g 鉄 鍛造
	546	鉄器	刀子	長さ 4.4 幅 1.51 厚さ 0.39	先端部 基部欠損			1号溝（Ⅱ区）拡張部4層	重量4.4g 鉄 鍛造
	547	鉄器	刀子	長さ 6.98 幅 1.28 厚さ 0.43	先端部 基部欠損			1号溝（Ⅱ区）拡張部1層	重量9.2g 鉄 鍛造、両関式
	548	鉄器	不明	長さ 7.19 幅 1.17 厚さ 0.59	先端部 欠損			2号溝 下層（灰層）	重量9.2g 鉄 鍛造
	549	鉄器	刀子	長さ 14.47 幅 1.62 厚さ 0.28	基部欠損			1号溝	重量19.4g 鉄 鍛造、片関式
	550	鉄器	刀子	長さ 15.2 幅 2.27 厚さ 1.09	先端部 欠損			攪乱	重量40.6g 鉄 鍛造
	551	鉄器	刀子	長さ 63.6 幅 9.05 厚さ 2.75	基部欠損			15号住居址	重量5.3g 鉄 鍛造
	552	鉄器	刀子	長さ 7.8 幅 1.04 厚さ 0.44	先端部 欠損			1号溝	重量6.1g 鉄 鍛造

1. 医学部校舎建設に伴う発掘調査（9601調査地点）

図	番号	遺 物	種類(器種)	法量 (cm)	残 存 量	特 徴	色 調	出土遺構	備 考
35	553	鉄器	鉄	長さ 7.21 幅 0.65 厚さ 0.45	先端部 基部欠損			1号溝 拡張部	重量6.2g 鉄 鍛造
	554	鉄器	鉄	長さ 5.98 幅 0.79 厚さ 0.69	先端部 基部欠損			2号溝 下層	重量6.7g 鉄 鍛造
	555	鉄器	鉄	長さ 7.51 幅 0.56 厚さ 0.49	先端部 基部欠損			42号住居址 覆土	重量5.8g 鉄 鍛造
	556	鉄器	鉄	長さ 7.75 幅 0.52 厚さ 0.4	先端部 欠損			1号溝	重量6.3g 鉄 鍛造、尖根式
	557	鉄器	鉄	長さ 10.59 幅 0.66 厚さ 1.2	先端部 基部欠損			2号溝 下層	重量12g 鉄 鍛造、両関式
	558	鉄器	斧	長さ 12.0 幅 5.58 厚さ 4.13	完形			1号溝	重量43g 鉄 鍛造
36	559	土製品	鉢	長さ 3.2 幅 1.3 厚さ 1.3	ほぼ完形	ナデ	内: Hue 外: Hue 10YR 7 / 3	8区	
	560	土製品	鉢	長さ 3.9 幅 1.2 厚さ 1.2	完形	ナデ	内: Hue 外: Hue 2.5Y 7 / 2	Ⅱ区 Pit	
	561	土製品	鉢	長さ 3.3 幅 1.1 厚さ 1.1	一部欠損	ナデ	内: Hue 外: Hue 10YR 7 / 4	455号ピット	
	562	土製品	鉢	長さ 5.2 幅 1.29 厚さ 1.25	完形	ナデ	内: Hue 外: Hue 7.5YR 7 / 6	1号溝(Ⅱ区) 拡張部1層	重量7.7g 土
	563	石製品	垂飾	長さ 4.5 幅 1.9 厚さ 0.7	約1/2		内: Hue 5GY 4 / 1 外: Hue 5GY 7 / 1	1号溝 1層	重量12.4g 滑石
	564	石製品	砥石	長さ 8.42 幅 8.11 厚さ 2.48	約1/2		内: Hue 外: Hue 7.5YR 6 / 3	1号溝	重量460g 砂岩 火を受けて赤～黒変
	565	石製品	砥石	長さ 6.72 幅 2.41 厚さ 2.17	約1/2		内: Hue 外: Hue 10YR 7 / 6	1号溝(Ⅱ区) 拡張部1層	重量33.5g 天草砂岩
	566	土師器	紡錘車	直径 5.6 高さ 0.9	1/2		内: Hue 7.5YR 7 / 4 外: Hue 7.5YR 7 / 4	10号遺構	重量17.4g 土器片再利用
	567	土製品	紡錘車	長さ 5.5 幅 3.3 厚さ 0.9	1/2		内: Hue 外: Hue 5Y 4 / 1	1号溝	重量20g 土製
	568	土製品	紡錘車	長さ 5.8 幅 3.2 厚さ 0.9	1/2		内: Hue 外: Hue 10YR 7 / 4	1号溝(Ⅱ区) 拡張部5層	重量19.8g 土器片再利用
	569	須恵器	紡錘車未製品	長さ 6.1 幅 6.2 厚さ 1.5	完形		内: Hue 外: Hue 7.5YR 7 / 6	1号溝 拡張部	重量65.5g 土器片再利用
	570	須恵器	紡錘車	長さ 6.0 幅 3.5 厚さ 0.6	1/2		内: Hue 外: Hue 7.5YR 6 / 6	1号溝 拡張部1層	重量13.4g 土器片再利用
	571	石器	砥石	長さ 18.0 幅 8.0 厚さ 8.0	一部欠損		Hue 7.5YR 7 / 6	2号溝	長辺4面に研磨痕、刀痕あり
	572	石製品	硯		1/2		内: Hue 10R 4 / 2 外: Hue 10R 4 / 2	8区	
	573	石製品	砥石	長さ 11.9 幅 5.9 厚さ 2.4	約1/2		内: Hue 外: Hue 2.5Y 4 / 2	1号溝(Ⅱ区) 拡張部1層	重量246g 砂岩
	574	石製品	砥石	長さ 185 幅 163 厚さ 40	ほぼ完形		内: Hue 外: Hue 10YR 5 / 8	1号溝	重量1800g 砂岩
37	575	縄文土器	深鉢形土器	口径 30		内: ナデ、磨き 外: ナデ、磨き	内: Hue 2.5Y 5 / 3 外: Hue 10YR 5 / 4	包含層	(参考) 第8区1号住居外面にススあり
	576	縄文土器	深鉢形土器	口径 34	口縁部・胴部片	内: ナデ、磨き 外: ナデ、磨き	内: Hue 10YR 6 / 4 外: Hue 10YR 6 / 4	包含層・攪乱	口縁部に文様
	577	縄文土器	深鉢形土器	口径 30.6	口縁部破片	内: ナデ、磨き 外: ナデ、磨き	内: Hue 10YR 6 / 4 外: Hue 10YR 6 / 4	370号ピット・1号溝 1層	口縁部に文様
38	578	石器	剥片	長さ 1.48 幅 1.05 厚さ 0.31				包含層	重量0.4g 黒曜石
	579	石器	剥片	長さ 1.78 幅 1.11 厚さ 0.32				1号溝	重量0.5g 黒曜石
	580	石器	剥片	長さ 1.78 幅 1.52 厚さ 0.38				攪乱	重量0.8g 黒曜石
	581	石器	剥片	長さ 2.79 幅 1.47 厚さ 0.44				包含層	重量1.3g 黒曜石
	582	石器	剥片	長さ 2.49 幅 1.09 厚さ 0.84				1号溝 下層	重量2.8g 黒曜石
	583	石器	剥片	長さ 3.03 幅 2.22 厚さ 0.58				2号溝 中下層	重量3g 黒曜石
	584	石器	剥片	長さ 1.89 幅 0.76 厚さ 0.33				1号溝 下層	重量0.5g 黒曜石
	585	石器	剥片	長さ 2.35 幅 1.64 厚さ 0.37				2号溝 最下層	重量1.3g 黒曜石
	586	石器	剥片	長さ 1.99 幅 1.89 厚さ 0.42				2号溝B	重量1.2g 黒曜石
	587	石器	剥片	長さ 2.35 幅 2.20 厚さ 0.38				2号溝B	重量2.3g 黒曜石

図	番号	遺 物	種類(器種)	法量 (cm)	残 存 量	特 徴	色 調	出土遺構	備 考
38	588	石器	剥片	長さ 3.23 幅 2.40 厚さ 0.6				攪乱	重量4.3g 黒曜石
	589	石器	剥片	長さ 3.4 幅 1.54 厚さ 0.79				3号溝 中層	重量3.3g 黒曜石
	590	石器	剥片	長さ 3.5 幅 2.48 厚さ 0.57				1号溝 上層	重量4.7g 黒曜石
	591	石器	剥片	長さ 3.48 幅 3.03 厚さ 0.39				包含層	重量3.3g 黒曜石
	592	石器	剥片	長さ 3.75 幅 1.93 厚さ 0.93				攪乱	重量4.5g 黒曜石
	593	石器	剥片	長さ 4.58 幅 2.44 厚さ 1.85				攪乱	重量7.1g 黒曜石
	594	石器	剥片	長さ 3.10 幅 2.72 厚さ 0.45				包含層	重量4g 黒曜石
	595	石器	剥片	長さ 4.94 幅 3.27 厚さ 0.68				包含層	重量13.6g サマカイト
	596	石器	石核	長さ 2.33 幅 1.61 厚さ 1.74				3区 21号住居址	重量8.1g 黒曜石
	597	石器	剥片	長さ 1.92 幅 0.74 厚さ 0.16				40号土坑	重量0.2g 黒曜石
	598	石器	剥片	長さ 1.73 幅 0.74 厚さ 0.27				40号土坑	重量0.3g 黒曜石
	599	石器	剥片	長さ 2.05 幅 0.87 厚さ 0.31				40号土坑	重量0.3g 黒曜石
	600	石器	剥片	長さ 1.85 幅 1.55 厚さ 0.32				40号土坑	重量0.9g 黒曜石
	601	石器	剥片	長さ 3.0 幅 1.94 厚さ 1.02				40号土坑	重量3.2g 黒曜石
	602	石器	剥片	長さ 2.8 幅 1.82 厚さ 0.51				40号土坑	重量1.8g 黒曜石
	603	石器	剥片	長さ 3.08 幅 1.82 厚さ 0.2				40号土坑	重量1.1g 黒曜石
	604	石器	剥片	長さ 3.8 幅 2.34 厚さ 0.78				40号土坑	重量4.5g 黒曜石
	605	石器	剥片	長さ 5.24 幅 1.42 厚さ 1.63				40号土坑	重量9.1g 黒曜石
	606	石器	剥片	長さ 2.28 幅 1.54 厚さ 0.36				40号土坑	重量1.5g 黒曜石
	607	石器	剥片	長さ 2.22 幅 2.07 厚さ 0.39				40号土坑	重量1.3g 黒曜石
39	608	縄文土器	鉢形土器		口縁部片	内：ナデ、磨き 外：ナデ、磨き	内：Hue 2.5YR 7 / 4 外：Hue 2.5YR 7 / 4	8区	口縁部に沈線文あり
	609	縄文土器	鉢形土器		口縁部破片	内：ナデ、磨き 外：ナデ、磨き	内：Hue 2.5Y 6 / 3 外：Hue 2.5Y 6 / 3	8区	口縁部に沈線文あり
	610	縄文土器	深鉢形土器		肩部破片	内：ナデ、磨き 外：ナデ、磨き	内：Hue 7.5YR 6 / 4 外：Hue 10YR 7 / 4	攪乱	外面に沈線文あり
	611	縄文土器	深鉢形土器		破片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 10YR 6 / 4 外：Hue 10YR 6 / 4	8区	外面に沈線文あり
	612	縄文土器	深鉢形土器		肩部破片	内：ナデ、磨き 外：ナデ、磨き	内：Hue 10YR 7 / 4 外：Hue 2.5Y 8 / 3	Ⅱ区攪乱	外面に沈線文あり
	613	縄文土器	深鉢形土器		口縁部片	内：ナデ、磨き 外：ナデ、磨き	内：Hue 2.5YR 6 / 4 外：Hue 2.5YR 4 / 2	1号溝	口縁部につなぎ目あり
	614	縄文土器	鉢形土器		口縁部片	内：ナデ、磨き 外：ナデ、磨き	内：Hue 7.5YR 6 / 3 外：Hue 2.5YR 5 / 6	1号溝	
	615	縄文土器	鉢形土器	底径 6	底部 1 / 4	内：磨き 外：磨き	内：Hue 2.5YR 7 / 3 外：Hue 10YR 7 / 4	1号溝	
	616	縄文土器	深鉢形土器		口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 7.5YR 5 / 4 外：Hue 7.5YR 5 / 4	攪乱	外面にススあり 表面に沈線文あり
	617	縄文土器	深鉢形土器	口径 26	口縁部 1 / 4	内：ヘラ磨き 外：ヘラ磨き	内：Hue 10YR 8 / 2 外：Hue 7.5YR 4 / 3	1号溝	スス付着あり
	618	縄文土器	深鉢形土器		口縁部片	内：ナデ、磨き 外：ナデ、磨き	内：Hue 10YR 7 / 3 外：Hue 7.5YR 6 / 4	1号溝	
	619	縄文土器	深鉢形土器		破片	内：ナデ 外：磨き	内：Hue 7.5YR 6 / 4 外：Hue 5 YR 6 / 6	1号溝	外面下部にススあり
	620	縄文土器	鉢		口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 2.5Y 3 / 1 外：Hue 2.5Y 3 / 1	1号溝	
	621	縄文土器	鉢		口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 2.5YR 7 / 2 外：Hue 10YR 6 / 2	包含層	
	622	縄文土器	深鉢形土器		破片	内：ナデ、磨き 外：ナデ、磨き	内：Hue 2.5YR 5 / 2 外：Hue 2.5YR 6 / 3	1区	外面に沈線文あり
	623	縄文土器	深鉢形土器		口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10YR 7 / 4 外：Hue 10YR 7 / 4	1号溝 (90002)	途中で抜き取りあり
	624	縄文土器	深鉢形土器	底径 7.2	底部 1 / 2	内：磨き 外：磨き	内：Hue 10YR 7 / 4 外：Hue 7.5YR 6 / 4	1号溝	

Ⅲ 黒髪南地区の調査

1. 工学部校舎建設に伴う発掘調査（9603調査地点）

（1）調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

本工学部校舎の建設に伴う試掘調査は、1995年3月1日に実施し（調査番号9521）、弥生時代中期後半の土器を伴う土壌が検出され、本調査が必要であると判断された。これを受け、1996年4月18日の埋蔵文化財調査委員会において協議の結果、了承されたので、1996年5月より発掘調査を開始した。調査期間は、1996年5月10日～1996年6月24日で、調査の総面積は1,000㎡である。

b. 調査の経過

1996年5月10日 機械にて攪乱土および遺構検出作業を開始する。
 1996年5月15日 作業員投入、遺構検出を行う。
 1996年5月16日 測量基準点の設置。グリッドを設定する。
 1996年5月20日 1/20平面図による測量を開始する。
 1996年5月21日 遺構掘り下げ開始。住居址などから遺物が出土し始める。
 1996年5月22日 住居址を中心として遺構の写真撮影を行う。2号溝の掘り下げを開始する。
 1996年5月31日 ほぼ遺構の掘り下げが完了するが、再度遺構の検出を行う。
 1996年6月5日 掘立柱建物の柱穴を縦割りし、柱痕跡を検出する。
 1996年6月18日 調査区全体のレベル実測を行う。
 1997年6月24日 発掘調査終了。

c. 調査の組織

調 査 員：小畑弘己

事 務 担 当：矢野希久代

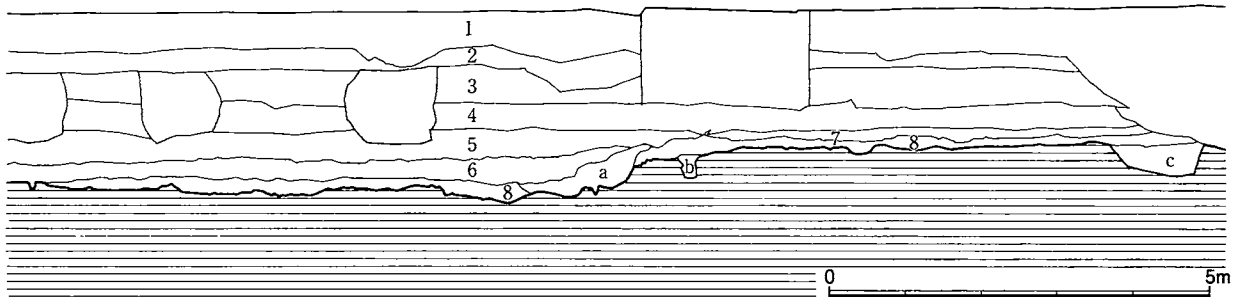
発掘作業員：飯田孝俊・今村佳子・大坪志子・岡村久美子・押方富江・尾上博一・甲斐田末男・窪田千代子・古賀敬子・小細工洋子・柴田やよひ・白石美智子・土田ちえみ・林田恵子・番山明子・福田久美子・堀川貞子・松井昭子・水上順子・元島睦美・森田ミドリ・若杉竜太

整理作業員：伊藤千代子・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・古賀敬子・首藤優子・末吉美紀・溜渕俊子・土田ちえみ・長谷智子・林田恵子・増井弘子・山崎早苗

（2）調査区の基本層序

調査地点は、白川右河岸の標高17mの地点にあたる。工学部旧運動場部分に相当し、すでに地形の大きな改変を受けている。運動場の造成にあたって遺物包含層は削平され、遺構検出面の上は、鉄分の沈殿した運動場の硬く締まった層（厚さ5cm）、その上を昭和28年の洪水による青灰色砂層（厚さ30cm）が直接被覆していた。その上部は泥炭質の暗褐色の埋土（約50cm）で、洪水によって運動場が埋没し、その後埋立て造成された様子がわかる。遺構検出面までの深さは、約1.3～1.5mほどである。このような状況であるので、遺構検出面は非常に硬く、しかも旧建物の基礎による攪乱が著しいため、遺構検出の作業自体の困難さに加え、削平を受けて残りの悪い遺構は、その切り合い関係を把握しづらいものであった。土層の堆積状況から、旧地形は調査地点の東から西にかけて緩やか傾斜していたものと思われる。土層の説明はほぼ状況が同じであるので、9704調査地点の項（本章第2節）で詳し

LH=20.00m



- | | |
|---------------------------------|--|
| 1層：灰黄褐色攪乱土層（Hue10YR5/2）表土 | 17層：黒褐色土層（Hue7.5YR3/1）古代遺物包含層 |
| 2層：浅黄橙色粘土層（Hue10YR8/3）埋土 | 8層：極暗褐色シルト質土層（Hue7.5YR2/3）古代～縄文時代遺物包含層 |
| 3層：褐灰色砂層（Hue10YR4/1）造成土 | a層：極暗褐色シルト質土層（Hue7.5YR2/3）（4号溝） |
| 4層：黒褐色シルト質砂層（Hue2.5Y3/1）S.28洪水砂 | b層：褐色砂まじりシルト質土層（Hue10YR4/6）（柱穴） |
| 5層：黒褐色シルト質土層（Hue10Y3/2）近世 | c層：暗褐色シルト質土層（Hue10YR3/3）（3号溝） |
| 6層：黒褐色シルト質土層（Hue10Y3/2）近世 | |

図41 9704調査地点北壁土層断面実測図（1/100）

く説明している。図は41図を参考にされたい。

（3）検出遺構

調査区の西側、調査面積の4割ほどは、旧建物の基礎によって破壊されていた。より東側を中心に古代を中心とした遺構が検出された。

今回の調査で検出された主な遺構は、7世紀後半～9世紀前半にかけての竪穴住居址5基、土壇3基、掘立柱建物3棟、溝3条、9世紀前半遺構に掘削された溝1条、柱穴多数などがある（図42）。

<溝>

11号溝（図42・43）

調査区南壁に沿うように東西に延びる幅3m、深さ50cmほどの断面形台形の溝である。隣接する9704調査地点の4号溝に連なる。近世後半の陶磁器類が出土した。

2号溝（図42・43）

調査区北半部の中央を東西方向に延びる断面台形の溝である。幅は3m、深さは50cmほどである。覆土からは土師器や須恵器などが少量出土し、図化したものには図47：19の須恵器碗がある。この溝は隣接する9704調査地点へ伸び、屋敷地を囲む区画溝であった可能性が高い。遺物の時期の中心は8世紀代のものである。

1・3号溝（図42）

調査区を南北に貫くように延びる溝であり、3号溝は途中で消失する。これは調査区がかなり削平を受けている可能性もあり、本来は1号溝と平行して延びていた可能性もある。溝の真心間の距離は4mである。溝自体は広いところで1.5m、狭いところでは50cm余りで、深さも15cmほどと残りはよくない。遺物は細片が多く時期を決めがたいが、1号溝からは布目瓦が出土しており、古代のものであることは間違いない。

上記溝のうち、11号溝がやや蛇行しながら北西へ流れている水路の性格をもつのに対し、2号溝はほぼ直線的で、敷地を区画するような性格のものであった可能性が高い。時期は、2号溝が8世紀代のものを多く含み、11号溝は近世以降の遺物を含む。このことから、2号溝は、19号掘立柱建物に付



図42 9603・9704調査地点遺構配置図（1 / 400）

图中薄いアミ部分は攪乱、9704調査区図はカタタ Ver.3にて作成したものを再トレースした）

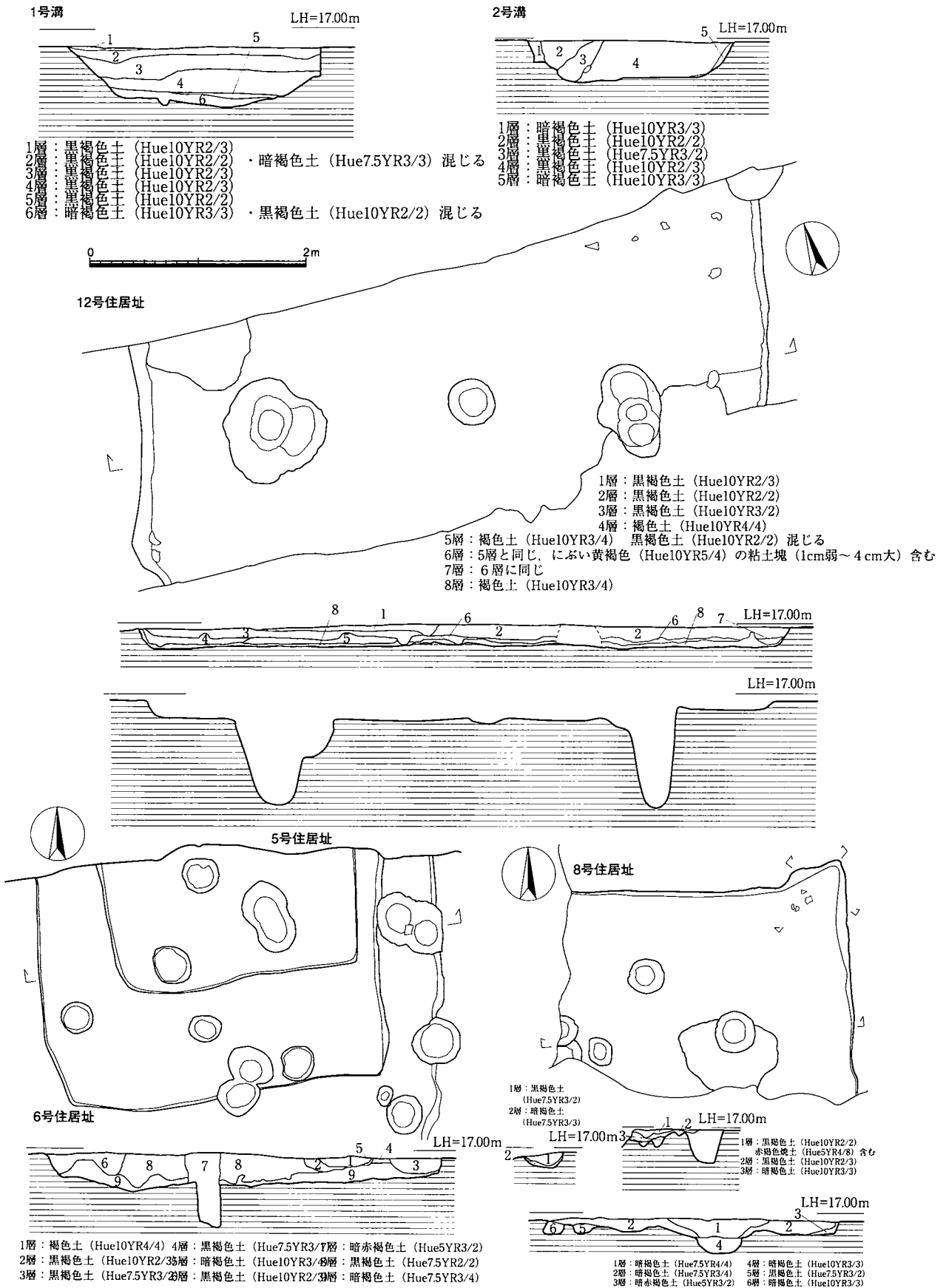


図43 1・2号溝土層断面実測図・5・6・8・12号竪穴住居址実測図 (1/50)

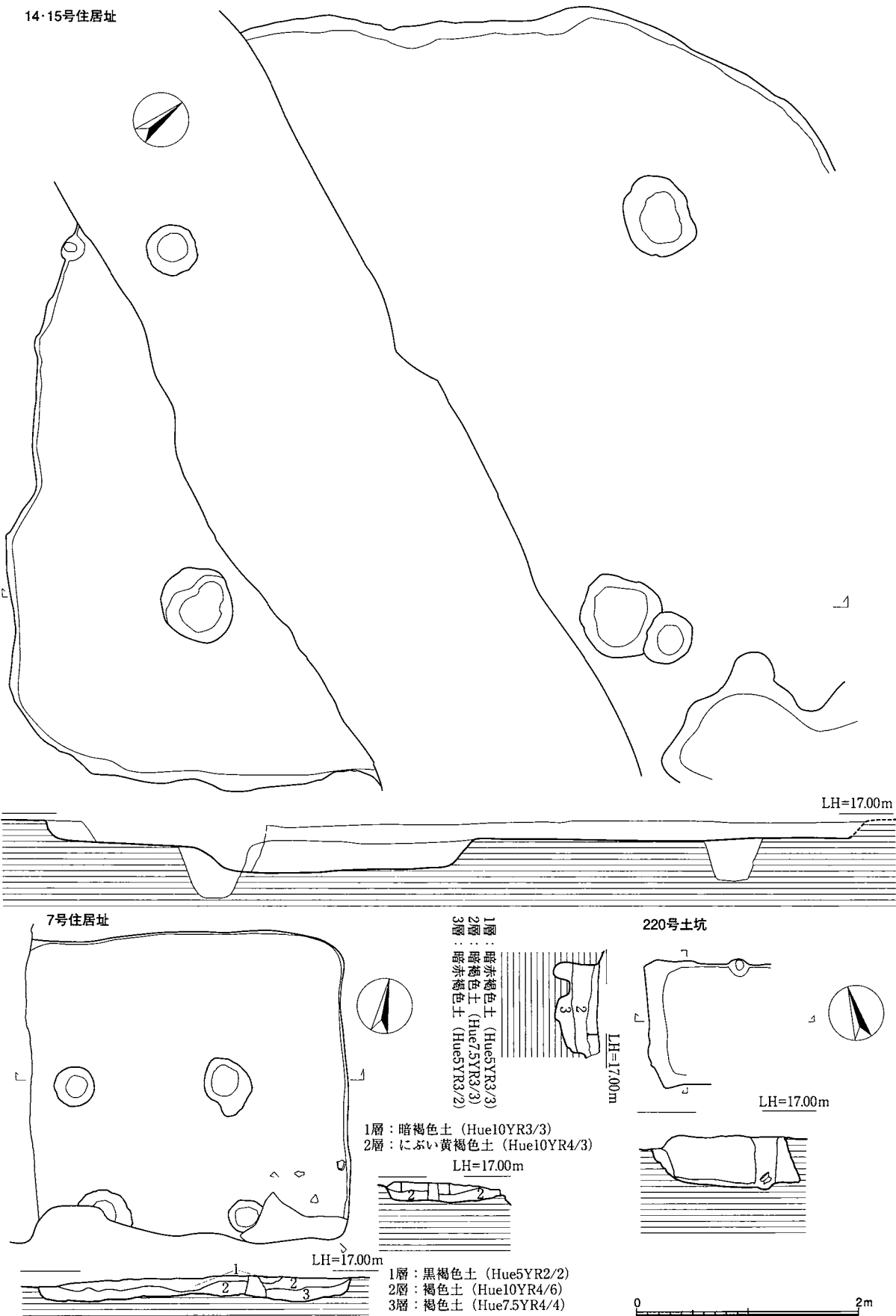


図44 7・14・15号竪穴住居址・220号土坑実測図（1 / 50）

随する可能性が大きい。2号溝と1・3号溝は遺構の残りが悪いことから判断がつけにくい。1・3号溝は2号溝とほぼ変わらない時期か、先行する可能性もある。

＜竪穴住居址＞

竪穴住居址としては、調査区北側中央に重複して営まれた5・6号住居址、南側に7・8号住居址、そして北西端に12号住居址が位置している。

12号住居址（図43）

12号住居址は、主軸方向が北東－南西で、規模も大きく、攪乱によって破壊を免れた部分には2個の柱穴が残存している。

5・6号住居址（図43）

長方形の重複する落ち込みが存在し、竪穴住居址と判断した。調査区外に延びるため、竈の有無や主軸は不明である。おそらく南北方向の主軸をもち北辺に竈を設けている可能性が高い。

7号住居址（図43）

攪乱によって南壁を破壊される。柱穴にも一定の規則が認められない。東西辺は2.7mである。

8号住居址（図43）

7号から5mほど西側に離れたところに位置している。主軸方向はほぼ7号と同じであるが、北東隅に竈が残存している。竈の残りは悪く、粘土と焼土の痕跡をとどめるのみである。南西部を2面から破壊されており、規模は不明である。

14・15号住居址（図44）

2号溝を挟み、その両側に三角形の落ち込みが確認できたので、当初は14号土坑と15号土坑としていたが、1辺5mほどの正方形の竪穴住居址と判断した。その他の遺構の切り合いが多く、伴う柱穴など判断が難しいが、4本柱であった可能性が高い。竈も残存する部分では確認しておらず、2号溝に切られる西壁中央か東隅に存在した可能性がある。

これら住居址群は、削平がひどく、5～10cmあまりの深さしか残存していない。また、出土遺物が少なく、とくに5～8号竪穴住居址は出土遺物が少なくしかも細片であるため時期を決定しがたい。12号住居址が7世紀末～8世紀初頭の遺物（図47：10～14）を含むことから、これに後続する8世紀後半以降のものと考えられる。14・15号住居址は規模や方向からみて12号住居と同じ時期のものである可能性が高い。

＜掘立柱建物址＞

19号掘立柱建物址（図45）

調査区北東隅で検出した19号掘立柱建物は、そのほぼ全体が調査区外に延びると考えられ、調査区内では南東コーナー部に相当する19号・20号柱穴の2個のみしか確認できていない。しかし、柱穴の規模は大きく、一辺がおよそ80cmの方形の掘方に、直径20cmほどの柱を入れたもので、方向もほぼ北方向に沿ったものであることから、かなり規模の大きな建物であった可能性が高い。出土遺物が細片でしかも少量のため、確実ではないが、8世紀中～後半にかけての建物址と思われる。

21号掘立柱建物址（図46）

調査区南東部で検出した桁行4間、棟行2間の建物である。柱穴は直径30cmの円形で、深さは深いもので30cmほどである。一部攪乱によって破壊されている。建物の方向は南北方向である。

28号掘立柱建物址（図45）

7号住居址や1号溝に重なるように位置する桁行3間以上、梁行2間の建物である。柱穴は直径25cmあまりの円形で、深さは15～20cmほどが残存している。建物の方向は上記2棟と同じく南北方向で

1. 工学部校舎建設に伴う発掘調査（9603調査地点）

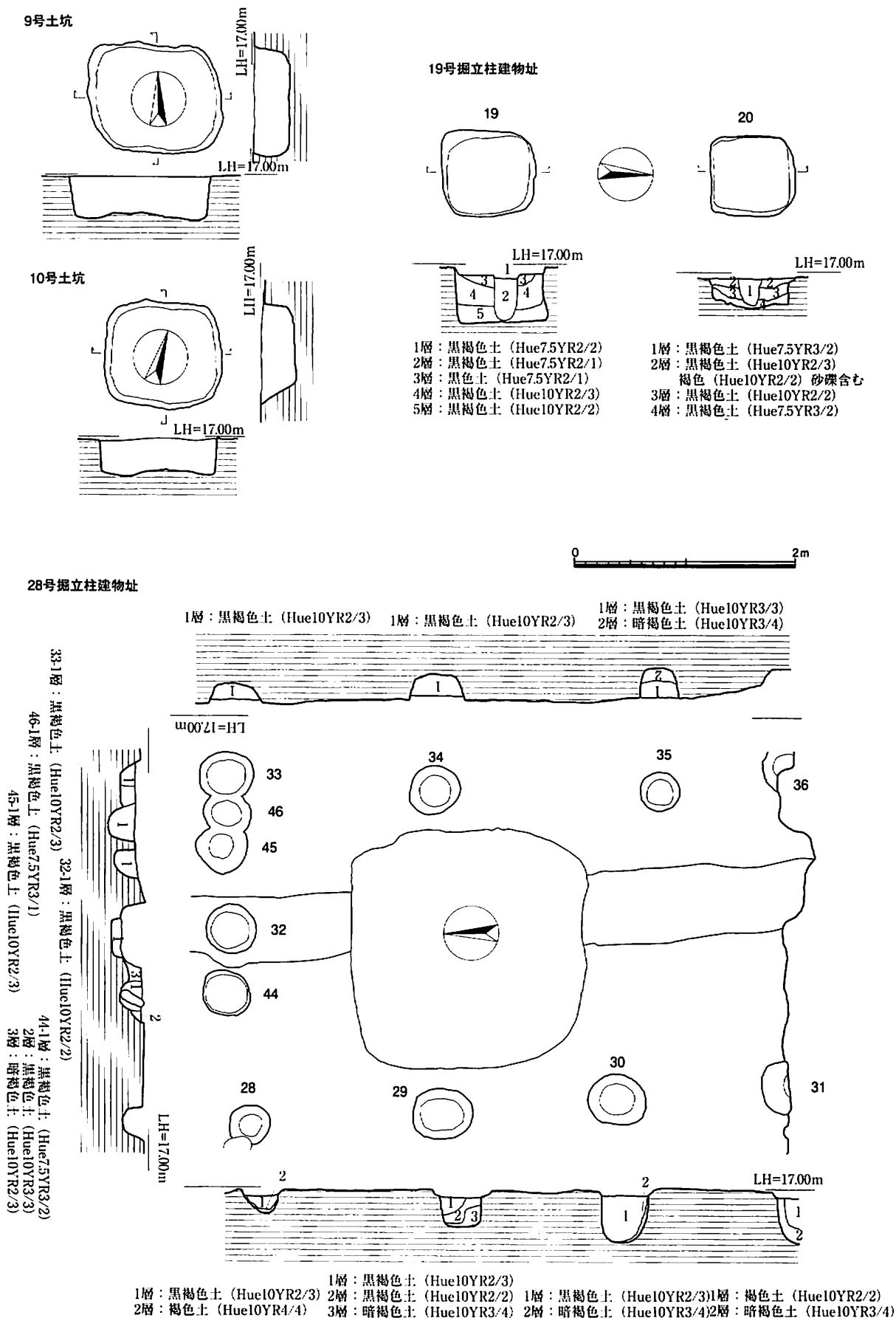


図45 9・10号土坑・19・28号掘立柱建物址実測図（1/50）

1. 工学部校舎建設に伴う発掘調査（9603調査地点）

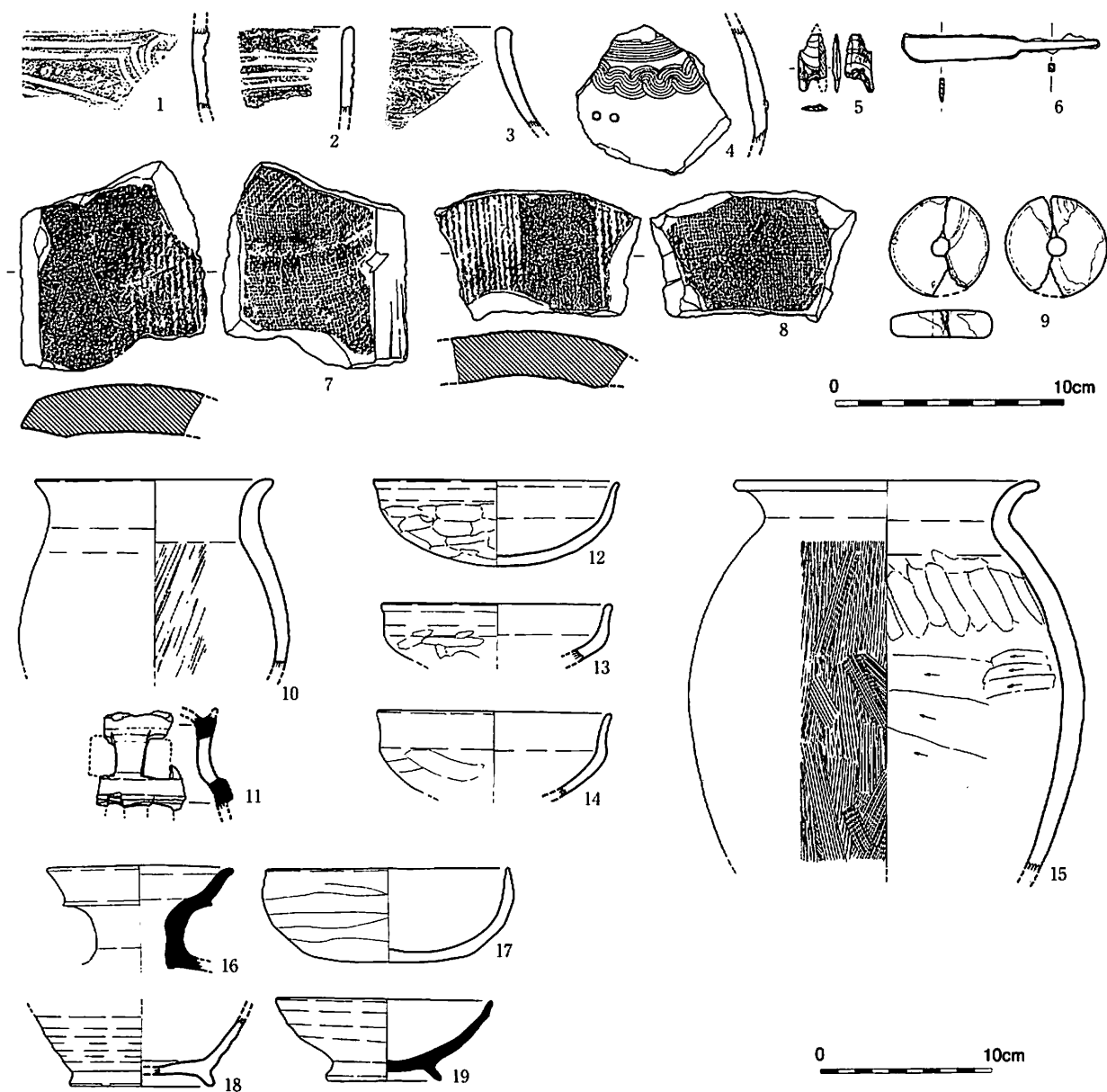


図47 9603調査地点出土遺物実測図（1 / 3 ・ 1 / 4）

ある。

<土坑>

9・10・220号土坑（図44・45）

調査区の北東部において一辺が1 mあまりの方形の土坑3基を確認した。深さはいずれも50cm余りで、ほぼ一直線に並ぶが、主軸が一定しない。柱穴も検出に努めたが検出できなかった。意味不明の遺構である。

（4）出土遺物

出土遺物は量的にきわめて少なく、各遺構の時期を決定できるものはわずかである。その種類としては、近世陶磁器のほか、古代の須恵器・土師器などの各種容器片を主体にし、布目瓦、刀子、鉄鎌、滑石製紡錘車、砥石がある。その他自然遺物として馬歯などがある（図47）。

12号竪穴住居址からは、2段透しのある須恵器の円面硯らしきもの（図47：11）が出土しており、注目される。12号住居址出土の土師器坏（12～14）は外底面ヘラ削りで7世紀後半～8世紀初頭の特徴をよく留めている。布目瓦は2点検出している（7・8）。1～3は遺構面その他の遺構から出土した縄文土器である。後期前葉から末の時期のものである。黒曜石製の剥片鏃1点が出土している（5）。この他、弥生時代中期後半の甕形土器の破片（4）や時期不明であるが、鉄製刀子（16）なども若干出土している。

2. 工学部校舎新営に伴う発掘調査（9704調査地点）

（1）調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

本工学部校舎の建設は、平成7年度4月18日に開催された埋蔵文化財調査委員会において、本年度の発掘調査が了承された事業である。埋蔵文化財調査室は施設部の依頼を受け、両者協議の結果、7月末日より発掘調査を開始することとした。調査にあたっては、昨年度調査した隣接地の状況（調査番号9603）から判断して、遺構の残存する可能性が大であったので、あえて試掘は実施せず、当初より発掘調査を計画した。表土および埋土を除去した後、遺構面を検出した。その結果、調査区東半部において、古代の柱穴、竪穴住居、溝を中心とする遺構が認められたが、調査区西半は近世以降の開墾によって、削平を受けており、遺構の残りはないと判断された。予測では、かなり順調な進展を予想させたが、その後近世溝（第4号溝）を掘り下げ途中にその底面から甕棺が検出され、近世の包含層下に遺構が存在すること、また台地端を中心として近世の土壌墓が数基存在することなどが判明した。さらに、発掘調査後に予定されていた立会調査部分である排水管切り替えに伴う掘削部分が、この甕棺および近世墓の集中部分にあたり、遺構の分断の回避と、加えて調査の効率的進捗を図るため、予定を変更しその部分も同時に発掘することとした。このため1月間ほど調査期間を延長した。調査は順調に進行し、11月初旬をもって無事終了した。調査期間は1997年7月28日～1997年11月4日で、総調査面積は1,783.3㎡であった。

b. 調査の経過

1997年7月28日 調査開始。
 1997年7月29日 測量基準杭設定。
 1997年8月1日 作業員投入。調査区外周フェンス設営。
 1997年8月4日 機械により、旧運動場面を除去し、遺構の検出を行う。
 1997年8月18日 盆休み明け、作業再開。
 1997年8月19日 気温高く暑し。猛暑の中遺構検出を行う。
 1997年9月3日 谷部を機械によって掘り下げ、下部の遺構を検出する。
 1997年9月4日 甕棺墓を検出する。甲元眞之室長・木下尚子教授来跡。
 1997年9月16日 台風19号接近の模様。フェンスの強化を行う。台風大分から瀬戸内へ。
 1997年10月1日 甕棺墓多数検出。
 1997年10月8日 近世墓多数検出。調査を継続する。
 1997年11月4日 発掘調査終了。

c. 調査の組織

調査員：小畑弘己

事務担当：大坪志子

発掘作業員：石川まどか・上田健太郎・上山敏弘・江島賢一・押方富江・尾上博一・甲斐田末男・
亀井菜津子・窪田千代子・黒木タケ子・古賀敬子・小細工洋子・小路岳彦・佐藤タエ
子・新里亮人・高城欣典・谷直子・土田ちえみ・辻村美代子・中川毅人・林田恵子・
番山明子・藤木聡・藤本圭司・藤原由博・古川紀子・古野京子・松井昭子・村上浩
明・元島陸美・若杉あずさ・若杉竜太

整理作業員：伊藤千代子・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・古賀敬子・首藤優子・末吉美紀・溜渕
俊子・土田ちえみ・長谷智子・林田恵子・増井弘子・山寄早苗

（2）調査区の基本層序

今回の調査地点は、白川右河岸の標高17mの地点にあたる。工学部旧運動場部分に相当し、すでに地形の大きな改変を受けている。基本的層序は、調査区の東半分は隣接する昨年度調査区（9603）とほぼ同様であった（図41）。

今回の調査区東半分と旧調査地点（9603）の土層の堆積状況は、運動場の造成にあたって遺物包含層がほとんど削平され、遺構検出面の上は、鉄分の沈殿した運動場の硬く締まった層（厚さ5cm、第5・7層上面）が堆積している状況であった。さらにその上を昭和28年の洪水による青灰色砂層（第4層、厚さ30cm）が直接被覆している。その上部は泥炭質の暗褐色の埋土（第3層、約50cm）で、洪水によって運動場が埋没し、その後埋立造成されたという旧聞を裏付けている。遺構検出面までの深さは約1.3～1.5mほどである。土層の堆積状況から、旧地形は調査地点の東から西にかけて緩やかに傾斜していたものと思われる。

今回は、これらの層に加えて近世造成土（耕作土と考えられる）である第5・6層が確認された。この両層は、色調の濃淡で分離しているが、ほぼ同じ性質の土層と考えられる。この下は少し柔らかい黒褐色土層（第8層）がにぶい黄褐色のシルト質土（基盤沖積層）の上に堆積している。第8層は台地上と谷部のいずれにも堆積しており、これらの近世造成土層は第8層面まで削平して持ち込まれた土と考えられる。よって、西側の谷と東側の台地の比高差をもった地形基盤（河岸段丘崖か）の形成は8層堆積以前に相当し、墓地が営まれた弥生時代中期ごろには、この傾斜地形もしくは段地形がすでに存在していた可能性が高い。墓地はこの地形の傾斜点に沿うように営まれており、さらには、後に述べるように昭和32年に1基の甕棺がこの地形変換ラインの延長上に沿った地点で発見されており、この推測を裏付けている。また、このような地形の変換点は、明治34年発行の大日本帝国陸地測量部の地形図に確認でき、この地域が大学敷地となる以前はこの地形変換点に沿って道が存在していた可能性が高い（地図では点線で表記されている）。しかし、調査区の西隅には基盤のさらなる段落ち部分が確認でき、この付近が段丘崖に相当する可能性もある。いずれにせよ、弥生墓地が営まれたのは台地斜面部の端部に近い部分であったことは間違いない。

（3）検出遺構

a. 近世墓地（図48・49）

調査区の北西隅、第4号溝と第3号溝に囲まれた部分の約20㎡の範囲で15基の近世土壙墓を検出した。墓域は細い溝で囲まれた台地の縁辺部に位置し、それより北側は削平を受けており、その周辺部分で台地に沿うように弥生時代の甕棺墓群が検出されている。

近世墓は、そのいずれも墓標などをもたず、出土遺物も陶磁器の細片と数珠玉3個があるのみで、

表 6 9704調査地点近世墓一覧表

番号	墓壇の形状	主体部	棺釘	人骨の残り具合	埋葬姿勢	頭位・顔向	出土遺物・備考
460	長方形			無し			
469	長方形	木棺	有	良	横臥屈肢葬	北・西向	埋土上部から李朝白磁皿・平瓦
461	円形		有	不良	座位葬		
452	長方形	長方形木棺		良	横臥屈肢葬	北・西向	
462	円形			ほぼ良	座位葬	北	底板残る
463	隅丸方形	方形座棺		良	座位葬	北	棺材の痕跡有
464	隅丸方形	方形座棺		不良	座位葬		陶磁器片
465	円形			不良	座位葬	北西	
467	円形			良	座位葬	北西	顕著な齒槽閉鎖
466	長方形		有	不良			墓壇隅上部に河原石
570	長方形			不良		北	
459	円形			不良	座位葬		
468	円形			良	座位葬	北	男性か
575	長方形			不良			

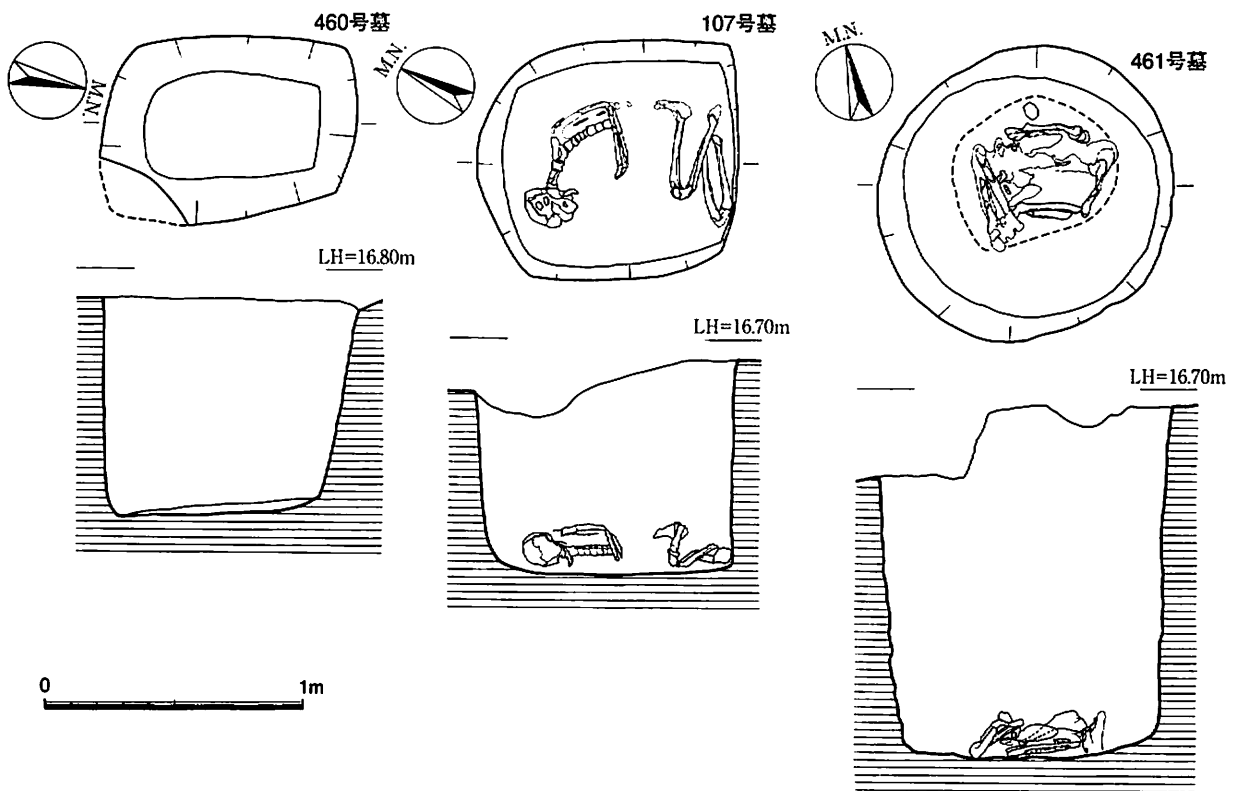


図48 9704調査地点近世墓実測図 1 (1 /30)

明確な時期を決し難い。464号墓出土の李朝白磁皿片や海鼠釉の陶器細片などの遺物から、近世前半期の墓と考えられる。

主体部は土坑の形状から推定して、長方形が木棺、方形が木棺、円形が桶と考えられるが、円形にも釘痕や釘があり、方形の木棺である可能性もある。これらの3種はそれぞれ平面分布上まとまりをもっている。円形や方形の土坑がほぼ南西側に、長方形の土坑が北東部に分布している。

人骨に関しては、460号墓以外は、残り具合は悪いが、すべての墓から出土した。残り具合の良いものから判断すると、長方形木棺以外は座位であるが、いずれも肘を曲げ、掌は眼前で合掌していた

2. 工学部校舎新営に伴う発掘調査 (9704調査地点)

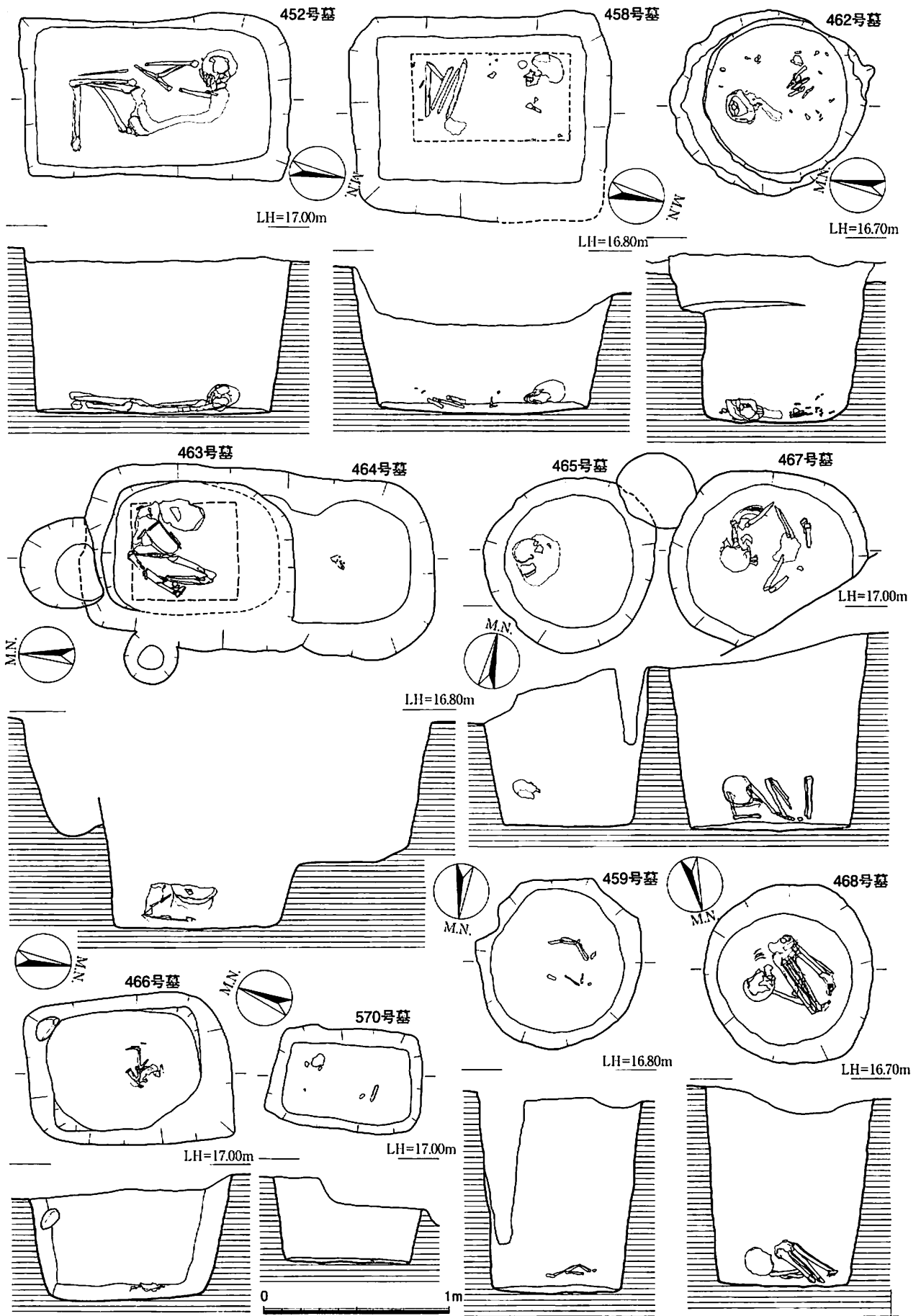


図49 9704調査地点近世墓実測図 2 (1 /30)

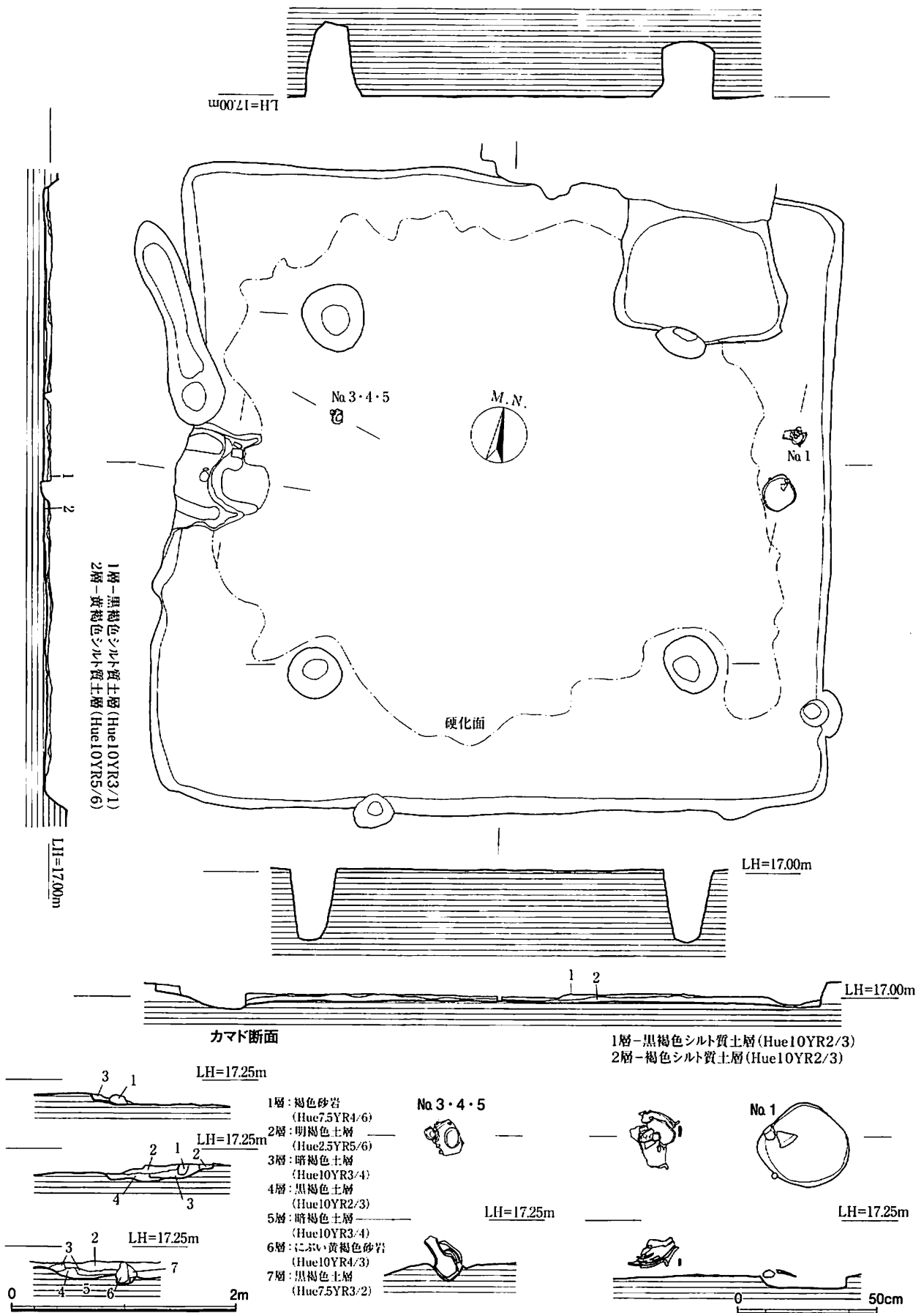


図50 1号竪穴住居址・遺物出土状況実測図 (1/50・1/20)

可能性が高い。458号墓では掌部分から数珠玉が出土している。

b. 近世溝

4号溝（図42）

調査区の南東隅で検出した幅3mあまりの断面台形の溝である。4号溝は調査区南東隅で東西から南東－北西方向に向きを変え、調査区を縦断して延びる。流れの変換点に100点あまりの円礫と角礫による集石が出土した。隣接する9603調査地点の11号溝と連なるものである。近世の陶磁器類を含む。

61号溝（図42）

4号溝に付随すると思われるのが61号溝で、4号溝の東を沿うように南東－北西方向に延びる。

c. 古代の遺構

調査区の東半を中心に古代を中心とする遺構が検出された。今回の調査で検出された主な遺構は、7世紀末～8世紀初頭にかけての竪穴住居址2基、掘立柱建物址2棟、8世紀後半の方形区画溝1条、区画溝に付随するとみられる掘立柱建物址1棟、これに後続する大型の掘立柱建物址3棟の他、時期不明（8世紀～9世紀代）の掘立柱建物址5棟、溝7条、柱穴多数などがある（図42）。

検出された竪穴住居址2基のうち調査区東端の1基は昨年度調査時（9603調査地点）に検出された12号竪穴住居址の未検出部である。

<竪穴住居址>

1号竪穴住居址（図50）

調査区東側中央で検出した竪穴住居址である。主軸をほぼ東西にとり、1辺6m、深さ10cmで昨年度調査地点（9603調査）の北西隅で検出した12号竪穴住居址と同等の規模であり、両者は2mほど離れているのみである。住居北辺の東側の一部を攪乱により破壊されている。西辺中央に造り付けの竈を持つ。砂岩製の支脚と袖石が残存し、竈内より土師器が数点出土した。また、竈北東部から土師器1点と磁器2点、東辺近くから土師器の甕が出土した。磁器は近世に住居址の覆土を上から貫き、床面に達したものが出土したと思われる。床面直上からも10数点の土師器片が出土した。主柱穴は4本である。住居中央部には床の硬化した面が広く認められた。

12号竪穴住居址（9603地点の名称）（図42）

昨年度調査の12号竪穴住居址の西辺未検出部中央より竈を検出した。竈前面から刀子1本が、周辺部からは土師器甕数点が出土した。床は竈前面から硬化した面が認められた。

<掘立柱建物址>

41号掘立柱建物址（図51）

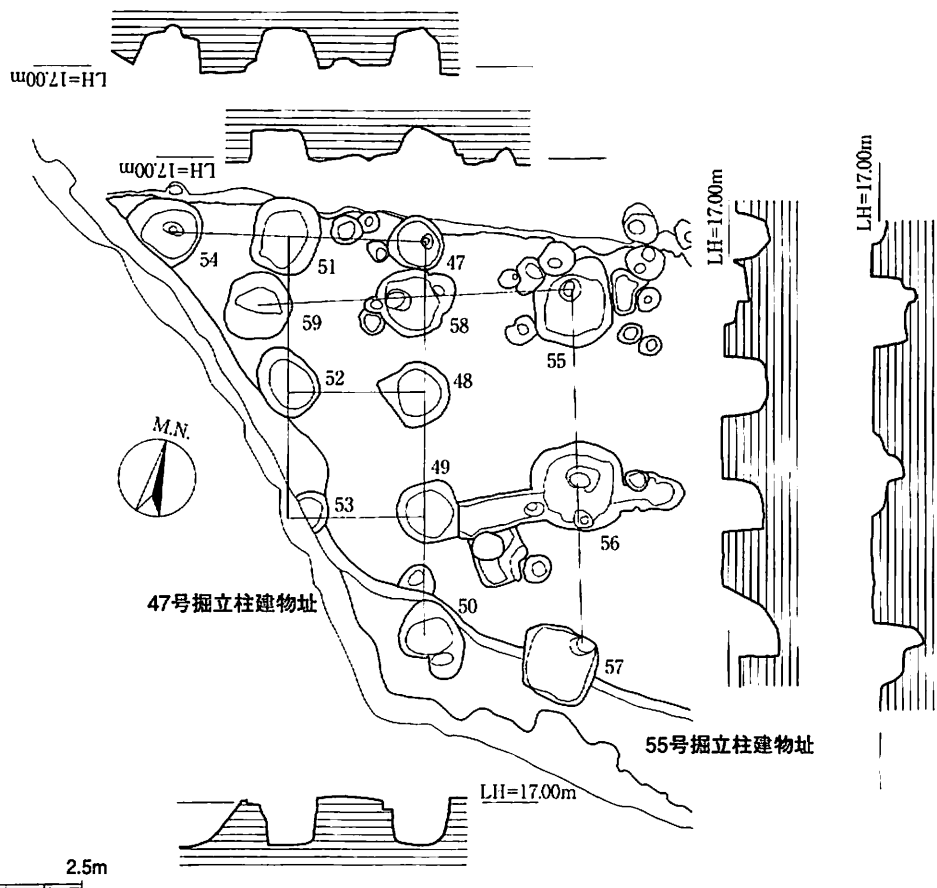
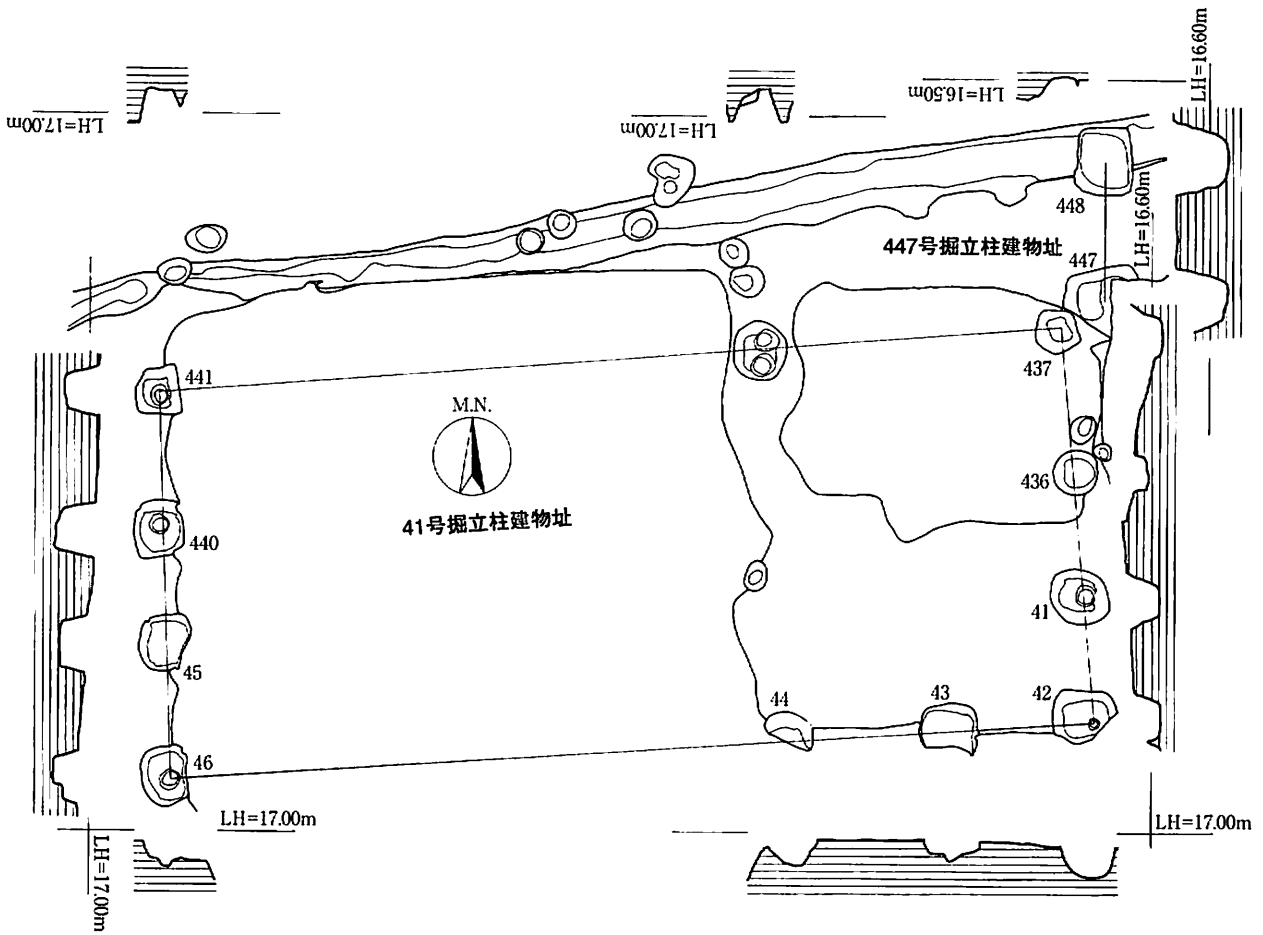
41号掘立柱建物址は調査区北東隅で検出した東西方向の桁行6間、梁行3間（以下6間×3間のように表記）の、桁行・梁行ともに柱間は1.8～2mである。掘方は一辺およそ70cmの方形で、柱痕の直径は20cmほどである。攪乱により西半の大部分と北列の1部が破壊されている。北東隅の437号柱穴が447号掘立柱建物址の447号柱穴によって切られており、447号掘立柱建物址に先行する。

447号掘立柱建物址（図51）

447号掘立柱建物址は447号柱穴と448号柱穴以外が検出されていないために規模は不明である。梁行の柱間は2mである。掘方は1辺およそ1mの方形で、柱痕は発見できなかった。その遺存状況から建物は調査区の北東方向に展開するものと想定される。

47号掘立柱建物址（図51）

47号掘立柱建物址は、調査区東南部で検出した掘立総柱建物である。近世の4号溝に切られ、建物の北東部分の桁行2間、梁行3間が残存するのみである。47～54号柱穴の各桁行柱間は1.8m、梁行



0 2.5m

図51 41・47・55・447号掘立柱建物址実測図 (1/100)

柱間は47・51・54号柱穴と48・52号柱穴との柱間が2m、他は1.8mである。掘方は最大径約80cmの円形に近い方形で、直径15～20cmの柱が入る。

55号掘立柱建物址（図51）

47号掘立柱建物址に重なるように55号掘立柱建物址が検出された。47号建物址同様近世の溝に切られているため、建物の北東桁行2間、梁行2間部分が残存するのみである。柱間は梁行2.5～2.2m、桁行2～2.2mである。1辺90～100cmの方形掘方に直径20cmの柱が入る。184号溝が47号建物址に切られ55号建物址を切ることから、47号建物址が55号建物址に後出するものと考えられる。

5号掘立柱建物址（図52）

5号掘立柱建物址は、調査区中央にある倉庫址と考えられる3間×2間の総柱建物で、柱間は桁行1.5～1.7m、梁行2.1～2.2mである。直径50cm～60cmの円形掘方に直径20cmの柱を入れている。

17号掘立柱建物址（図52）

17号建物址は5号掘立柱建物址に隣接する東西に2間×2間の17号掘立総柱建物である。やや小型で直径35cm～50cmの円形掘方に直径10～20cmの柱を入れている。柱間は桁行が2m、梁行が1.3～1.7mである。

第33号掘立柱建物址（図52）

33号建物址は北西部を攪乱により破壊され、南東部が残存していた。東西に桁行2間、梁行2間が認められる。柱間は桁行が1.5m、梁行が70～80cmである。掘方は直径およそ30cmの円形である。

396号掘立柱建物址（図52）

396号建物址は北西部を攪乱により破壊され、南東部分が残存していた。南北に桁行3間、梁行2間が認められる。柱間は桁行が1.2～1.5m、梁行が1.9mである。掘方は直径約30cmの円形。

26号掘立柱建物址（図52）

26号建物址は東側を攪乱により破壊され、西の8つの柱穴が残存していた。東西に桁行3間、梁行2間が認められる。柱間は桁行が1.4～1.7m、梁行が2m。掘方は直径約40cmの円形。

402号掘立柱建物址（図52）

402号建物址は南北に梁行2間、建物西側の3つの柱穴のみが残存し、大半は攪乱により破壊されていた。柱間は梁行が1.5～1.7mである。掘方は直径約40cmの円形。

37号掘立柱建物址（図52）

37号掘立柱建物は、調査区東側中央の12号竪穴住居址に重なる。建物南西部を残し、大半を攪乱により破壊されている。南北に桁行3間、梁行1間が認められる。柱間は桁行、梁行ともに1.5mである。掘方は直径約40cmの円形。

<溝>

3号溝（図42）

3号溝は隣接する9603調査地点の2号溝に連続する幅1.3m、深さ50cmの断面逆台形の溝である。昨年度調査区から本調査区東側南方に連続し、コーナー部分を近世溝によって分断されるが、調査区中央付近から北に向けて再度延びる（長）方形区画の溝である。全体は忠実に東西—南北に指向するわけではなく、東西溝は北に8°、南北溝は西に12°傾いている。よって、両線は鈍角に交わる。現在、東西方向で約60m、南北方向で約30mを確認しているが、溝はさらに周囲に延びて一帯を区画していたものと考えられる。

60・184・434・435・412・409・413号溝（図42）

434・435・412・409・413号溝は北東—南西方向に3号溝と平行して延びる。60・184号溝も3号溝

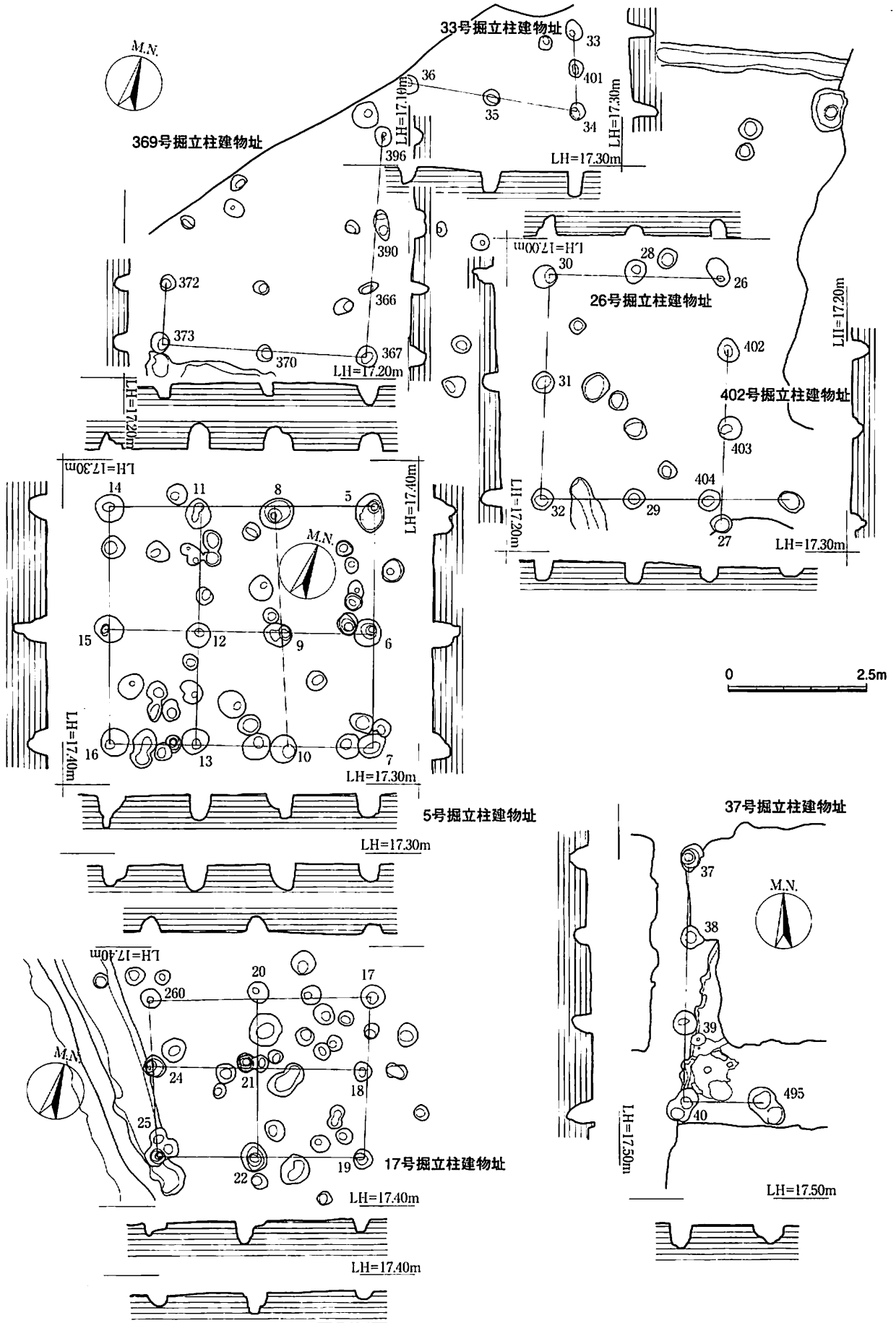


図52 5・17・26・33・37・396・402号掘立柱建物址実測図 (1/100)

を挟み、平行して北東―南西方向に走るが若干角度が異なる。性格不明。

524号溝（図42）

524号溝は弥生時代甕棺墓群の西に4号溝と平行して走るが、関係は明らかでない。

建物群と3号区画溝の方位は完全に一致するわけではない。建物群も切り合い関係があり、さらに建物と重なるように走る細い溝も存在する。建物自体もその規模や柱穴の形や大きさなどに違いがあり、複数回の建替があったものと考えられる。

d. 弥生時代甕棺墓

本調査区北西隅100mにおいて17基の弥生時代の甕棺墓群を検出した（図42）。墓群は調査区西に展開する斜面端部に、個々の並びは不規則であるが、全体として北西から南東方向に列状に配置されている。

1957年10月11日に調査区の北西約50m、熊本大学工学部敷地と民家との境の市道において、水道管埋設工事中に地表下約1.5mで、1基の合口式甕棺が発見され、同日乙益重隆氏によって調査されている。出土した甕棺は須玖式の大型棺で、棺内からは大部分が粉末化した人骨が検出された。下甕は口径70cm、器高110cmの甕で、上甕は口径約55cm、器高約30cmの鉢である。その特徴から、時期的に弥生時代中期中葉後半に比定される。この坪井古屋敷甕棺遺跡は、本調査区出土の甕棺墓群と時期的に同じもので、その位置関係からともに一連の墓地を形成していたものと考えられる。

今回調査によって検出された墓壙17基のうち、8基に甕棺が残存していた。

451・543号甕棺墓（図55・図56：K10・K11・K14）

451号墓が543号墓を切る形で重複して検出された。451号墓は墓壙上面下15cm～70cmの間に粉々に破碎された大量の甕棺片が散在していた。この451号墓内の甕棺片を取り除くと、下から大型甕棺の胴部下半1/3があらわれた（543号墓）。この甕棺胴部下半には膝を立てた仰臥姿勢の人骨脚部のみが残存していた。451号墓は墓壙の長軸方向を北10°西にとり、長軸長3m、短軸長約1m、深さ約30cmである。墓壙は歪んだ長楕円形を呈する。543号墓は長軸方向を西5°北にとり、口縁部を西に向ける。墓壙は長方形で長軸長2.5m、短軸長1.4mである。方形墓壙の東辺から斜めに壙をさらに深さ90cmほど掘り下げ、その中に40°の傾斜をもって棺を埋置している。

451・543号墓に散在していた甕棺片を接合した結果、須玖式の合口式大型棺の下甕1基（K11）と棺蓋1基（K10）、そして単棺で同じく須玖式の小型棺1基（K14）となった。451・543号墓が4号溝の底部に位置し、K11の胴部に小型の鈍器による打撃痕がみられることから、溝の造営時に意図的に破壊されたのであろう。

K11は口縁部内面突出がさほど強くなく外面に強く突出する。上面は水平よりやや外傾する。体部はやや細身で外開きだが、上部で内傾し、口縁部下ですばまる。口縁部下に1条、胴部中位に2条の三角突帯を巡らす。口縁部および胴部の突帯周囲2～3cmを残して胴部全体にハケメ調整を施す。K10の口縁部はやや華奢なT字形で、胴部は外に膨らむ。口縁部下から胴部全体に薄くハケメ調整を施す。K14は口縁部が平坦で下に裾広がりの「コ」の字形突帯が1条つき、胴部には下向きの薄い三角形突帯が2条巡る。墓壙の切り合い関係と棺の型式的特徴から、K14がK11に後出する。この他に543号墓からは厚い山形の口縁で下に三角形の突帯が巡る小型の鉢形土器が出土した。

541・542号甕棺墓（図53・図54：K1・K2）

541号墓は542号墓に切られる形で検出された。542号墓は長楕円形の掘方のみが残っており、甕棺の抜き痕と考えられる。541号墓からは須玖式の合口大型棺が出土した。

542号墓は墓壙長軸方向を東10°南にとり、長軸長1.8m、短軸長1.2mを計る。墓壙は東から40cm

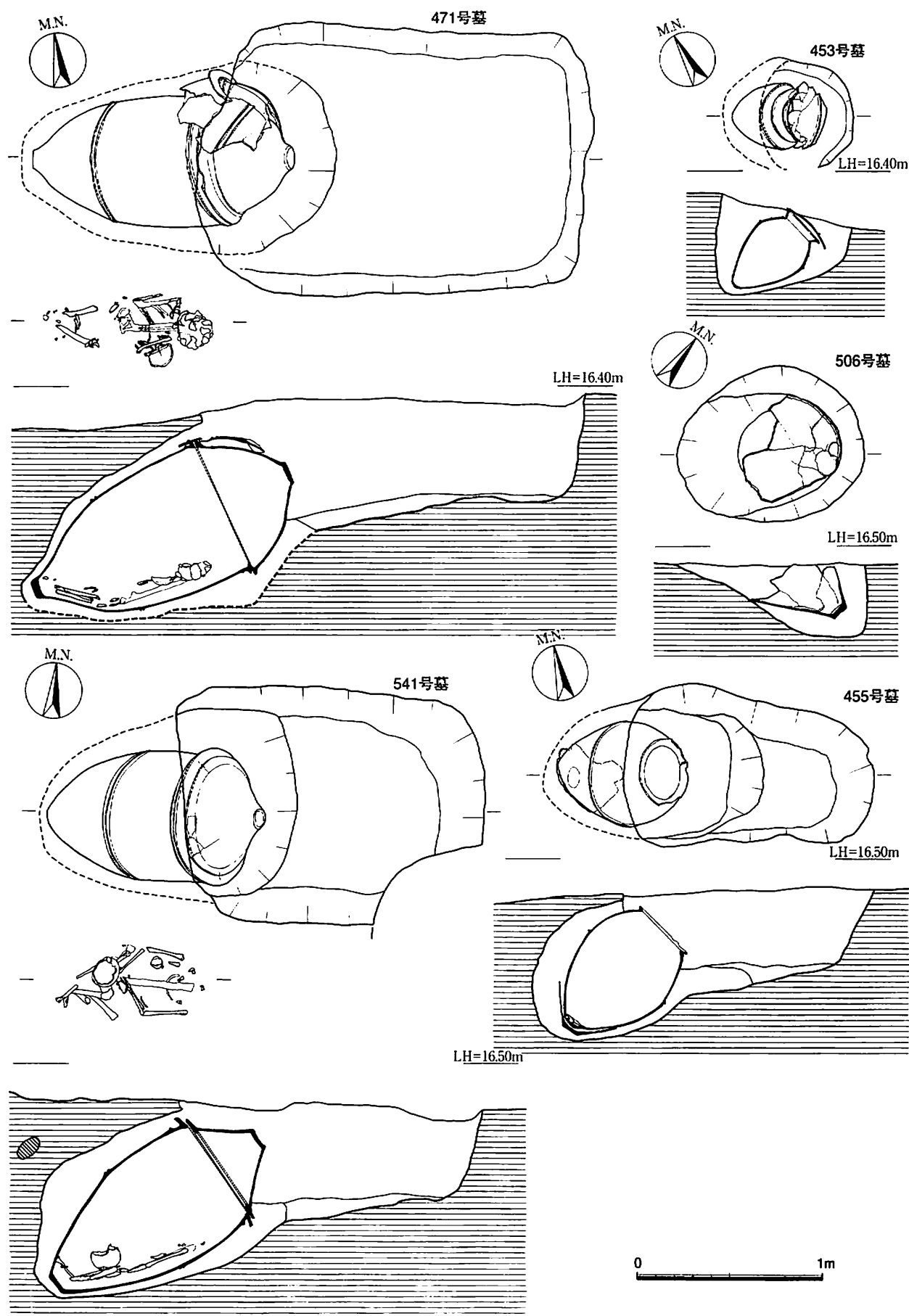


図53 453・455・471・506・541号甕棺墓実測図 (1/30)

2. 工学部校舎新営に伴う発掘調査（9704調査地点）

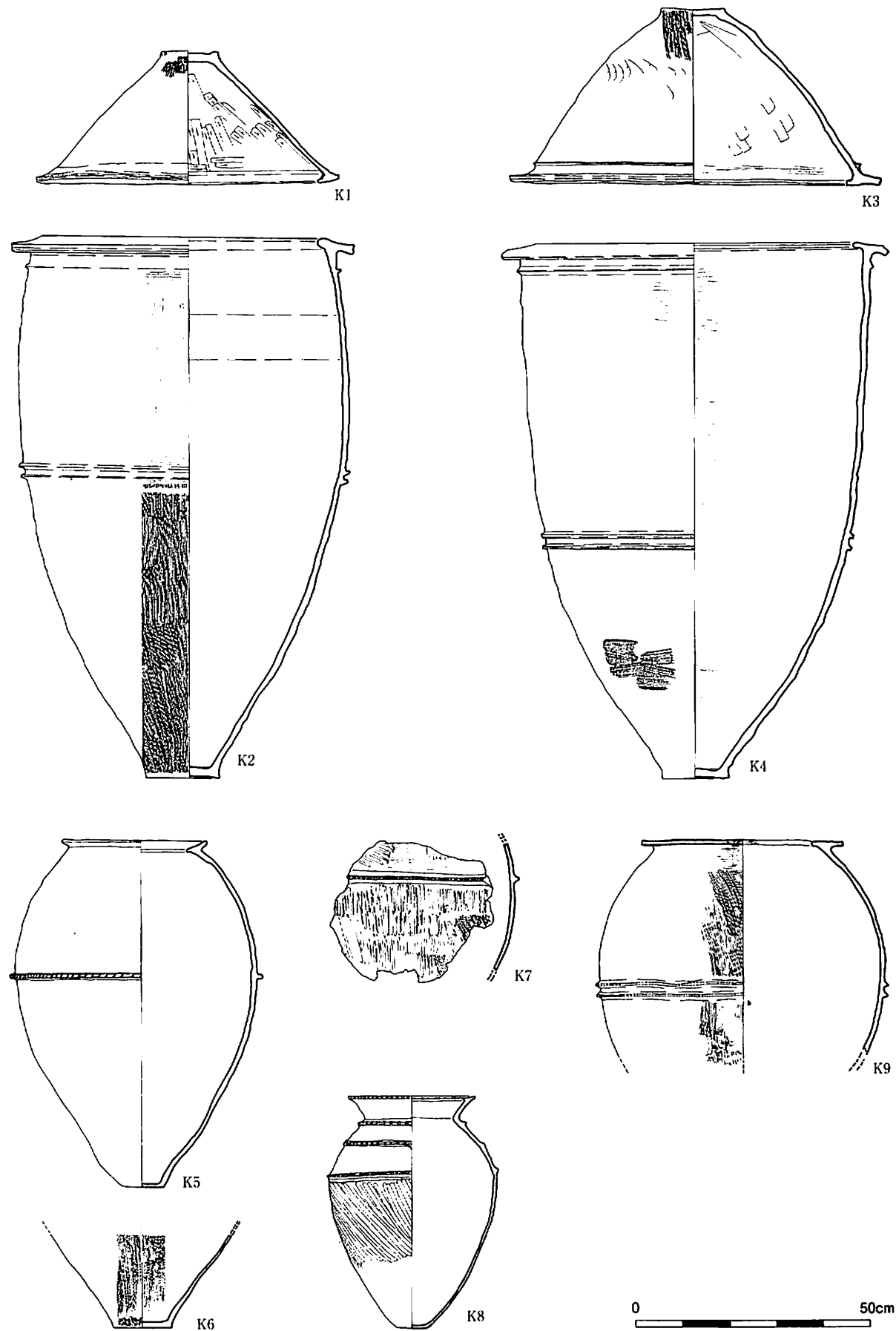


図54 甕棺実測図 1（1 / 12）

までとそこからさらに40cmまで、深さ20cm、30cmの二段に分けて掘り下げを行い、そこから最深部75cmまで壙を掘り込んでいる。棺は残存しないが、口縁部を東に向け約60°の傾斜をもって埋置されていたものと考えられる。541号墓は墓壙長軸方向を東5°北にとり、長軸長1.6m（最大長2.4m）、短軸長1.3mを計る。墓壙は隅丸の長方形で東から1.05mまでを深さ60～70cmまで掘り下げ、そこからさらに横穴状に西に1.3m、深さ2mまで斜めに壙を掘り込んでいる。甕棺は口縁部を東に向け、40°の傾斜をもって埋置されていた。棺は棺蓋の鉢と下甕の接口部に粘土による目張りが施されていた。棺内には人骨が1体残存していた。頭位方向は東、座位で仰臥姿勢を取り、両手は肘を曲げて腹に乗せた状態、頭骨は崩落し、骨盤上にあった。人骨は熟年の女性と考えられる。

上蓋の鉢（K1）は厚めのT字形で内への張り出しの強い口縁を持ち、胴部は直線的である。内器面全体にヘラミガキを施し、外器面頂部周辺にハケメ調整を施す。下甕（K2）は口唇部先端が窪む外傾する逆L字形口縁を持ち、口縁部下に1条、胴部中位に2条の三角突帯を巡らす。体部は30に似るがより細身である。胴部下半に入念なハケメ調整を施す。

453・454号甕棺墓（図53・図54：K7・K8）

別個体の甕棺胴部片を棺蓋に用いた小児用甕棺である。454号墓を切る形で検出された。454号墓は長楕円形の掘方のみが残っており、甕棺の抜き跡と考えられる。453号墓は墓壙長軸方向を南東―北西にとり、長軸長50cm（最大長70cm）、短軸長60cmである。円形の墓壙である。南東から斜めに壙を掘り込み、口縁部を南東に向け40°の傾斜で埋置している。墓壙は最深部で60cmである。454号墓は長軸方向を東30°南にとり、長軸長1.8m、短軸長1mである。墓壙は上面から40cmまで掘り下げ、北西から80cmの位置からさらに長軸長65cm、短軸長40cm、深さ15cmの壙を掘り込んでいる。掘方の形状から棺は口縁部を北西に向けて埋置していたと考えられる。

棺蓋（K7）は黒髪式の甕形土器、下甕（K8）は黒髪式の壺形土器を使用している。K7は外器面全体に入念なハケメとヘラミガキを、縦位を主に、斜位および横位に施している。体部には刻み目のあるすその広い山形の突帯が巡る。K8はやや内傾する鋤先形口縁を持ち、胴部との境でく字に折れ、さらに胴部中位よりやや上の最大径を計る肩部で「く」の字に折れて底部に続く。口唇部に刻み目を施し、口縁部と胴部の境と肩部、その中央に山形の刻み目突帯を巡らす。肩部に巡る刻み目突帯以下に斜位の入念なヘラミガキを施す。

455号甕棺墓（図53・図54：K5・K6）

454号墓の南約2mで検出された。黒髪式の甕形土器を使用した単棺小児棺である。底部が破損しており、須玖式の大型甕棺底部を破損部に重ねて被せ、穴をふさいで埋置されていた。墓壙長軸方向は東12°南をとり、長軸長1.35m（最大長1.8m）、短軸長70～85cmである。墓壙は歪みのある長楕円形で東から95cmまでを深さ40～50cmに掘り下げ、そこからさらに横穴状に斜めに80cm、深さ80cmまで壙を掘り込み、口縁部を東に向け45°の傾斜で棺を埋置している。棺内の土壌水洗により、歯が1点出土した。

K5は口縁が「く」の字形で内面にわずかな突起がある甕形土器である。胴部最大径に薄いコ字の刻み目突帯が巡る。外器面は入念に磨かれ、滑らかである。K6は内器面の剥落が著しい。器壁および底部は薄い、器形より須玖式の大型甕棺の底部と考えられる。内・外器面にごく薄いハケメ調整が施されている。

471号甕棺墓（図53・図54：K3・K4・K9）

墓群の最南端に位置し、周囲に他の甕棺はみられない。須玖式の合口大型棺が一基出土した。棺蓋が1/3ほど壊れているため棺蓋の鉢と下甕の接口部に、胴部下半を欠く須玖式の小型甕棺胴部を破

2. 工学部校舎新営に伴う発掘調査 (9704調査地点)

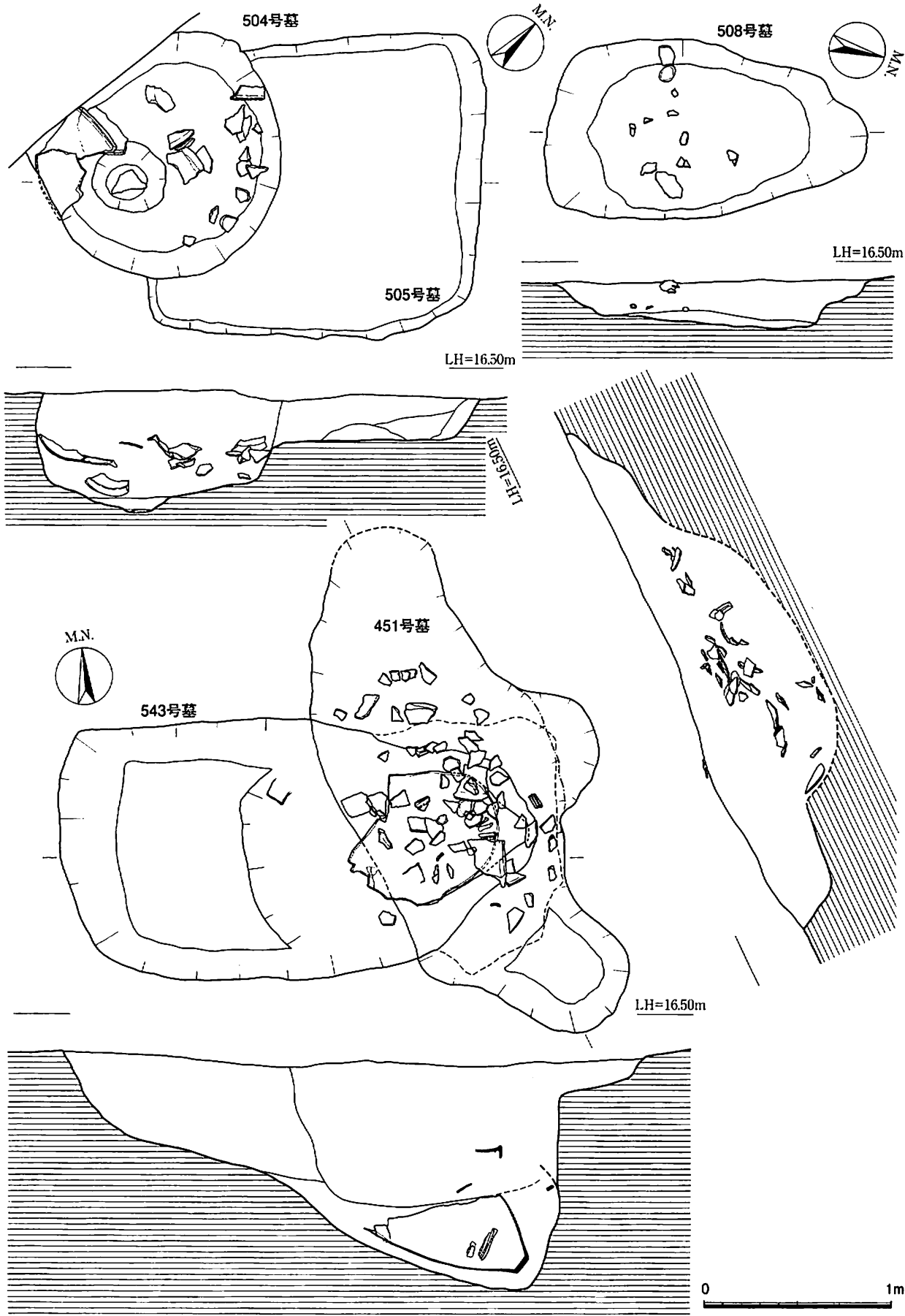


図55 451・504・505・508・543号甕棺墓実測図 (1/30)

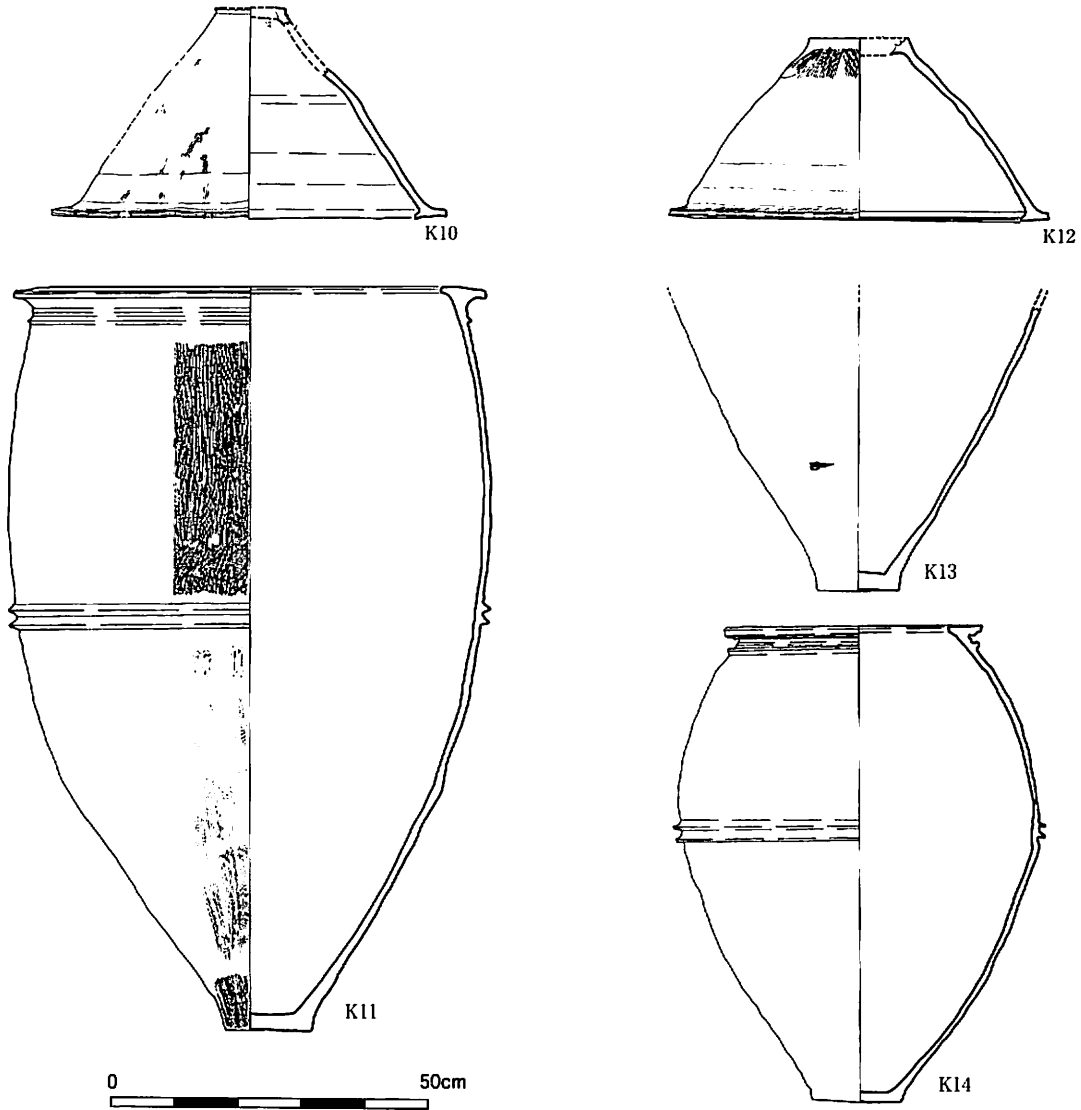


図56 甕棺実測図 2 (1 /12)

砕したもの (K9) を張り付け、その上に粘土で目張りを施している。墓壙長軸方向は東7° 南をとり、長軸長95cm、短軸長1.45mである。墓壙は長方形で、東から1.4mまでを深さ55cm~75cmに掘り下げ、さらにそこから1.6mまでを、最深部1.25mまで横穴状に斜めに壙を掘り込んでいる。そこに25° の傾斜で棺を埋置している。棺内より人骨を1体検出した。人骨は仰臥で頭位方向は東を向いていた。

下甕 (K4) は内面にU字形の張り出しがあるT字に近い逆L字形口縁を持ち、下に1条の三角形突帯が巡る。体部は外に開き胴部下位に2条のコの字形突帯が下向きに巡る。胴下半部中央に横位のハケメ調整を施す。蓋 (K3) はわずかに外傾する厚いT字形口縁を持つ鉢形土器である。口唇部は先端がくぼむコの字形で、口縁部直下には1条の三角形突帯が巡る。胴部外器面中央に横位のヘラミガキを施す。また頂部付近に縦位のハケメ調整を施す。内器面に一部ヘラミガキ調整が認められる。K9は上面が平坦で胴部と極端に屈曲するT字形口縁を持ち、胴部中央に2条の3角形突帯が巡る。胴部全体に太目のハケメ調整を施す。

504・505号墓（図55・図56：K14）

505号墓を切る形で検出された円形の土壙である。棺蓋に用いられたと思われる、頂部の欠けた須玖式の鉢が1基出土した。粉々に破碎され、下甕は発見されなかった。残存する深さは55cmである。505号墓は方形土壙で深さ25cmまで残る。これらの土壙は構造的に他の甕棺墓に似ており、504号土壙は、505号墓の主体部埋設部分から下甕を抜き取り、破碎した上甕を廃棄した穴と考えられる。

K14は口縁がT字形で胴部との境に斜位の刻み目を施す。胴部はやや外に膨らみ、頂部周辺に縦位のハケメ調整を施す。

506号甕棺墓（図53・図54：K13）

507号墓を切る形で検出され、須玖式の大型棺と思われる土器底部が出土した。大半を近世に削平されている。長軸方向西37°南で、長軸長1m、短軸長85cmである。斜めに穴を掘り、傾斜角40°で口縁部を南西に向けて棺を埋置していたと思われる。

K13は外器面にわずかに横位のハケメを施す。

時期はそれぞれ、504・506・451・543・541・471号墓が弥生時代中期中葉後半から中期後葉、453号墓が中期後葉前半、455号墓が中期後葉後半と考えられる。

508・526・527・456・581号墓からの遺物の出土はなかった。572・581号土壙からは、甕棺片が出土しており、この2つも弥生時代の甕棺墓であった可能性が高い。

（3）出土遺物

今回の調査では、甕棺以外に、縄文時代後期土器片数点、石鏃1点、弥生時代土器片、古代土器片、近世陶磁器片など、およそパンコンテナにして10箱ほどの遺物が出土している。以下、抜粋して代表的な遺物を図示したので説明する。

図57：34～36は1号住居址床面で確認した近世陶磁器である（図50参照）。34は磁器花生で口縁部を欠く。呉須で松竹梅と草を描く。35は磁器碗の1/3ほどの破片で、高台も欠いている。外面に呉須で絵が描かれているが全容不明。36は陶器の急須の底部と考えられる。粘土瘤が3箇所につく。これらは、18世紀後半以降の所産と考えられる。

図57：37・38は4号溝付近の近世造成土から出土した磁器である。38は変形皿である。内面に呉須で菱形の幾何学文様を、高台内に二重方形咲枠で囲まれた「福」の底裏銘に描く。39の皿は、内面見込みにコンニャク印判の五弁花文様がある。調査区西側の4号溝に近い、5層から出土しており、これらの遺物からみて、近世の造成は18世紀代のものと考えられる。

図57：39は李朝と思われる白磁皿の底部である。内面見込みに砂目が残る。第469号墓の埋土の上部から出土しており、16世紀末から17世紀初めのものと考えられる。

図57：40は調査区西側の8層の下部から出土した鉄製品である。刃もついておらず、用途は不明である。時期は不明であるが、周辺から摩耗した古代の土器片が出土している。

図57：42～46は3号溝出土遺物である。弥生式土器の破片（44～46）もみられるが、須恵器坏蓋（42）は7世紀末～8世紀初頭のものである。

図57：47～68は4号溝から出土した近世陶磁器類である。47～50・52は陶器製挿鉢、54～58は唐津系の碗・皿、51は陶器製徳利、51・63・64は磁器、その他は陶器である。18世紀代のものと思われる。

図57：78は須恵器の坏蓋である。1/4破片。調査区南東部411号柱穴から出土した。79は須恵器坏の1/3ほどの破片である。これも調査区南東部136号柱穴から出土した。77は土師器の高台付の坏である。第3号溝検出の際に出土した。8世紀前半代のものであろうか。

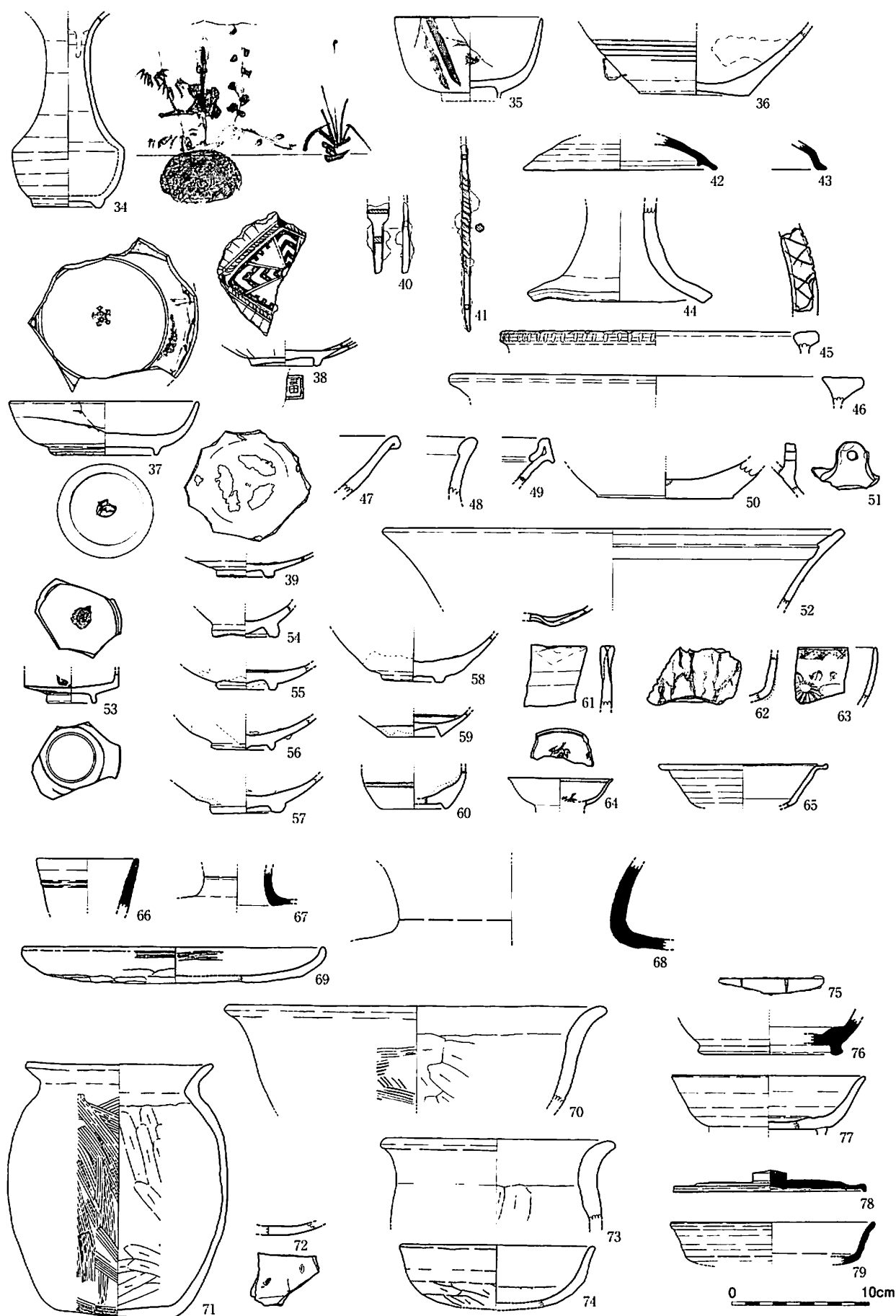


図57 9704調査地点各遺構出土遺物実測図1 (1 / 4)

3. まとめ

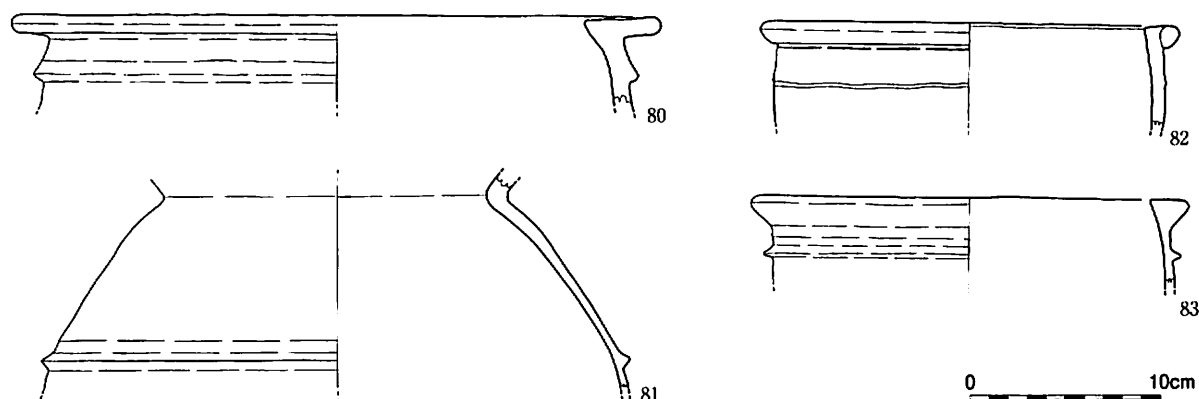


図58 9704調査地点各遺構出土遺物実測図2 (1 / 4)

図57：41は調査区南東部にある152号柱穴から出土した鉄製品である。中心部が右捻りに螺旋状になっており、用途不明である。時期的にも新しいものかもしれない。

図57：69～72は1号竪穴住居址から出土した土師器である。71はほぼ完形に近い甕形土器で、底部は平底である。69は丹塗磨研の皿である。約1／4の破片。外面底部はヘラ削りのまま残す。70は鉢形土器の口縁部の1／8ほどの破片資料である。72は丹塗り磨研の土師器杯の破片であるが、内面に靫の圧痕が認められる。

図57：73～75は12号竪穴住居址から出土した遺物である。74は土師器の丹塗磨研の杯の3／5程の破片である。73は小型の甕形土器の口縁部片である。75は竈付近から出土した鉄製刀子である。長さ7.7cm、幅1.1cm、刃渡り4.4cmである。

これらの遺物から、2基の竪穴住居址の年代は、およそ8世紀の初め頃と考えられる。また甕棺墓の存在を裏付けるように弥生式土器片も破片資料であるが、中期初頭～後半までのものがある。

3. まとめ

1996・1997年に実施された黒髪南地区で発掘調査は工学部校舎の新設工事に伴う2件の調査(9603・9704調査地点)であり、両者はほぼ東西に隣接する調査地点であった。これらの地点は旧運動場部分にあたり、削平が著しく、遺構の残りが悪いと考えられていたが、予想以上に残り具合は良好であった。とくに調査区の西側は、9603調査地点の12号竪穴住居址にみられるように、旧地形の斜面部にあたるため、削平の度合いが少なく、周辺には良好な状態で遺構が残存している可能性が高い。黒髪南地区の既往の調査地点に比べて、一段階古い7世紀末～8世紀初頭頃の集落が、この一帯に存在することが判明したことは大きな成果であった。

竪穴住居址としては、調査区北側中央に重複して営まれた9603調査地点の5・6号住居址、南側に7・8号住居址、そして北西端に12号住居址、その北側に9704調査地点の1号住居址がある。12号竪穴住居址は、主軸方向が北東－南西で、規模も大きく、他とは異なる。5～8号住居址は出土遺物が少なくしかも細片であるため確実とは言えないが、12号住居址が7世紀末～8世紀初頭の遺物を含むことから、これに後続する8世紀後半以降のものと考えられる。1号住居址も12号住居址とほぼ同時期の住居である。

これらとほぼ同時期のものと推定される倉庫群(掘立柱建物)は9704調査地点において、1号住居

址の東側と南側に展開している。この中で、南側にある47・55掘立柱建物址は、建物の主軸方位は竪穴住居址とほぼ同じであるが、柱穴の規模が大きく、住居址群と伴うものか今後検討を要する。

今回検出した掘立柱建物址や溝の方向は、すべて南北方向を基調としており、9603調査地点の2号溝は9704調査地点で検出した3号溝へ連なり、屋敷地を区画する溝の西側（南北方向）と南側（東西方向）の部分に相当するものと思われる。この内部には大型の柱痕跡をもつ19号掘立柱建物址（9603調査地点）や41・447号掘立柱建物址（9704調査地点）が存在している。19号掘立柱建物址は、19号・20号柱穴の2個しか残存していなが、一辺がおおよそ80cmの方形の掘方に、直径20cmほどの柱を入れたもので、方向もほぼ北方向に沿ったものであることから、かなり規模の大きな建物であった可能性が高い。出土遺物が細片でしかも少量のため、確実ではないが、8世紀中～後半にかけての建物址と思われる。付近一帯は、古代豪族建部君の居住地や古代駅制の駅家の「蚕養」駅の推定地として注目されるところであり、9603調査地点の1・3号溝が道路址に推定されるなど（鶴丸1897）、本遺跡群のもつ学術的重要性はとみに大きくなってきている。今回検出した一連の遺構群は、あきらかに一般農村集落のものではなく、その規格性や方向性などからみて、居館ないし駅家などの官衙的な施設の一部を構成するものである。しかし、溝内で検出された上述の建物群は、2号溝（9603調査地点）・3号溝（9704調査地点）とは建物の主軸方位が若干異なっており、4号と447号も互いに切り合い関係があることから、数時期にわたる建替や地割りの変更があったものと推定される。2号溝の東側への展開がどのようなものになるのかも含めて、今後の課題である。

また、今回の成果の一つに、9704調査地点において発見した弥生時代の甕棺墓地がある。この甕棺墓地は、昭和33年に故乙益重隆教授によって本学工学部と民家の間の市道で発見された甕棺（乙益1971）に連なるもので、かなり大きな規模の墓地を形成していたことが推測される。また、この熊本大学および済々學高校・九州ルーテル学院大学の敷地を含む黒髪町遺跡一帯は、古くから弥生中期後半～後期初頭にかけての「黒髪式土器」の標識遺跡となっており、該期の遺跡としても学史的に有名であった（新熊本市史編纂委員会1997）。これらの土器は今回発見の甕棺墓にも使用されており、須玖式の大型甕棺とともに墓地を構成していたという事実は、これまでの土器編年研究を裏づけるとともに、この一帯にこれらの墓地を営んだ人々の集落址が広がる可能性も示唆しており、今後の調査において大いに期待のもてるところである。

<参考文献>

- 乙益重隆 1971「黒髪町坪井古屋敷出土の甕棺」『熊本市北部地区文化財調査報告書』
 新熊本市史編纂委員会 1997「黒髪町遺跡」『新熊本市史』史料編 第1巻 考古資料
 鶴嶋俊彦 1997「肥後国北部の古代官道」『交通史研究』第7号 39-66頁 古代交通研究会

3. まとめ

表 7 9603調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺 物	種類(器種)	法量 (cm)	残 存 量	特 徴	色 調	出土遺構	備 考
47	1	縄文土器	鉢形土器		破片	内：横ナデ 外：ナデ	内：Hue 2. 5YR 4 / 4 外：Hue 10YR 7 / 6	遺構面	外面にスス付着あり
	2	縄文土器	深鉢形土器		口縁部片	内：横ナデ 外：横ナデ	内：Hue 10YR 6 / 4 外：Hue 10YR 6 / 4	8号住居址	
	3	縄文土器	鉢形土器		口縁部片	内：ヘラミガキ 外：ヘラミガキ	内：Hue 10YR 6 / 4 外：Hue 7. 5YR 5 / 4	37号ピット	
	4	土師器	壺		胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 2. 5Y 2 / 1 外：Hue 10YT 8 / 3	遺構面	櫛歯コンパス・円形付文
	5	石器	石鏃	口径 1.2 器高 2.6 厚さ 0.39	片脚・先端部 欠損			40号遺構	黒曜石製、重さ0.7g
	6	鉄器	刀子	長さ 8.7 幅 1.8 厚さ 0.23	完形			12号住居	重さ3.5g
	7	瓦	布目瓦	長さ 10 幅 11.2 厚さ 2.6	破片	内：布目 外：縄目	内：Hue 10YR 7 / 3 外：Hue 10YR 7 / 4	遺構面	
	8	瓦	布目瓦	長さ 7 幅 12 厚さ 2.5	破片	内：布目 外：縄目	内：Hue 10YR 8 / 4 外：Hue 2. 5Y 7 / 2	1号溝	
	9	石製品	紡錘車	直径 4.4	一部欠損			包含層	滑石製、34.4g
	10	土師器	甕	口径 13.8	口縁部・胴部 1 / 4	内：ナデ 外：ハケ目	内：Hue 5 YR 6 / 6 外：Hue 5 YR 6 / 6	12号住居址	
	11	須恵器	円面硯		胴部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7. 5Y 6 / 1 外：Hue 7. 5Y 6 / 1	12号住居址	二段透かし、自然釉あり
	12	土師器	坏	口径 14.4 器高 5.2	ほぼ完形	内：磨研、回転 ナデ 外：磨研、回転 ナデ	内：Hue 2. 5YR 4 / 8 外：Hue 7. 5YR 7 / 4	12号住居址	丹塗り有り
	13	土師器	坏	口径 13.2	口縁部 1 / 6	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 10YR 8 / 4 外：Hue 10YR 8 / 4	12号住居址	
	14	土師器	坏	口径 13.6	1 / 6	内：磨研、回転 ナデ 外：磨研、回転 ナデ	内：Hue 2. 5YR 4 / 6 外：Hue 2. 5YR 4 / 6	12号住居址	丹塗り有り
	15	土師器	甕	口径 17.8	胴部 1 / 4	内：ケズリ 外：ハケ目	内：Hue 5 YR 6 / 6 外：Hue 5 YR 6 / 8	3号溝	スス付着あり
	16	須恵器	壺	口径 10.8	口縁部のみ	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5 Y 6 / 2 外：Hue 2. 5Y 6 / 2	220号遺構	自然釉あり
	17	土師器	坏	口径 14.2 器高 5.4	1 / 3	内：磨き 外：ヘラ ケズ リ・ナデ	内：Hue 2. 5YR 5 / 8 外：Hue 2. 5YR 5 / 8	14号遺構	丹塗り有り
	18	土師器	碗	底径 8.4	口縁部 1 / 4 欠	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7. 5YR 6 / 6 外：Hue 5 YR 6 / 6	11号溝 (E-4区)	
	19	須恵器	坏	口径 12.3 器高 4.8	ほぼ完形	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7. 5Y 6 / 2 外：Hue 7. 5Y 6 / 2	2号溝・14号遺構	

表 8 9704調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
54	K 1	土器	甕棺蓋	口径 63.1 底径 11 器高 28	完形	内：ヘラ磨き 外：ハケ目	内：Hue 外：Hue 7.5YR 6 / 5	541号墓	
	K 2	土器	甕棺	口径 73 底径 15.5 器高 114	完形	内： 外：ハケ目	内：Hue 7.5YR 6 / 6 外：Hue 7.5YR 8 / 6	541号墓	
	K 3	土器	甕棺蓋	口径 78 底径 13 器高 38	完形	内：ヘラ磨き 外：ハケ目	内：Hue 外：Hue 10YR 6 / 7	471号墓	
	K 4	土器	甕棺	口径 81 底径 14 器高 113	完形	内： 外：ハケ目	内：Hue 5 YR 6 / 5 外：Hue 7.5YR 6 / 6	471号墓	
	K 5	土器	甕形土器	口径 30 底径 9 器高 73	口縁部 一部欠	内： 外：磨き	内：Hue 10YR 6 / 5 外：Hue 7.5YR 6 / 44	55号墓	
	K 6	土器	甕棺	底径 17	1 / 2	内：ハケ目 外：ハケ目	内：Hue 外：Hue 5 YR 8 / 4	455号墓	
	K 7	土器	甕形土器	口径 27 底径 6 器高 48	胴部破片	内： 外：ハケ目、ヘラ磨き	内：Hue 7.5YR 4 / 6 外：Hue 5 YR 6 / 6	453号墓	蓋の一部として使用
	K 8	土器	壺形土器	口径 42 底径 最大径61	完形	内： 外：ヘラ磨き	内：Hue 7.5YR 6 / 5 外：Hue 7.5YR 6 / 4	453号墓	
	K 9	土器	甕棺	口径 42 最大径61		内： 外：ハケ目	内：Hue 外：Hue	479号墓	
56	K10	土器	甕棺蓋	口径 61 器高 41	底部 一部欠	内： 外：	内：Hue 外：Hue 5 YR 6 / 5	453号墓	
	K11	土器	甕棺	口径 73 底径 13 器高 116	4 / 5	内： 外：ハケ目	内：Hue 7.5YR 6 / 6 外：Hue 7.5YR 6 / 5	453号墓	
	K12	土器	甕棺蓋	口径 64 器高 29	底部 一部欠	内： 外：ハケ目	内：Hue 5 YR 8 / 5	504号号墓	
	K13	土器	甕棺	底径 13	3 / 4	内： 外：ハケ目	内：Hue 7.5YR 6 / 5 外：Hue 7.5YR 6 / 4	506号墓	
	K14	土器	甕棺	口径 40 底径 14 器高 75	ほぼ完形	内： 外：	内：Hue 7.5YR 4 / 7 外：Hue 7.5YR 4 / 6	451号墓	
57	34	磁器	花器	底径 5 最大径8.2	口縁部欠	内： 外：	内： 外：白色	1号住居址 竈東	呉須で松竹梅と草を描く
	35	磁器	碗	口径 10.7	口縁部・高台 1 / 3 欠	内： 外：	内： 外：白色	1号住居址 竈東	
	36	陶器	急須	底径 8	底部のみ	内： 外：釉かけ	内：Hue 5 YR 4 / 6 外：Hue 5 YR 5 / 6	1号住居址 竈東	
	37	磁器	皿	口径 13.8 底径 7.8 器高 4	口縁部 3 / 4 欠	内： 外：オリーブ色	内：Hue 2.5Y 6 / 2 外：Hue 2.5Y 6 / 2	西半部遺検面 5号溝周辺	五弁花文様あり
	38	磁器	皿	底径 5	底部 1 / 2	内： 外：釉	内：Hue 外：Hue 青白色	西半部遺検面 4号溝周辺	呉須で菱形の文様あり
	39	白磁	皿	底径 4.2	底部のみ	内： 外：	内：Hue 2.5Y 7 / 1 外：Hue 2.5Y 7 / 1	469号遺構 上面	4箇所に砂目がある
	40	鉄製品	鐵?	長さ 5.2 幅 1.56 厚さ 0.4				調査区西側方形遺構上面	
	41	鉄製品	不明	長さ 13.8 幅 0.5 厚さ 0.6				152号ピット	
	42	須恵器	蓋	口径 14.2	口縁部 1 / 10	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5Y 7 / 1 外：Hue 7.5Y 5 / 1	3号溝	
	43	須恵器	蓋		口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5YR 4 / 2 外：Hue N 4 / 0	3号溝	
	44	土師器	高坏	口径 13.6	脚部 1 / 6	内：ナデ 外：ハケ目・ナデ	内：Hue 10YR 8 / 4 外：Hue 7.5YR 6 / 6	3号溝	
	45	土器	甕形土器	口径 48	口縁部片	内：ハケ目・ナデ 外：ハケ目・ナデ	内：Hue 2.5Y 8 / 4 外：Hue 2.5Y 8 / 2	3号溝	
	46	土器	甕形土器	口径 30.4	口縁部片	内：ハケ目・ナデ 外：ハケ目・ナデ	内：Hue 7.5YR 6 / 5 外：Hue 7.5YR 6 / 5	3号溝	
	47	陶器	すり鉢		口縁部 1 / 10	内： 外：釉	内：Hue 10R 5 / 6 外：Hue 2.5YR 3 / 1	4号溝	
	48	陶器	すり鉢		口縁部 1 / 10	内： 外：釉	内：Hue 7.5R 2 / 2 外：Hue 7.5R 2 / 2	4号溝	
	49	陶器	すり鉢		口縁部 1 / 10	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 2.5YR 5 / 6 外：Hue 2.5YR 5 / 6	4号溝	
	50	陶器	すり鉢	底径 10	底部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10R 4 / 3 外：Hue 10R 4 / 3	4号溝	
	51	陶器	土瓶		胴部片	内： 外：釉	内：Hue 2.5YR 5 / 3 外：Hue 7.5YR 3 / 2	4号溝	内に白色の釉付着あり
	52	陶器	すり鉢		口縁部 1 / 8	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 2.5YR 3 / 1 外：Hue 2.5YR 3 / 1	4号溝	
	53	磁器	碗	底径 3.6	底部 3 / 4	内： 外：釉	内：Hue 外：Hue 灰白色	4号溝	絵付け
	54	陶器	皿	底径 4.9	底部のみ	内： 外：	内：Hue 7.5Y 8 / 1 外：Hue 7.5Y 8 / 1	4号溝	高台削り出し
	55	陶器	碗	底径 4.2	底部 1 / 2	内： 外：	内：Hue 5 YR 4 / 2 外：Hue 2.5YR 4 / 2	4号溝	
	56	陶器	碗	底径 4.7	底部のみ	内：釉 外：釉	内：Hue 2.5Y 8 / 2 外：Hue 2.5Y 8 / 3	4号溝	胎土目あり
	57	陶器	皿	底径 5.5	底部のみ	内：白色釉 外：白色釉	内：Hue 5 YR 8 / 1 外：Hue 7.5YR 8 / 1	4号溝	砂目あり
	58	陶器	碗	底径 4.6	底部 2 / 3	内：釉 外：釉	内：Hue 7.5YR 7 / 4 外：Hue 5 YR 6 / 6	4号溝 西半部	
	59	磁器	皿	底径 4	底部 2 / 3	内：釉 外：釉	内：Hue 2.5GY 8 / 1 外：Hue 2.5GY 7 / 1	4号溝 西半部	
	60	磁器	壺	底径 4.7	底部 1 / 2	内：一部釉 外：釉	内：Hue 7.5Y 8 / 1 外：Hue 青白色	4号溝 西半部	
	61	陶器	片口		口縁部 1 / 10	内： 外：釉	内：Hue 10YR 7 / 1 外：Hue 7.5YR 6 / 2	4号溝	
	62	陶器	鉢		胴底部片	内： 外：釉	内：Hue 7.5Y 2 / 1 外：Hue 7.5Y 2 / 1	4号溝	内外面に釉が厚く付着
	63	磁器	碗		口縁部片	内：釉 外：釉	内：Hue 外：Hue 白色	4号溝	絵付け

3. まとめ

図	番号	遺 物	種類(器種)	法量 (cm)	残 存 量	特 徴	色 調	出土遺構	備 考
57	64	磁器	小皿	口径 7.6	口縁部 1 / 8	内： 外：釉	内：Hue 7.5GY 8 / 1 外：Hue 7.5GY 8 / 1	4号溝 西半部	絵付け
	65	磁器	碗	口径 12.4	口縁部 1 / 5	内：釉 外：釉	内：Hue 2.5Y 8 / 2 外：Hue 10Y 6 / 1	4号溝	
	66	須恵器	壺	口径 7.4	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5GY 1 / 2 外：Hue N 3 / 0	4号溝	
	67	須恵器	壺	頸径 6.0	脚部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue N 3 / 0 外：Hue N 3 / 0	4号溝 西半部	
	68	須恵器	壺	頸径 16.9	口縁部・頸部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5Y 4 / 1 外：Hue 2.5Y 5 / 2	4号溝	
	69	土師器	皿	口径 22 器高 2.6	1 / 8	内：磨研 外：磨研	内：Hue 5 YR 5 / 6 外：Hue 5 YR 5 / 6	1号住居址 竈	丹塗り有り
	70	土師器	鉢	口径 28	口縁部 1 / 10	内：ヘラ削り 外：ハケ目	内：Hue 2.5YR 5 / 6 外：Hue 2.5YR 5 / 6	1号住居址 No. 2	
	71	土師器	甕	口径 13.4 器高 18.5	3 / 4	内：ヘラ削り 外：ハケ目	内：Hue 2.5YR 5 / 6 外：Hue 5 YR 5 / 6	1号住居址 No. 1	
	72	土師器	坏		胴部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5 YR 5 / 4 外：Hue 5 YR 6 / 4	1号住居址	刳圧痕有り
	73	土師器	甕	口径 17.2		内：ヘラケズリ 外：ハケ目・ナデ	内：Hue 外：Hue	2号住居址 No. 6	
	74	土師器	坏	口径 14.2	口縁部 1 / 4	内：磨研 外：磨研	内：Hue 2.5YR 4 / 4 外：Hue 2.5YR 4 / 6	2号住居址 No. 16	丹塗りあり
	75	鉄器	刀子	長さ 7.7 幅 1.1 厚さ 0.22				2号住居址	
	76	須恵器	碗	底径 10.6	底部 1 / 6	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5Y 4 / 1 外：Hue 2.5Y 6 / 2	451号遺構	自然釉あり
	77	土師器	碗	口径 14.1		内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 外：Hue	3号溝 上部	
	78	須恵器	蓋	口径 14 器高 1.5	1 / 6	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5 Y 7 / 1 外：Hue 5 Y 7 / 1	411号ビット	
	79	須恵器	坏	口径 15	口縁部 1 / 3	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5 Y 7 / 1 外：Hue 5 Y 7 / 1	136号ビット	
58	80	土器	甕形土器	口径 34	口縁部片	内：ハケ目・ナデ 外：ハケ目・ナデ	内：Hue 10YR 8 / 4 外：Hue 10YR 8 / 3	541号墓	
	81	土器	甕形土器	口径 30.4	胴部片	内：ハケ目・ナデ 外：ハケ目・ナデ	内：Hue 10YR 8 / 4 外：Hue 10YR 8 / 4	578号墓	
	82	土器	甕形土器	口径 22	口縁部 1 / 8	内：ハケ目・ナデ 外：ハケ目・ナデ	内：Hue 7.5YR 5 / 4 外：Hue 10YR 5 / 3	543号墓	
	83	土器	甕形土器	口径 23	口縁部片	内：ハケ目・ナデ 外：ハケ目・ナデ	内：Hue 7.5YR 7 / 4 外：Hue 5 YR 6 / 5	543号墓	

報 告 書 抄 録

ふ り が な	くまもとだいがくこうないせきはつくつちようさほうこくⅣ							
書 名	熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅳ							
副 書 名								
巻 次								
シ リ ー ズ 名	熊本大学埋蔵文化財調査報告書							
シ リ ー ズ 号	Ⅳ							
編 著 者 名	小畑弘己・大坪志子・中川本綿子							
編 集 機 関	熊本大学埋蔵文化財調査室							
所 在 地	〒860-8555 熊本県熊本市黒髪2-39-1 TEL.096-342-3832 FAX.096-342-3832							
発 行 年 月 日	2008年3月31日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
黒髪町遺跡 (9603地点)	熊本県 熊本市 黒髪	43201		32° 48' 57"	130° 43' 73"	19960510 ～ 19960625	1,000m ²	学校敷地内の開発事業に伴う
黒髪町遺跡 (9704地点)	熊本県 熊本市 黒髪	43201		32° 48' 57"	130° 43' 73"	19970728 ～ 19971104	1,783.3m ²	学校敷地内の開発事業に伴う
本庄遺跡 (9601地点)	熊本県 熊本市 本庄	43201		32° 47' 73"	130° 42' 95"	19960805 ～ 19970117	2,094m ²	学校敷地内の開発事業に伴う
所収遺跡	種 別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
黒髪町遺跡 (9603地点)	集落址	奈良・平安		竪穴住居址 5 溝状遺構 5 掘立柱建物 3 土塙 4		縄文後期土器 古代土師器 古代須恵器 瓦		
黒髪町遺跡 (9704地点)	集落址 墓地	弥生・奈良 平安・近世		甕棺墓 17 竪穴住居址 2 溝 8 掘立柱建物 11 墓 15		縄文時代石鏃、弥生土器 鉄器・甕棺・土師器・須恵器 陶磁器・数珠		
本庄遺跡 (9601地点)	墓地 集落址	近代 縄文 奈良・平安・		墓 55 竪穴住居址 30 掘立柱建物 2 道路 1 溝状遺構 4 土塙 6		陶磁器 煙管・数珠 六道銭 縄文後～晩期土器 古代土師器 古代須恵器 鉄器・石器		

熊本大学埋蔵文化財調査報告書 第4集
熊本大学構内遺跡発掘調査報告書Ⅳ
(1996・1997年度)

平成20年3月25日 印刷

平成20年3月31日 発行

編集・発行 熊本大学埋蔵文化財調査室

〒860-8555 熊本市黒髪2丁目39-1

TEL 096(342)3832 FAX 096(342)3832

印刷 シモダ印刷株式会社
